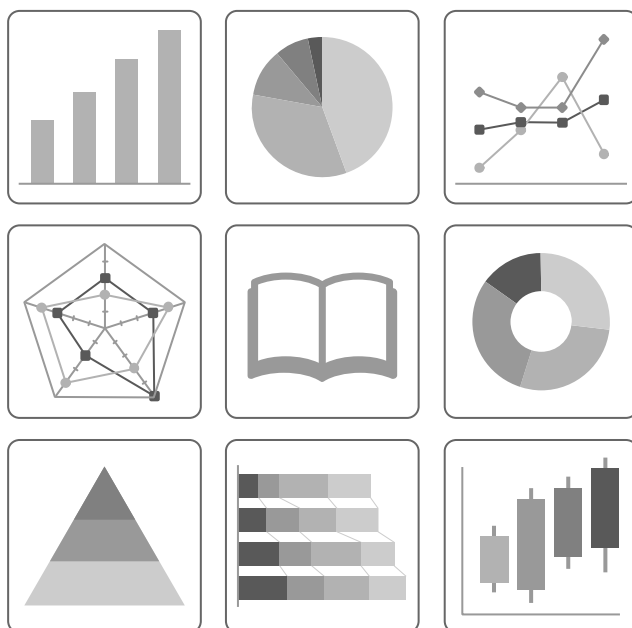


京田辺市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査 調査結果報告書



令和元年7月

京田辺市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	就学前児童	2
	(1) 宛名のお子さんご家族の状況について	2
	(2) ご家族の生活状況について	7
	(3) 子どもの育ちをめぐる状況について	11
	(4) 保護者の就労状況について	22
	(5) 平日の定期的な教育・保育の利用状況について	30
	(6) 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の利用希望について	55
	(7) 地域の子育て支援事業の利用状況について	62
	(8) 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	69
	(9) 不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	73
	(10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について（宛名のお子さんが5歳以上である方）	80
	(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	86
	(12) 子育てのストレスについて	103
	(13) 子育て支援対策全般について	107
2	小学生	111
	(1) 宛名のお子さんご家族の状況について	111
	(2) ご家族の生活状況について	116
	(3) 子どもの育ちをめぐる状況について	119
	(4) 保護者の就労状況について	130
	(5) 留守家庭児童会の利用について	142
	(6) 病気の際の対応について	156
	(7) 宿泊を伴う一時預かり等の利用について	161
	(8) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	163
	(9) 子育てのストレスについて	166
	(10) 子育て支援対策全般について	170

Ⅲ 自由回答	174
1 就学前児童	174
2 小学生	175
Ⅳ 調査票	176
1 就学前児童	176
2 小学生	190

I 調査の概要

1 調査の目的

「第2期京田辺市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援について、現在の利用状況や今後の利用希望などを把握するために調査を実施するものです。

2 調査対象

京田辺市在住の就学前児童、小学生各 1,500 名の保護者

3 調査期間

平成 31 年 1 月 10 日から平成 31 年 2 月 1 日まで


4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
就学前児童	1,500 通	963 通	64.2%
小学生	1,500 通	1,038 通	69.2%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が 1 桁の場合、回答件数による表記としています。

II 調査結果

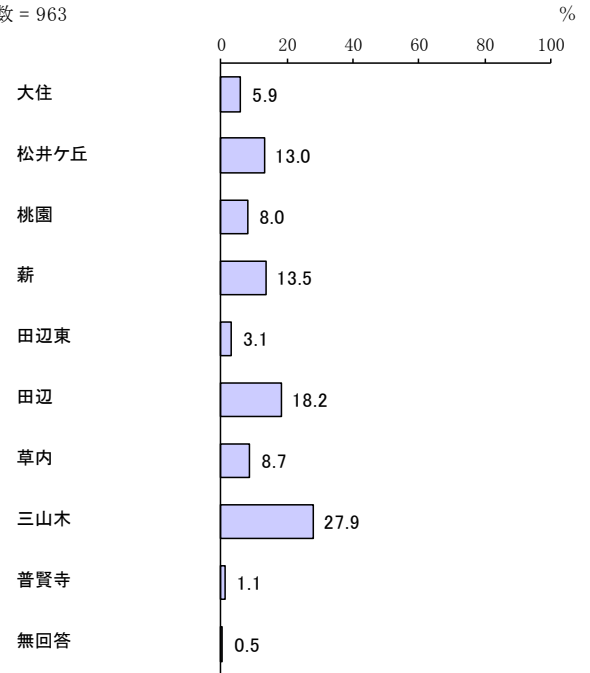
1 就学前児童

(1) 宛名のお子さんご家族の状況について

問1 宛名のお子さんのお住まいの小学校区はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「三山木」の割合が27.9%と最も高く、次いで「田辺」の割合が18.2%、「薪」の割合が13.5%となっています。

回答者数 = 963

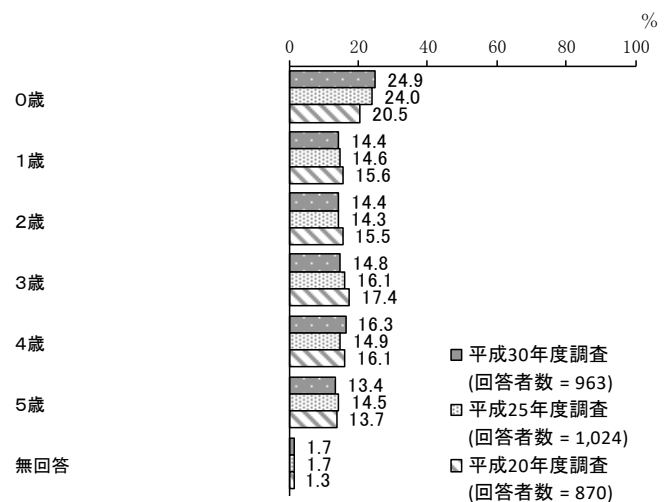


問2 宛名のお子さんの生年月を () 内に数字でご記入ください。

宛名のお子さんの年齢

「0歳」の割合が24.9%と最も高く、次いで「4歳」の割合が16.3%、「3歳」の割合が14.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

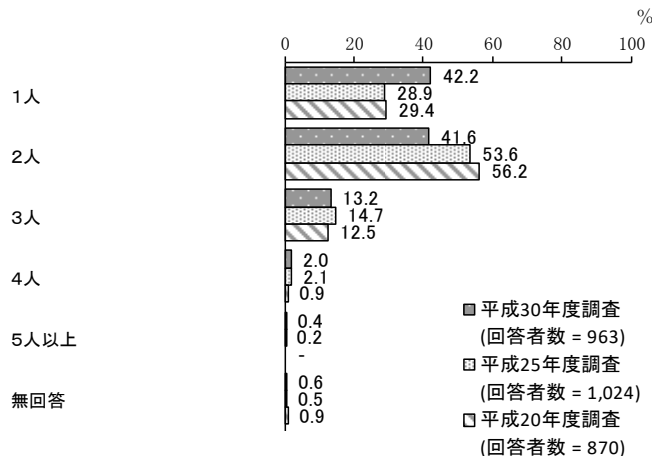


問3 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

ア 子どもの数

「1人」の割合が42.2%と最も高く、次いで「2人」の割合が41.6%、「3人」の割合が13.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1人」の割合が増加しています。一方、「2人」の割合が減少しています。

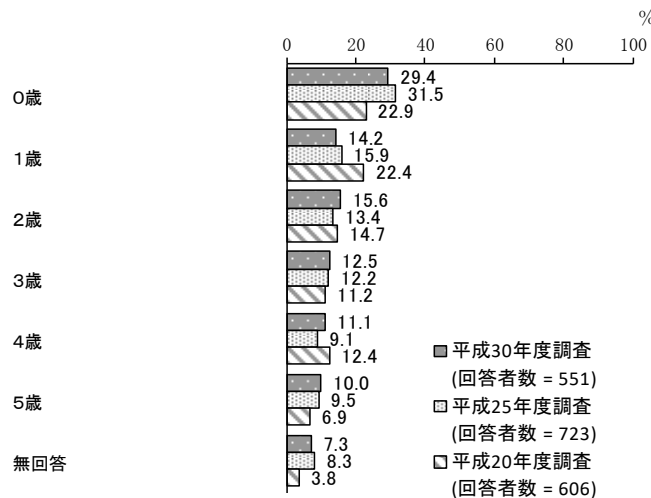


※平成20年度調査は「4人以上」まで、「5人以上」はありませんでした。

イ 末子の年齢

「0歳」の割合が29.4%と最も高く、次いで「2歳」の割合が15.6%、「1歳」の割合が14.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

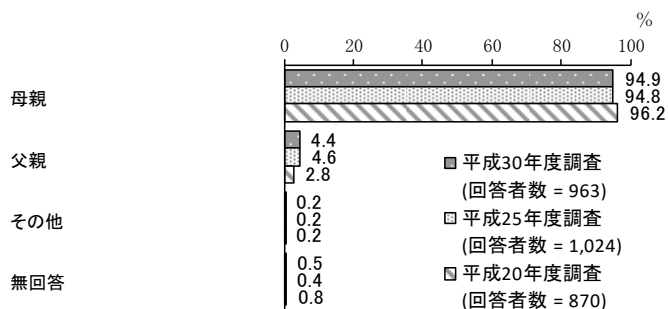


※平成20年度調査は「6歳」まででした。

問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が94.9%、「父親」の割合が4.4%となっています。

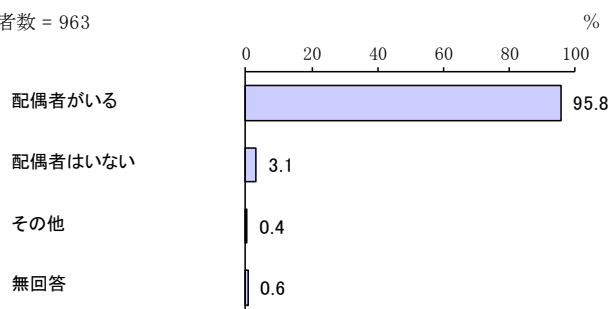
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が95.8%、「配偶者がいない」の割合が3.1%となっています。

回答者数 = 963

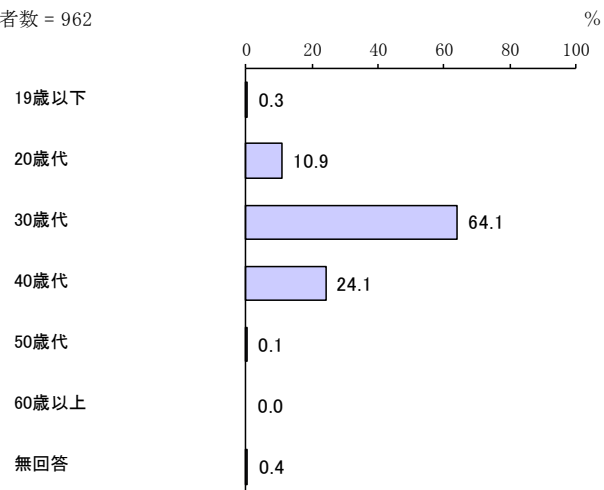


問6 母親、父親の該当する年齢階層についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ア 母親

「30歳代」の割合が64.1%と最も高く、次いで「40歳代」の割合が24.1%、「20歳代」の割合が10.9%となっています。

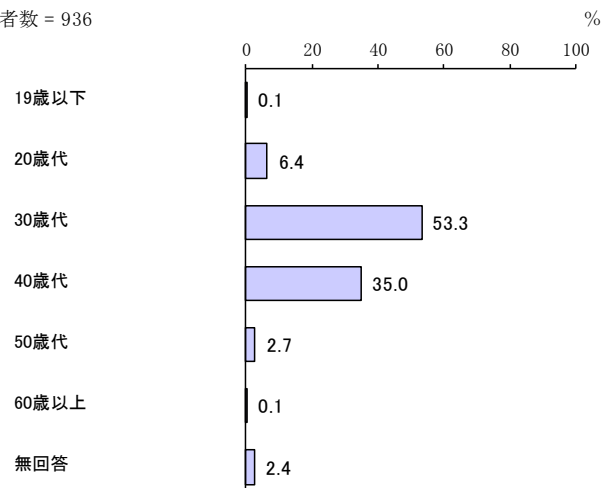
回答者数 = 962



イ 父親

「30歳代」の割合が53.3%と最も高く、次いで「40歳代」の割合が35.0%となっています。

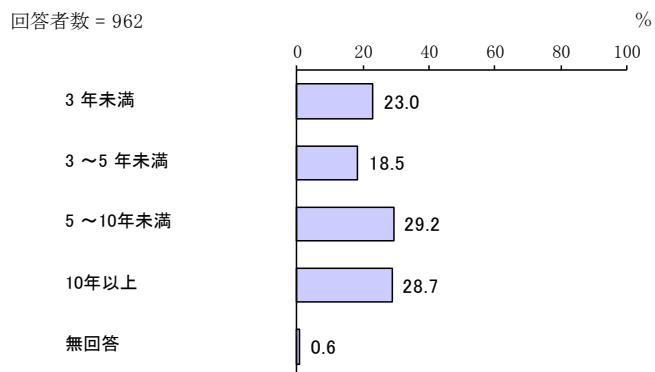
回答者数 = 936



問7 母親と父親の本市での居住年数をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ア 母親

「5～10年未満」の割合が29.2%と最も高く、次いで「10年以上」の割合が28.7%、「3年未満」の割合が23.0%となっています。



【子どもの年齢別】

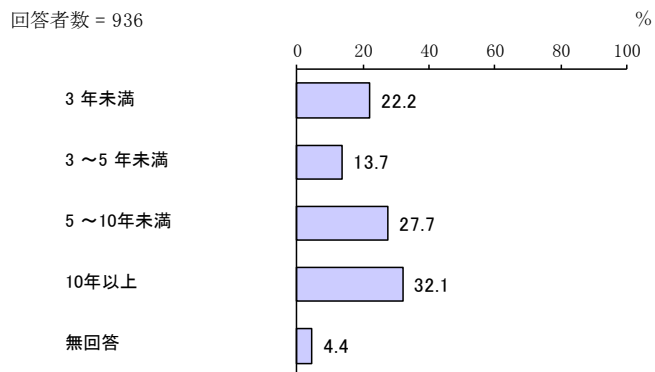
子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳で「3年未満」の割合が高くなっています。また、2～5歳で「5～10年未満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	無回答
0歳	240	46.3	19.2	11.7	22.5	0.4
1歳	139	25.2	24.5	24.5	25.9	—
2歳	139	10.8	27.3	31.7	30.2	—
3歳	142	14.1	14.1	38.0	33.8	—
4歳	157	16.6	12.7	38.9	30.6	1.3
5歳	129	10.1	12.4	41.9	34.9	0.8
全体	962	23.0	18.5	29.2	28.7	0.6

イ 父親

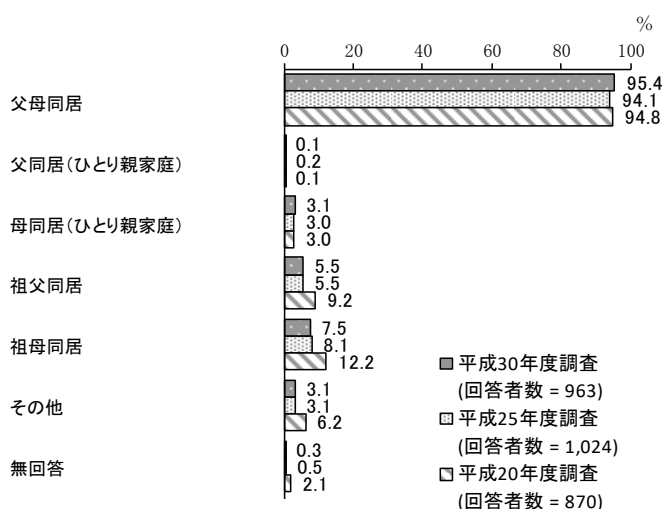
「10年以上」の割合が32.1%と最も高く、次いで「5～10年未満」の割合が27.7%、「3年未満」の割合が22.2%となっています。



問8 お子さんとの同居の状況について当てはまる番号すべてに○をつけてください。続柄はお子さんからみた関係です。

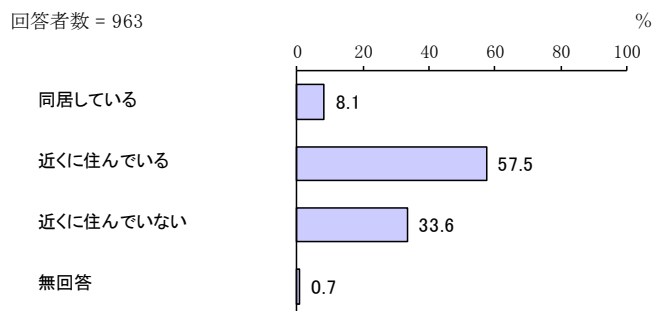
「父母同居」の割合が95.4%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問9 お子さんの祖父母が近くにお住まいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。近くとは、概ね30分程度で行き来できる範囲です。

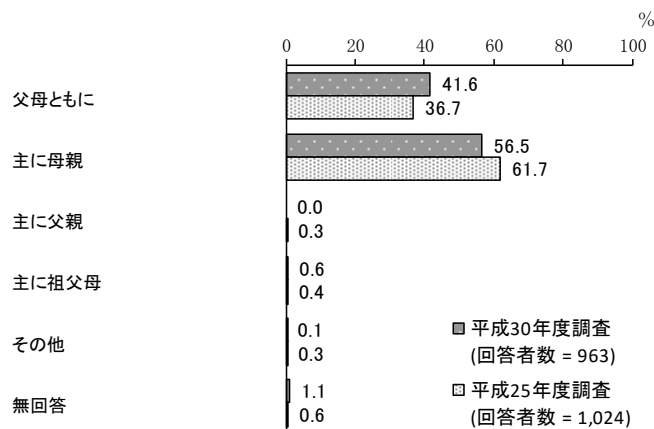
「近くに住んでいる」の割合が57.5%と最も高く、次いで「近くに住んでいない」の割合が33.6%となっています。



問10 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「主に母親」の割合が56.5%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が41.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「主に母親」の割合が減少し、「父母ともに」の割合が増加しています。

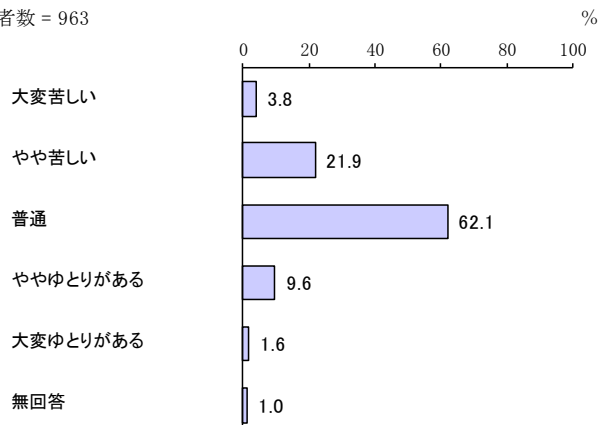


(2) ご家族の生活状況について

問11 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「普通」の割合が62.1%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が21.9%となっています。

回答者数 = 963



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「やや苦しい」の割合が高くなる傾向が見られます。

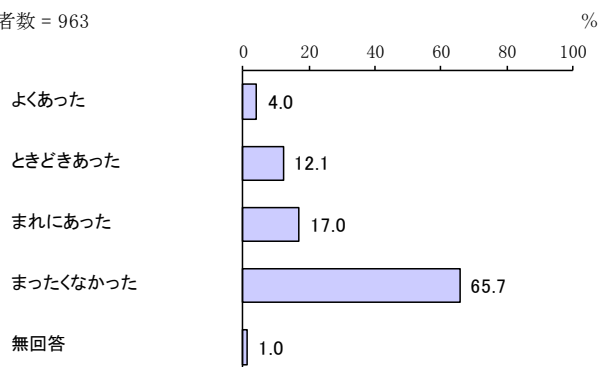
単位：%

区分	有効回答数(件)	大変苦しい	やや苦しい	普通	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
0歳	240	3.8	17.5	67.9	8.8	0.8	1.3
1歳	139	5.0	18.7	64.7	7.9	0.7	2.9
2歳	139	2.2	18.0	63.3	14.4	2.2	—
3歳	143	3.5	21.7	65.0	8.4	1.4	—
4歳	157	3.2	27.4	56.1	10.2	1.3	1.9
5歳	129	4.7	31.8	51.2	9.3	3.1	—
全体	963	3.8	21.9	62.1	9.6	1.6	1.0

問12 あなたの世帯では、過去1年の間に、急な出費などで家計のやりくりができないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が65.7%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が17.0%、「ときどきあった」の割合が12.1%となっています。

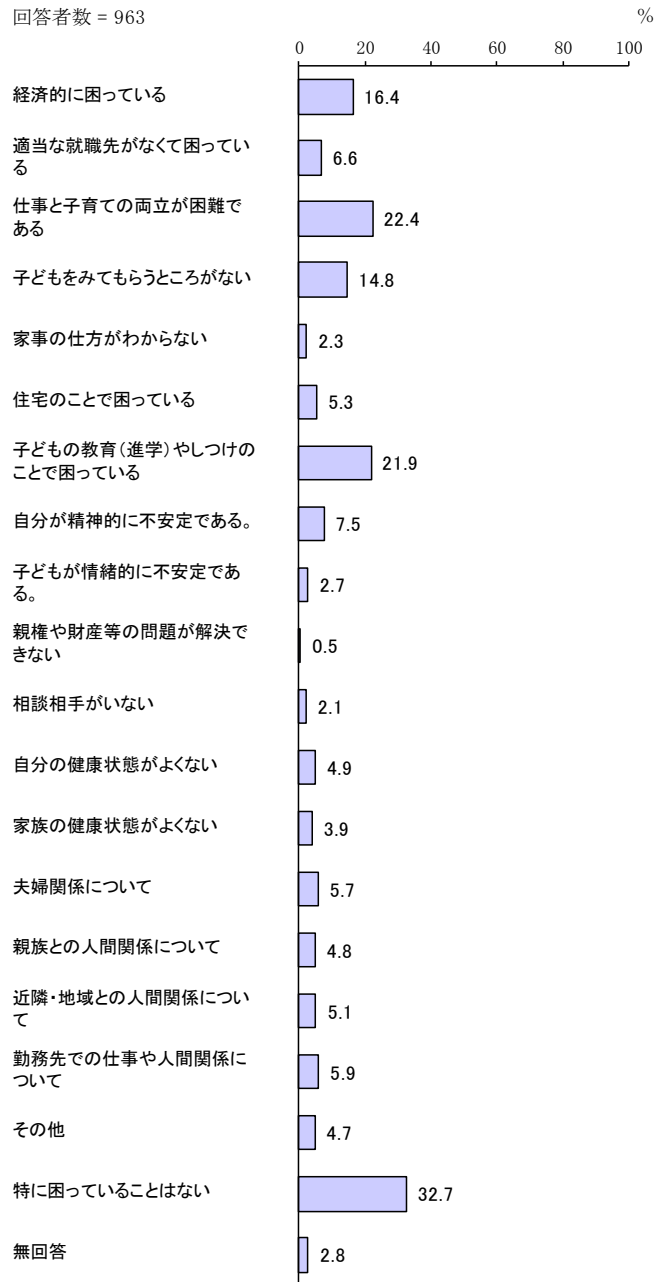
回答者数 = 963



問13 あなたは、現在、どのような悩みや不安を感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に困っていることはない」の割合が32.7%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が困難である」の割合が22.4%、「子どもの教育(進学)やしつけのことで困っている」の割合が21.9%となっています。

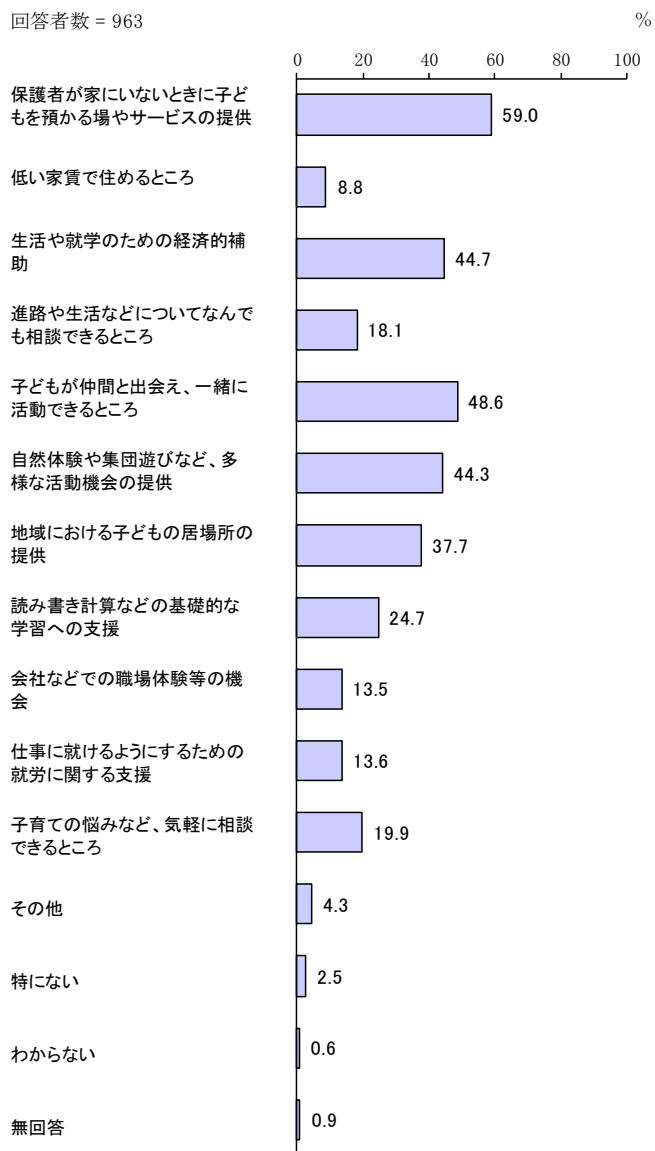
回答者数 = 963



問 14 子どもや保護者にとって、現在または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「子どもが仲間と出会え、一緒に活動できる場所」の割合が 48.6%、「生活や就学のための経済的補助」の割合が 44.7%となっています。

回答者数 = 963



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、0歳で「低い家賃で住めるところ」「地域における子どもの居場所の提供」「子育ての悩みなど、気軽に相談できる場所」の割合が、4歳で「生活や就学のための経済的補助」の割合が高くなっています。また、0歳、2歳で「子どもが仲間と出会う、一緒に活動できる場所」の割合が高くなっています。

単位：％

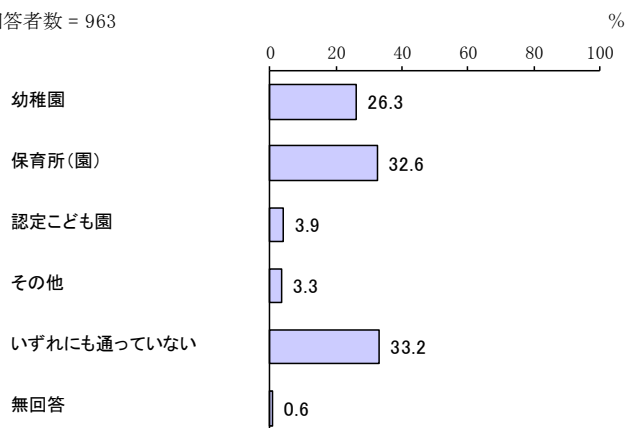
区分	有効回答数(件)	保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供	低い家賃で住めるところ	生活や就学のための経済的補助	進路や生活などについてなんでも相談できる場所	子どもが仲間と出会う、一緒に活動できる場所	自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供	地域における子どもの居場所の提供	習への支援	読み書き計算などの基礎的な学習への支援	会社などでの職場体験等の機会	就労に関する支援	仕事に就けるようにするための支援	子育ての悩みなど、気軽に相談できる場所	その他	特になし	わからない	無回答
0歳	240	63.8	15.8	48.3	20.8	58.3	47.5	42.1	25.0	14.2	14.2	29.2	5.0	0.8	1.7	1.3		
1歳	139	57.6	5.8	46.8	19.4	47.5	48.9	39.6	20.1	10.1	12.2	17.3	5.0	4.3	0.7	2.2		
2歳	139	65.5	6.5	37.4	16.5	56.1	50.4	36.7	28.1	15.8	15.8	23.7	2.2	2.2	—	—		
3歳	143	53.8	7.7	44.1	16.8	45.5	40.6	38.5	26.6	14.7	16.1	16.1	5.6	3.5	0.7	—		
4歳	157	55.4	7.6	52.9	19.1	38.2	39.5	33.1	28.7	14.6	12.7	16.6	2.5	1.9	—	0.6		
5歳	129	57.4	4.7	34.1	15.5	44.2	39.5	35.7	21.7	12.4	11.6	10.9	3.1	3.9	—	0.8		
全体	963	59.0	8.8	44.7	18.1	48.6	44.3	37.7	24.7	13.5	13.6	19.9	4.3	2.5	0.6	0.9		

(3) 子どもの育ちをめぐる状況について

問15 お子さんが日常的に通っている施設はどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いずれにも通っていない」の割合が33.2%と最も高く、次いで「保育所(園)」の割合が32.6%、「幼稚園」の割合が26.3%となっています。

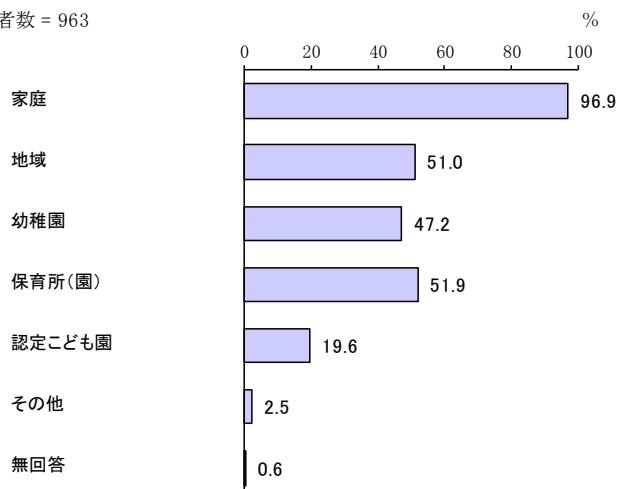
回答者数 = 963



問16 お子さんの子育てに大きく影響すると思われる環境について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

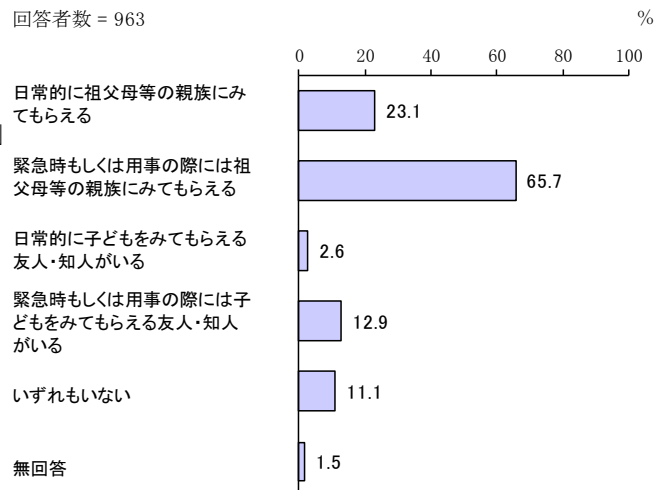
「家庭」の割合が96.9%と最も高く、次いで「保育所(園)」の割合が51.9%、「地域」の割合が51.0%となっています。

回答者数 = 963



問 17 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

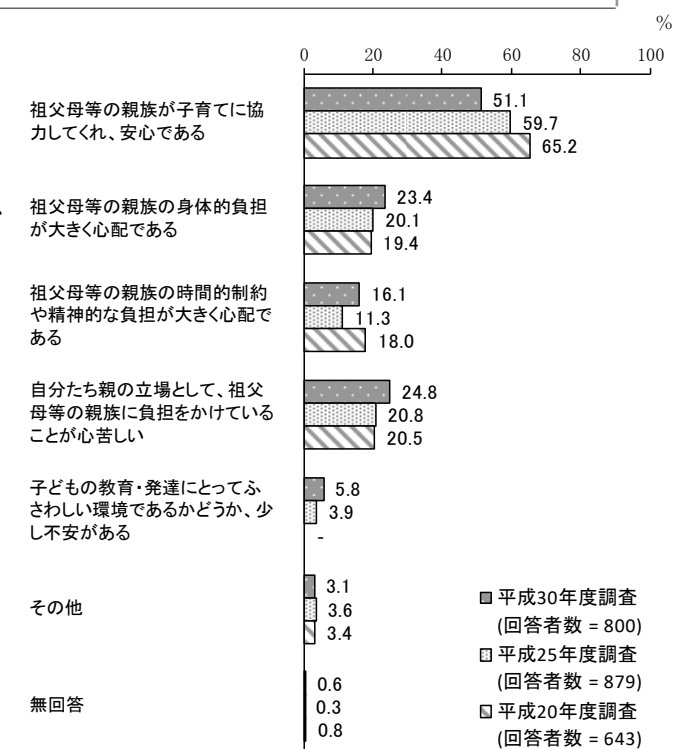
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 23.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が 12.9%となっています。



問 17-1 問 17 で「1」または「2」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、祖父母等の親族に負担をかけていることが心苦しい」の割合が 24.8%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が 23.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が減少しています。

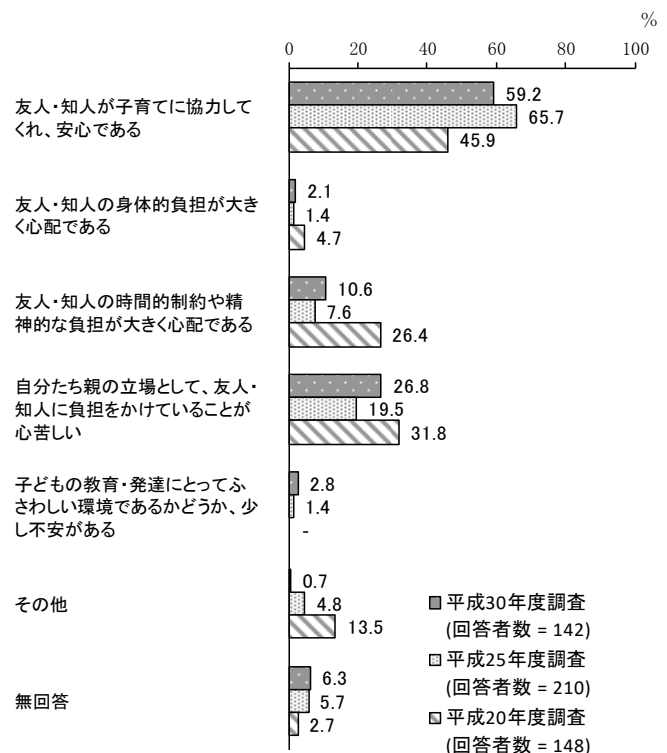


※平成 20 年度調査の「祖父母が孫を預かることに問題は感じていない」を、平成 30 年度調査の「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である」と比較しています。「子どもの教育・発達にとって最も良い環境であるかどうか、少し不安がある」は平成 20 年度調査ではありませんでした。

問 17-2 問 17 で「3」または「4」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」の割合が 26.8%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」の割合が 10.6%となっています。

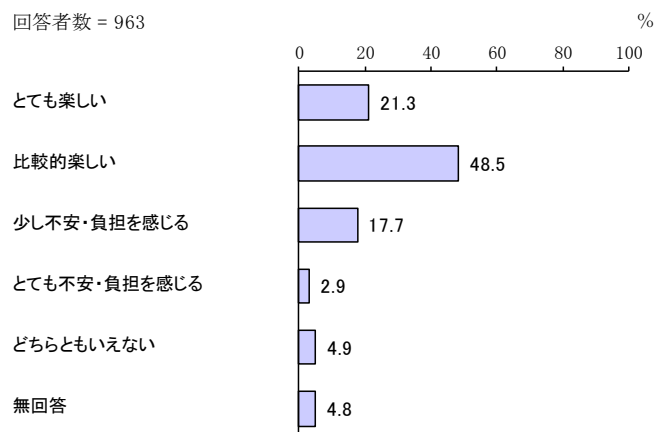
平成 25 年度調査と比較すると、「自分たち親の立場として、友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」の割合が増加しています。一方、「友人・知人が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が減少しています。



※平成 20 年度調査の「友人・知人に預かってもらうことについて特に問題は感じていない」を、平成 30 年度調査の「友人・知人が子育てに協力してくれ、安心である」と比較しています。「子どもの教育・発達にとって最も良い環境であるかどうか、少し不安がある」は平成 20 年度調査ではありませんでした。

問 18 子育てについて、今のお気持ちに一番近いものとして当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「比較的楽しい」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「とても楽しい」の割合が 21.3%、「少し不安・負担を感じる」の割合が 17.7%となっています。



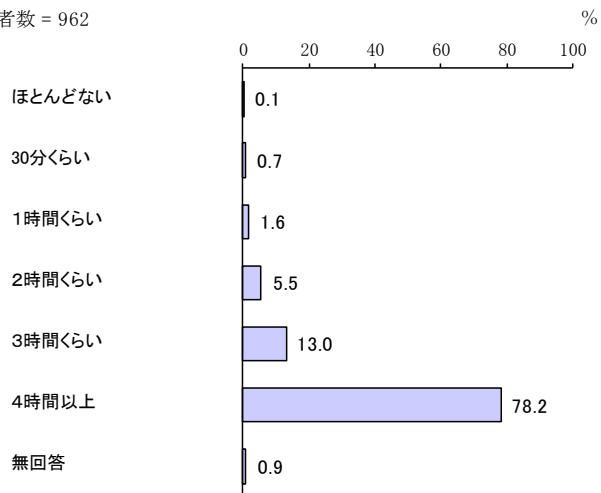
問 19 宛名のお子さんとかかわる時間（会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強をみるなど）はだいたいどのくらいありますか。母親、父親とも平日と休日に分けてそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

ア 平日 (1つに○)

「4時間以上」の割合が78.2%と最も高く、次いで「3時間くらい」の割合が13.0%となっています。

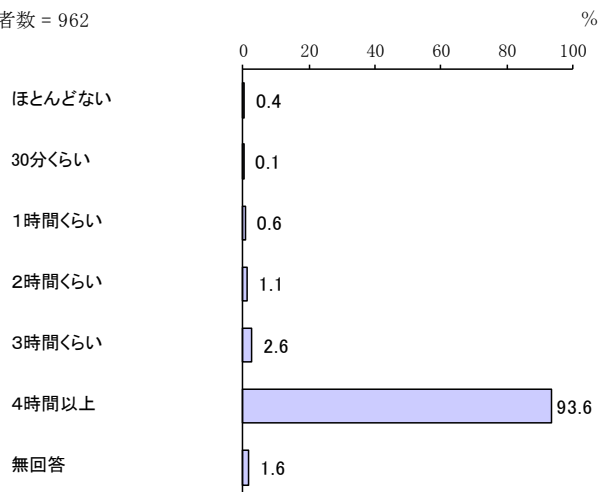
回答者数 = 962



イ 休日 (1つに○)

「4時間以上」の割合が93.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 962

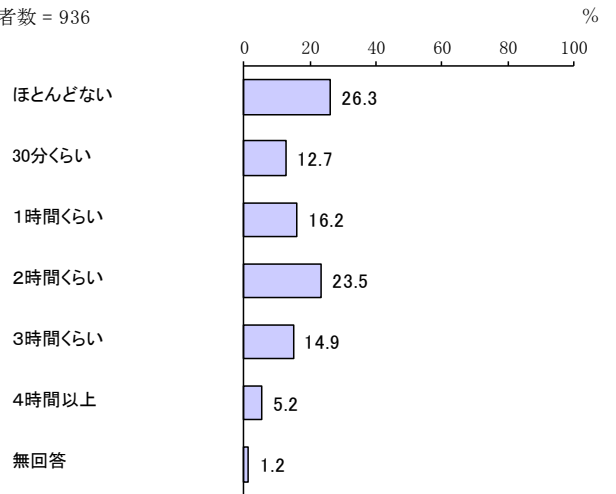


(2) 父親

ア 平日 (1つに○)

「ほとんどない」の割合が 26.3%と最も高く、次いで「2時間くらい」の割合が 23.5%、「1時間くらい」の割合が 16.2%となっています。

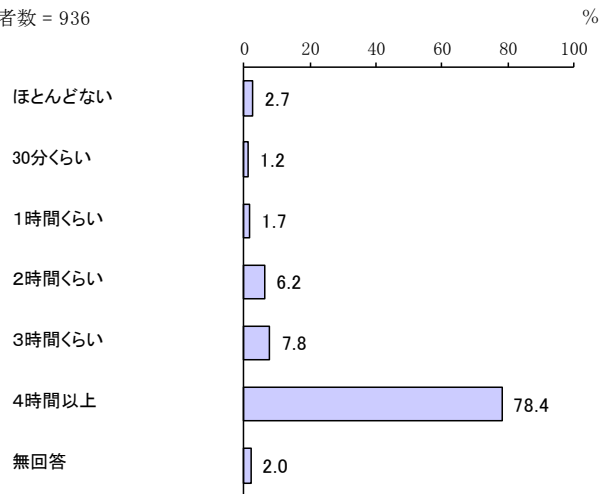
回答者数 = 936



イ 休日 (1つに○)

「4時間以上」の割合が 78.4%と最も高くなっています。

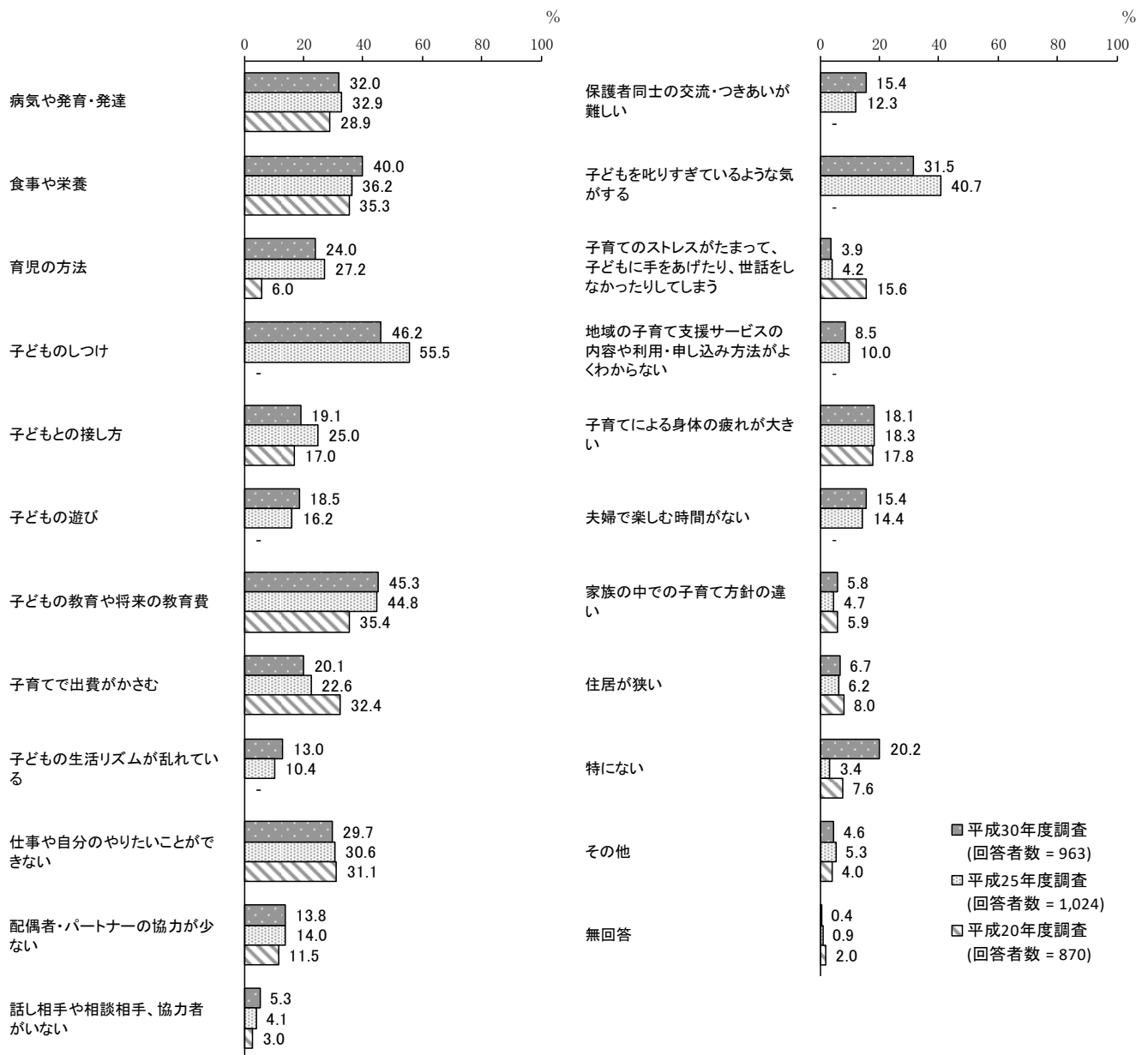
回答者数 = 936



問 20 お子さんを育てていて、あなたが日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。お子さんのこと、保護者のこと、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どものしつけ」の割合が46.2%と最も高く、次いで「子どもの教育や将来の教育費」の割合が45.3%、「食事や栄養」の割合が40.0%となっています。

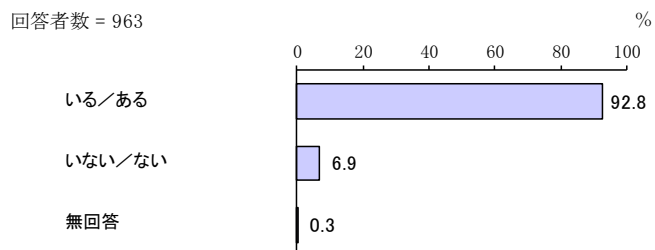
平成 25 年度調査と比較すると、「特にない」の割合が増加しています。一方、「子どものしつけ」「子どもとの接し方」「子どもを叱りすぎているような気がする」の割合が減少しています。



※ 「子どものしつけ」「子どもの遊び」「子どもの生活リズムが乱れている」「保護者同士の交流・つきあいが難しい」「子どもを叱りすぎているような気がする」「地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない」「夫婦で楽しむ時間がない」は平成 20 年度調査ではありませんでした。

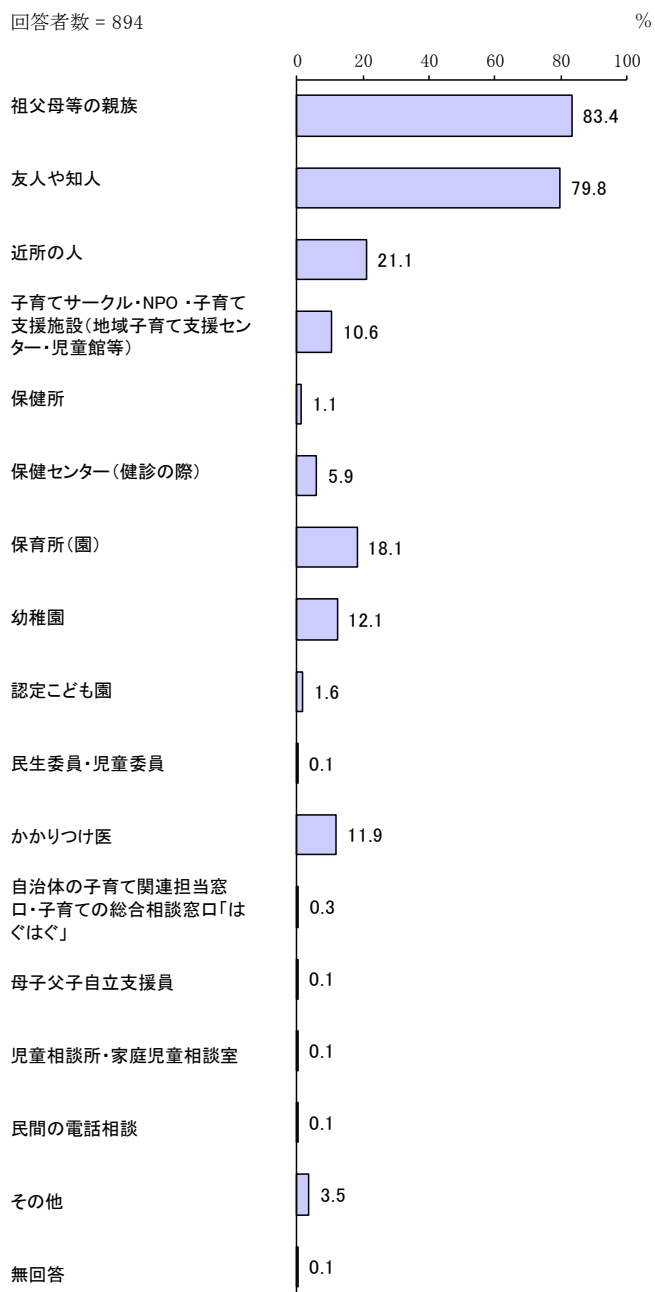
問 21 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が 92.8%、「いない／ない」の割合が 6.9%となっています。



問 21-1 問 21 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

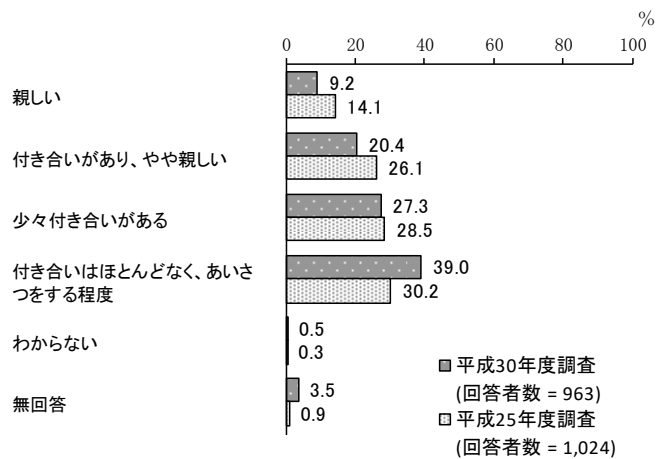
「祖父母等の親族」の割合が 83.4%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 79.8%、「近所の人」の割合が 21.1%となっています。



問 22 あなたのご家庭では、ご近所や地域の人々との付き合いはどうか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」の割合が39.0%と最も高く、次いで「少々付き合いがある」の割合が27.3%、「付き合いがあり、やや親しい」の割合が20.4%となっています。

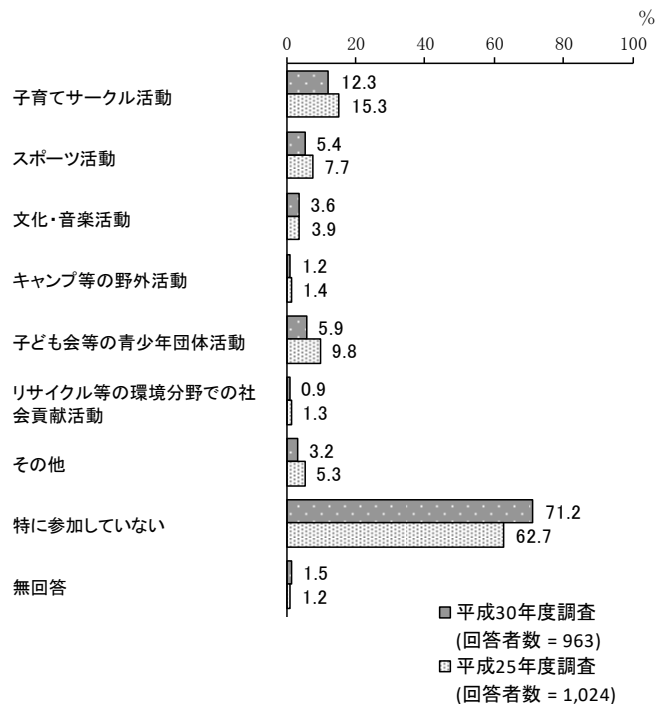
平成25年度調査と比較すると、「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」の割合が増加しています。一方、「付き合いがあり、やや親しい」の割合が減少しています。



問 23 お子さんは次の地域での催しへ参加していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

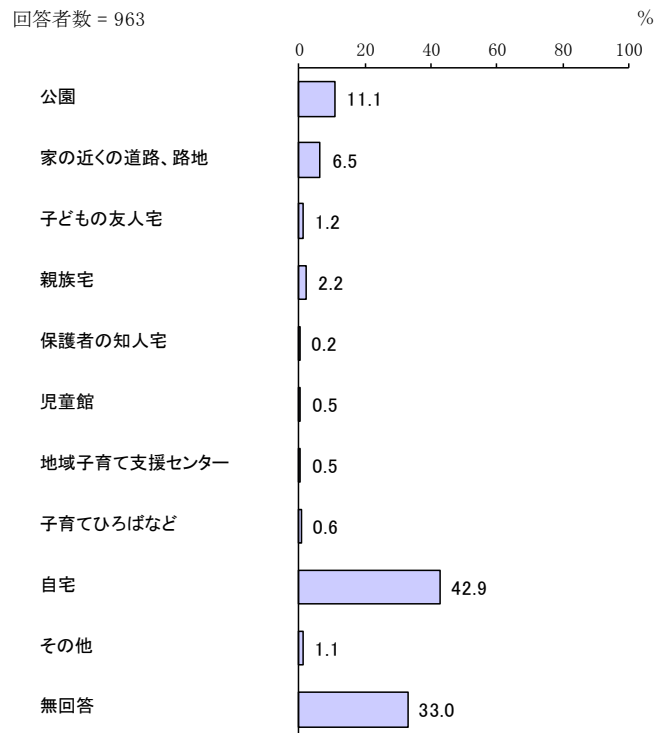
「特に参加していない」の割合が71.2%と最も高く、次いで「子育てサークル活動」の割合が12.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「特に参加していない」の割合が増加しています。



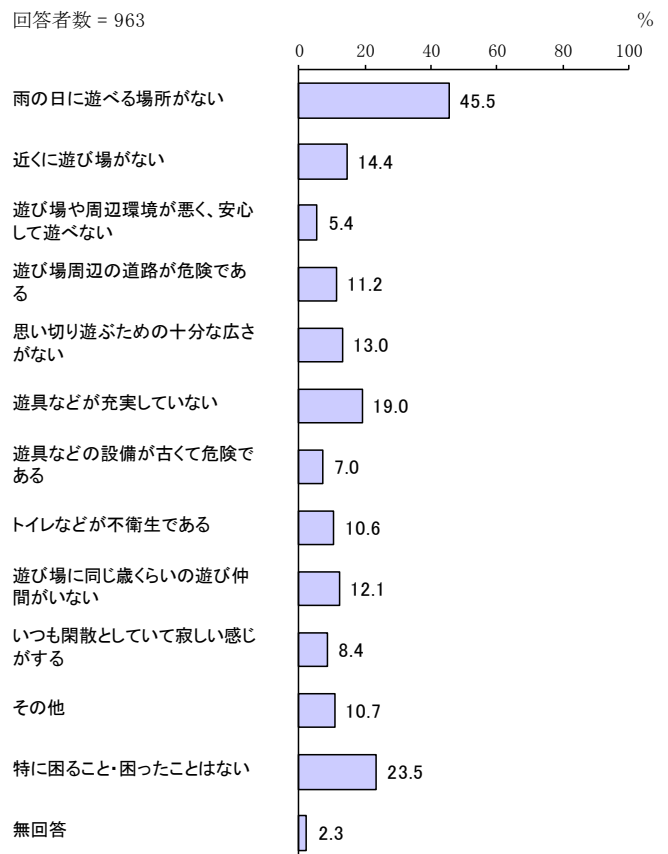
問 24 お子さんはどこで遊ぶことが多いですか。主な場所として当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

「自宅」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「公園」の割合が 11.1%となっています。



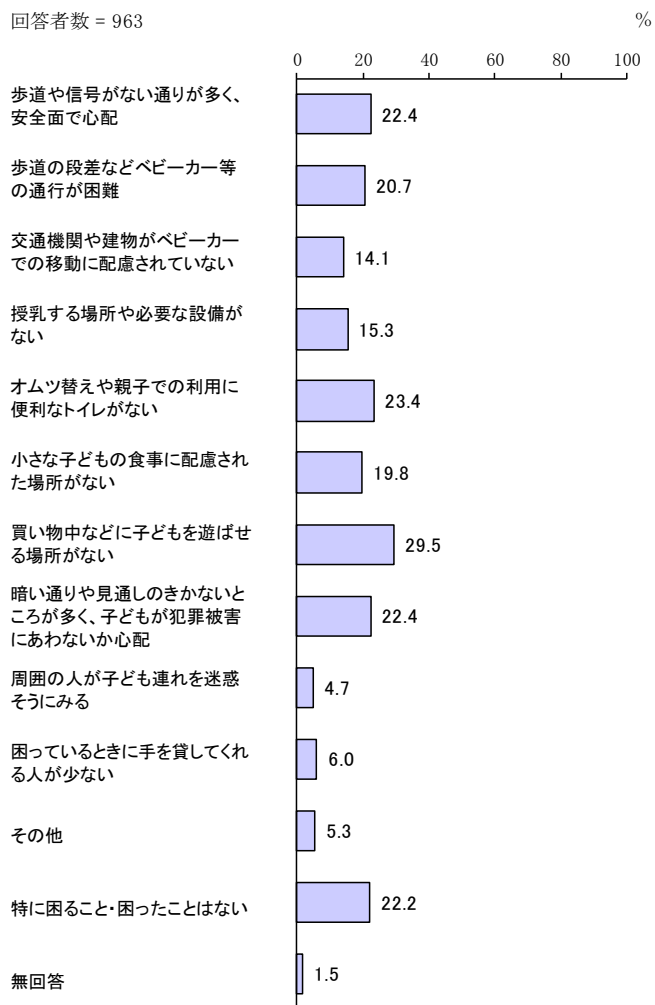
問 25 遊び場で困ること・困ったことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「雨の日に遊べる場所がない」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「特に困ること・困ったことはない」の割合が 23.5%、「遊具などが充実していない」の割合が 19.0%となっています。



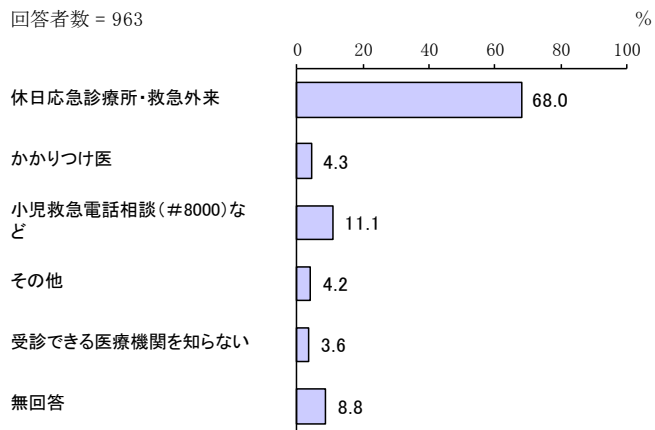
問 26 お子さんと外出する際に、困ること・困ったことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない」の割合が29.5%と最も高く、次いで「オムツ替えや親子での利用に便利なトイレがない」の割合が23.4%、「歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配」、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪被害にあわないか心配」の割合が22.4%となっています。



問 27 お子さんの休日や夜間の急な発病時には、どのように対応していますか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

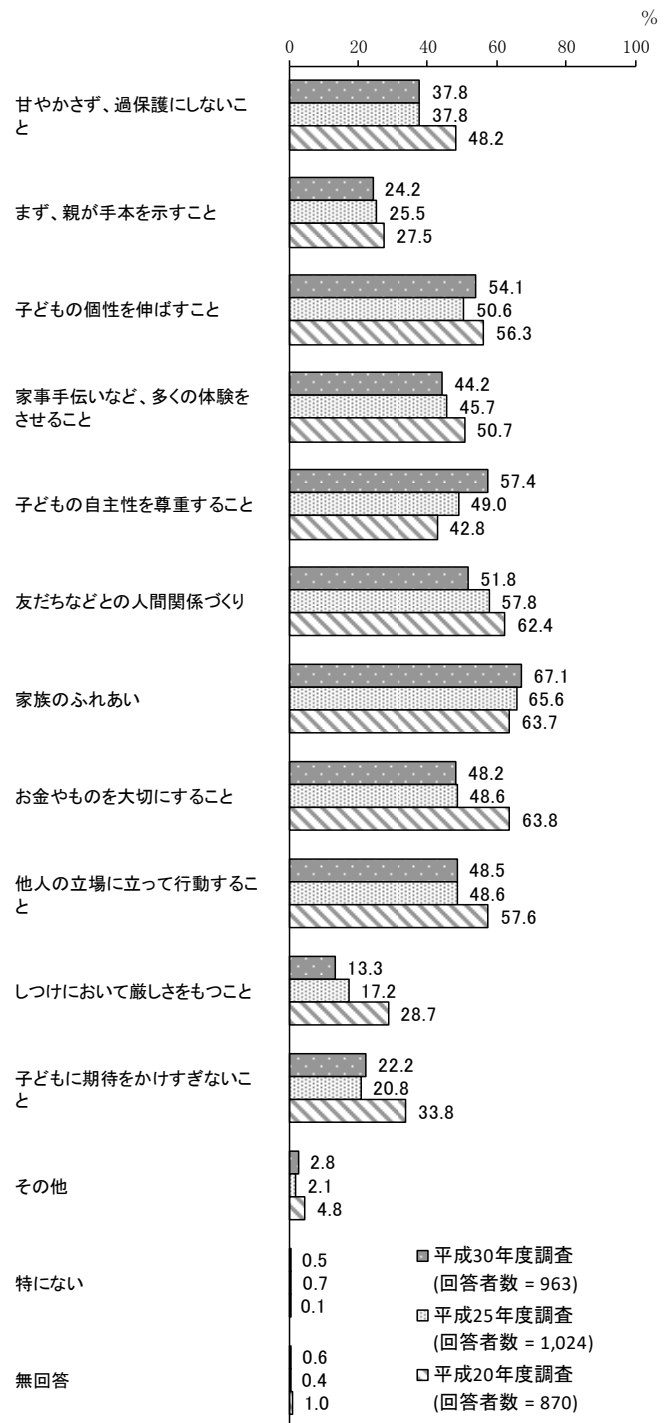
「休日応急診療所・救急外来」の割合が68.0%と最も高く、次いで「小児救急電話相談（#8000）など」の割合が11.1%となっています。



問 28 あなたの家庭では、どのような点を重視して育てていますか（育てようと考えていますか）。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「家族のふれあい」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「子どもの自主性を尊重すること」の割合が 57.4%、「子どもの個性を伸ばすこと」の割合が 54.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「子どもの自主性を尊重すること」の割合が増加しています。一方、「友だちなどとの人間関係づくり」の割合が減少しています。



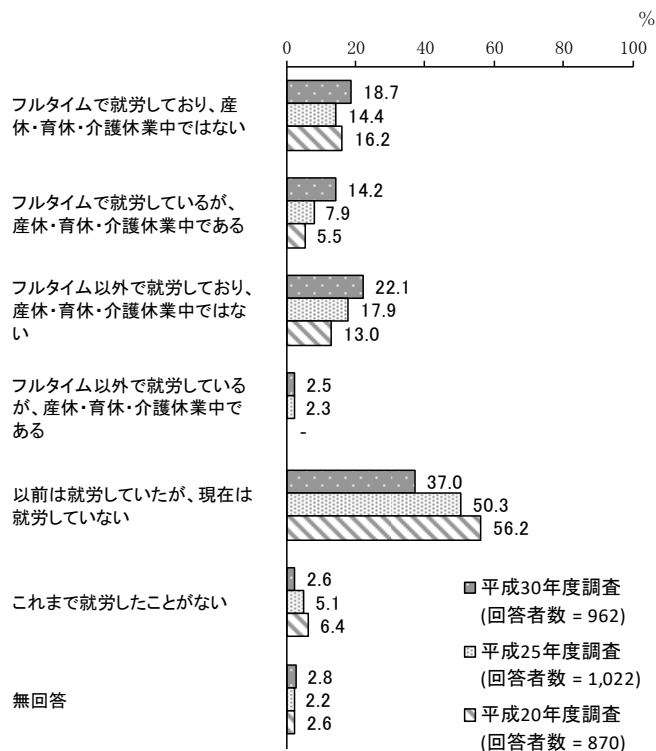
(4) 保護者の就労状況について

問 30 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ア 母親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が37.0%と最も高く、次いで「フルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が22.1%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が18.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

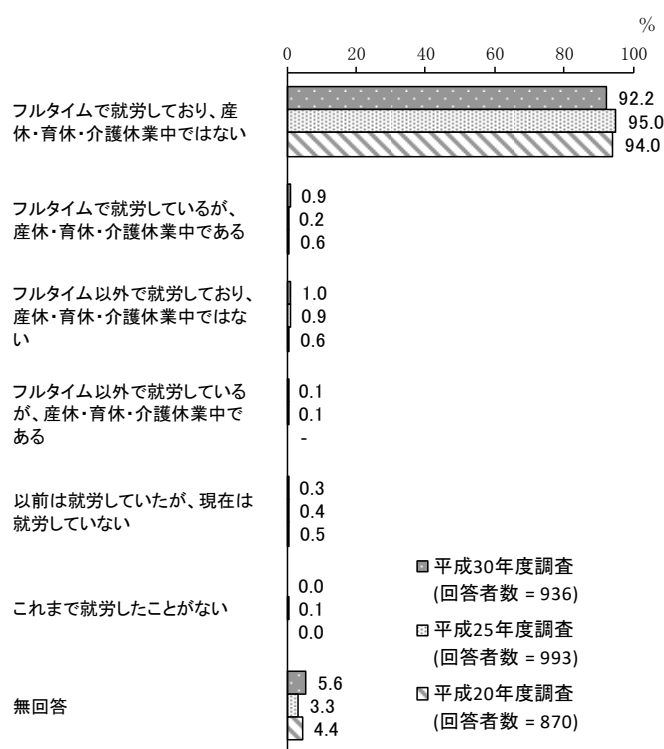


※「フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は平成20年度調査ではありませんでした。

イ 父親

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が92.2%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



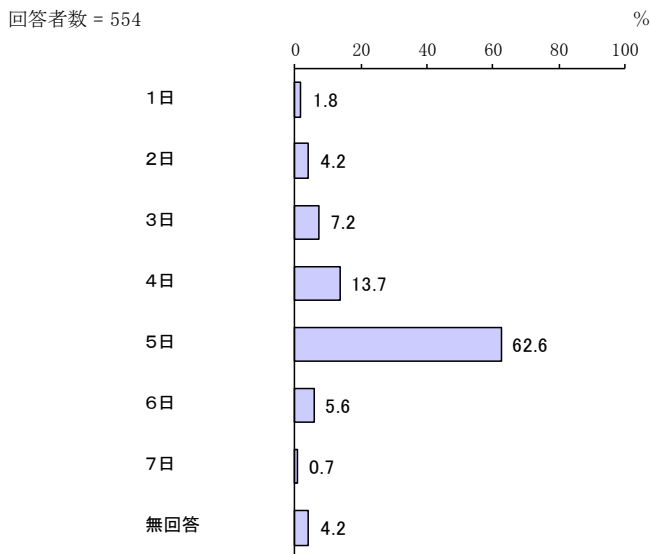
※「フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は平成20年度調査ではありませんでした。

問 30-1 就労している方（問 30 で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方）に
うかがいます。
1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を
（ ）内に数字でご記入ください。

ア 母親

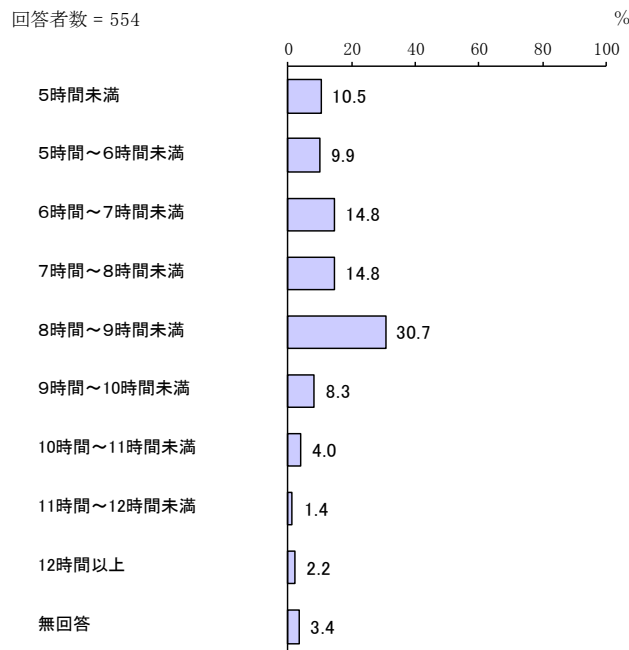
(ア) 1 週当たり就労日数

「5 日」の割合が 62.6%と最も高く、次いで
「4 日」の割合が 13.7%となっています。



(イ) 1 日当たり就労時間（残業時間を含む）

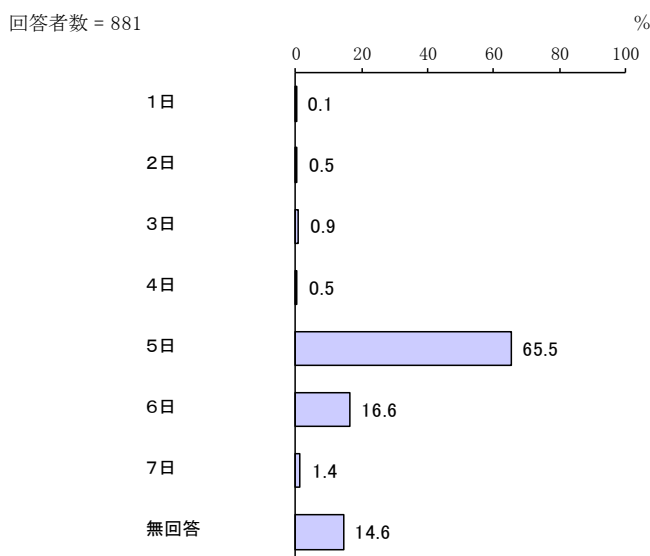
「8 時間～9 時間未満」の割合が 30.7%と最も高く、次いで「6 時間～7 時間未満」、
「7 時間～8 時間未満」の割合が 14.8%となっています。



イ 父親

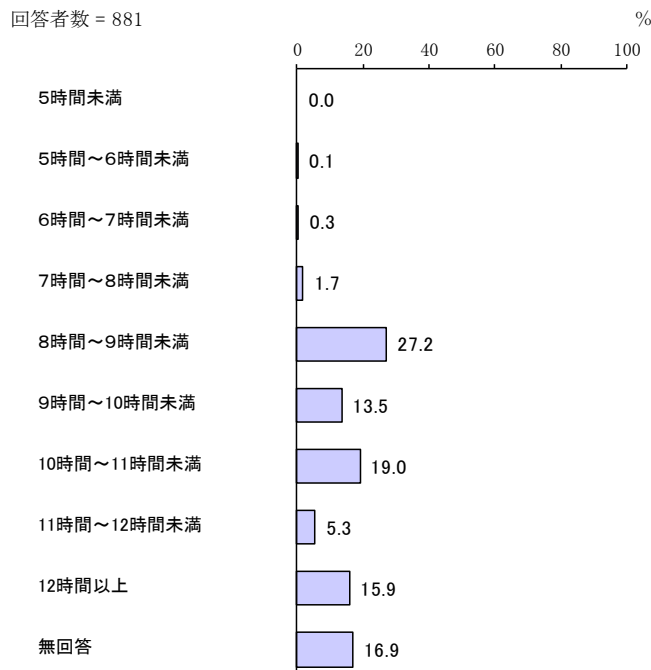
(ア) 1 週当たり就労日数

「5 日」の割合が 65.5%と最も高く、次いで
「6 日」の割合が 16.6%となっています。



(イ) 1 日当たり就労時間（残業時間を含む）

「8 時間～9 時間未満」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「10 時間～11 時間未満」の割合が 19.0%、
「12 時間以上」の割合が 15.9%となっています。

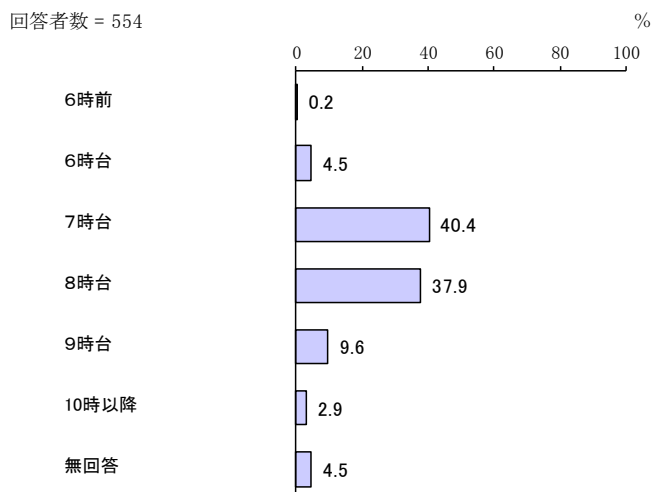


問 30-2 就労している方（問 30 で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方）に
うかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻は、必ず（例）8時～17時
のように、24時間制（30分単位）で（ ）内に数字でご記入ください。

ア 母親

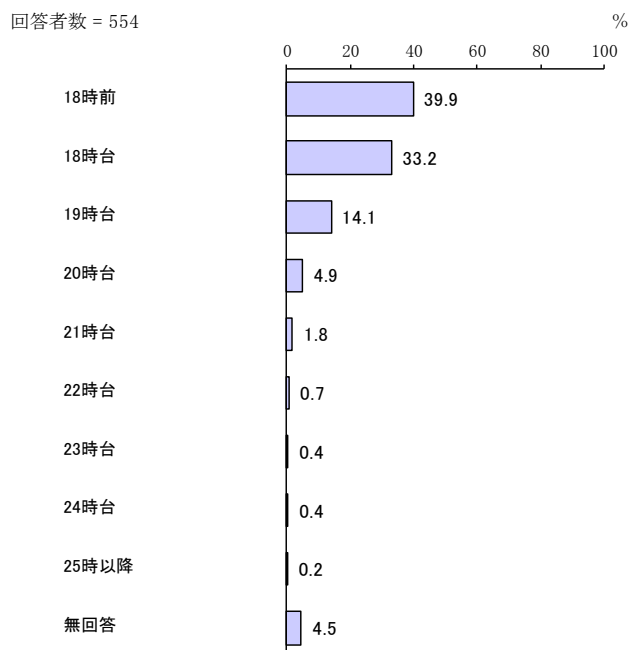
（ア）家を出る時刻

「7時台」の割合が40.4%と最も高く、次いで
「8時台」の割合が37.9%となっています。



（イ）帰宅時刻

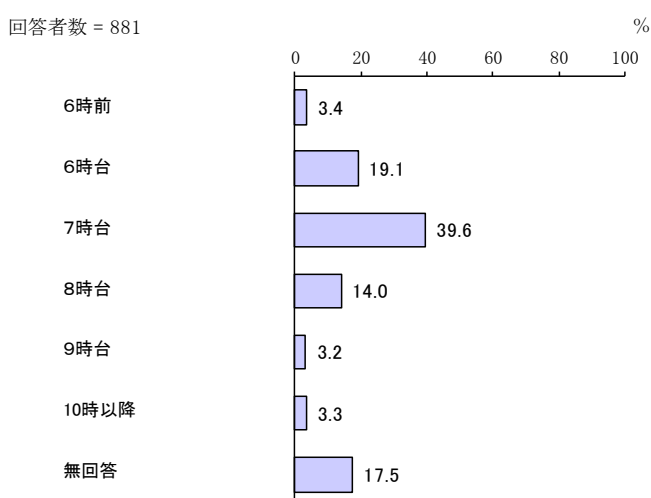
「18時前」の割合が39.9%と最も高く、次いで「18時台」の割合が33.2%、「19時台」の割合が14.1%となっています。



イ 父親

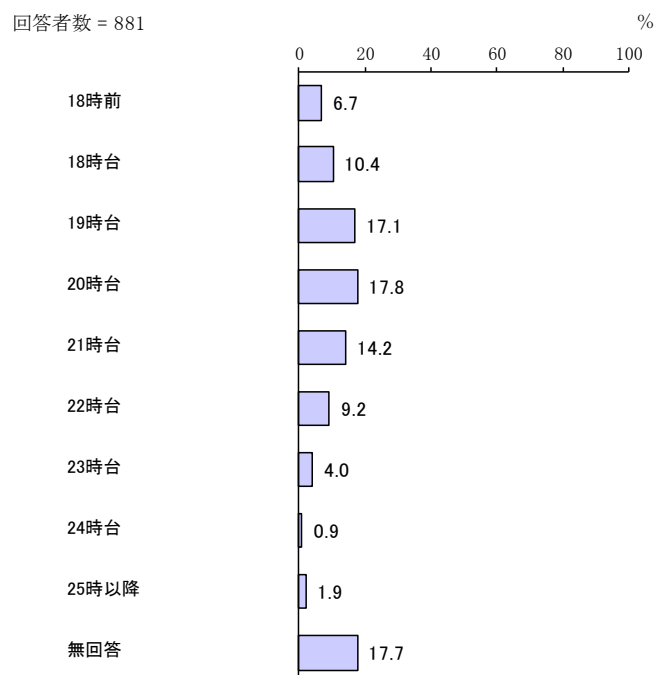
（ア）家を出る時刻

「7時台」の割合が39.6%と最も高く、次いで
「6時台」の割合が19.1%、「8時台」の割合が
14.0%となっています。



（イ）帰宅時刻

「20時台」の割合が17.8%と最も高く、次いで「19時台」の割合が17.1%、「21時台」の割合が14.2%となっています。

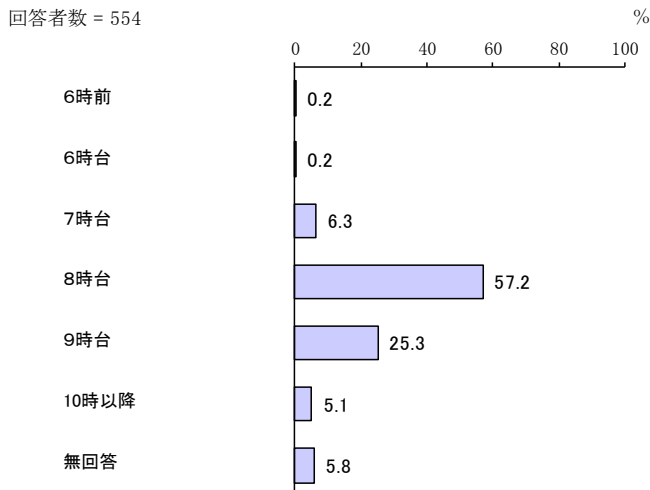


問 30-3 就労している方（問 30 で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方）に
うかがいます。育児と仕事を両立するうえで望ましいと考える家を出る時刻
と帰宅時刻をお答えください。時間は、必ず（例）8時～17時のように、24
時間制（30分単位）で（ ）内に数字でご記入ください。

ア 母親

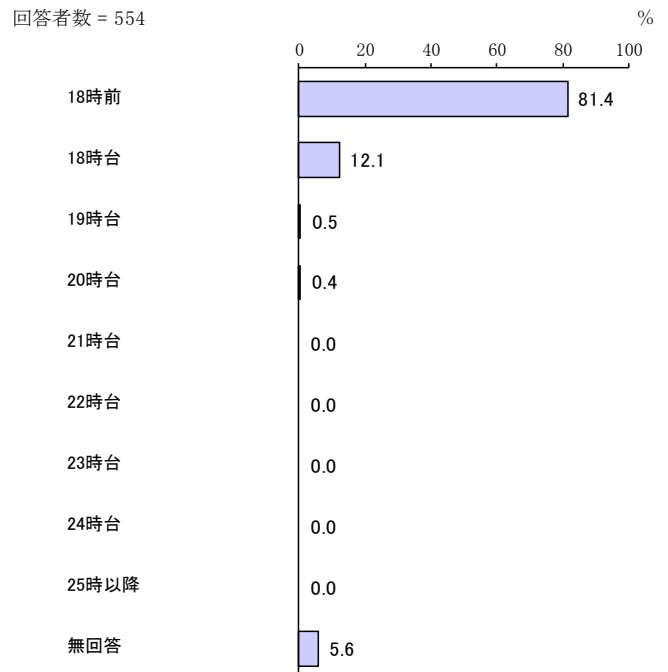
（ア）理想の家を出る時刻

「8時台」の割合が57.2%と最も高く、次いで
「9時台」の割合が25.3%となっています。



（イ）理想の帰宅時刻

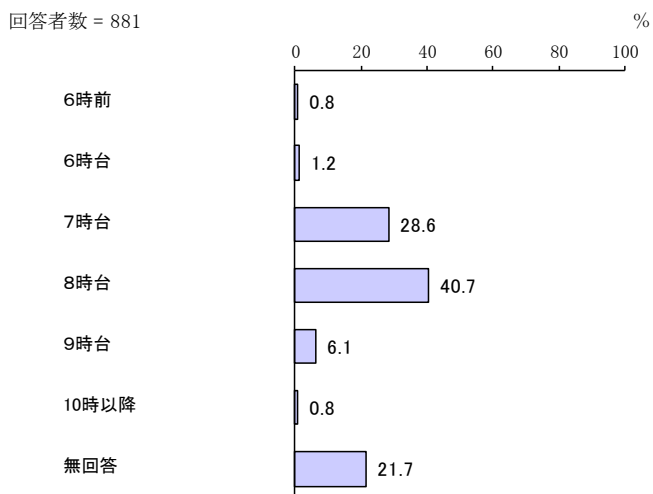
「18時前」の割合が81.4%と最も高く、次いで「18
時台」の割合が12.1%となっています。



イ 父親

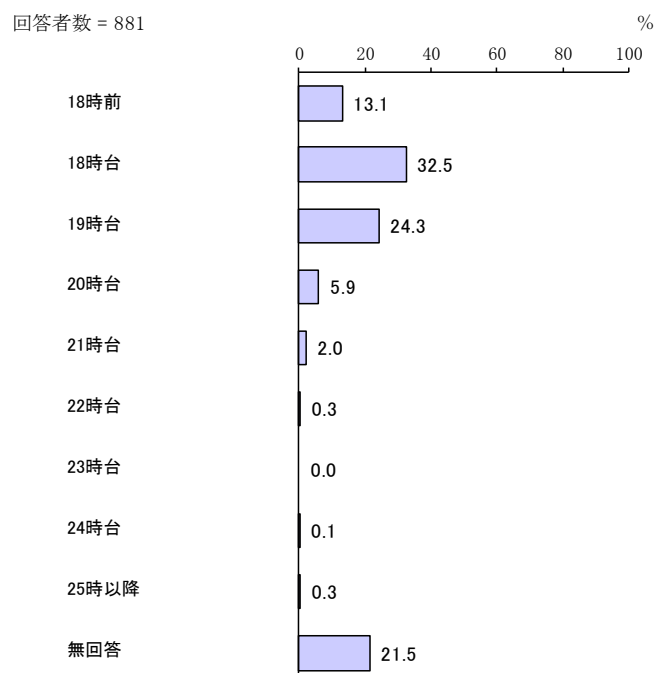
（ア）理想の家を出る時刻

「8時台」の割合が40.7%と最も高く、次いで
「7時台」の割合が28.6%となっています。



（イ）理想の帰宅時刻

「18時台」の割合が32.5%と最も高く、次いで「19
時台」の割合が24.3%、「18時前」の割合が13.1%と
なっています。



問 30-4 フルタイム以外で就労している方（問 30 で「3」または「4」のいずれかに○をつけた方）にうかがいます。フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ア 母親

「フルタイム以外の就労を続けることを希望」の割合が47.7%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が25.7%となっています。

回答者数 = 237

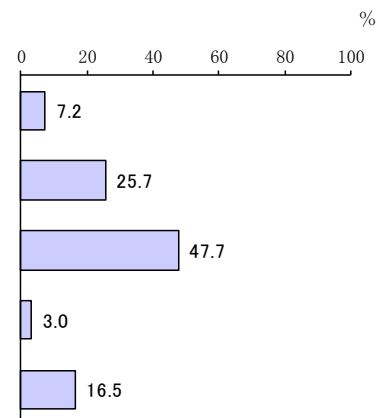
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない

フルタイム以外の就労を続けることを希望

フルタイム以外の就労をやめて子育てや家事に専念したい

無回答



イ 父親

「フルタイム以外の就労を続けることを希望」の割合が40.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 10

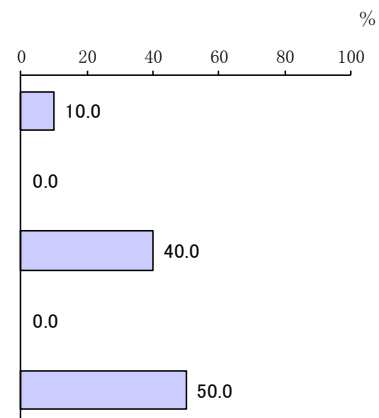
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない

フルタイム以外の就労を続けることを希望

フルタイム以外の就労をやめて子育てや家事に専念したい

無回答

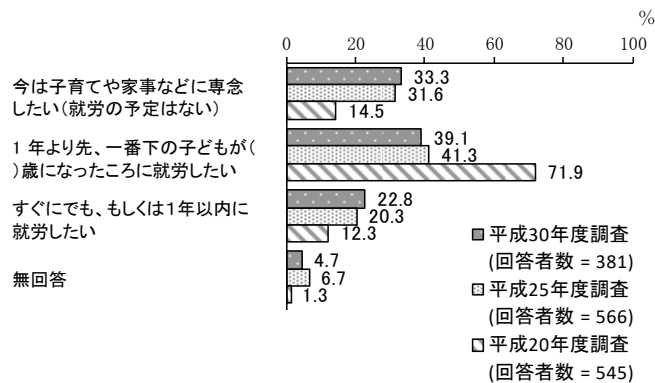


問 30-5 問 30 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 母親

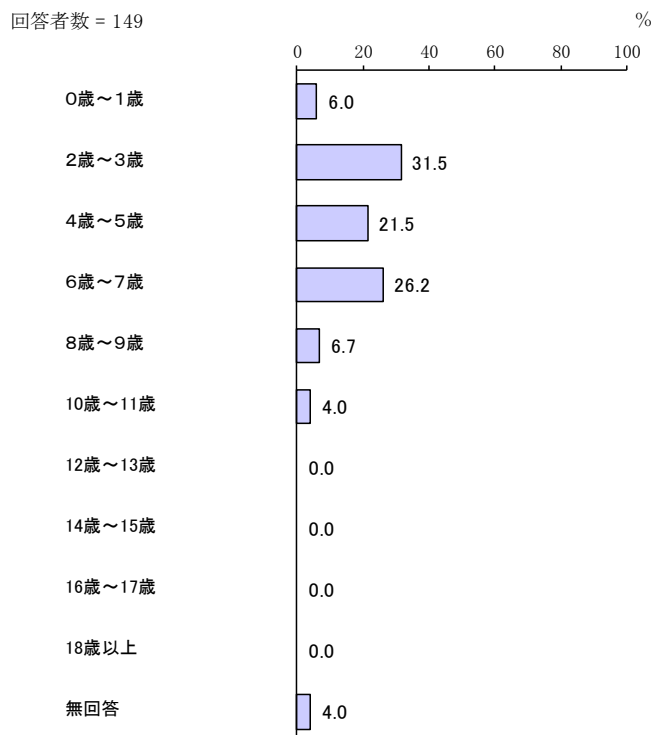
「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」の割合が39.1%と最も高く、次いで「今は子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が33.3%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が22.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」子どもの年齢

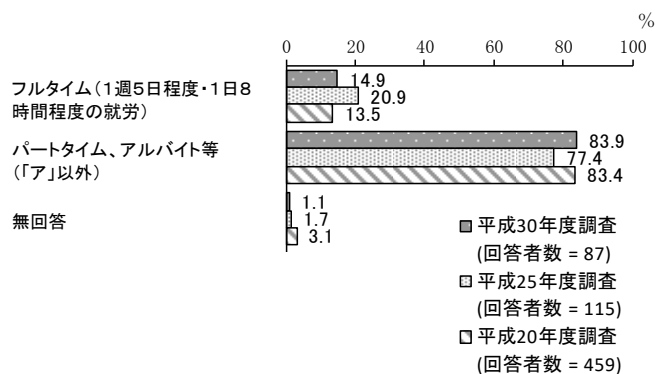
「2歳～3歳」の割合が31.5%と最も高く、次いで「6歳～7歳」の割合が26.2%、「4歳～5歳」の割合が21.5%となっています。



ア 希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が14.9%、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が83.9%となっています。

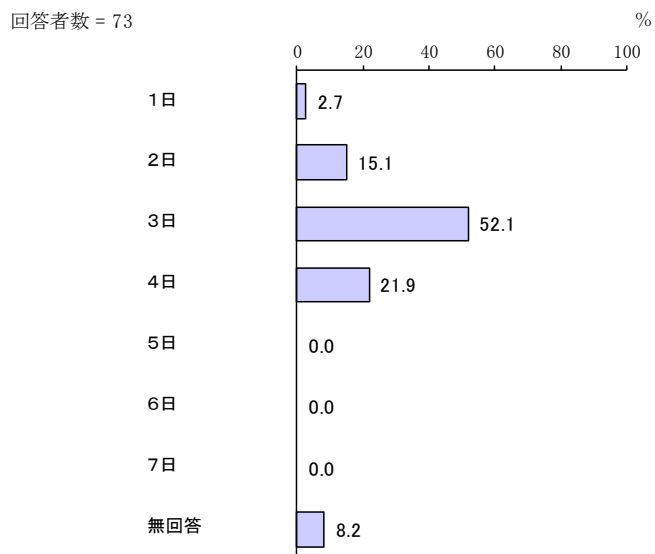
平成25年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が増加しています。一方、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が減少しています。



イ パートタイム、アルバイト等

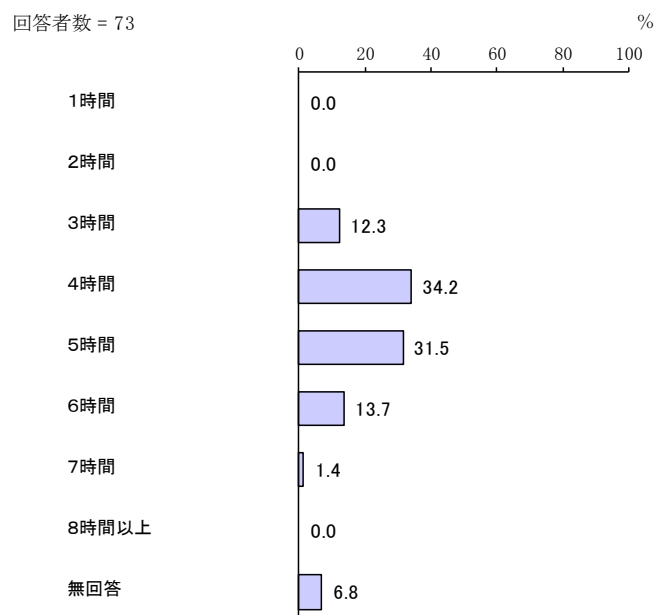
(ア) 1週当たり希望就労日数

「3日」の割合が52.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が21.9%、「2日」の割合が15.1%となっています。



(イ) 1日当たり希望就労時間

「4時間」の割合が34.2%と最も高く、次いで「5時間」の割合が31.5%、「6時間」の割合が13.7%となっています。



(2) 父親

「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1件となっています。

「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」子どもの年齢
有効回答がありませんでした。

ア 希望する就労形態

有効回答がありませんでした。

イ パートタイム、アルバイト等

(ア) 1週当たり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

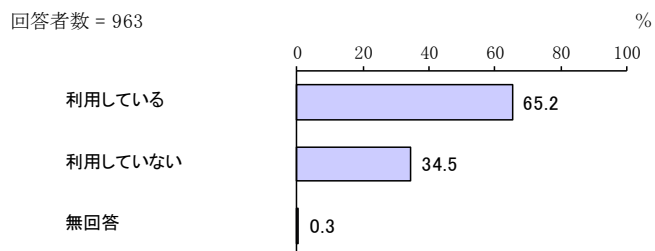
(イ) 1日当たり希望就労時間

有効回答がありませんでした。

(5) 平日の定期的な教育・保育の利用状況について

問 31 お子さんは現在、「定期的な教育・保育」を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

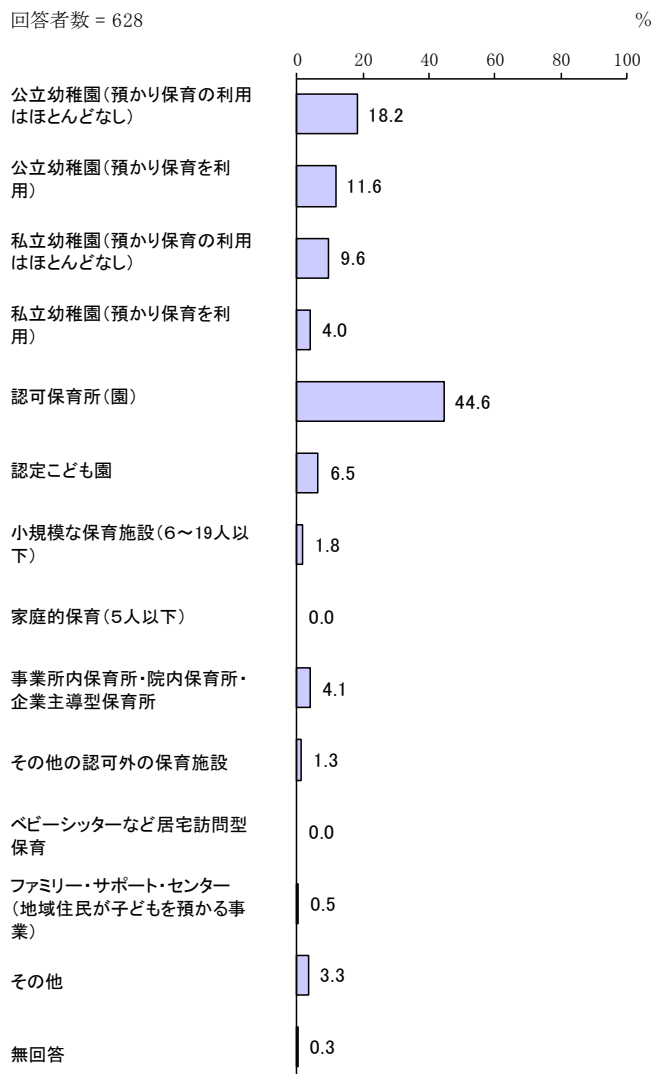
「利用している」の割合が 65.2%、「利用していない」の割合が 34.5%となっています。



問 31-1 ~ 問 31-5 は、問 31 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 31-1 お子さんは、平日どのような教育・保育を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、利用している教育・保育の開始年齢をご記入ください。

「認可保育所(園)」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「公立幼稚園(預かり保育の利用はほとんどなし)」の割合が 18.2%、「公立幼稚園(預かり保育を利用)」の割合が 11.6%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、1歳で「認可保育所（園）」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「公立幼稚園（預かり保育を利用）」「私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」の割合が、年齢が低くなるにつれて「事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数（件）	公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	公立幼稚園（預かり保育を利用）	私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	私立幼稚園（預かり保育を利用）	認可保育所（園）	認定こども園	小規模な保育施設（6～19人以下）	家庭的保育（5人以下）	事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所	その他の認可外の保育施設	ベビーシッターなど居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
0歳	32	3.1	3.1	—	—	68.8	—	6.3	—	15.6	—	—	6.3	9.4	—
1歳	76	—	—	1.3	—	76.3	1.3	—	—	10.5	2.6	—	—	10.5	—
2歳	82	—	2.4	6.1	2.4	65.9	4.9	4.9	—	8.5	1.2	—	1.2	7.3	—
3歳	142	35.2	9.9	7.0	4.2	36.6	6.3	0.7	—	2.1	2.1	—	—	0.7	0.7
4歳	156	21.8	15.4	14.7	5.8	31.4	12.2	0.6	—	0.6	0.6	—	—	1.9	0.6
5歳	127	21.3	22.8	15.0	5.5	32.3	5.5	1.6	—	1.6	0.8	—	—	—	—
全体	628	18.2	11.6	9.6	4.0	44.6	6.5	1.8	—	4.1	1.3	—	0.5	3.3	0.3

【保育事業の実施場所別】

保育事業の実施場所別で見ると、他に比べ、京田辺市内で「公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」「公立幼稚園（預かり保育を利用）」「認可保育所（園）」の割合が、他の市町村で「私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」「私立幼稚園（預かり保育を利用）」「認定こども園」「事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所」の割合が高くなっています。

単位：％

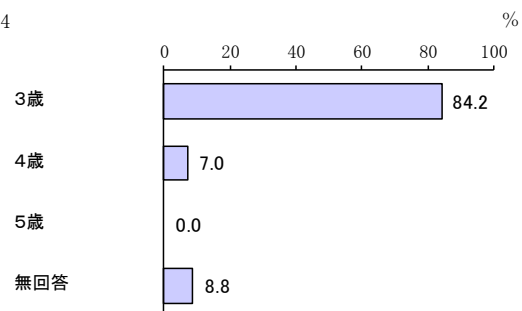
区分	回答者数（件）	公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	公立幼稚園（預かり保育を利用）	私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	私立幼稚園（預かり保育を利用）	認可保育所（園）	認定こども園	小規模な保育施設（6～19人以下）	家庭的保育（5人以下）	事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所	その他の認可外の保育施設	ベビーシッターなど居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
京田辺市内	547	20.5	13.3	7.1	3.1	50.3	1.3	1.3	—	3.5	1.1	—	0.5	3.3	0.4
他の市町村	78	—	—	26.9	10.3	5.1	43.6	5.1	—	9.0	2.6	—	—	3.8	—

開始年齢

1. 公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）

「3歳」の割合が84.2%と最も高くなっています。

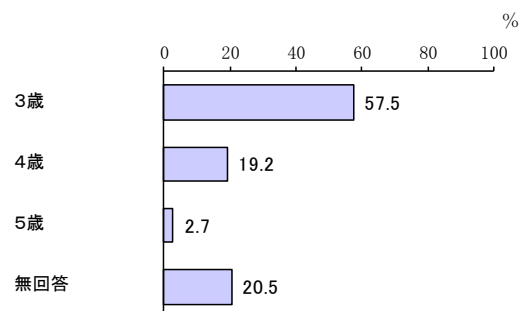
回答者数 = 114



2. 公立幼稚園（預かり保育を利用）

「3歳」の割合が57.5%と最も高く、次いで「4歳」の割合が19.2%となっています。

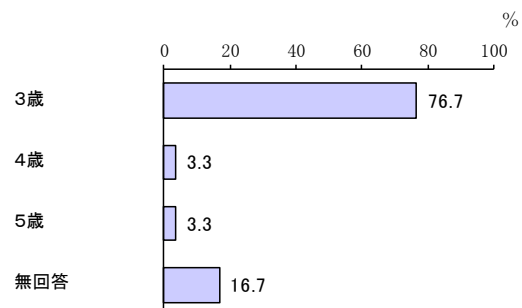
回答者数 = 73



3. 私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）

「3歳」の割合が76.7%と最も高くなっています。

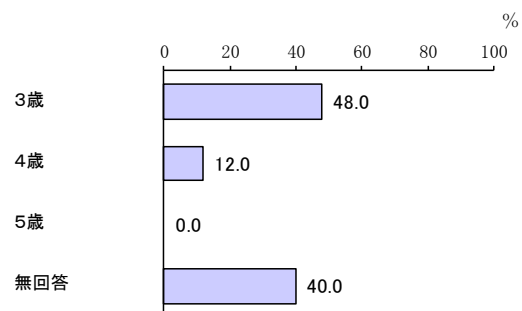
回答者数 = 60



4. 私立幼稚園（預かり保育を利用）

「3歳」の割合が48.0%と最も高く、次いで「4歳」の割合が12.0%となっています。

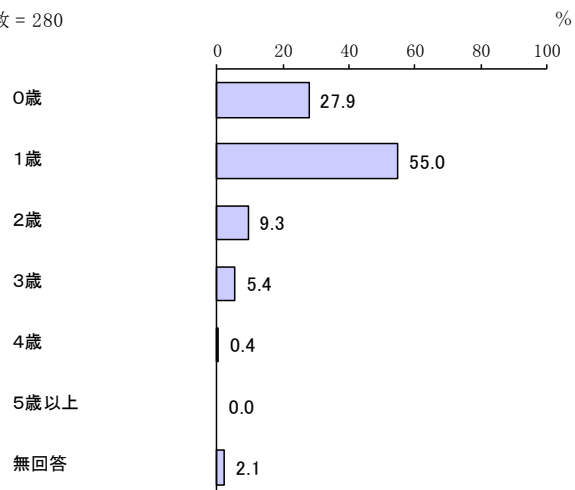
回答者数 = 25



5. 認可保育所（園）

「1歳」の割合が55.0%と最も高く、次いで「0歳」の割合が27.9%となっています。

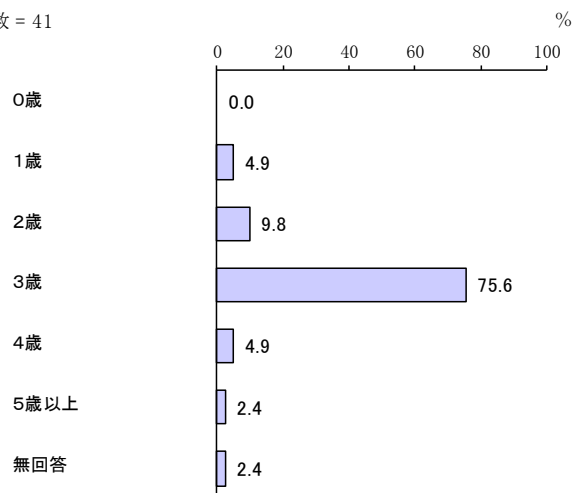
回答者数 = 280



6. 認定こども園

「3歳」の割合が75.6%と最も高くなっています。

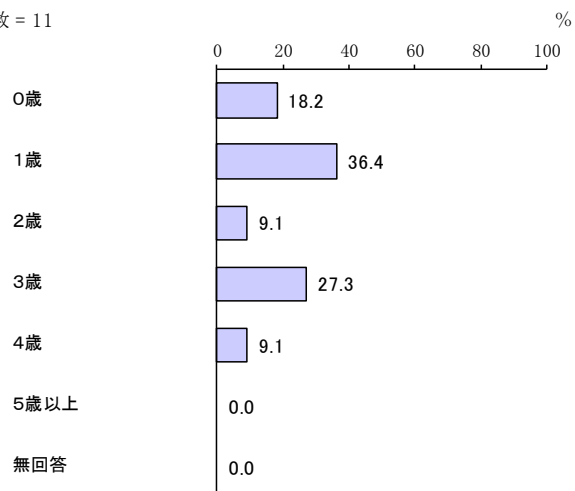
回答者数 = 41



7. 小規模な保育施設（6～19人以下）

「1歳」の割合が36.4%と最も高く、次いで「3歳」の割合が27.3%、「0歳」の割合が18.2%となっています。

回答者数 = 11

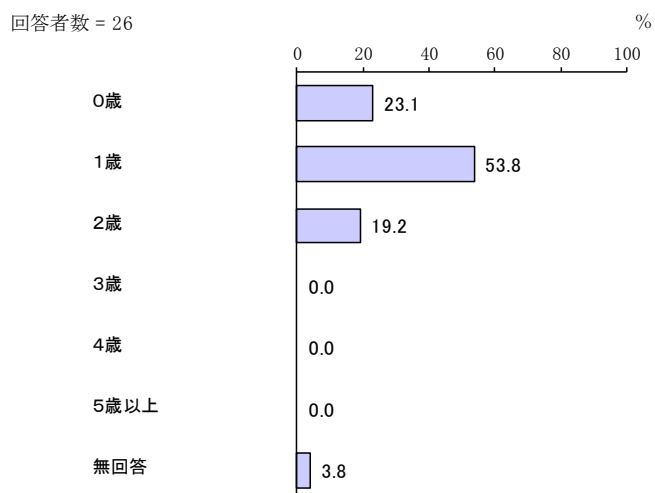


8. 家庭的保育（5人以下）

有効回答がありませんでした。

9. 事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所

「1歳」の割合が53.8%と最も高く、次いで「0歳」の割合が23.1%、「2歳」の割合が19.2%となっています。



10. その他の認可外の保育施設

「1歳」が4件となっています。「2歳」が3件、「3歳」が1件となっています。

11. ベビーシッターなど居宅訪問型保育

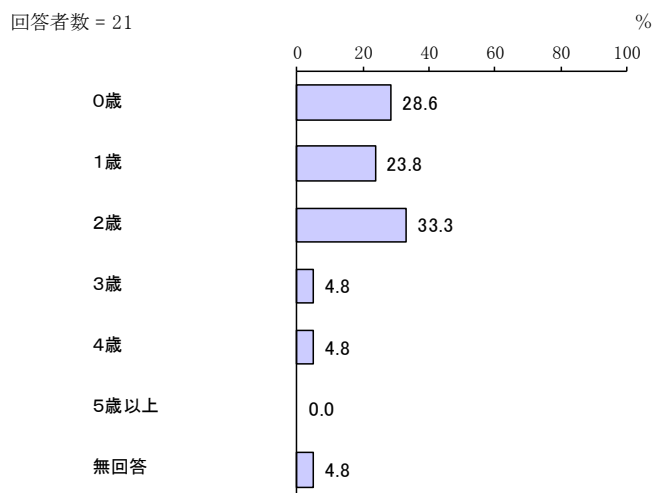
有効回答がありませんでした。

12. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）

「0歳」が3件となっています。

13. その他

「2歳」の割合が33.3%と最も高く、次いで「0歳」の割合が28.6%、「1歳」の割合が23.8%となっています。



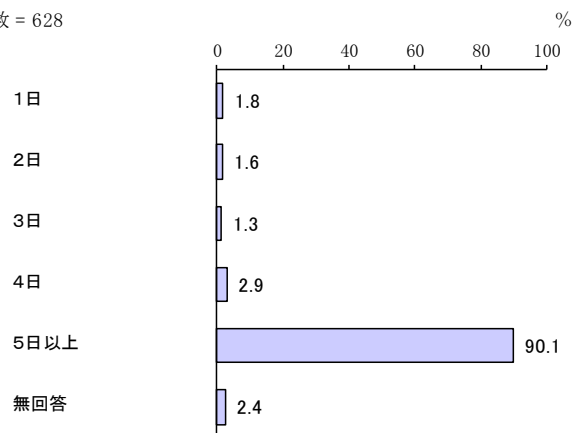
問 31-2 平日に定期的に利用している教育・保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）9時～17時のように24時間制でご記入ください。なお、利用時間に応じた負担が発生するものとします。

（1）現在

ア 1週当たり利用日数

「5日以上」の割合が90.1%と最も高くなっています。

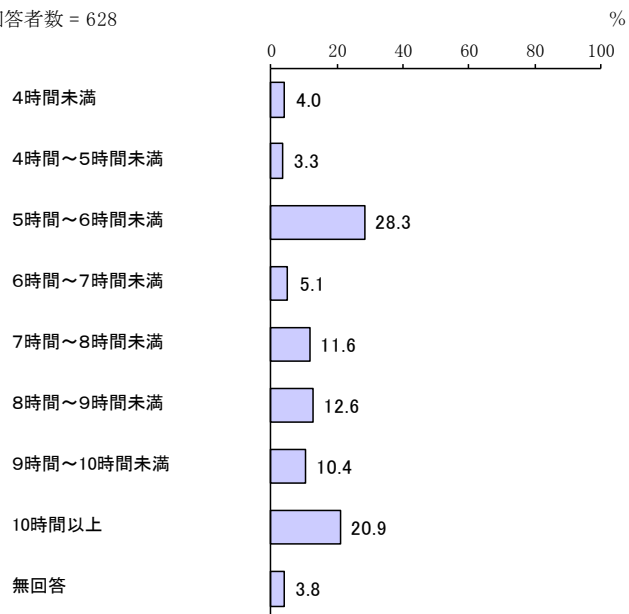
回答者数 = 628



イ 1日当たり利用時間

「5時間～6時間未満」の割合が28.3%と最も高く、次いで「10時間以上」の割合が20.9%、「8時間～9時間未満」の割合が12.6%となっています。

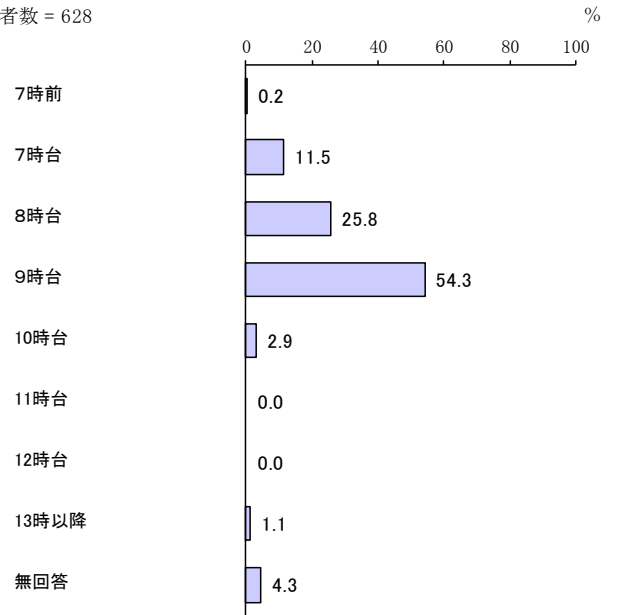
回答者数 = 628



ウ 利用開始時刻

「9時台」の割合が54.3%と最も高く、次いで「8時台」の割合が25.8%、「7時台」の割合が11.5%となっています。

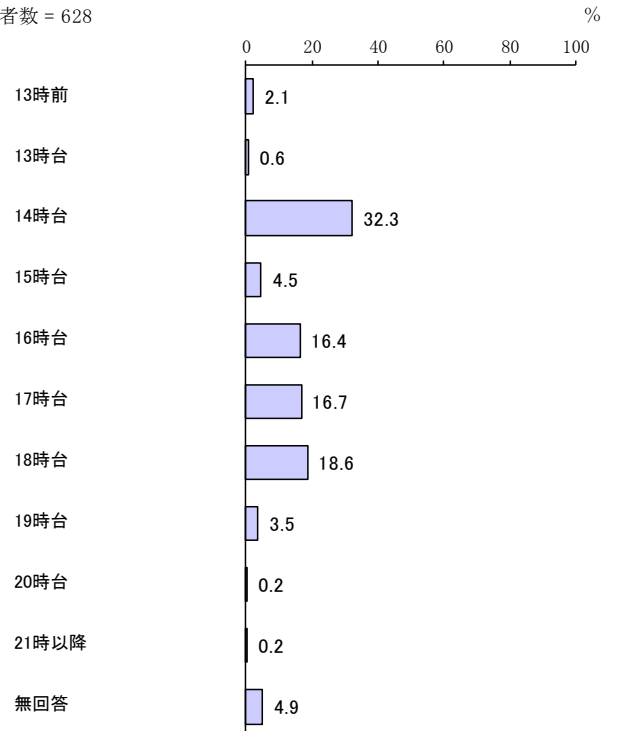
回答者数 = 628



エ 利用終了時刻

「14時台」の割合が32.3%と最も高く、次いで「18時台」の割合が18.6%、「17時台」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 628

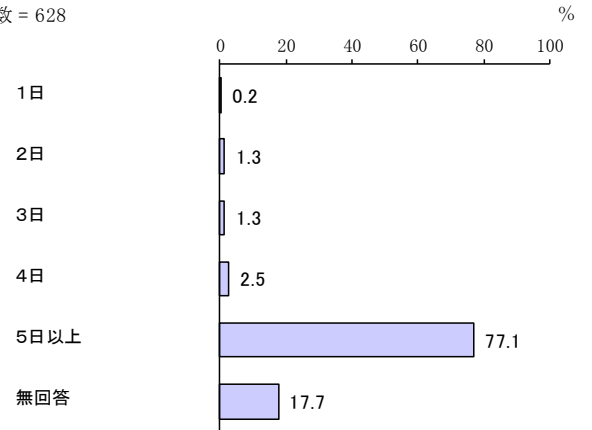


(2) 希望

ア 1週当たり利用日数

「5日以上」の割合が77.1%と最も高くなっています。

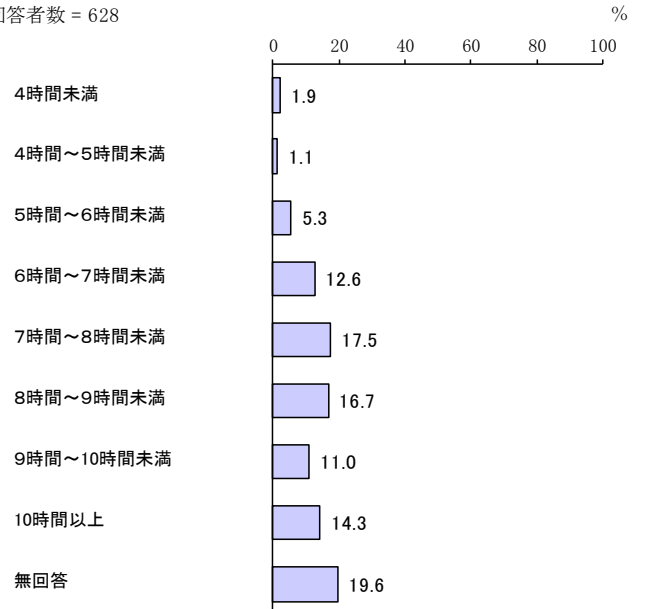
回答者数 = 628



イ 1日当たり利用時間

「7時間～8時間未満」の割合が17.5%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が16.7%、「10時間以上」の割合が14.3%となっています。

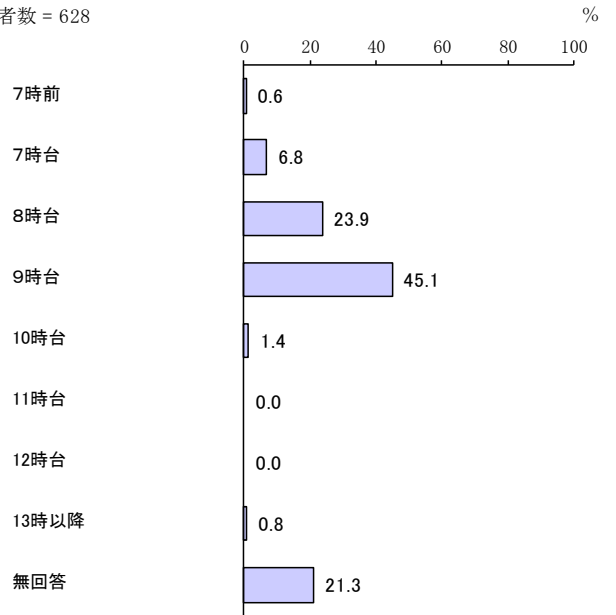
回答者数 = 628



ウ 利用開始時刻

「9時台」の割合が45.1%と最も高く、次いで「8時台」の割合が23.9%となっています。

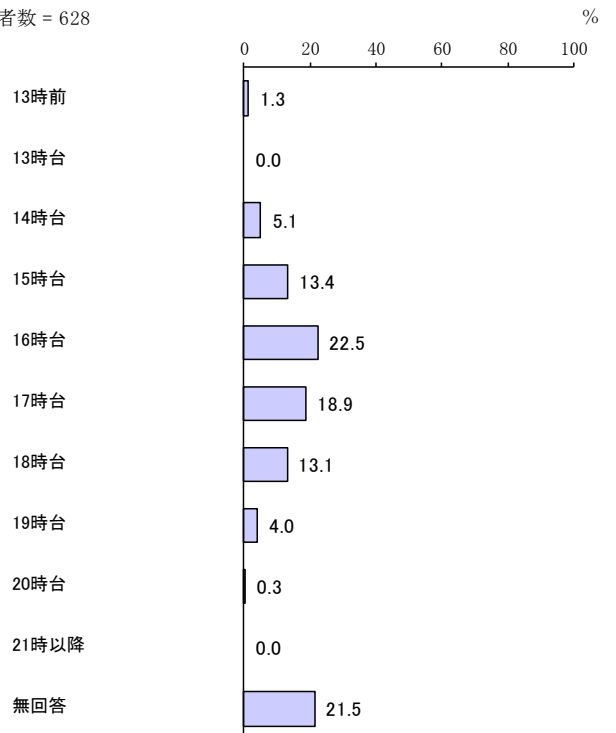
回答者数 = 628



エ 利用終了時刻

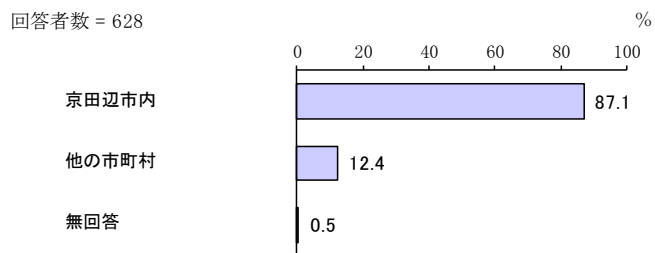
「16時台」の割合が22.5%と最も高く、次いで「17時台」の割合が18.9%、「15時台」の割合が13.4%となっています。

回答者数 = 628



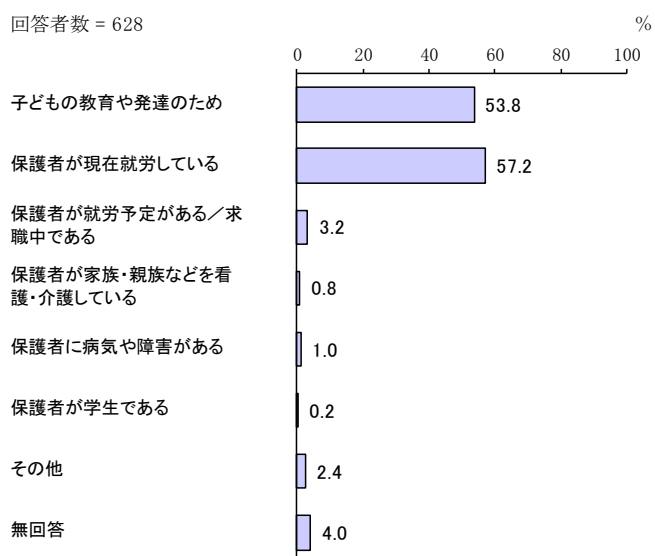
問 31－3 現在、利用している教育・保育の場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「京田辺市内」の割合が 87.1%、「他の市町村」の割合が 12.4%となっています。



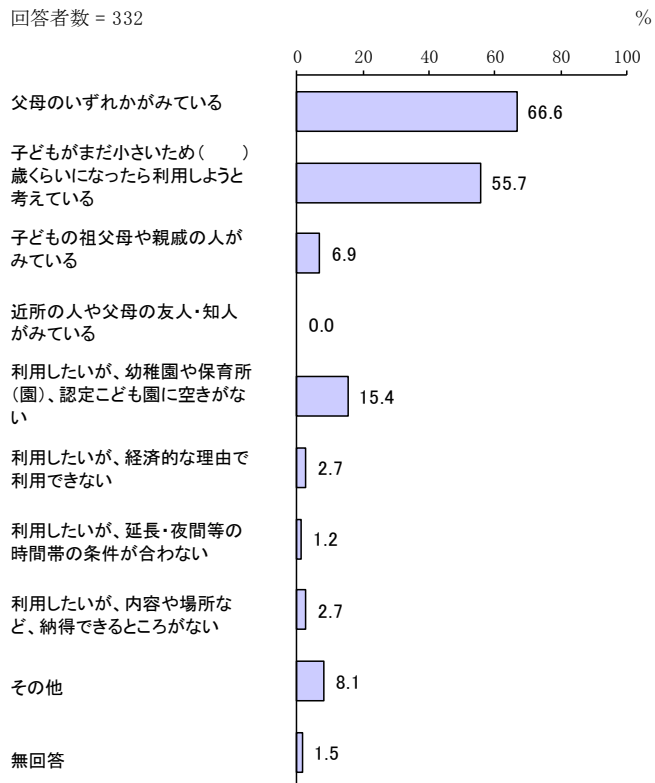
問 31－4 平日に定期的に教育・保育を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保護者が現在就労している」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 53.8%となっています。



問 31-6 問 31 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつ
 け、該当する（ ）内には数字をご記入ください。

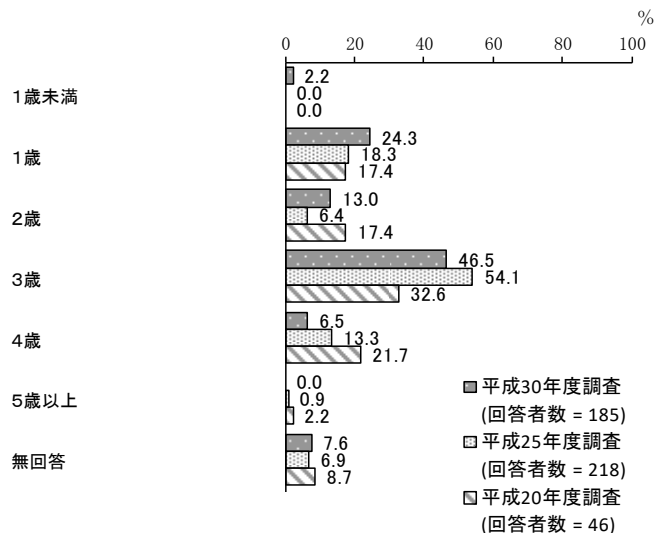
「父母のいずれかがみている」の割合が 66.6%
 と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため
 () 歳くらいになったら利用しようと考えて
 いる」の割合が 55.7%、「利用したいが、幼稚
 園や保育所(園)、認定こども園に空きがない」の
 割合が 15.4%となっています。



「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」子どもの年齢

「3歳」の割合が 46.5%と最も高く、次いで
 「1歳」の割合が 24.3%、「2歳」の割合が 13.0%
 となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「1歳」「2歳」
 の割合が増加しています。一方、「3歳」「4歳」
 の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、1歳で「父母のいずれかがみている」の割合が、0歳で「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が高くなっています。

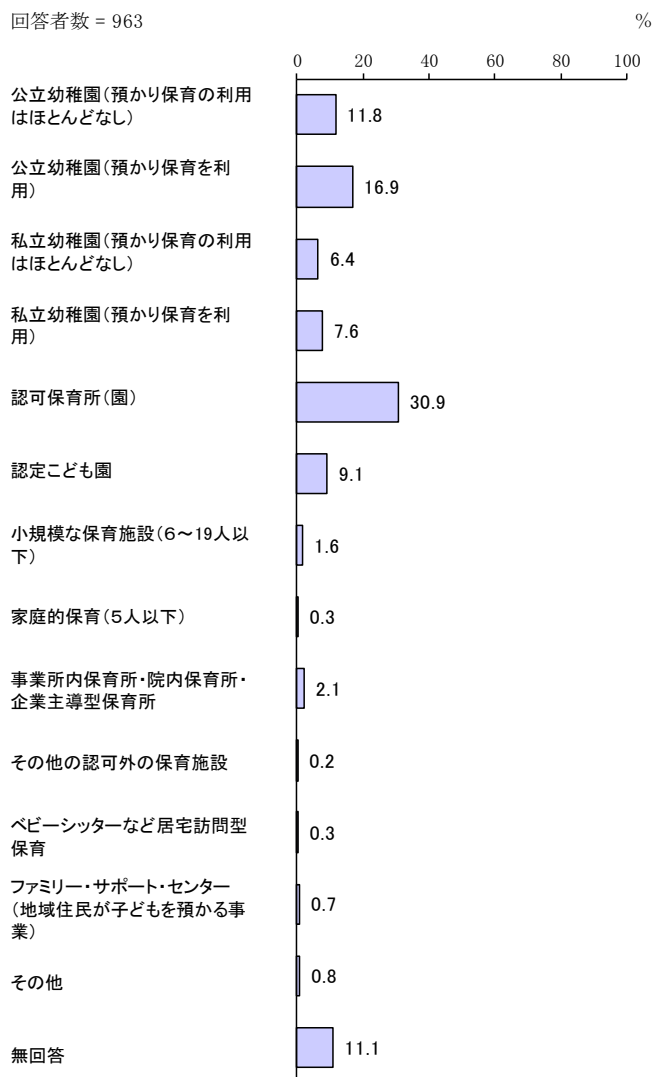
単位：％

区分	回答者数(件)	父母のいずれかがみている	子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、幼稚園や保育所(園)、認定こども園に空きがない	利用したいが、経済的な理由で利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、内容や場所など、納得できるところがない	その他	無回答
0歳	208	62.0	65.9	5.3	—	17.8	2.4	1.0	1.9	7.7	0.5
1歳	62	79.0	46.8	11.3	—	16.1	4.8	1.6	3.2	8.1	1.6
2歳	57	70.2	33.3	8.8	—	7.0	1.8	1.8	5.3	10.5	1.8
3歳	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
4歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5歳	2	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0
全体	332	66.6	55.7	6.9	—	15.4	2.7	1.2	2.7	8.1	1.5

問 32 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育として、「定期的に」利用したいと考える事業について、利用したい順番に、1番から3番まで順位をつけて下の記入欄にご記入ください。また、利用したい教育・保育の開始年齢をご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生するものとします。

ア 1番

「認可保育所（園）」の割合が30.9%と最も高く、次いで「公立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が16.9%、「公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」の割合が11.8%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、就労していないで「公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」「公立幼稚園（預かり保育を利用）」「私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」「私立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が、フルタイムで「認可保育所（園）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	公立幼稚園（預かり保育を利用）	私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	私立幼稚園（預かり保育を利用）	認可保育所（園）	認定こども園	小規模な保育施設（6～19人以下）	家庭的保育（5人以下）	事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所	その他の認可外の保育施設	ベビーシッターなど居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
フルタイム	317	2.8	8.8	1.3	3.2	51.1	9.8	1.3	0.3	3.8	—	—	0.6	0.6	16.4
パート・アルバイト等	237	3.4	17.7	3.4	9.7	38.8	8.9	2.1	0.4	2.1	0.4	0.4	1.3	1.3	10.1
就労していない	381	24.7	23.1	12.6	10.2	9.7	8.9	1.6	0.3	0.8	0.3	0.3	0.5	0.8	6.3

【母親の就労希望別】

母親の就労希望別でみると、他に比べ、今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）で「公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」の割合が、1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい、すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいで「公立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	公立幼稚園（預かり保育を利用）	私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	私立幼稚園（預かり保育を利用）	認可保育所（園）	認定こども園	小規模な保育施設（6～19人以下）	家庭的保育（5人以下）	事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所	その他の認可外の保育施設	ベビーシッターなど居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	127	33.9	16.5	17.3	7.9	2.4	7.1	1.6	0.8	—	0.8	0.8	0.8	1.6	8.7
1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい	149	25.5	27.5	11.4	9.4	9.4	10.1	0.7	—	—	—	—	0.7	0.7	4.7
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	87	9.2	25.3	6.9	14.9	20.7	10.3	3.4	—	3.4	—	—	—	—	5.7

【教育・保育事業の利用の有無別】

教育・保育事業の利用の有無別でみると、他に比べ、利用していないで「公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」の割合が高くなっています。また、利用しているで「認可保育所（園）」の割合が高くなっています。

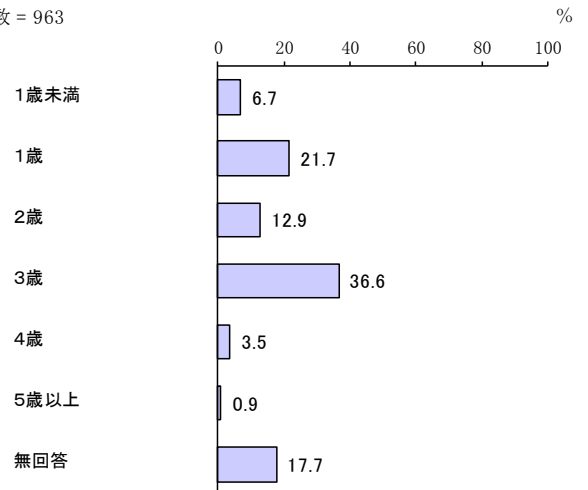
単位：％

区分	回答者数（件）	公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	公立幼稚園（預かり保育を利用）	私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	私立幼稚園（預かり保育を利用）	認可保育所（園）	認定こども園	小規模な保育施設（6～19人以下）	家庭的保育（5人以下）	事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所	その他の認可外の保育施設	ベビーシッターなど居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
利用している	628	9.6	16.2	5.7	7.2	33.1	8.1	1.8	0.3	2.4	0.3	0.3	1.0	0.8	13.2
利用していない	332	16.3	18.4	7.8	8.4	27.1	11.1	1.2	0.3	1.5	—	0.3	0.3	0.9	6.3

(ア) 利用を開始したい子どもの年齢

「3歳」の割合が36.6%と最も高く、次いで「1歳」の割合が21.7%、「2歳」の割合が12.9%となっています。

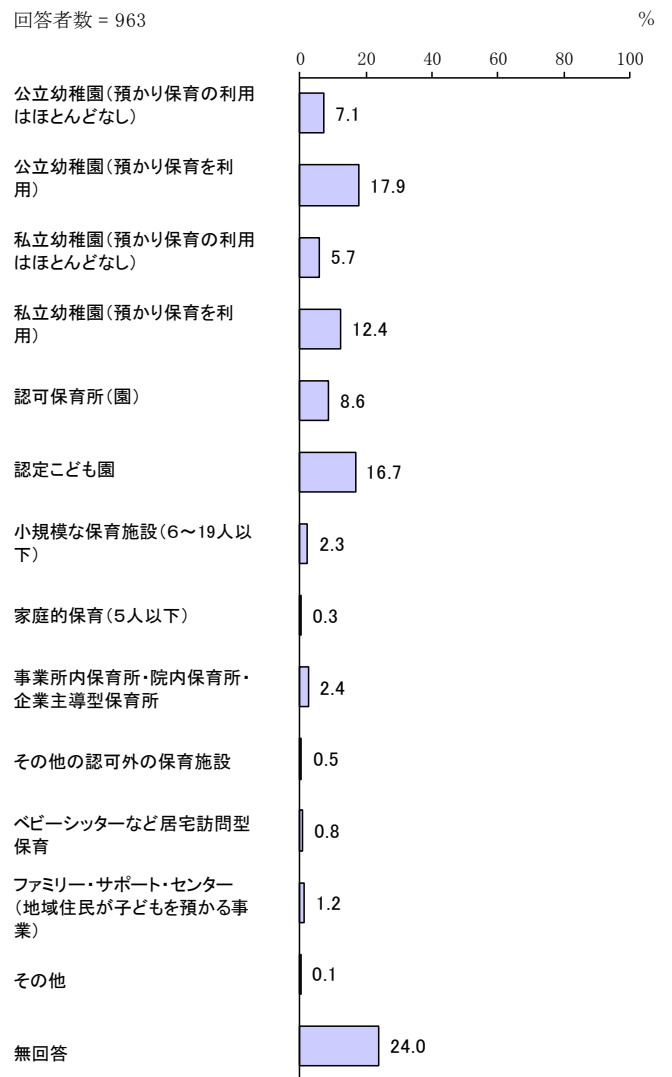
回答者数 = 963



イ 2番

「公立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が17.9%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が16.7%、「私立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が12.4%となっています。

回答者数 = 963



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、就労していないで「公立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が、フルタイムで「認定こども園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	公立幼稚園（預かり保育を利用）	私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	私立幼稚園（預かり保育を利用）	認可保育所（園）	認定こども園	小規模な保育施設（6～19人以下）	家庭的保育（5人以下）	事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所	その他の認可外の保育施設	ベビーシッターなど居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
フルタイム	317	4.4	13.2	1.9	9.8	10.7	21.1	3.8	—	4.1	0.3	0.3	0.6	—	29.7
パート・アルバイト等	237	3.8	18.1	2.5	13.1	9.7	19.4	3.0	0.4	3.4	0.4	0.4	1.3	0.4	24.1
就労していない	381	11.3	21.0	10.8	13.9	6.8	11.5	0.8	0.5	0.5	0.8	1.3	1.6	—	19.2

【母親の就労希望別】

母親の就労希望別でみると、いずれも「公立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	公立幼稚園（預かり保育を利用）	私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	私立幼稚園（預かり保育を利用）	認可保育所（園）	認定こども園	小規模な保育施設（6～19人以下）	家庭的保育（5人以下）	事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所	その他の認可外の保育施設	ベビーシッターなど居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	127	13.4	20.5	15.0	11.8	3.9	7.9	0.8	0.8	—	1.6	0.8	2.4	—	21.3
1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい	149	8.1	22.1	12.1	16.8	8.1	10.1	0.7	—	0.7	0.7	2.0	2.0	—	16.8
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	87	12.6	21.8	3.4	13.8	8.0	18.4	—	1.1	1.1	—	—	—	—	19.5

【教育・保育事業の利用の有無別】

教育・保育事業の利用の有無別でみると、大きな差異はみられません。

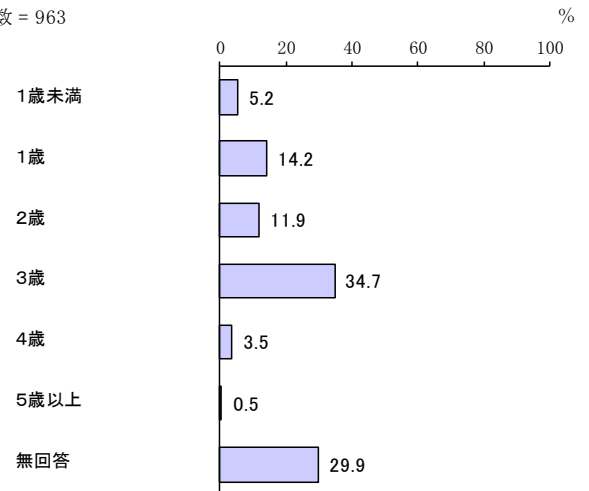
単位：％

区分	回答者数（件）	公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	公立幼稚園（預かり保育を利用）	私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	私立幼稚園（預かり保育を利用）	認可保育所（園）	認定こども園	小規模な保育施設（6～19人以下）	家庭的保育（5人以下）	事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所	その他の認可外の保育施設	ベビーシッターなど居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
利用している	628	5.6	17.2	4.8	12.7	7.6	16.4	2.2	0.5	2.9	0.2	1.1	1.6	0.2	27.1
利用していない	332	9.9	19.3	7.5	11.7	10.5	17.5	2.4	—	1.5	1.2	0.3	0.6	—	17.5

（ア）利用を開始したい子どもの年齢

「3歳」の割合が34.7%と最も高く、次いで「1歳」の割合が14.2%、「2歳」の割合が11.9%となっています。

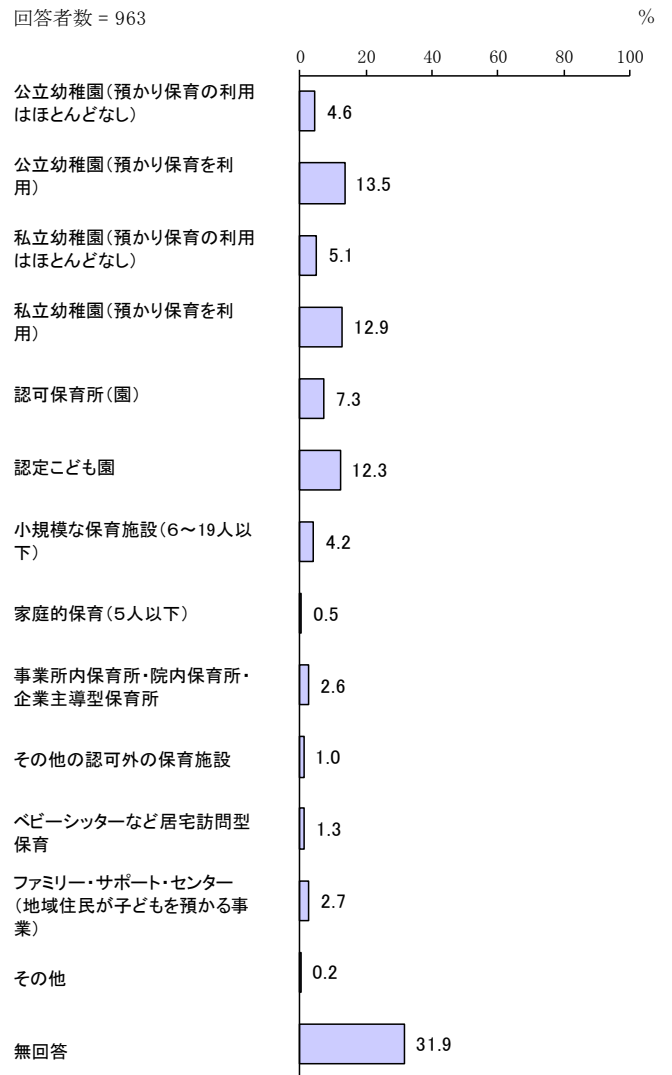
回答者数 = 963



ウ 3番

「公立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が13.5%と最も高く、次いで「私立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が12.9%、「認定こども園」の割合が12.3%となっています。

回答者数 = 963



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、就労していないで「公立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が、パート・アルバイト等で「私立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	公立幼稚園（預かり保育を利用）	私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	私立幼稚園（預かり保育を利用）	認可保育所（園）	認定こども園	小規模な保育施設（6～19人以下）	家庭的保育（5人以下）	事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所	その他の認可外の保育施設	ベビーシッターなど居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
フルタイム	317	2.2	13.9	2.8	13.2	5.4	10.4	5.0	0.6	4.4	1.9	1.3	2.5	0.3	36.0
パート・アルバイト等	237	3.4	11.4	2.5	16.5	10.1	13.1	3.8	0.4	3.0	0.8	1.3	2.1	0.4	31.2
就労していない	381	7.1	15.5	8.4	9.4	7.6	13.1	3.4	0.5	1.0	0.3	1.3	3.4	—	28.9

【母親の就労希望別】

母親の就労希望別でみると、他に比べ、すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいで「公立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が、1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したいで「認定こども園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	公立幼稚園（預かり保育を利用）	私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	私立幼稚園（預かり保育を利用）	認可保育所（園）	認定こども園	小規模な保育施設（6～19人以下）	家庭的保育（5人以下）	事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所	その他の認可外の保育施設	ベビーシッターなど居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	127	6.3	13.4	11.8	7.9	4.7	11.8	4.7	0.8	—	—	0.8	3.1	—	34.6
1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい	149	9.4	13.4	7.4	8.7	9.4	15.4	2.7	—	1.3	—	2.7	4.0	—	25.5
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	87	3.4	23.0	4.6	11.5	10.3	11.5	2.3	—	2.3	1.1	—	3.4	—	26.4

【教育・保育事業の利用の有無別】

教育・保育事業の利用の有無別でみると、他に比べ、利用していないで「公立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が高くなっています。

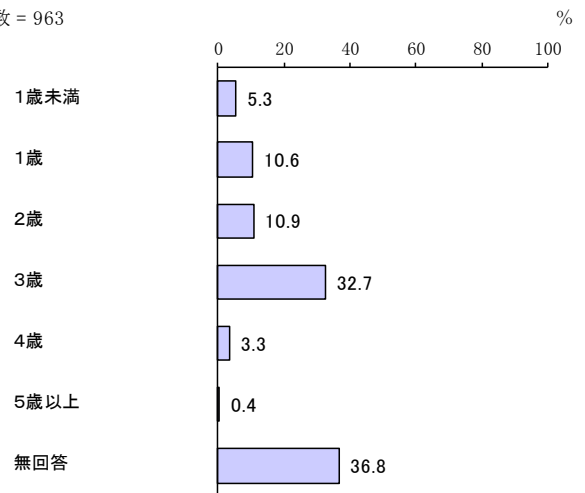
単位：％

区分	回答者数（件）	公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	公立幼稚園（預かり保育を利用）	私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）	私立幼稚園（預かり保育を利用）	認可保育所（園）	認定こども園	小規模な保育施設（6～19人以下）	家庭的保育（5人以下）	事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所	その他の認可外の保育施設	ベビーシッターなど居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター（地域民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
利用している	628	4.8	11.8	4.1	13.2	7.6	12.3	3.3	0.5	3.2	0.2	1.6	3.0	0.2	34.2
利用していない	332	4.2	16.9	6.9	12.3	6.6	12.3	5.7	0.6	1.5	2.7	0.9	2.1	0.3	26.8

（ア）利用を開始したい子どもの年齢

「3歳」の割合が32.7%と最も高く、次いで「2歳」の割合が10.9%、「1歳」の割合が10.6%となっています。

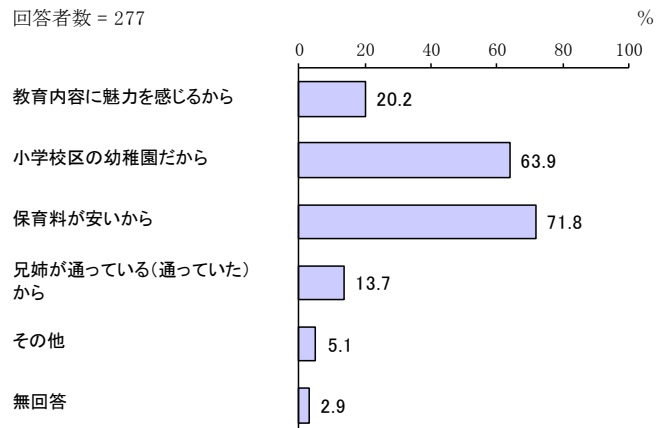
回答者数 = 963



問 32-1 問 32 で「1. 公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」または「2. 公立幼稚園（預かり保育を利用）」の順位を1番とした方にうかがいます。
公立幼稚園を利用したいと考える理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

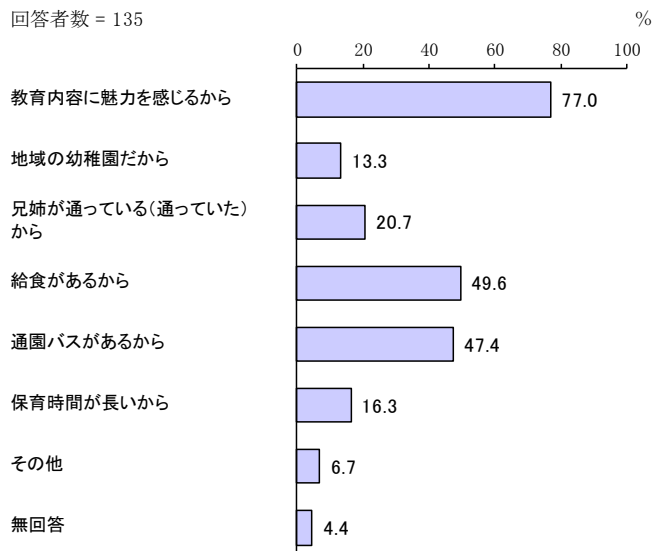
「保育料が安いから」の割合が71.8%と最も高く、次いで「小学校区の幼稚園だから」の割合が63.9%、「教育内容に魅力を感じるから」の割合が20.2%となっています。

回答者数 = 277



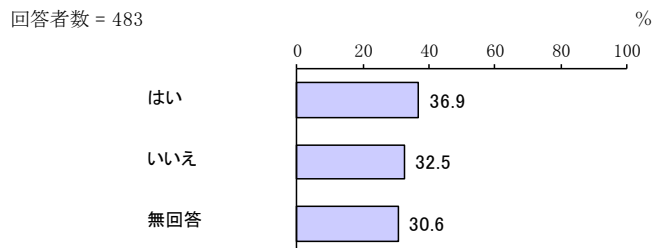
問 32-2 問 32 で「3. 私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」または「4. 私立幼稚園（預かり保育を利用）」の順位を 1 番とした方にうかがいます。
私立幼稚園を利用したいと考える理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「教育内容に魅力を感じるから」の割合が 77.0%と最も高く、次いで「給食があるから」の割合が 49.6%、「通園バスがあるから」の割合が 47.4%となっています。



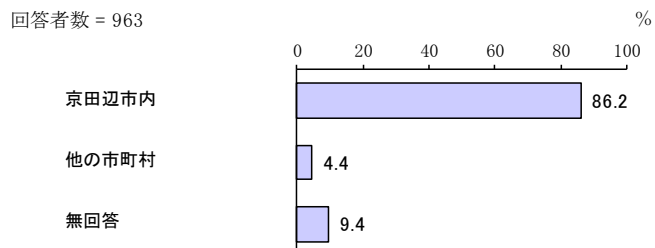
問 32-3 問 32 で「1. 公立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」「2. 公立幼稚園（預かり保育を利用）」「3. 私立幼稚園（預かり保育の利用はほとんどなし）」「4. 私立幼稚園（預かり保育を利用）」を選び、5～13も選んだ方にうかがいます。特に、幼稚園の利用を強く希望しますか。あてはまる番号に○をつけてください。

「はい」の割合が 36.9%、「いいえ」の割合が 32.5%となっています。



問 32-4 教育・保育を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

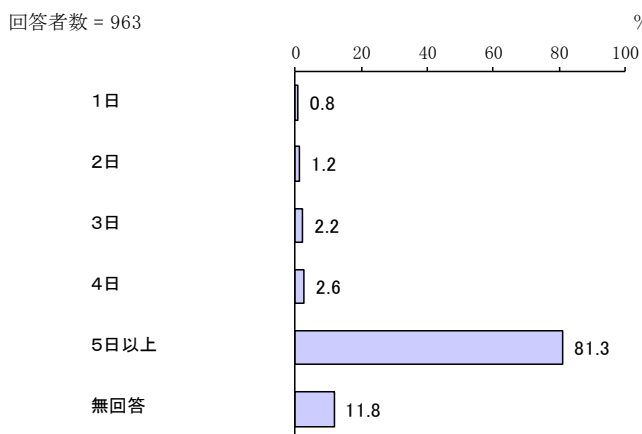
「京田辺市内」の割合が 86.2%、「他の市町村」の割合が 4.4%となっています。



問 32-5 平日に定期的に利用したい教育・保育について、順位にかかわらず、どのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、() 内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）9時～17時のように24時間制でご記入ください。なお、利用時間に応じた負担が発生するものとします。

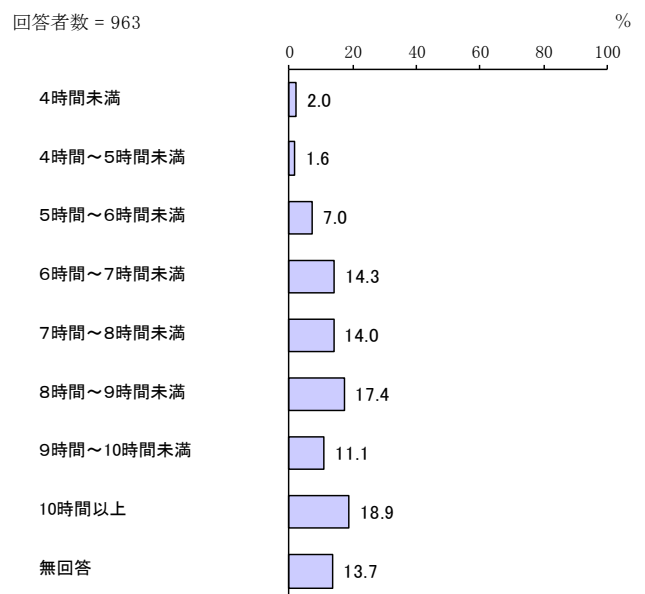
ア 1週当たり利用日数

「5日以上」の割合が81.3%と最も高くなっています。



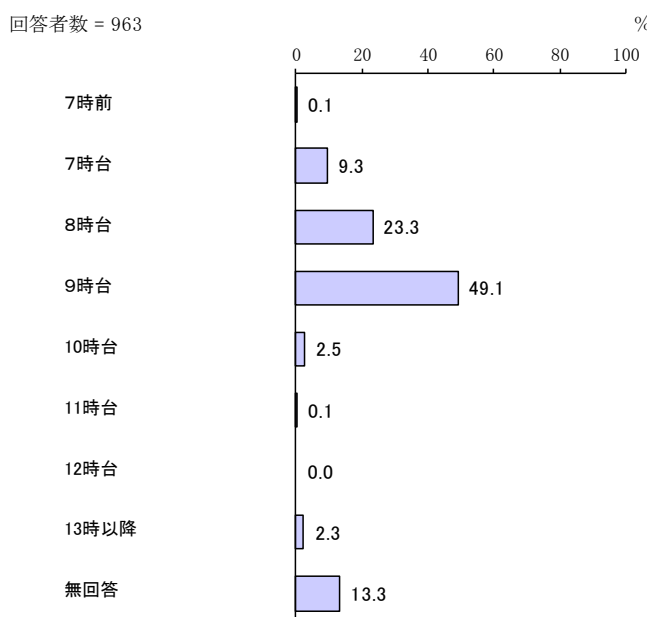
イ 1日当たり利用時間

「10時間以上」の割合が18.9%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が17.4%、「6時間～7時間未満」の割合が14.3%となっています。



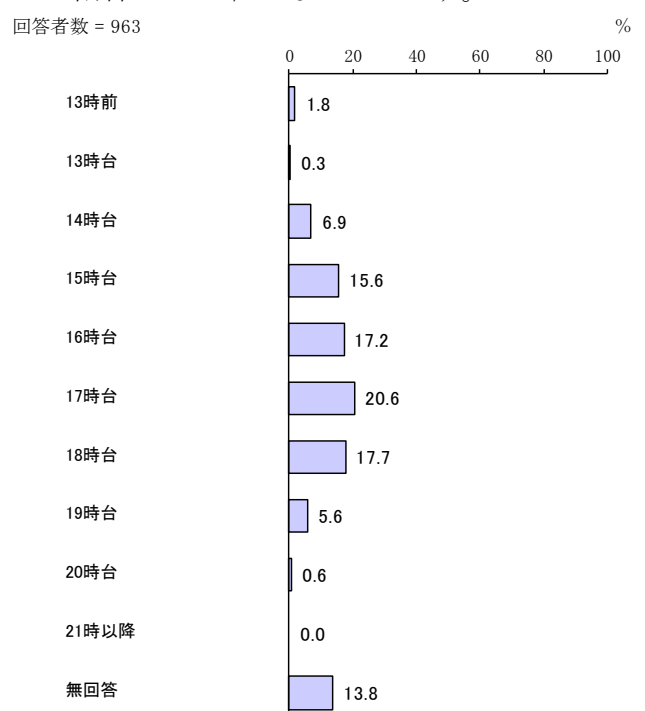
ウ 利用開始時刻

「9時台」の割合が49.1%と最も高く、次いで「8時台」の割合が23.3%となっています。



エ 利用終了時刻

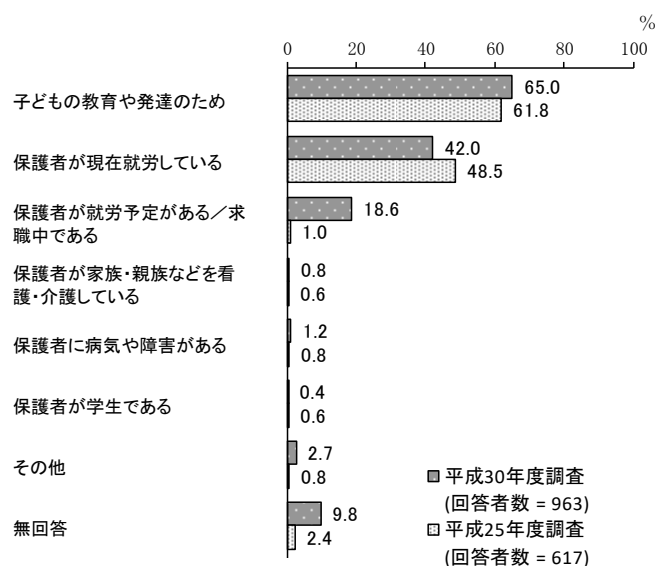
「17時台」の割合が20.6%と最も高く、次いで「18時台」の割合が17.7%、「16時台」の割合が17.2%となっています。



問 32-6 平日に定期的に教育・保育を利用したいとお考えになる理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの教育や発達のため」の割合が 65.0%と最も高く、次いで「保護者が現在就労している」の割合が 42.0%、「保護者が就労予定がある／求職中である」の割合が 18.6%となっています。

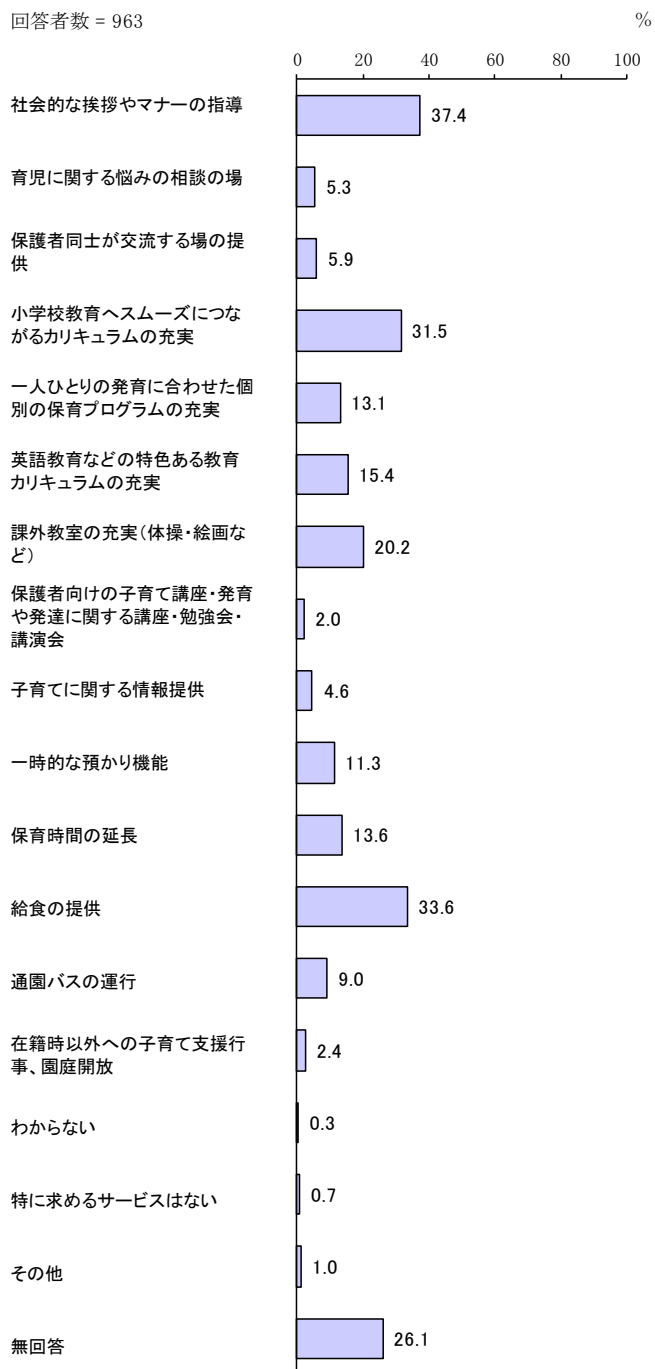
平成 25 年度調査と比較すると、「保護者が就労予定がある／求職中である」の割合が増加しています。一方、「保護者が現在就労している」の割合が減少しています。



問 33 保育所（園）・幼稚園・認定こども園にどのような付加的なサービスやメリットを期待しますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「社会的な挨拶やマナーの指導」の割合が37.4%と最も高く、次いで「給食の提供」の割合が33.6%、「小学校教育へスムーズにつながるカリキュラムの充実」の割合が31.5%となっています。

回答者数 = 963

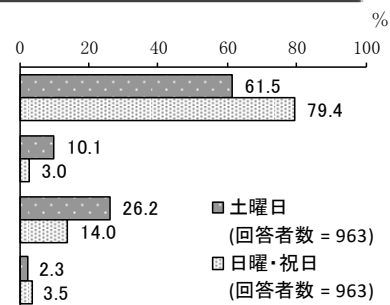


(6) 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の利用希望について

問 34 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、「定期的な教育・保育」の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～17時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、利用時間に応じた負担が発生するものとします。

土曜日では、「利用する必要はない」の割合が61.5%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が26.2%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が10.1%となっています。

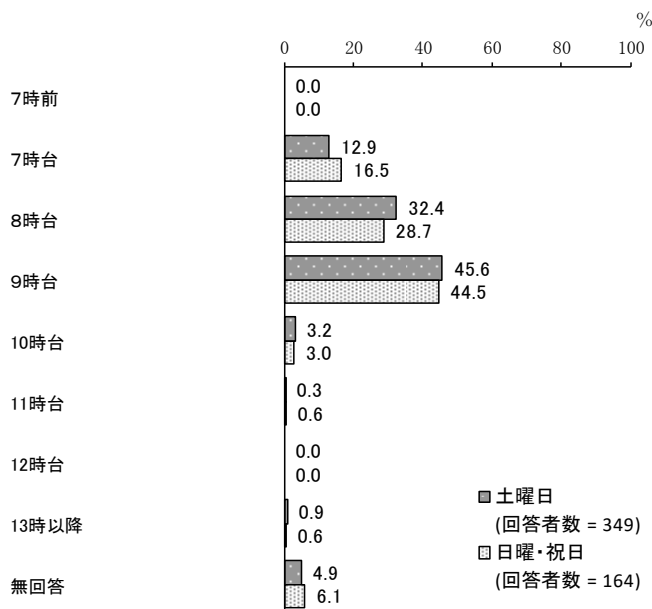
日曜・祝日では、「利用する必要はない」の割合が79.4%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が14.0%となっています。



ア 希望利用開始時刻

土曜日では、「9時台」の割合が45.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が32.4%、「7時台」の割合が12.9%となっています。

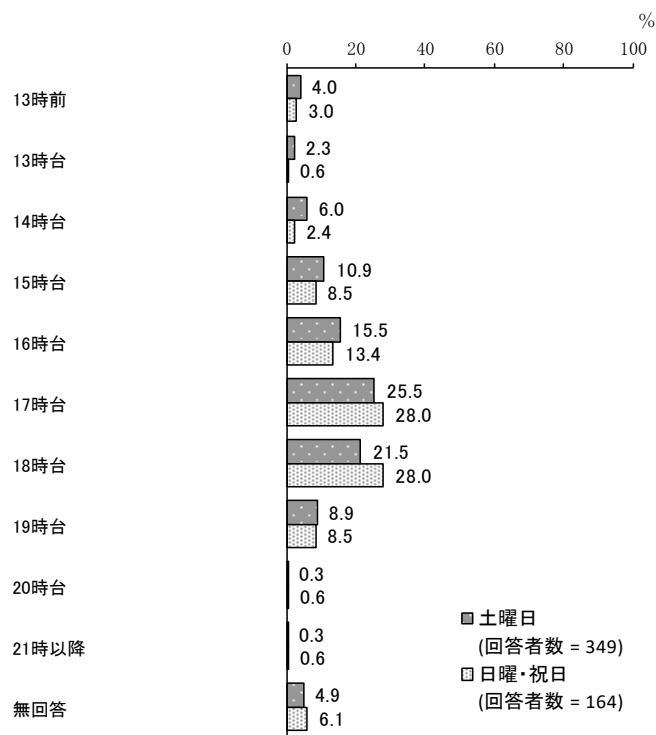
日曜・祝日では、「9時台」の割合が44.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が28.7%、「7時台」の割合が16.5%となっています。



イ 希望利用終了時刻

土曜日では、「17 時台」の割合が 25.5%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 21.5%、「16 時台」の割合が 15.5%となっています。

日曜・祝日では、「17 時台」、「18 時台」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 13.4%となっています。

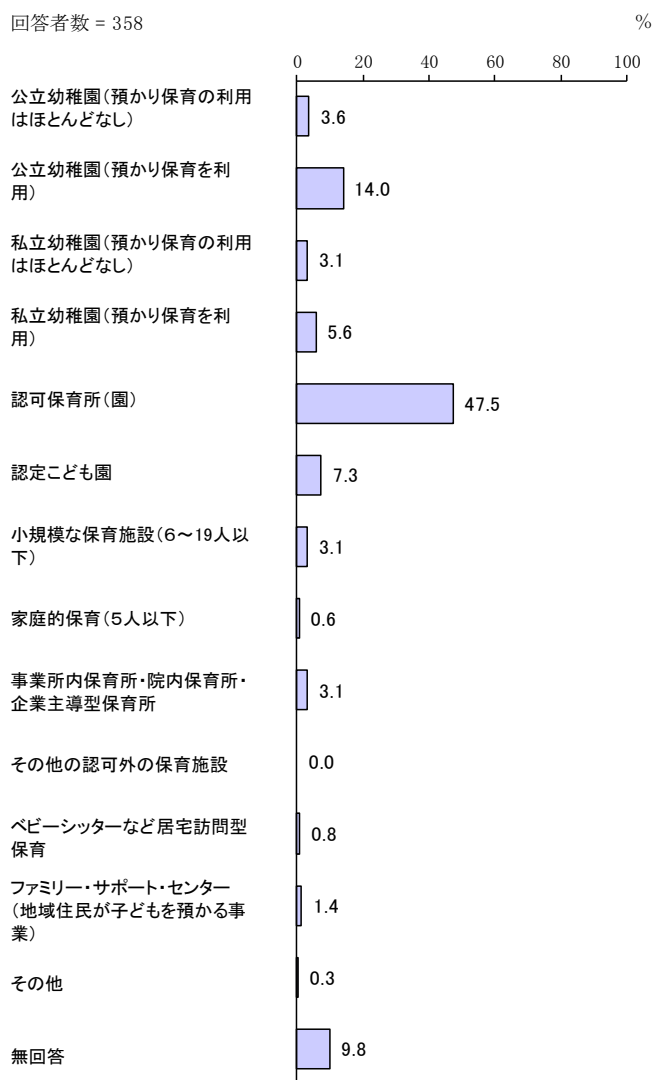


(1) - 1 問34の土曜日もしくは日曜・祝日で、「2. ほぼ毎週利用したい」または「3. 月に1～2回は利用したい」のいずれかに○をつけた方にかかっています。利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの土曜の教育・保育として「定期的に」利用したいと考える事業について、利用したい順番に1番から3番まで順位をつけて下の記入欄にご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生するものとします。

ア 1番

「認可保育所（園）」の割合が47.5%と最も高く、次いで「公立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が14.0%となっています。

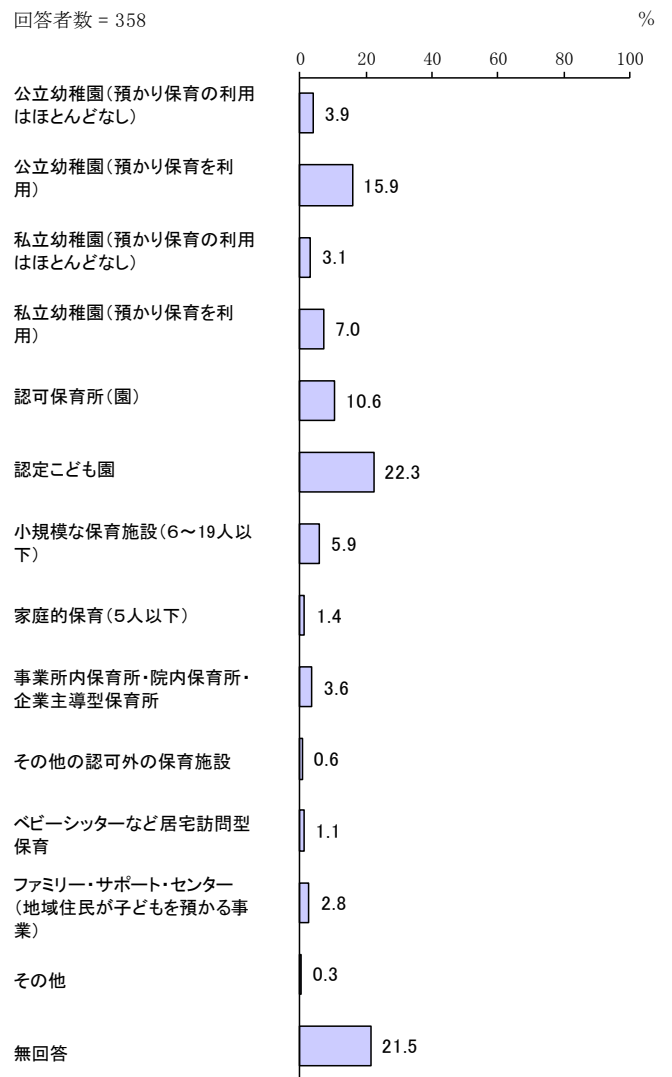
回答者数 = 358



イ 2番

「認定こども園」の割合が22.3%と最も高く、次いで「公立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が15.9%、「認可保育所（園）」の割合が10.6%となっています。

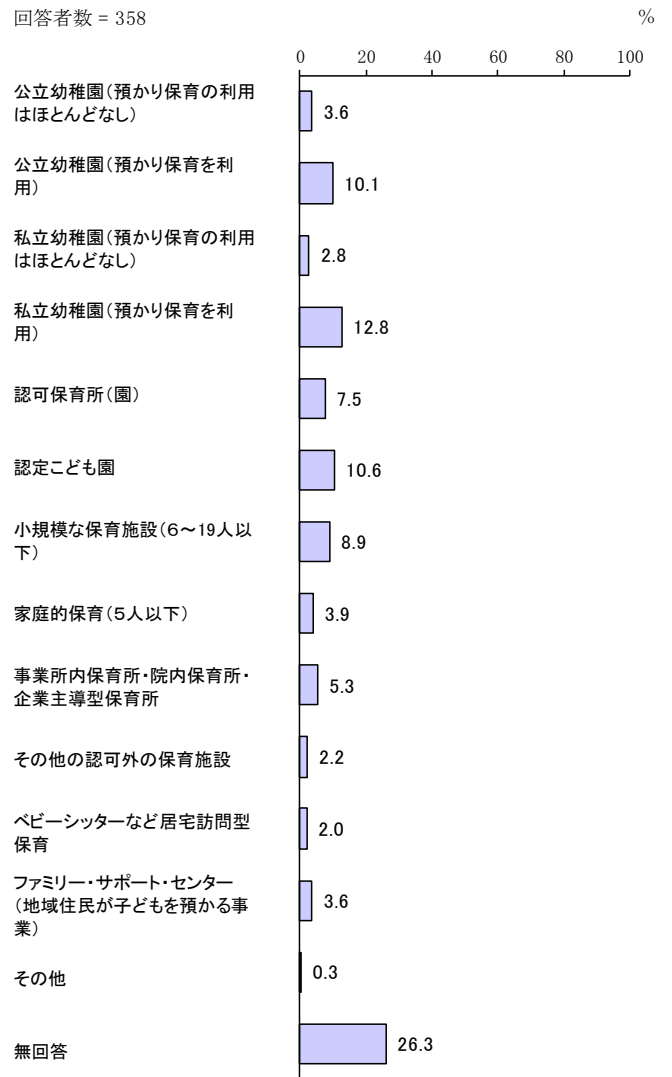
回答者数 = 358



ウ 3番

「私立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が12.8%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が10.6%、「公立幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が10.1%となっています。

回答者数 = 358



問 34-1 問 34 の土曜日もしくは日曜・祝日で、「2. ほぼ毎週利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「毎週仕事があるため」の割合が 84.0% と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 14.0%、「リフレッシュのため」の割合が 13.0% となっています。

回答者数 = 100

毎週仕事があるため

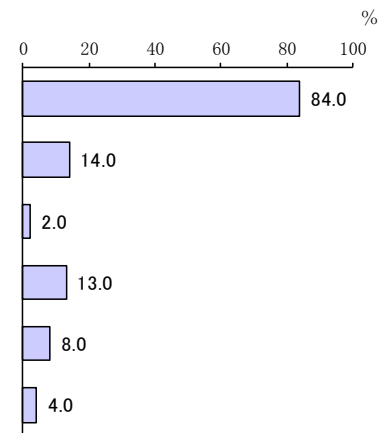
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

家族・親族などの看護・介護や手伝いが必要なため

リフレッシュのため

その他

無回答



問 34-2 問 34 の土曜日もしくは日曜・祝日で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事があるため」の割合が 57.7% と最も高く、次いで「リフレッシュのため」の割合が 31.7%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 31.1% となっています。

回答者数 = 293

月に数回仕事があるため

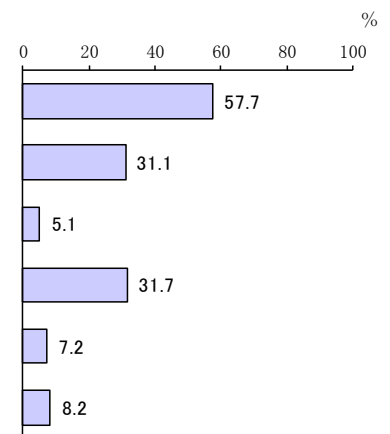
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

家族・親族などの看護・介護や手伝いが必要なため

リフレッシュのため

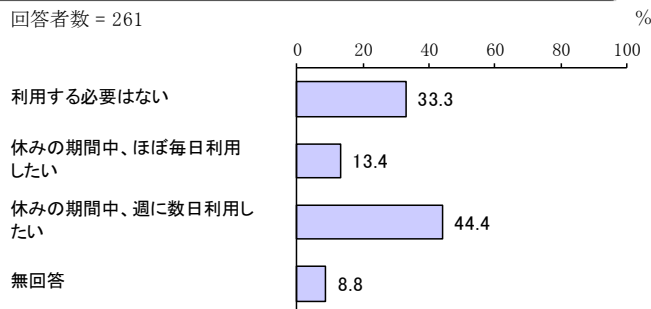
その他

無回答



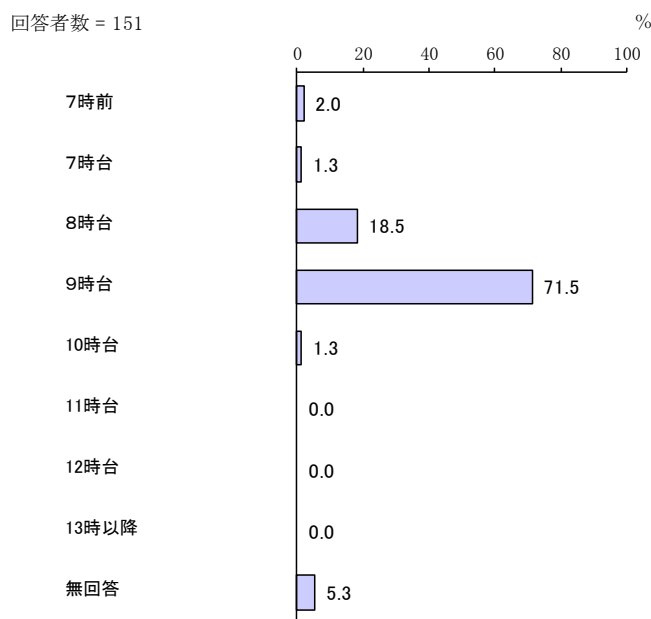
問 35 現在、「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。
 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～17時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生するものとします。

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が44.4%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が33.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が13.4%となっています。



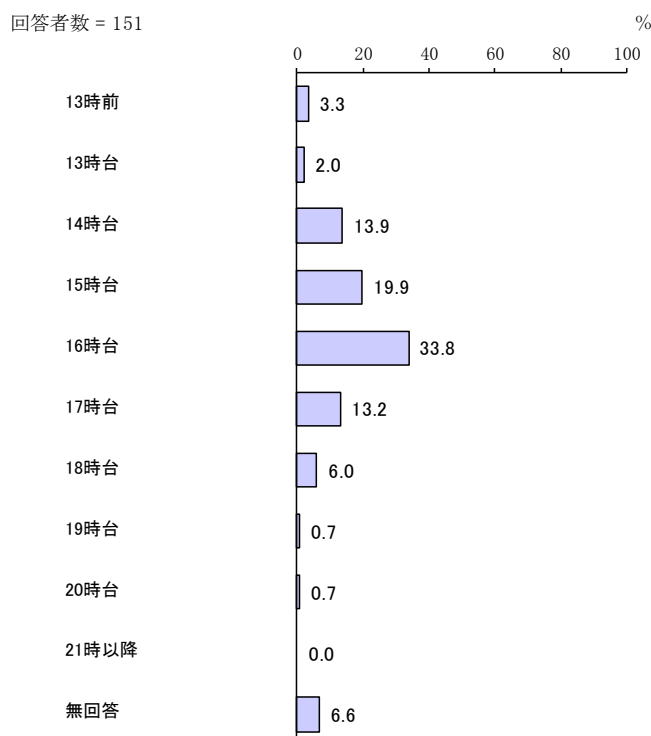
ア 希望利用開始時刻

「9時台」の割合が71.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が18.5%となっています。



イ 希望利用終了時刻

「16時台」の割合が33.8%と最も高く、次いで「15時台」の割合が19.9%、「14時台」の割合が13.9%となっています。

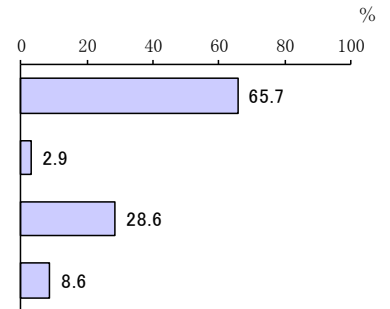


問 35-1 問 35 で、「2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」に○をつけた方にかがいます。利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「ほぼ毎日仕事があるため」の割合が 65.7%、
「家族・親族などの看護・介護や手伝いが必要なため」の割合が 2.9%となっています。

回答者数 = 35

ほぼ毎日仕事があるため
家族・親族などの看護・介護や手伝いが必要なため
その他
無回答

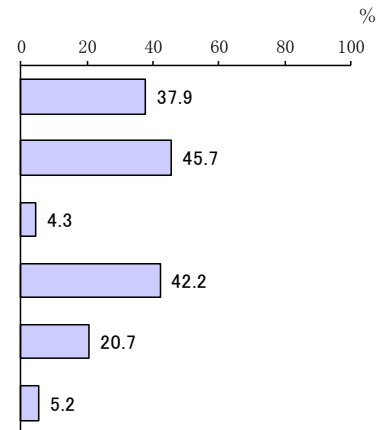


問 35-2 問 35 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」の割合が 42.2%、「週に数回仕事があるため」の割合が 37.9%となっています。

回答者数 = 116

週に数回仕事があるため
買い物等の用事をまとめて済ませるため
家族・親族などの看護・介護や手伝いが必要なため
リフレッシュのため
その他
無回答



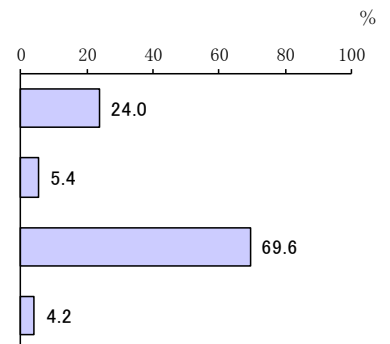
(7) 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 36 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「地域子育て支援センター」「子育てひろば」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が 69.6%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業（「地域子育て支援センター」「子育てひろば」等のことです。）の割合が 24.0%となっています。

回答者数 = 963

地域子育て支援拠点事業（「地域子育て支援センター」「子育てひろば」等のことです。）
その他類似的事業
利用していない
無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、0歳では約5割の人が利用していますが、ほとんどの方が就園される3歳以降は、利用する方が1割程度となっています。

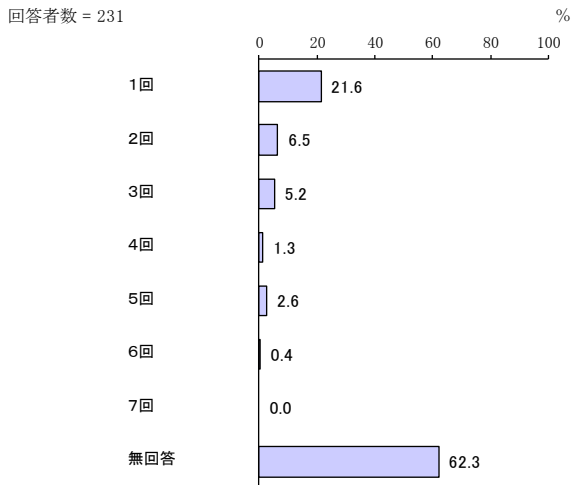
単位：％

区分	回答者数 (件)	地域子育て支援拠点事業 (子育て支援センター 等)	その他類似の事業	利用していない	無回答
0歳	240	40.8	8.3	50.0	6.3
1歳	139	28.8	8.6	63.3	2.9
2歳	139	25.2	11.5	62.6	7.9
3歳	143	14.7	—	81.8	3.5
4歳	157	10.2	0.6	87.9	1.3
5歳	129	14.0	2.3	83.7	1.6
全体	963	24.0	5.4	69.6	4.2

1. 地域子育て支援拠点事業

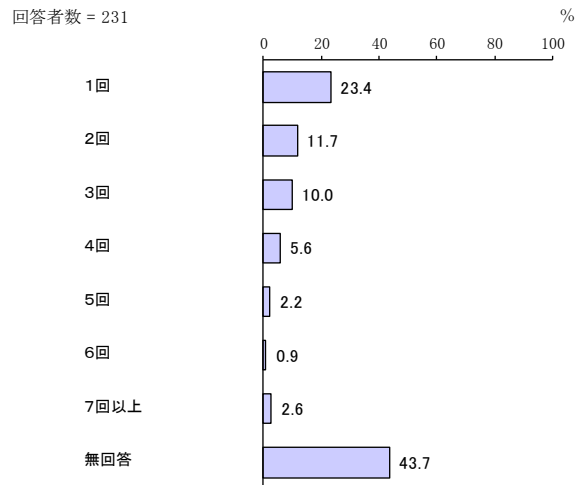
ア 1週当たり利用回数

「1回」の割合が21.6％と最も高くなっています。



イ 1か月当たり利用回数

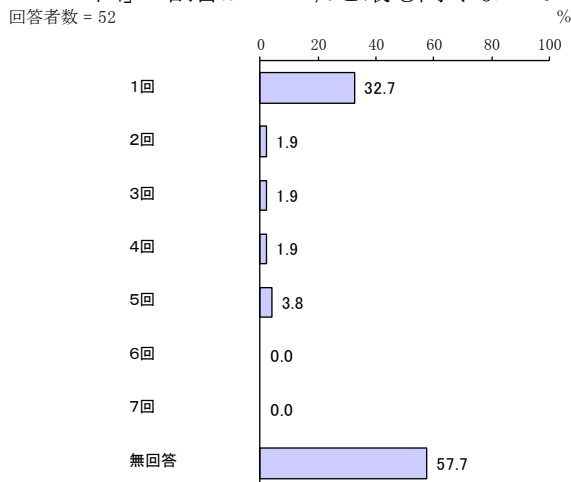
「1回」の割合が23.4％と最も高く、次いで「2回」の割合が11.7％、「3回」の割合が10.0％となっています。



2. その他類似の事業

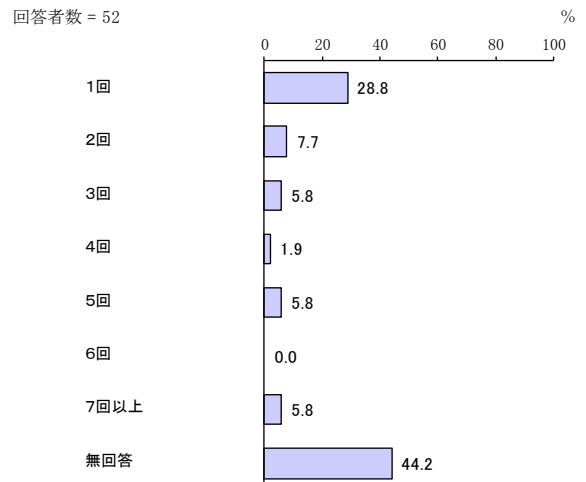
ア 1週当たり利用回数

「1回」の割合が32.7％と最も高くなっています。



イ 1か月当たり利用回数

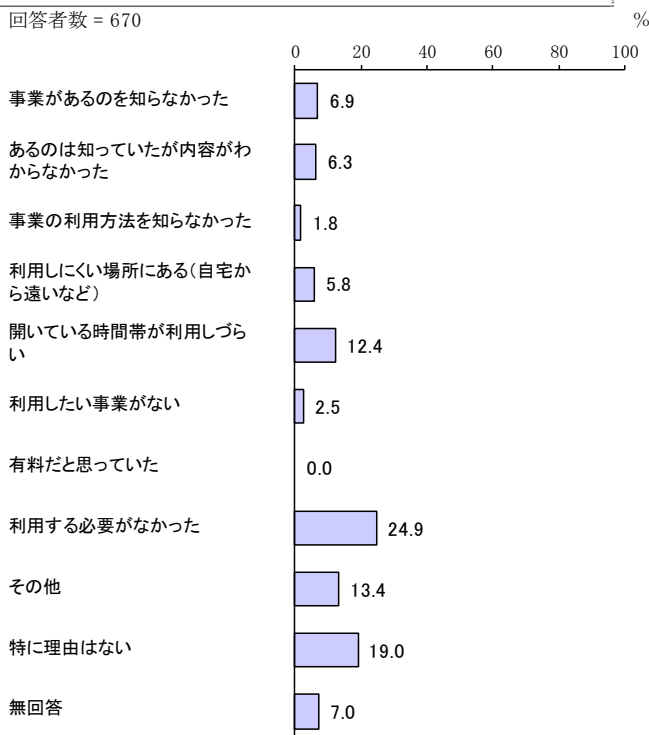
「1回」の割合が28.8％と最も高くなっています。



問 36-1 問 36 で「3. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。最も大きな理由1つに○をつけてください。

回答者数 = 670

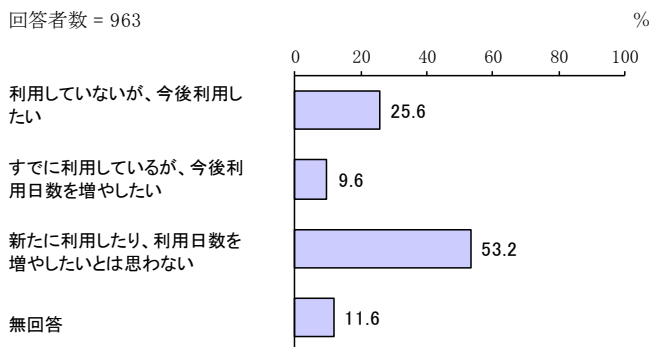
「利用する必要がなかった」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「特に理由はない」の割合が 19.0%、「開いている時間帯が利用しづらい」の割合が 12.4%となっています。



問 37 問 36 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。

回答者数 = 963

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 25.6%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、0歳で「利用していないが、今後利用したい」の割合が高くなっています。

単位：%

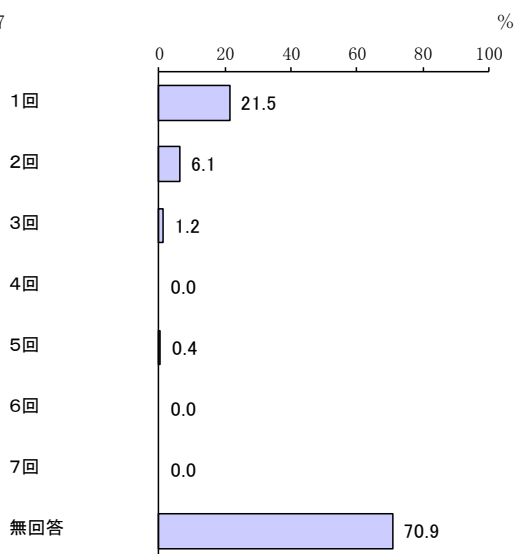
区分	有効回答数(件)	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
0歳	240	38.3	23.8	25.4	12.5
1歳	139	25.2	10.1	53.2	11.5
2歳	139	24.5	9.4	48.9	17.3
3歳	143	23.8	2.8	61.5	11.9
4歳	157	17.8	0.6	75.2	6.4
5歳	129	15.5	1.6	73.6	9.3
全体	963	25.6	9.6	53.2	11.6

1. 利用していないが、今後利用したい人の利用希望回数

ア 1週当たりの利用希望回数

「1回」の割合が21.5%と最も高くなっています。

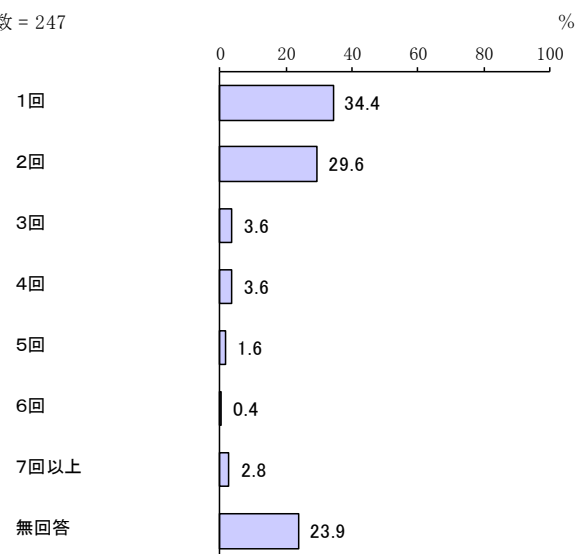
回答者数 = 247



イ 1か月当たりの利用希望回数

「1回」の割合が34.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が29.6%となっています。

回答者数 = 247

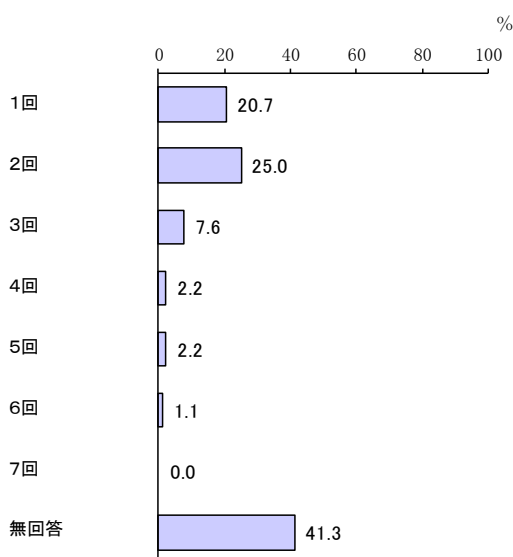


2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の利用希望回数

ア 1週当たりの利用希望回数

「2回」の割合が25.0%と最も高く、次いで「1回」の割合が20.7%となっています。

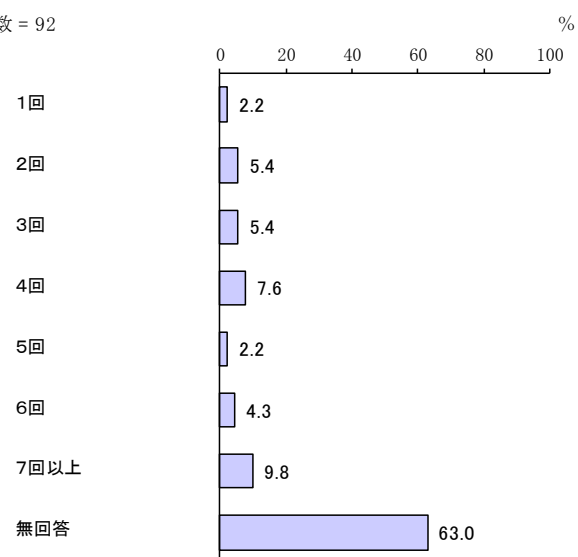
回答者数 = 92



イ 1か月当たりの利用希望回数

「7回以上」の割合が9.8%と最も高くなっています。

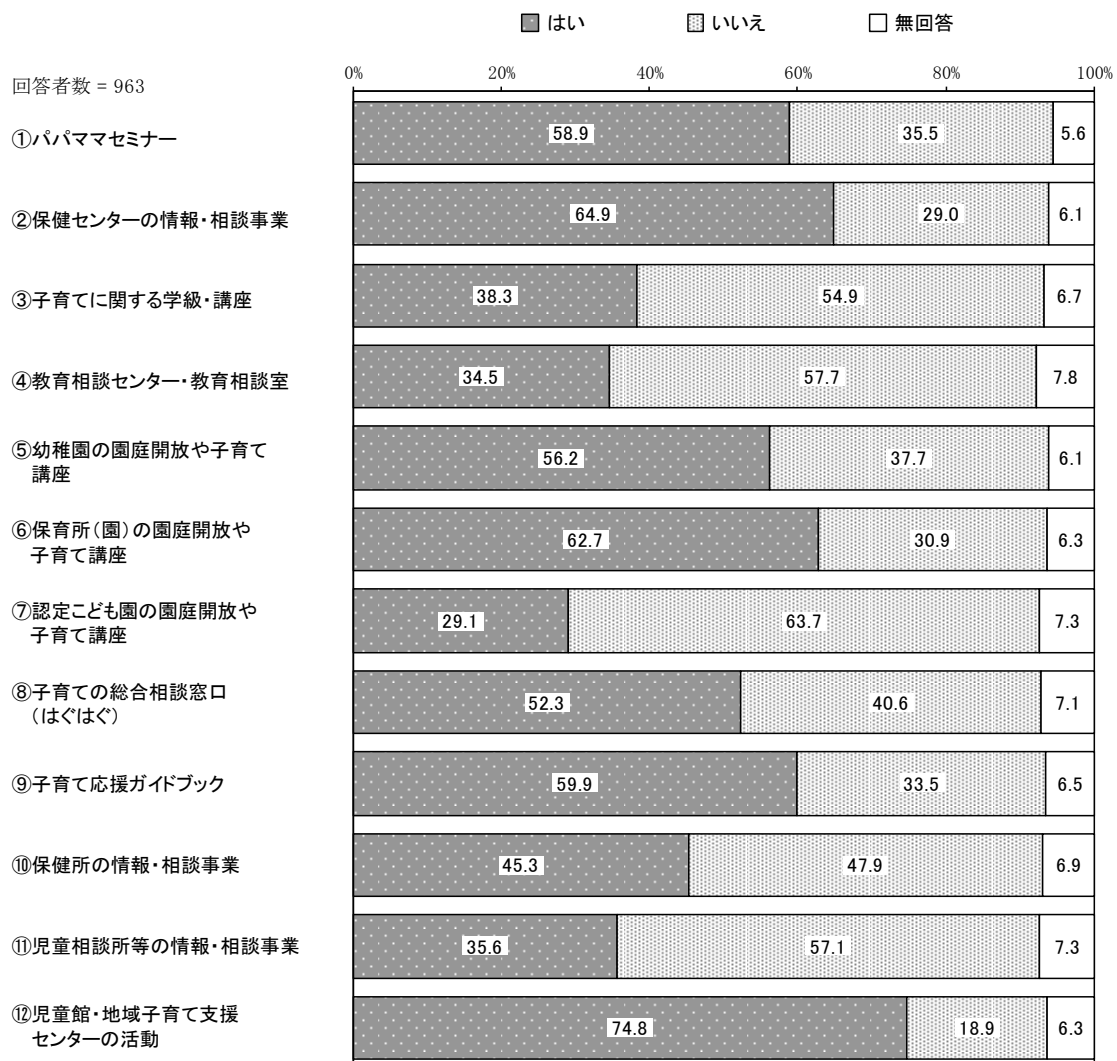
回答者数 = 92



問 38 下記のうち、知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑫ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれか1つに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

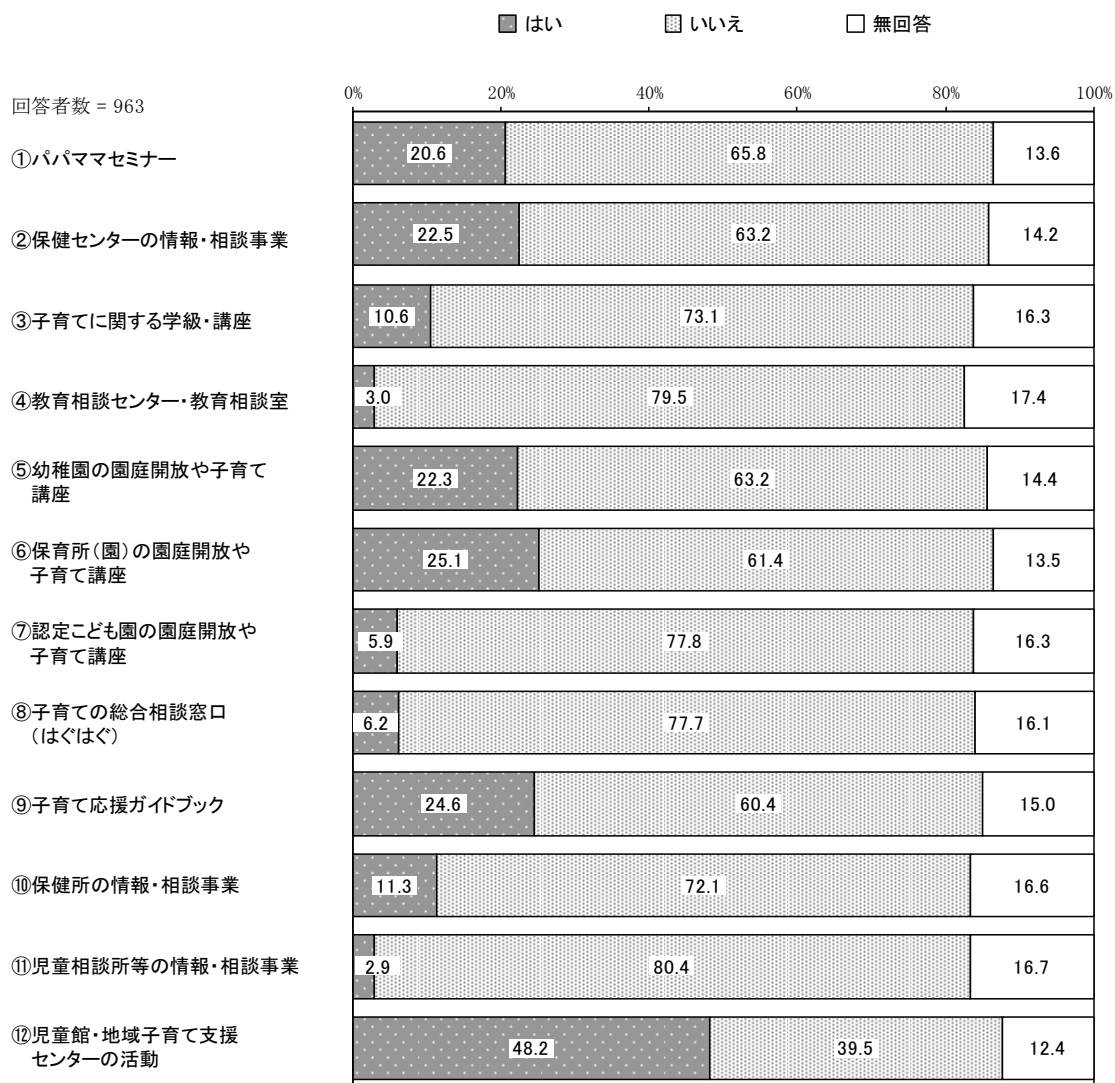
A 認知度

『⑫児童館・地域子育て支援センターの活動』で「はい」の割合が高くなっています。また、『⑦認定こども園の園庭開放や子育て講座』で「いいえ」の割合が高くなっています。



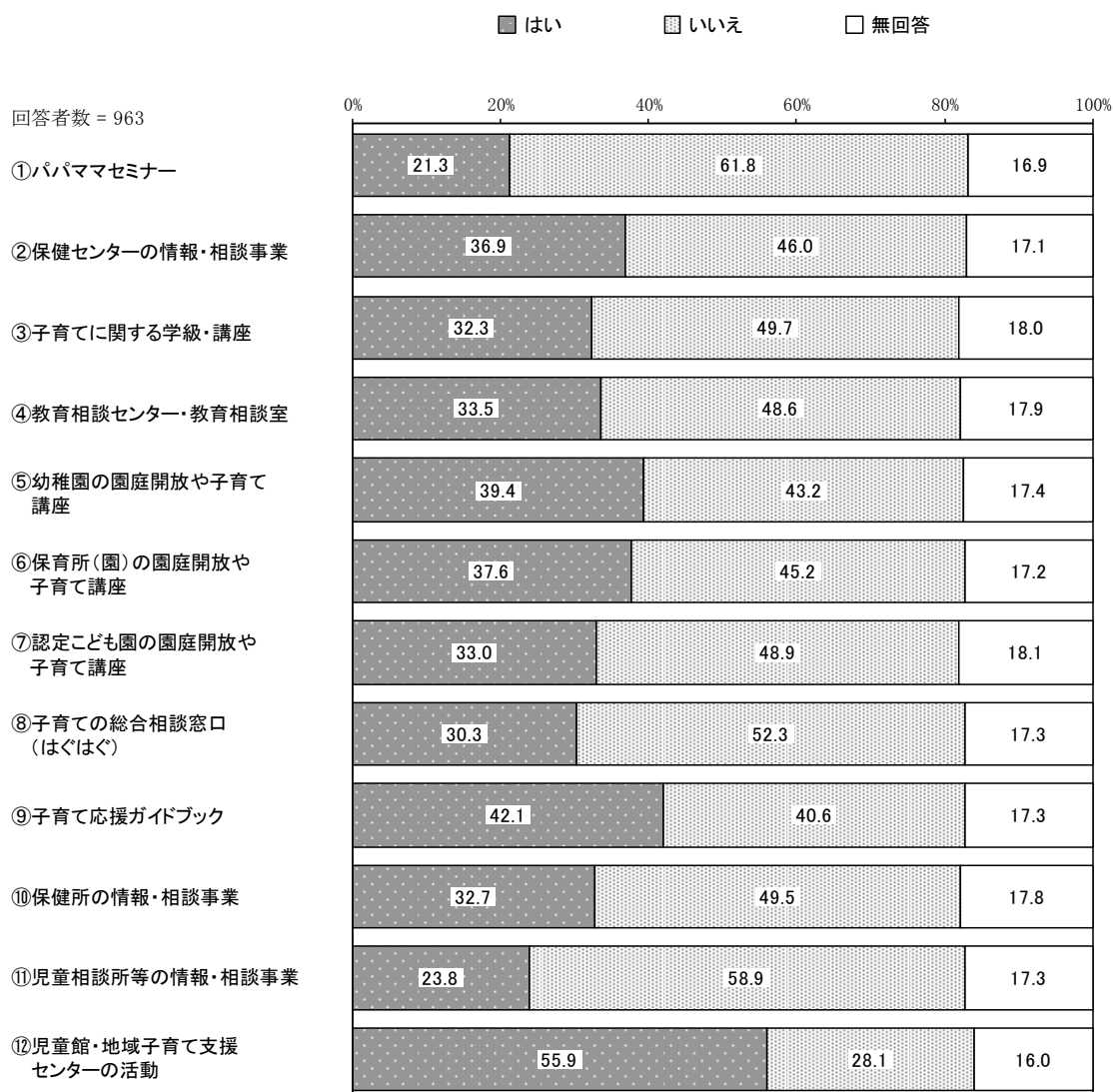
B 利用状況

『⑫児童館・地域子育て支援センターの活動』で「はい」の割合が高くなっています。また、『⑪児童相談所等の情報・相談事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。



C 利用希望

『⑫児童館・地域子育て支援センターの活動』で「はい」の割合が高くなっています。また、『①パパママセミナー』で「いいえ」の割合が高くなっています。



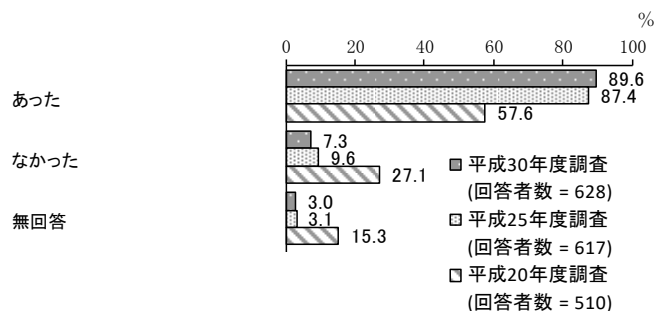
(8) 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

平日に幼稚園、保育所（園）などに通っていると答えた保護者の方（問31で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。

問39 この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園、保育所（園）などを休んだことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「あった」の割合が89.6%、「なかった」の割合が7.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

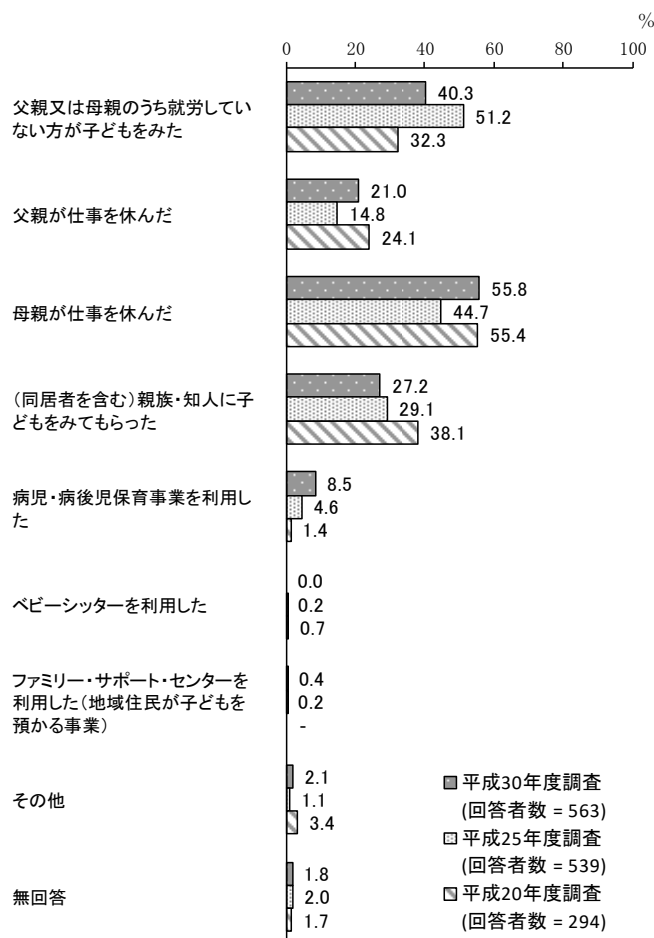


問39-1 お子さんが病気やケガで幼稚園、保育所（園）などを休んだ場合に、この1年間に行った対応として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数も（ ）内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

(1) 1年間の対処方法

「母親が仕事を休んだ」の割合が55.8%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が40.3%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が27.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」の割合が増加しています。一方、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が減少しています。



※「ファミリー・サポート・センターを利用した」は平成20年度調査ではありませんでした。

(2) 対処方法別日数

1年間の対処方法別日数について、『イ 父親が仕事を休んだ』で「2日～3日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日 ～ 3日	4日 ～ 5日	6日 ～ 9日	10日 ～ 19日	20日 以上	無回答
ア 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	227	6.6	22.5	16.3	15.4	21.6	7.9	9.7
イ 父親が仕事を休んだ	118	26.3	45.8	14.4	1.7	4.2	0.8	6.8
ウ 母親が仕事を休んだ	314	7.6	29.3	16.9	8.0	18.8	12.1	7.3
エ (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	153	13.7	28.1	15.0	11.8	20.9	5.9	4.6
オ 病児・病後児保育事業を利用した	48	12.5	27.1	14.6	2.1	20.8	12.5	10.4
カ ベビーシッターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-
キ ファミリー・サポート・センターを利用した	2	-	100.0	-	-	-	-	-
ク その他	12	8.3	33.3	16.7	-	25.0	-	16.7

問 39-2 問 39-1で「イ」または「ウ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、できれば病児・病後児保育事業を利用したいと思いましたが。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児保育事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

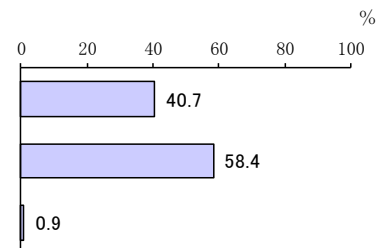
「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」の割合が40.7%、「利用したいとは思わない」の割合が58.4%となっています。

回答者数 = 327

できれば病児・病後児保育事業を利用したい

利用したいとは思わない

無回答



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、いずれも「利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。

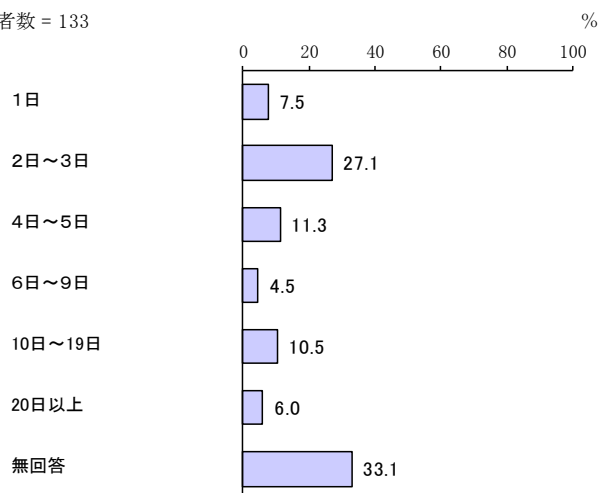
単位：％

区分	回答者数 (件)	できれば病児・病後 児保育事業を利用 したい	利用したいと思 わない	無回 答
フルタイム	152	45.4	53.9	0.7
パート・アルバイト等	160	38.8	60.0	1.3
就労していない	11	—	100.0	—

病児・病後児保育事業の利用希望日数

「2日～3日」の割合が27.1%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が11.3%、「10日～19日」の割合が10.5%となっています。

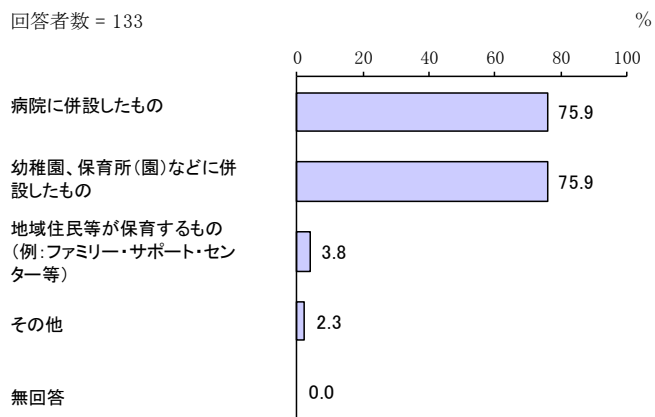
回答者数 = 133



問 39-3 問 39-2で「1. できれば病児・病後児保育事業を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病院に併設したもの」、「幼稚園、保育所(園)などに併設したもの」の割合が75.9%と最も高くなっています。

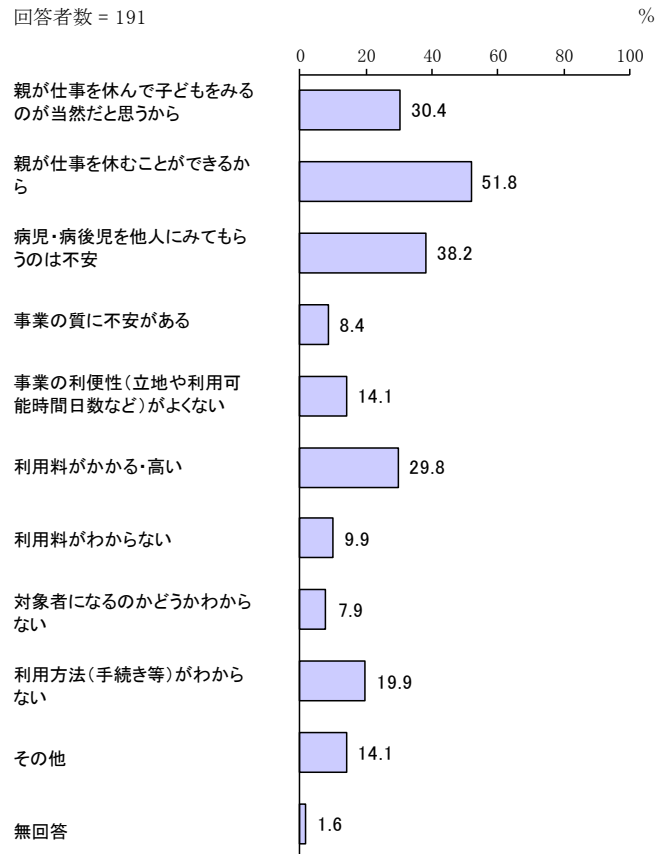
回答者数 = 133



問 39-4 問 39-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思う理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休むことができるから」の割合が51.8%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が38.2%、「親が仕事を休んで子どもをみるのが当然だと思うから」の割合が30.4%となっています。

回答者数 = 191

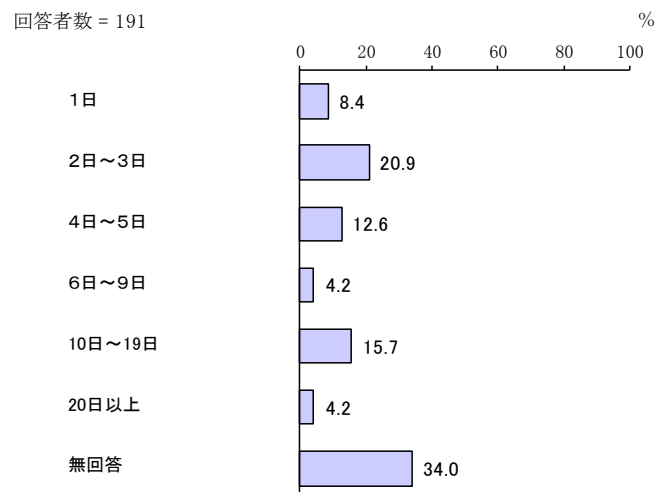


問 39-5 問 39-1で「エ」から「ク」のいずれかに○をつけた、就労している方にうかがいます。

その際、仕事が休めたら、何日仕事を休んでお子さんをみたいと思いましたか。「エ」から「ク」の日数のうち仕事を休んでお子さんをみたかったおおよその日数について数字でご記入ください。

「2日～3日」の割合が20.9%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が15.7%、「4日～5日」の割合が12.6%となっています。

回答者数 = 191

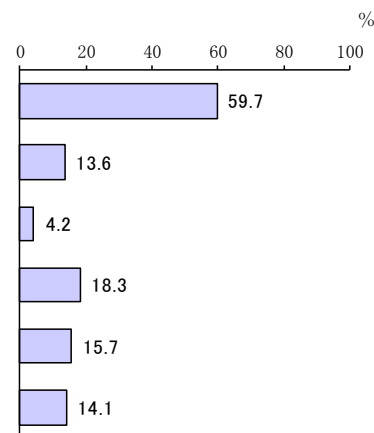


問 39-6 問 39-1で「エ」から「ク」のいずれかに○をつけた、就労している方にうかがいます。
休んでお子さんを見ることができなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「仕事が忙しくて休めない」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が 18.3%、「その他」の割合が 15.7%となっています。

回答者数 = 191

仕事が忙しくて休めない
子どもの看護を理由に仕事を休めない
自営業なので休めない
休暇日数が足りないので休めない
その他
無回答



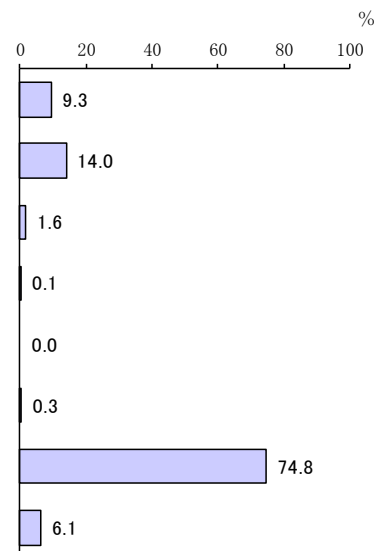
(9) 不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 40 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）で不定期に利用している事業はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が 74.8%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が 14.0%となっています。

回答者数 = 963

一時預かり
幼稚園の預かり保育
ファミリー・サポート・センター
宿泊保育(こどもショートステイ)
ベビーシッター
その他
利用していない
無回答



利用している事業別日数（年間）

利用している事業別日数（年間）について、『1. 一時預かり』で「1日」の割合が、『3. ファミリー・サポート・センター』で「2日～3日」の割合が、『2. 幼稚園の預かり保育』で「20日以上」の割合が高くなっています。

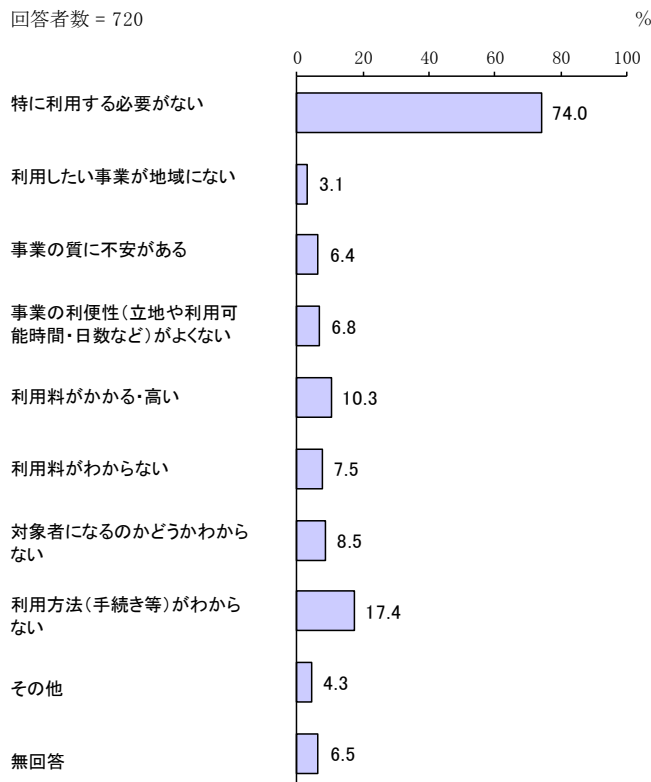
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日 ～ 3日	4日 ～ 5日	6日 ～ 9日	10日 ～ 19日	20日 以上	無回答
1. 一時預かり	90	37.8	8.9	10.0	5.6	11.1	16.7	10.0
2. 幼稚園の預かり保育	135	6.7	12.6	13.3	6.7	17.8	37.0	5.9
3. ファミリー・サポート・センター	15	6.7	26.7	6.7	13.3	13.3	20.0	13.3
4. 宿泊保育(こどもショートステイ)	1	-	-	-	-	-	-	100.0
5. ベビーシッター	-	-	-	-	-	-	-	-
6. その他	3	33.3	-	-	-	-	-	66.7

問40-1 問40で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が74.0%と最も高く、次いで「利用方法（手続き等）がわからない」の割合が17.4%、「利用料がかかる・高い」の割合が10.3%となっています。

回答者数 = 720

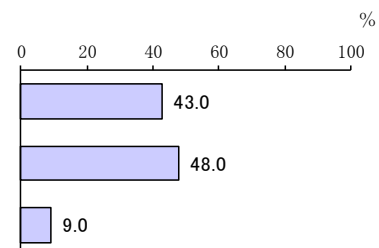


問 41 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）で、年間何日くらい不定期に事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、おおよその必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料が発生するものとします。

「利用したい」の割合が43.0%、「利用する必要はない」の割合が48.0%となっています。

回答者数 = 963

利用したい
利用する必要はない
無回答

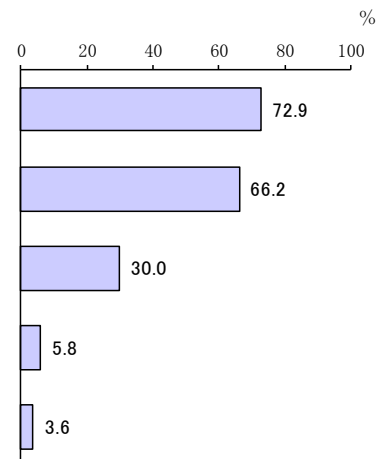


1. 利用したい理由

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が72.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」の割合が66.2%、「不定期の就労」の割合が30.0%となっています。

回答者数 = 414

私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等
不定期の就労
その他
無回答



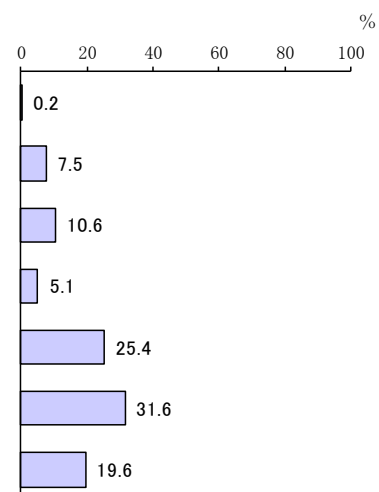
2. 利用希望日数

ア 合計日数

「20日以上」の割合が31.6%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が25.4%、「4日～5日」の割合が10.6%となっています。

回答者数 = 414

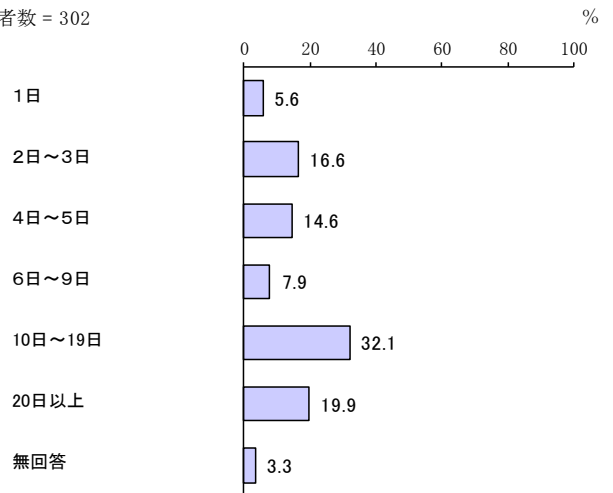
1日
2日～3日
4日～5日
6日～9日
10日～19日
20日以上
無回答



イ 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

「10日～19日」の割合が32.1%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が19.9%、「2日～3日」の割合が16.6%となっています。

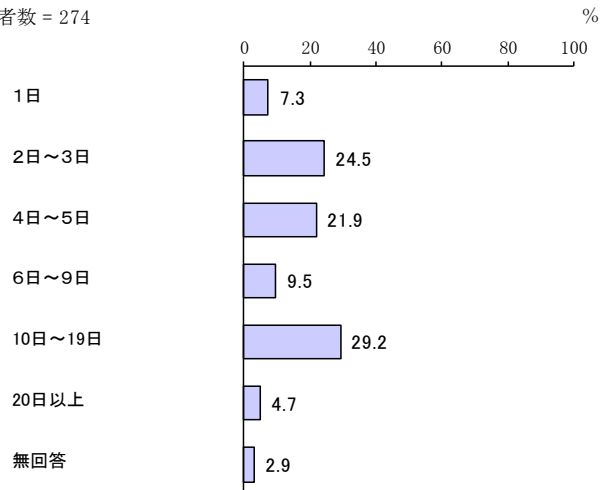
回答者数 = 302



ウ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等

「10日～19日」の割合が29.2%と最も高く、次いで「2日～3日」の割合が24.5%、「4日～5日」の割合が21.9%となっています。

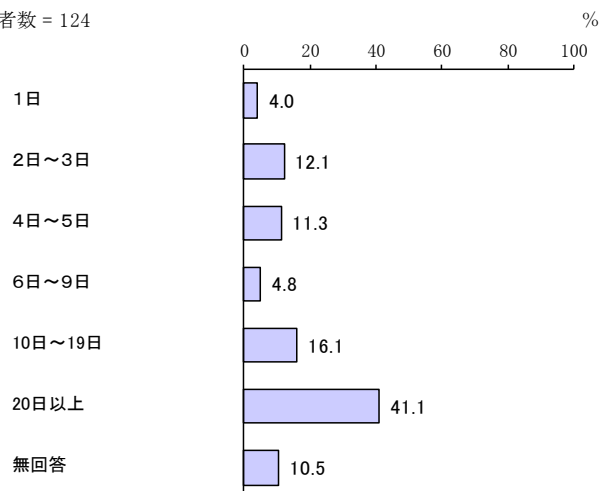
回答者数 = 274



エ 不定期の就労

「20日以上」の割合が41.1%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が16.1%、「2日～3日」の割合が12.1%となっています。

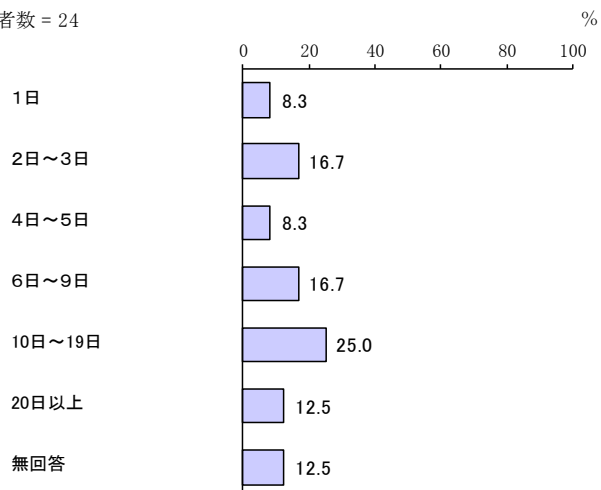
回答者数 = 124



オ その他

「10日～19日」の割合が25.0%と最も高く、次いで「2日～3日」、「6日～9日」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 24

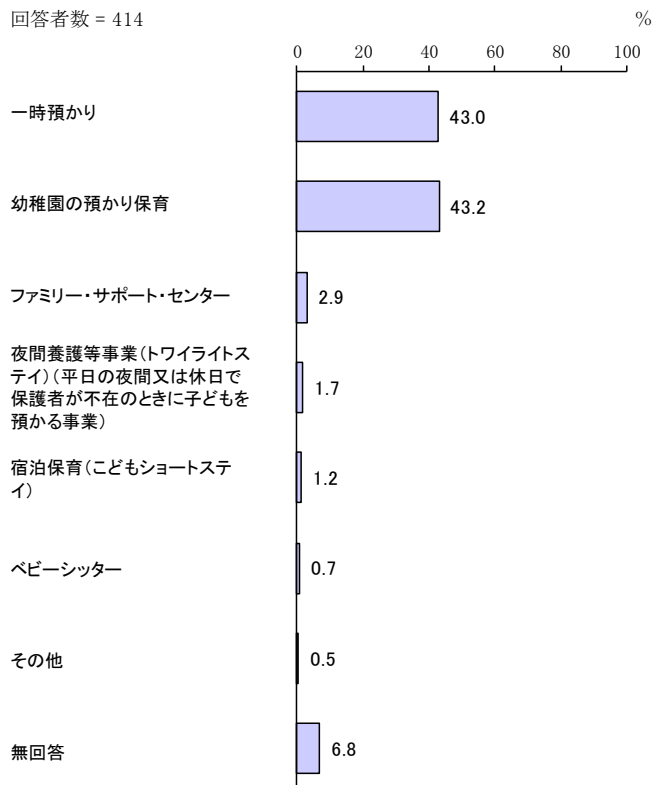


問41-1 問41で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問41の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思いますか。希望する順番に1から3番まで順位をつけて下の記入欄にご記入ください。

ア 1番

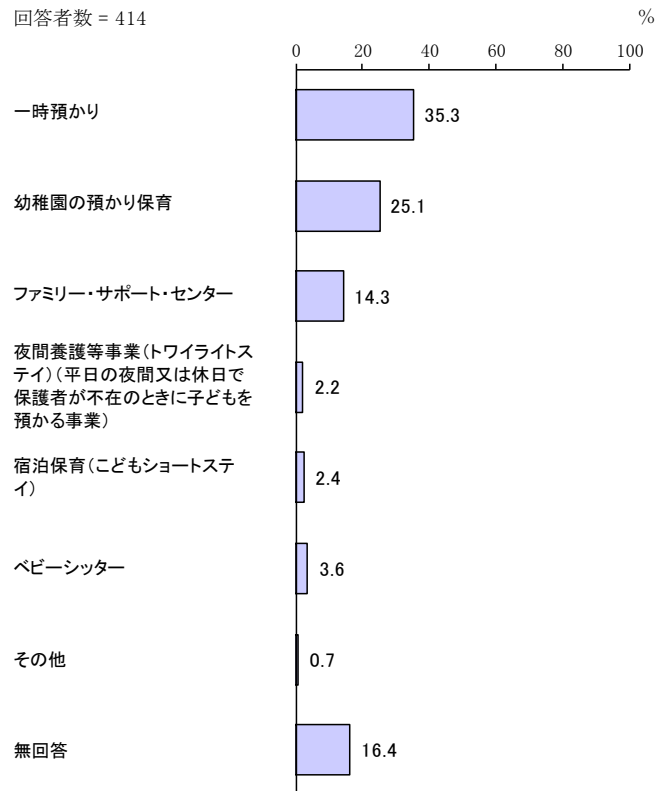
「幼稚園の預かり保育」の割合が43.2%と最も高く、次いで「一時預かり」の割合が43.0%となっています。

回答者数 = 414



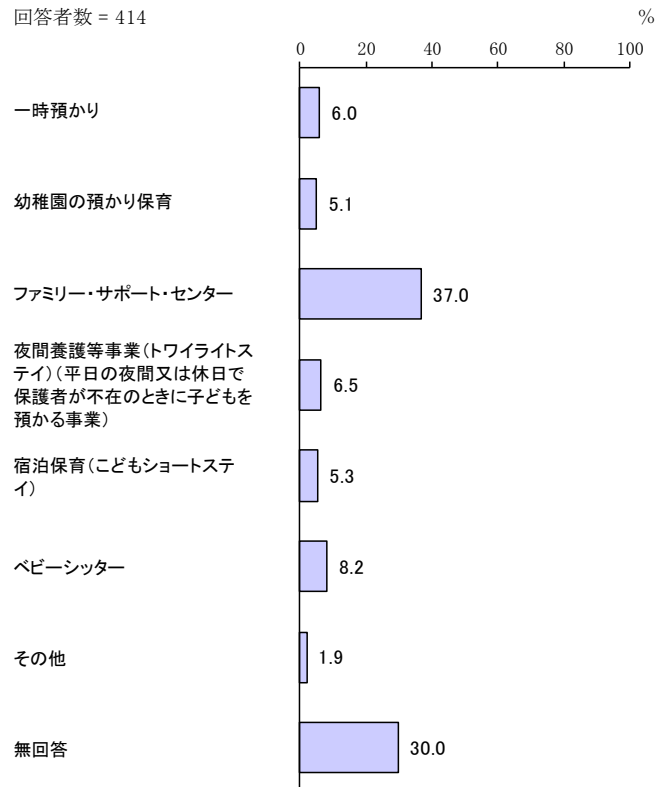
イ 2番

「一時預かり」の割合が35.3%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が25.1%、「ファミリー・サポート・センター」の割合が14.3%となっています。



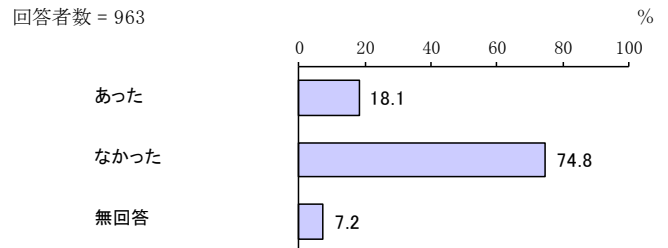
ウ 3番

「ファミリー・サポート・センター」の割合が37.0%と最も高くなっています。



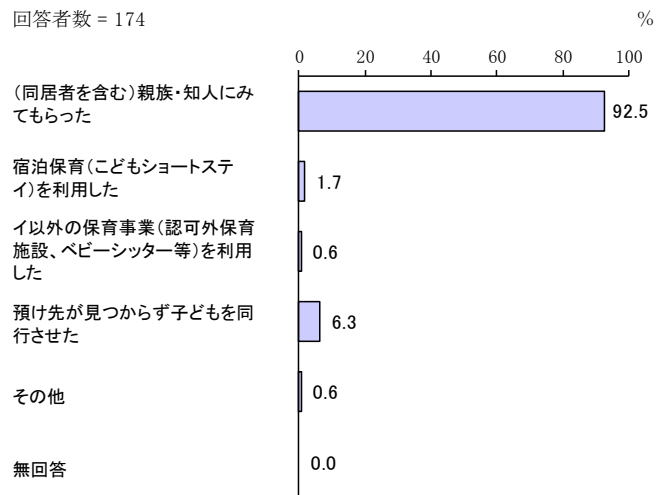
問 42 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）により、お子さんを泊りがけで保護者以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます）。あった場合は、この1年間の対応として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

「あった」の割合が18.1%、「なかった」の割合が74.8%となっています。



(1) 1年間の対処方法

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が92.5%と最も高くなっています。



(2) 対処方法別日数

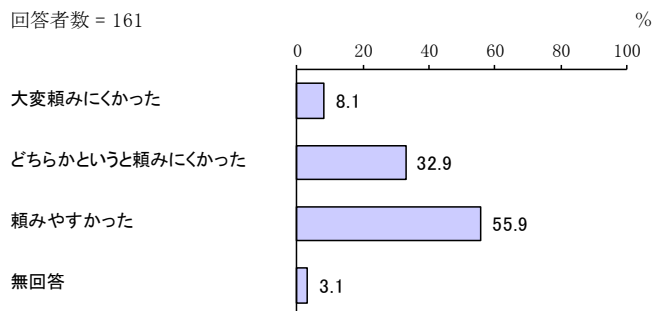
1年間の対処方法別日数について、『ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった』で「2泊～3泊」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1泊	2泊 ～ 3泊	4泊 ～ 5泊	6泊 ～ 9泊	10泊 ～ 19泊	20泊以上	無回答
ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	161	19.3	28.0	15.5	7.5	11.2	7.5	11.2
イ. 宿泊保育(こどもショートステイ)を利用した	3	-	-	-	-	-	-	100.0
ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	1	-	-	-	-	-	-	100.0
エ. 預け先が見つからず子どもを同行させた	11	18.2	54.5	9.1	-	-	-	18.2
オ. その他	1	-	-	-	-	-	-	100.0

問 42-1 問 42 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。その際、頼みやすかったですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「頼みやすかった」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「どちらかというと頼みにくかった」の割合が 32.9%となっています。

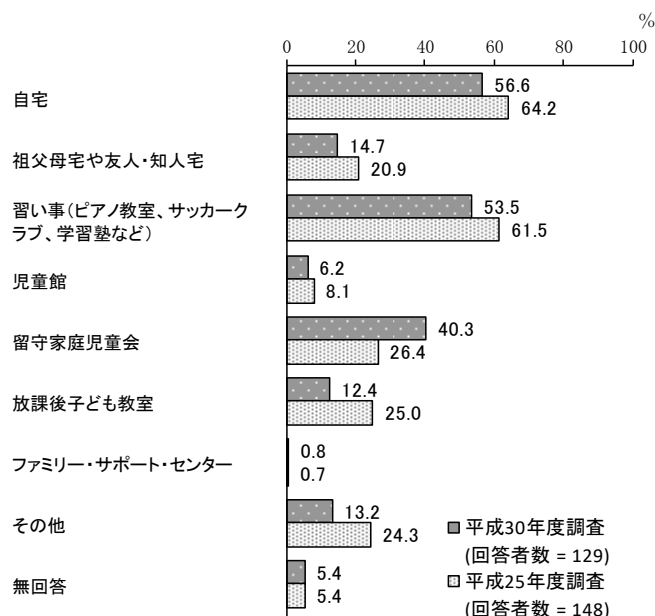


(10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について (宛名のお子さんが5歳以上である方)

問 43 お子さんについて、小学校低学年 (1~3年生) のうちは、放課後 (平日の小学校終了後) の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「留守家庭児童会」の場合には、利用を希望する時間も () 内に数字でご記入ください。時間は必ず (例) 17時 のように 24 時間制でご記入ください。

「自宅」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が 53.5%、「留守家庭児童会」の割合が 40.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「留守家庭児童会」の割合が増加しています。一方、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」「放課後子ども教室」の割合が減少しています。



放課後に過ごさせたい場所別 1 週当たり希望利用日数

『2. 祖父母宅や友人・知人宅』で「1日」の割合が、『3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』で「2日」の割合が、『5. 留守家庭児童会』で「5日」の割合が高くなっています。

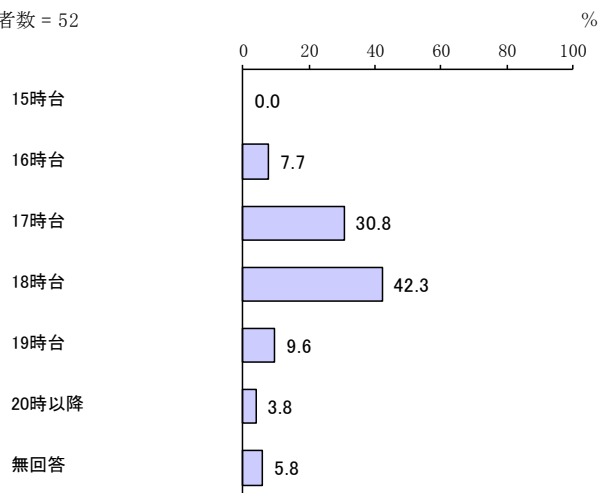
単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	73	19.2	15.1	20.5	12.3	27.4	5.5
2. 祖父母宅や友人・知人宅	19	68.4	31.6	-	-	-	-
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	69	37.7	42.0	15.9	1.4	1.4	1.4
4. 児童館	8	25.0	12.5	25.0	25.0	12.5	-
5. 留守家庭児童会	52	-	-	13.5	17.3	67.3	1.9
6. 放課後子ども教室	16	43.8	12.5	12.5	12.5	18.8	-
7. ファミリー・サポート・センター	1	-	-	-	100.0	-	-
8. その他	17	29.4	41.2	17.6	5.9	5.9	-

「5. 留守家庭児童会」の希望利用終了時刻

「18時台」の割合が42.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が30.8%となっています。

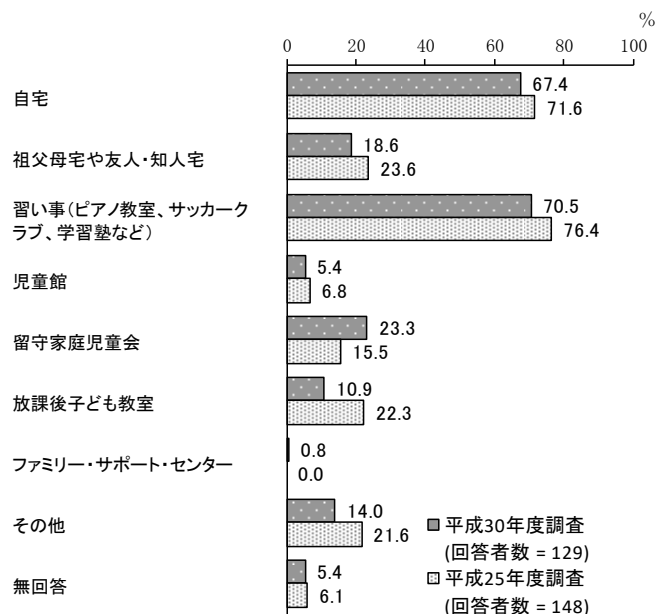
回答者数 = 52



問 44 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「留守家庭児童会」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）17時 のように24時間制でご記入ください。

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が70.5%と最も高く、次いで「自宅」の割合が67.4%、「留守家庭児童会」の割合が23.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「留守家庭児童会」の割合が増加しています。一方、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「放課後子ども教室」の割合が減少しています。



放課後に過ごさせたい場所別1週あたり希望利用日数

『2. 祖父母宅や友人・知人宅』で「1日」の割合が、『1. 自宅』『3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』で「2日」の割合が、『5. 留守家庭児童会』で「5日」の割合が高くなっています。

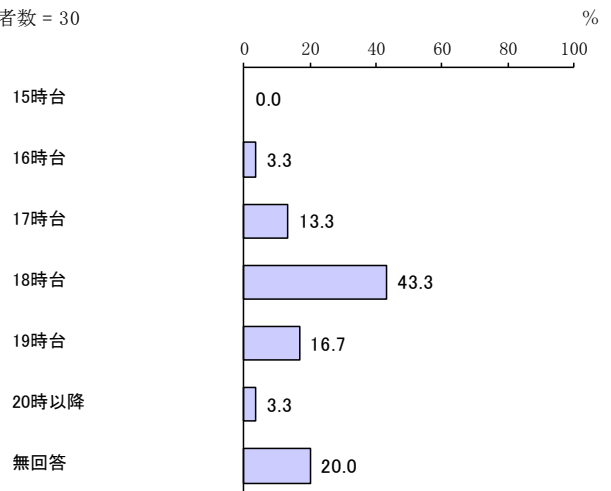
単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	87	19.5	28.7	14.9	4.6	25.3	6.9
2. 祖父母宅や友人・知人宅	24	54.2	29.2	12.5	-	4.2	-
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	91	12.1	49.5	28.6	5.5	2.2	2.2
4. 児童館	7	85.7	-	-	-	14.3	-
5. 留守家庭児童会	30	-	6.7	20.0	23.3	43.3	6.7
6. 放課後子ども教室	14	42.9	21.4	-	14.3	14.3	7.1
7. ファミリー・サポート・センター	1	-	-	-	100.0	-	-
8. その他	18	38.9	22.2	27.8	5.6	5.6	-

「5. 留守家庭児童会」の希望利用終了時刻

回答者数 = 30

「18 時台」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 16.7%、「17 時台」の割合が 13.3%となっています。

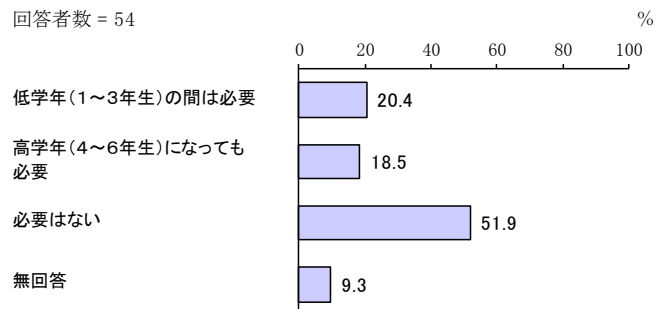


問 45 問 43 または問 44 で「5. 留守家庭児童会」に○をつけた方にうかがいます。お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、留守家庭児童会を利用する必要がありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用が必要な時間帯を、()内に(例)9時～17時のように24時間制でご記入ください。
なお、事業の利用には、一定の利用料が発生するものとします。

(1) 土曜日

「必要はない」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は必要」の割合が 20.4%、「高学年(4～6年生)になっても必要」の割合が 18.5%となっています。

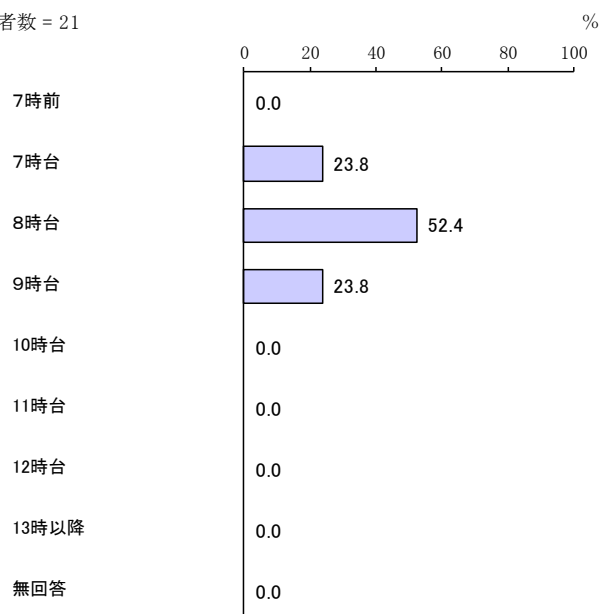
回答者数 = 54



ア 必要な時間帯 開始時刻

「8 時台」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「7 時台」、「9 時台」の割合が 23.8%となっています。

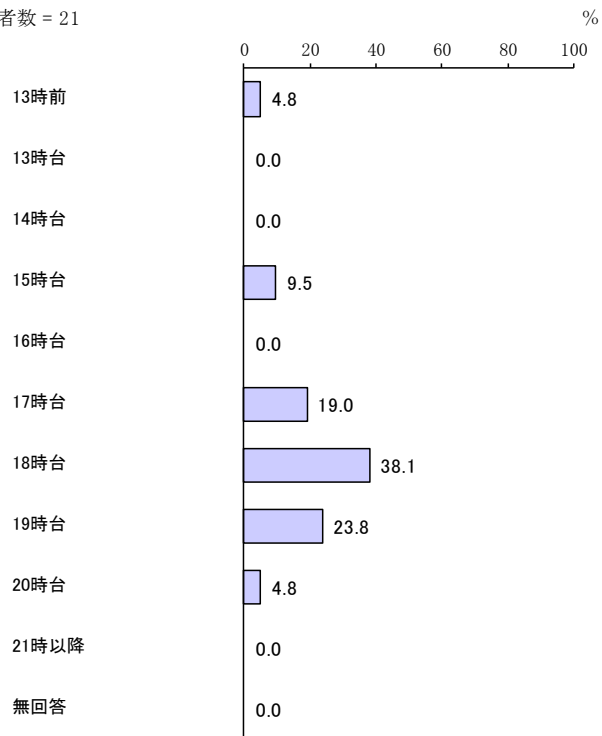
回答者数 = 21



イ 必要な時間帯 終了時刻

「18 時台」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 23.8%、「17 時台」の割合が 19.0%となっています。

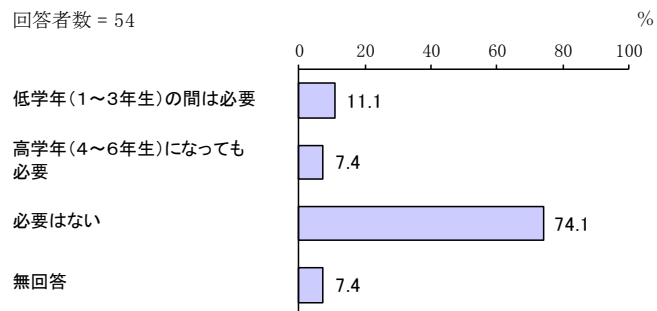
回答者数 = 21



(2) 日曜・祝日

「必要はない」の割合が 74.1%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は必要」の割合が 11.1%となっています。

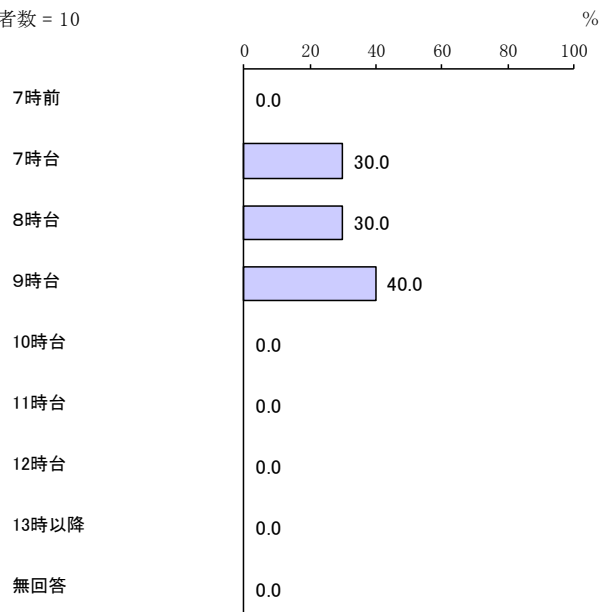
回答者数 = 54



ア 必要な時間帯 開始時刻

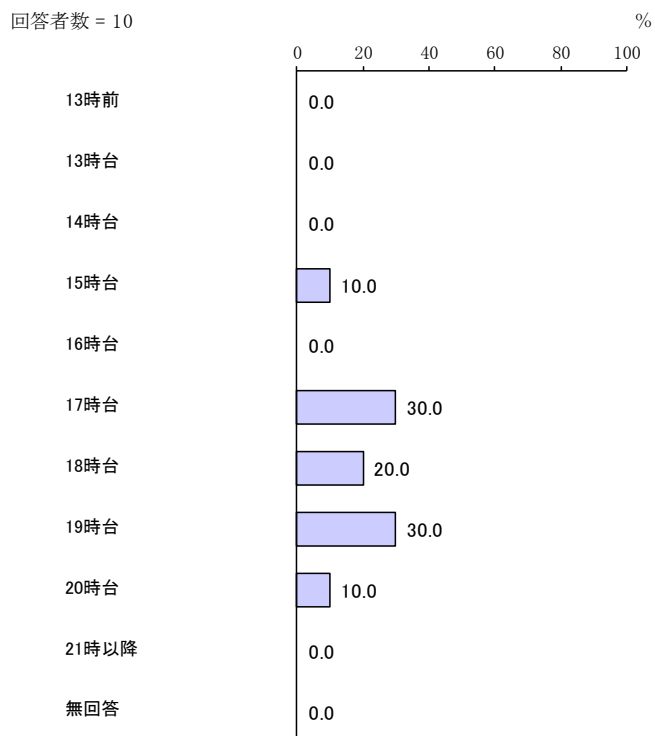
「9 時台」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「7 時台」、「8 時台」の割合が 30.0%となっています。

回答者数 = 10



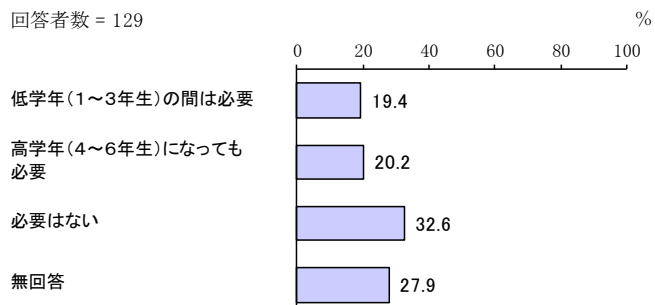
イ 必要な時間帯 終了時刻

「17時台」、「19時台」の割合が30.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が20.0%となっています。



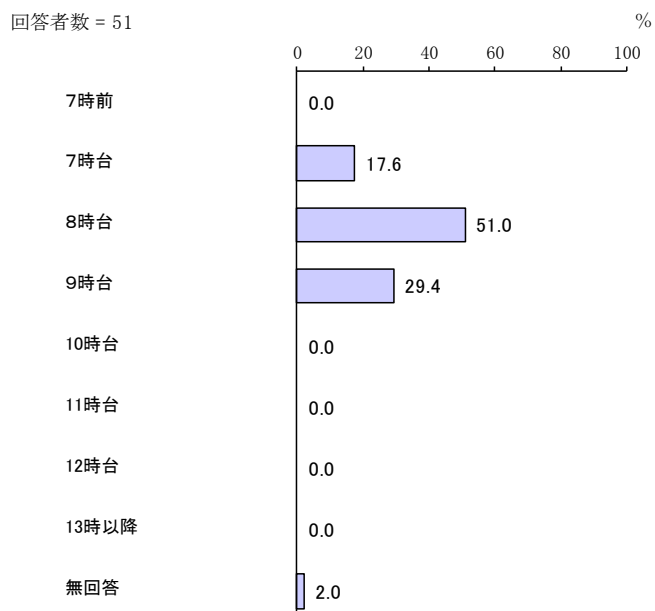
問 46 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に留守家庭児童会を利用する必要がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内に(例) 9時～17時 のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料が発生するものとします。

「必要はない」の割合が32.6%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても必要」の割合が20.2%、「低学年(1～3年生)の間は必要」の割合が19.4%となっています。



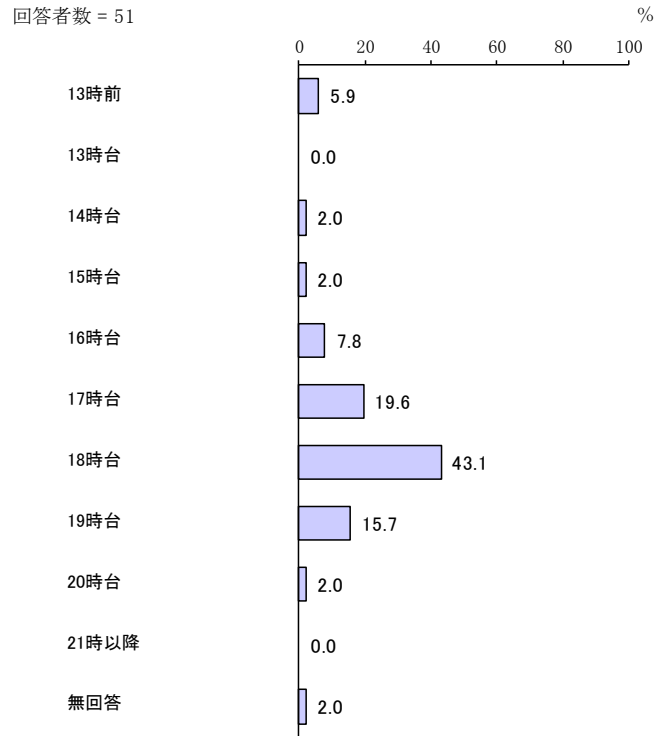
ア 必要な時間帯 開始時刻

「8時台」の割合が51.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が29.4%、「7時台」の割合が17.6%となっています。



イ 必要な時間帯 終了時刻

「18 時台」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 19.6%、「19 時台」の割合が 15.7%となっています。



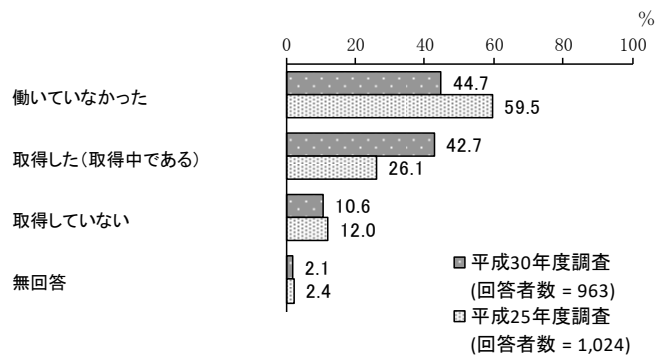
(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 47 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由の該当する番号を () 内に数字をご記入ください。

ア 母親

「働いていなかった」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が 42.7%、「取得していない」の割合が 10.6%となっています。

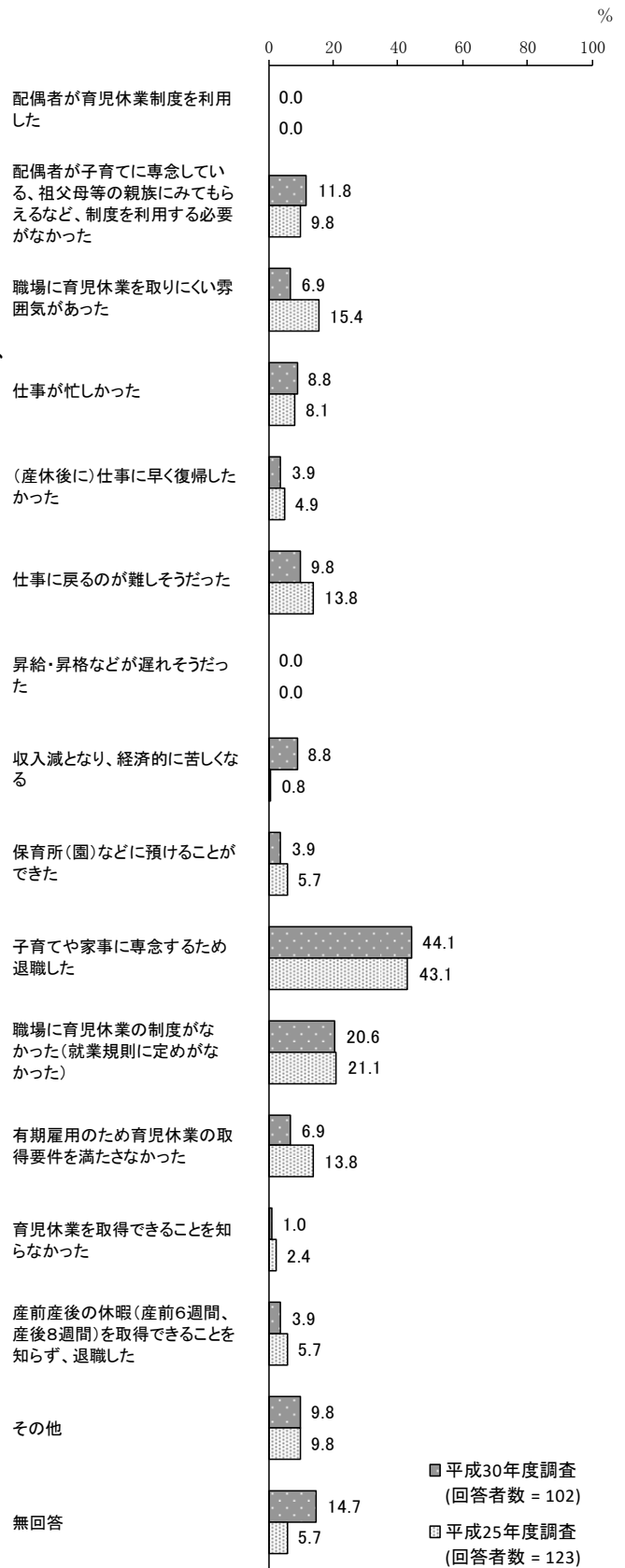
平成 25 年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



(ア) 取得していない理由

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が44.1%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」の割合が20.6%、「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が11.8%となっています。

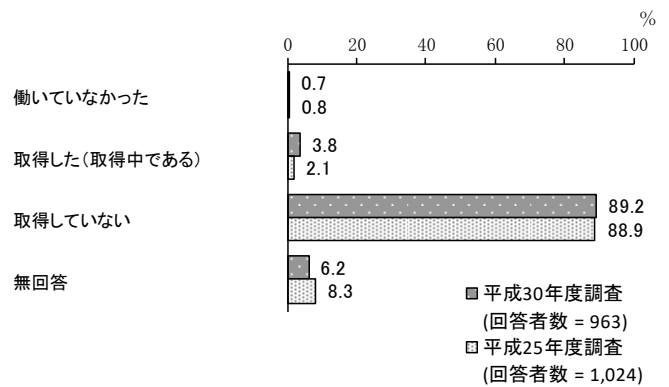
平成25年度調査と比較すると、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が増加しています。一方、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が減少しています。



イ 父親

「取得していない」の割合が89.2%と最も高くなっています。

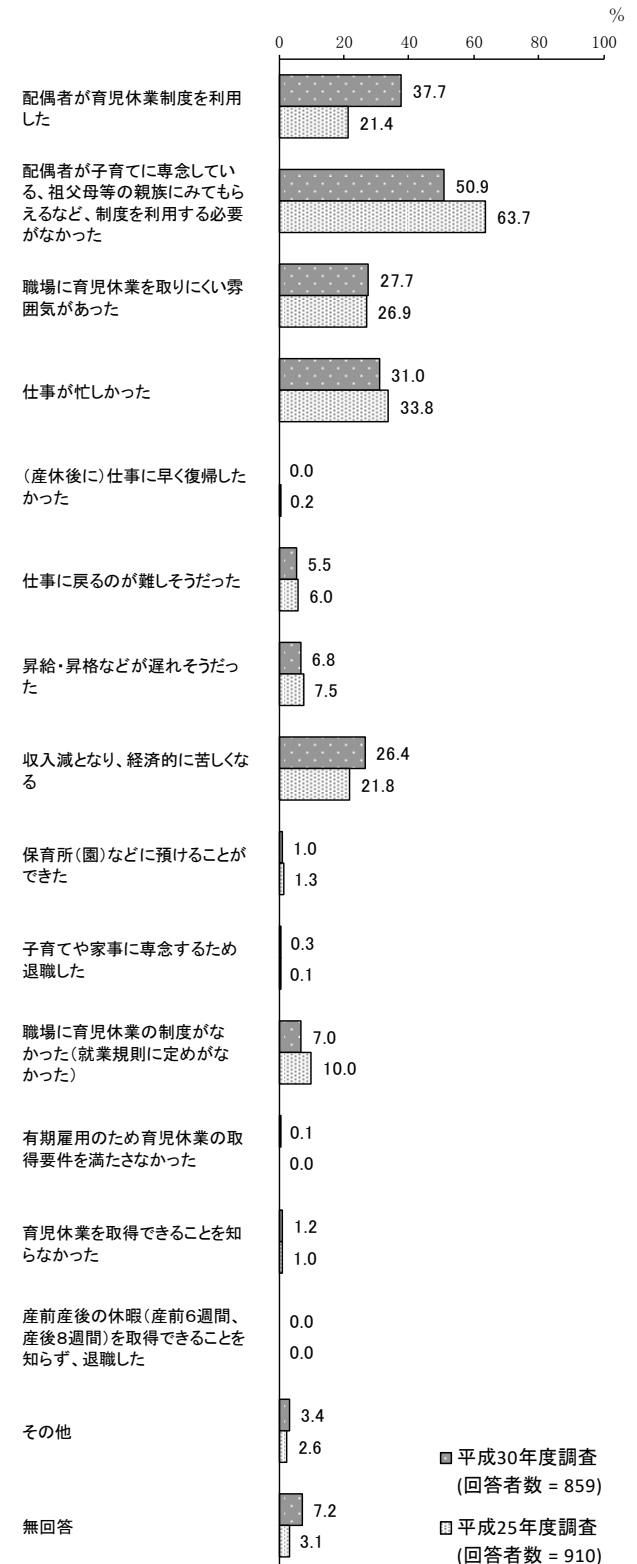
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(ア) 取得していない理由

「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が50.9%と最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が37.7%、「仕事が忙しかった」の割合が31.0%となっています。

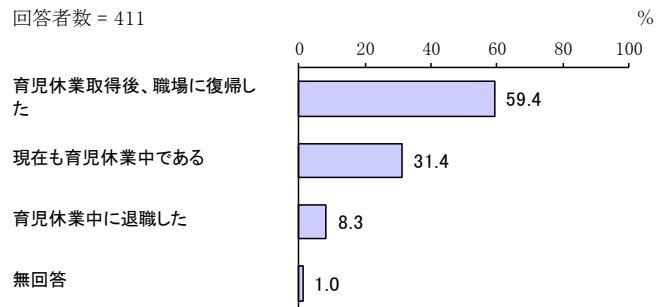
平成25年度調査と比較すると、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が増加しています。一方、「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。



問 47-1 問 47 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

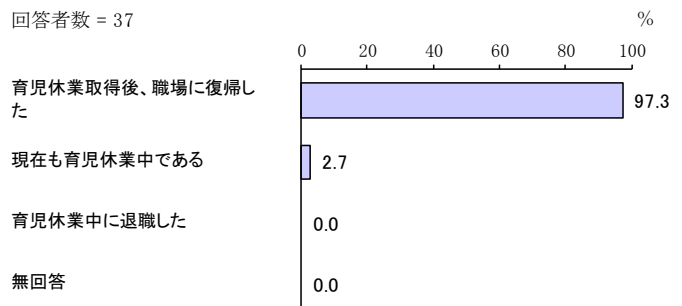
ア 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 31.4%となっています。



イ 父親

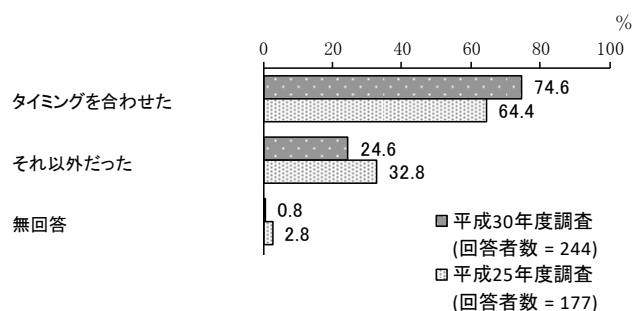
「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 97.3%と最も高くなっています。



問 47-2 問 47-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業から職場への復帰は、年度初めの 4 月の保育所（園）等の入所にタイミングを合わせましたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらかに○をつけてください。

ア 母親

「タイミングを合わせた」の割合が 74.6%、「それ以外だった」の割合が 24.6%となっています。平成 25 年度調査と比較すると、「タイミングを合わせた」の割合が増加しています。一方、「それ以外だった」の割合が減少しています。



イ 父親

有効回答がありませんでした。

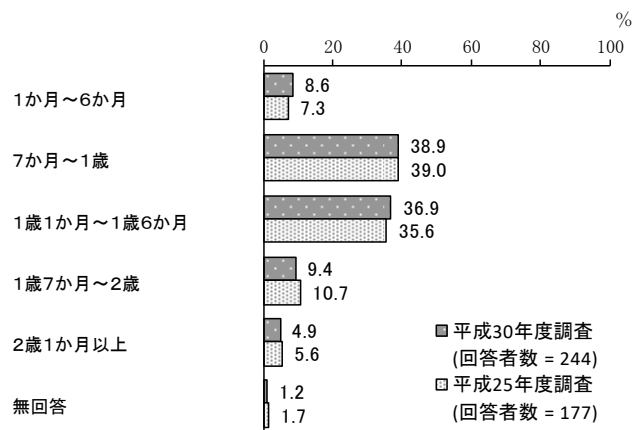
問 47-3 問 47-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

ア 母親

(ア) 実際の職場復帰

「7か月～1歳」の割合が38.9%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が36.9%となっています。

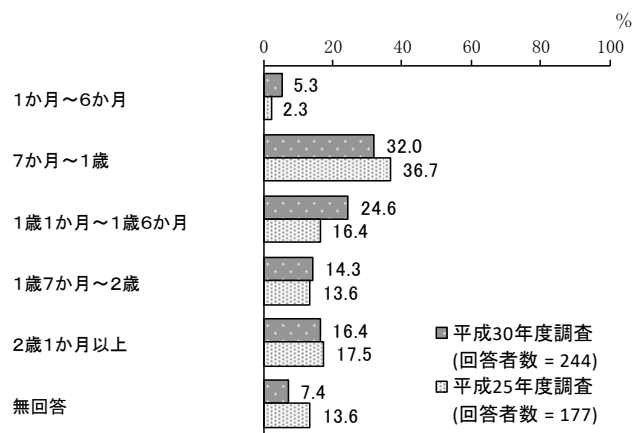
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 希望

「7か月～1歳」の割合が32.0%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が24.6%、「2歳1か月以上」の割合が16.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が増加しています。

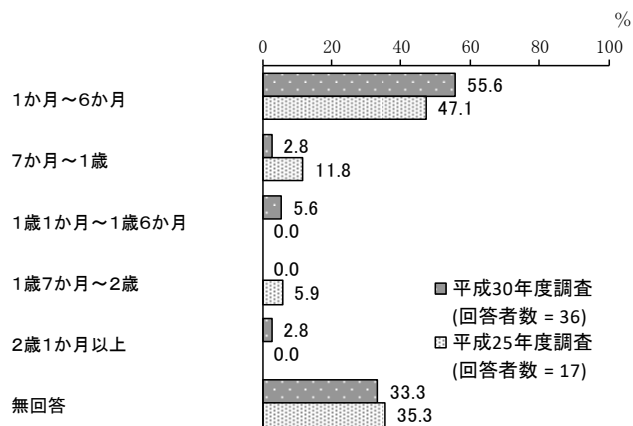


イ 父親

(ア) 実際の職場復帰

「1か月～6か月」の割合が55.6%と最も高くなっています。

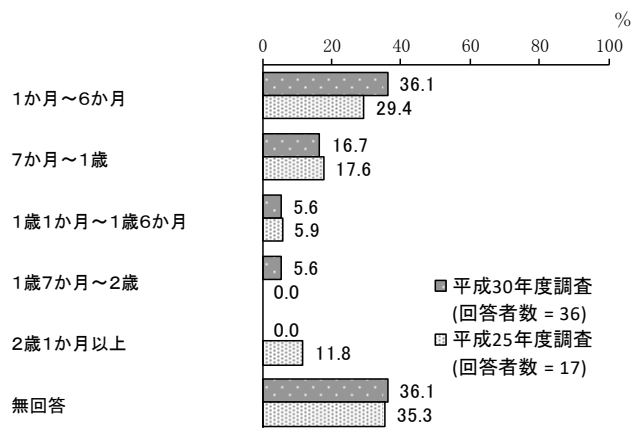
平成25年度調査と比較すると、「1か月～6か月」「1歳1か月～1歳6か月」の割合が増加しています。一方、「7か月～1歳」「1歳7か月～2歳」の割合が減少しています。



(イ) 希望

「1か月～6か月」の割合が36.1%と最も高く、次いで「7か月～1歳」の割合が16.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1か月～6か月」「1歳7か月～2歳」の割合が増加しています。一方、「2歳1か月以上」の割合が減少しています。

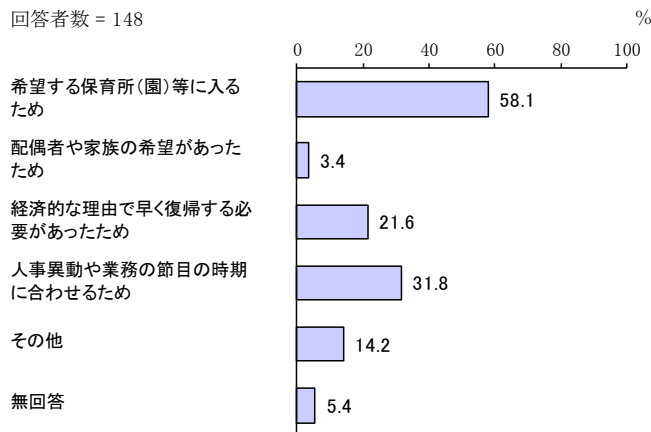


問 47-4 問 47-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方

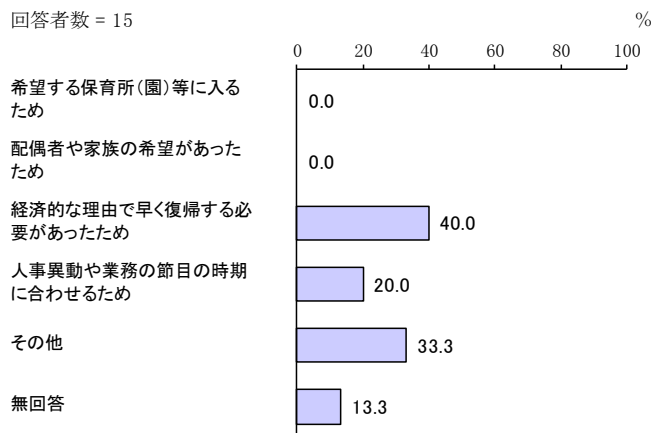
ア 母親

「希望する保育所（園）等に入るため」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 31.8%、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」の割合が 21.6%となっています。



イ 父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 20.0%となっています。



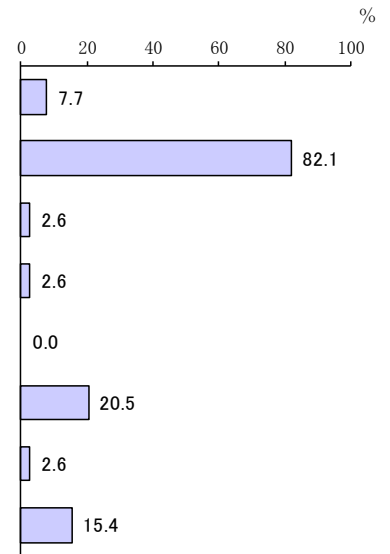
(2) 「希望」より遅く復帰した方

ア 母親

「希望する保育所(園)等に入れなかったため」の割合が82.1%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が20.5%となっています。

回答者数 = 39

- 子どもの成長を重視したため
- 希望する保育所(園)等に入れなかったため
- 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- 配偶者や家族の希望があったため
- 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 子どもをみてくれる人がいなかったため
- その他
- 無回答



イ 父親

有効回答がありませんでした。

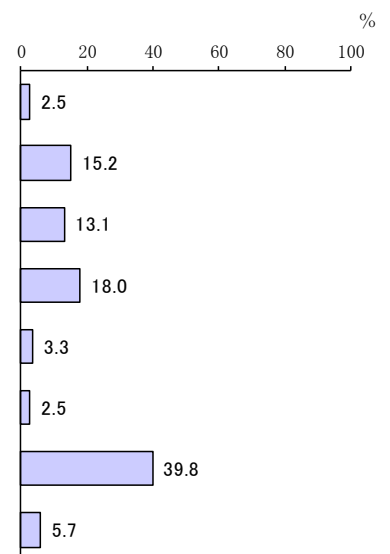
問 47-5 問 47-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

ア 母親

「3歳」の割合が39.8%と最も高く、次いで「1歳7か月～2歳」の割合が18.0%、「7か月～1歳」の割合が15.2%となっています。

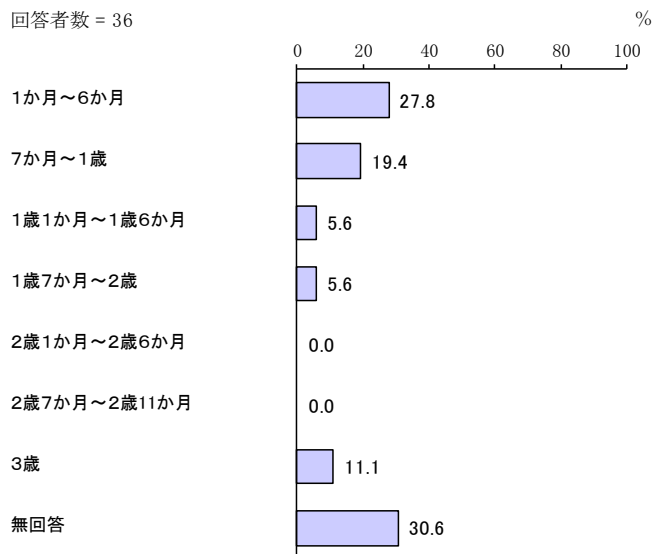
回答者数 = 244

- 1か月～6か月
- 7か月～1歳
- 1歳1か月～1歳6か月
- 1歳7か月～2歳
- 2歳1か月～2歳6か月
- 2歳7か月～2歳11か月
- 3歳
- 無回答



イ 父親

「1か月～6か月」の割合が27.8%と最も高く、次いで「7か月～1歳」の割合が19.4%、「3歳」の割合が11.1%となっています。

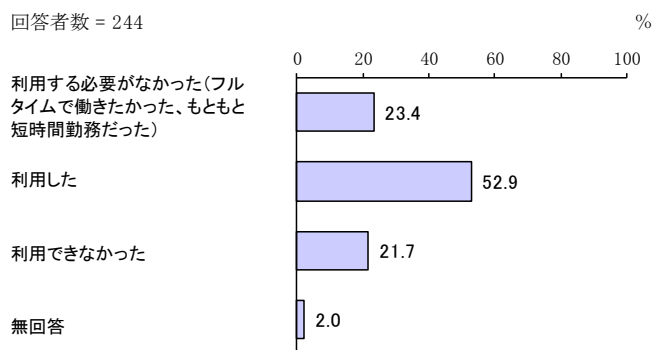


問 47-6 問 47-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

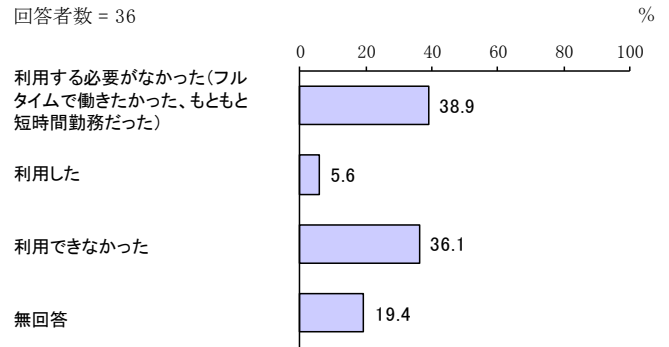
ア 母親

「利用した」の割合が52.9%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が23.4%、「利用できなかった」の割合が21.7%となっています。



イ 父親

「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が38.9%と最も高く、次いで「利用できなかった」の割合が36.1%となっています。

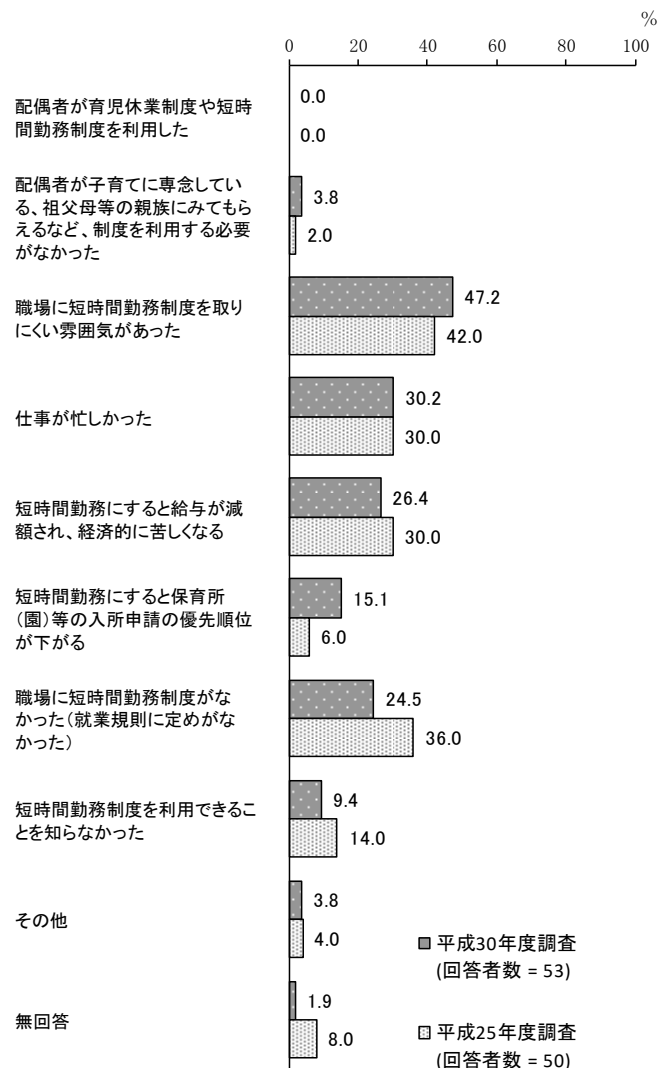


問 47-7 問 47-6で「3. 利用できなかった」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用できなかった理由は何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

ア 母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が47.2%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が30.2%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が26.4%となっています。

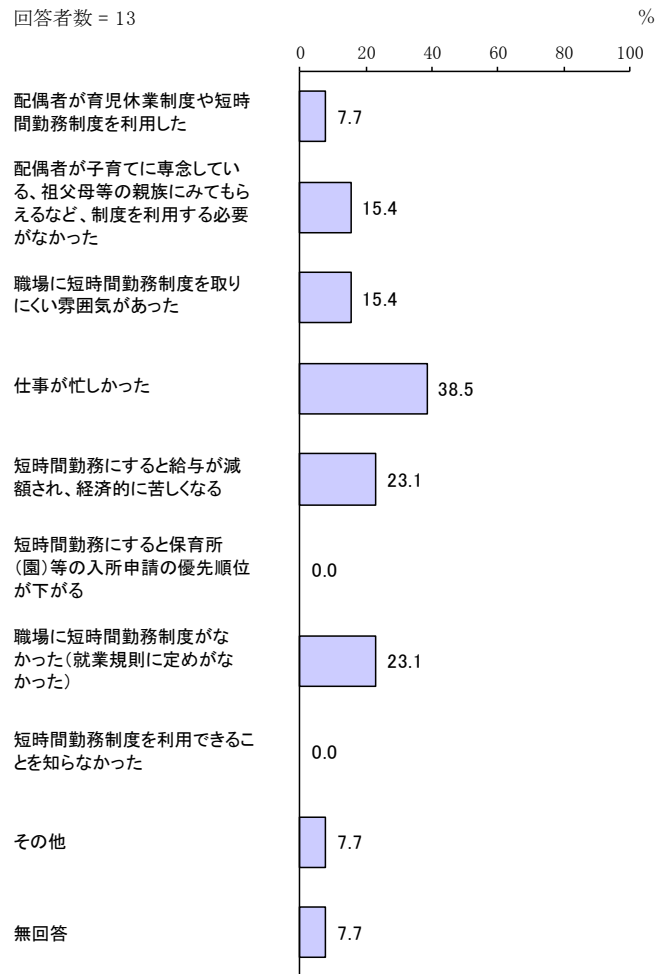
平成25年度調査と比較すると、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「短時間勤務にすると保育所(園)等の入所申請の優先順位が下がる」の割合が増加しています。一方、「職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」の割合が減少しています。



イ 父親

「仕事が忙しかった」の割合が38.5%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が23.1%となっています。

回答者数 = 13

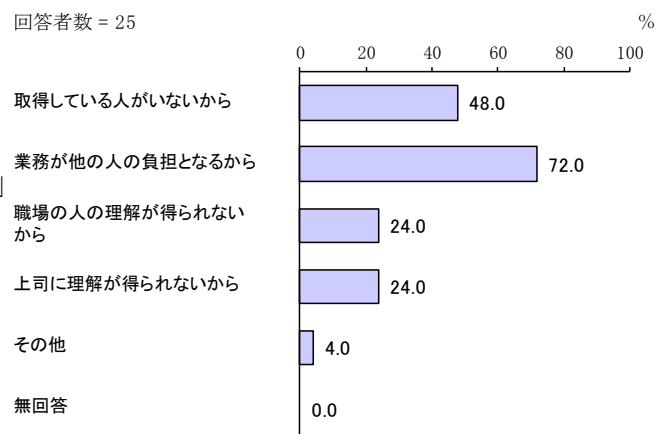


問 47-8 問 47-7 で「3. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」に○をつけた方にうかがいます。
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気と感じた理由は何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

ア 母親

「業務が他の人の負担となるから」の割合が72.0%と最も高く、次いで「取得している人がいないから」の割合が48.0%、「職場の人の理解が得られないから」、「上司に理解が得られないから」の割合が24.0%となっています。

回答者数 = 25



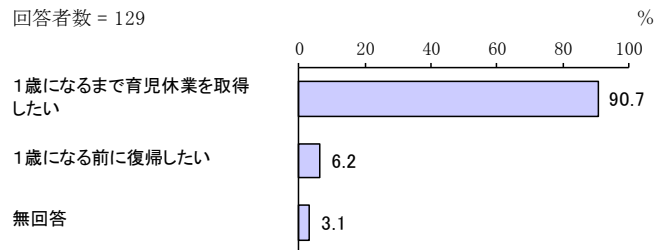
イ 父親

「業務が他の人の負担となるから」が2件となっています。「取得している人がいないから」が1件となっています。

問 47-9 問 47-1 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。
 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる保育所（園）等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ア 母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が90.7%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が6.2%となっています。



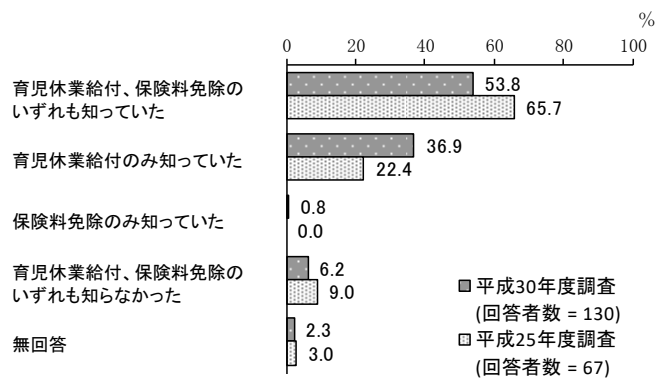
イ 父親

有効回答がありませんでした。

問 47-10 問 47-1 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。
 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

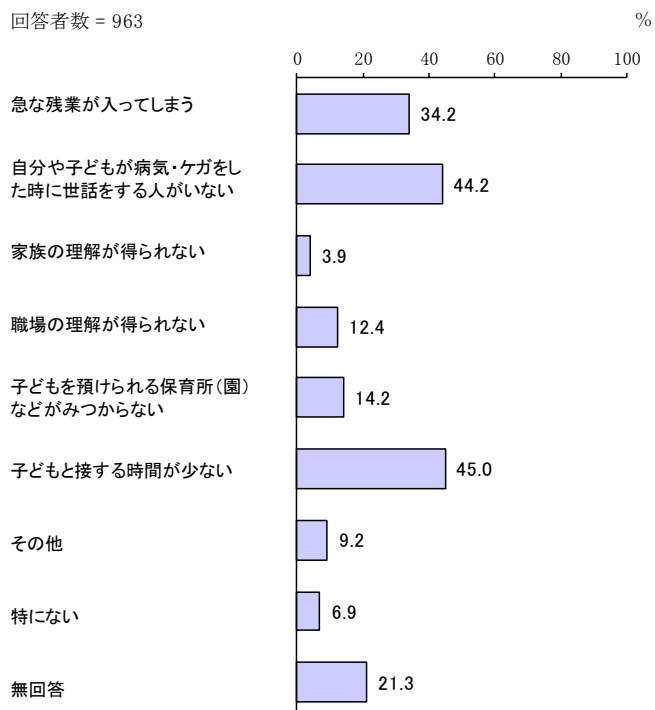
「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が53.8%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」の割合が36.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が増加しています。一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が減少しています。



問 47-11 仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていることがあれば、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

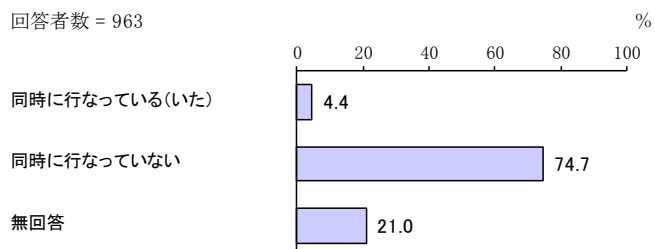
「子どもと接する時間が少ない」の割合が45.0%と最も高く、次いで「自分や子どもが病気・ケガをした時に世話をする人がいない」の割合が44.2%、「急な残業が入ってしまう」の割合が34.2%となっています。



問 47-12 子育てと介護を同時に行なっている(いた)ことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

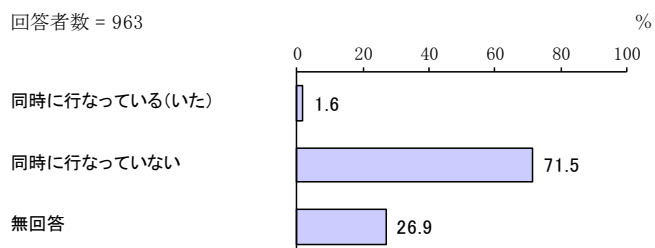
ア 母親

「同時に行なっている(いた)」の割合が4.4%、「同時に行なっていない」の割合が74.7%となっています。



イ 父親

「同時に行なっている(いた)」の割合が1.6%、「同時に行なっていない」の割合が71.5%となっています。

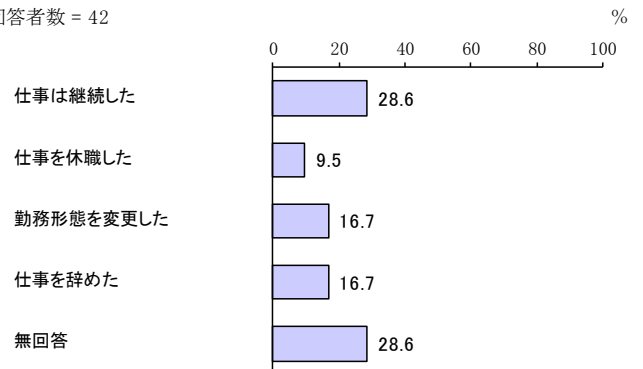


問 47-13 問 47-12 で「1. 同時に行なっている (いた)」に○をつけた方にかがいます。
 仕事についてはどうしましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

ア 母親

「仕事は継続した」の割合が 28.6% と最も高く、次いで「勤務形態を変更した」、「仕事を辞めた」の割合が 16.7% となっています。

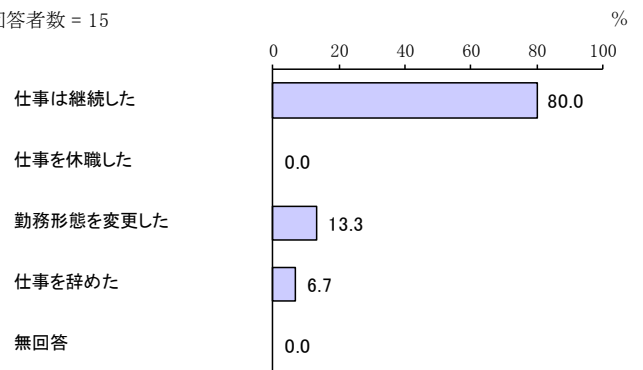
回答者数 = 42



イ 父親

「仕事は継続した」の割合が 80.0% と最も高く、次いで「勤務形態を変更した」の割合が 13.3% となっています。

回答者数 = 15



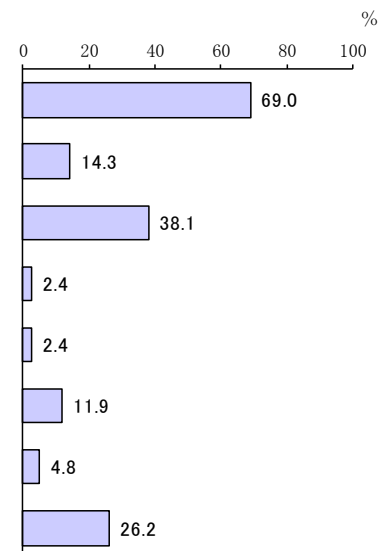
問 47-14 問 47-12 で「1. 同時に行なっている (いた)」に○をつけた方にかがいます。
 大変だと感じている (いた) 事があれば、当てはまる番号 3 つまで○をつけてください。

ア 母親

「精神的、体力的に苦しい」の割合が 69.0% と最も高く、次いで「子ども、親 (義親) の世話を十分にできない」の割合が 38.1%、「介護費用が家計を圧迫している」の割合が 14.3% となっています。

回答者数 = 42

精神的、体力的に苦しい
 介護費用が家計を圧迫している
 子ども、親 (義親) の世話を十分にできない
 職場の理解が得られない
 配偶者、兄弟、親戚等の理解が得られない
 誰に相談したらよいかわからない
 その他
 無回答

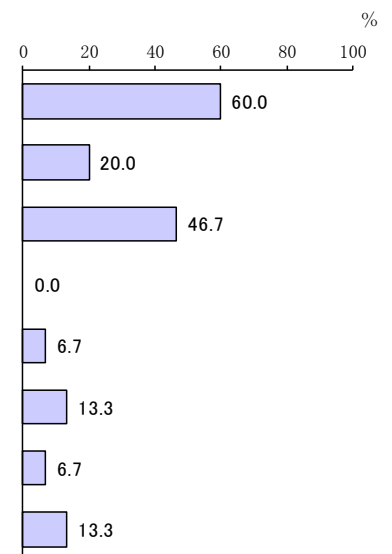


イ 父親

「精神的、体力的に苦しい」の割合が 60.0% と最も高く、次いで「子ども、親 (義親) の世話を十分にできない」の割合が 46.7%、「介護費用が家計を圧迫している」の割合が 20.0% となっています。

回答者数 = 15

精神的、体力的に苦しい
 介護費用が家計を圧迫している
 子ども、親 (義親) の世話を十分にできない
 職場の理解が得られない
 配偶者、兄弟、親戚等の理解が得られない
 誰に相談したらよいかわからない
 その他
 無回答

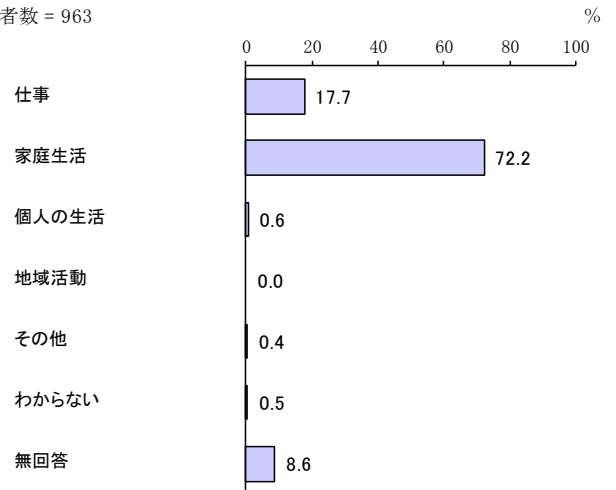


問 48 生活の中での、「仕事」、「家庭生活（家事や育児など）」、「個人の生活（趣味の活動や旅行など）」、「地域活動（ボランティアやサークル活動など）」の優先度についておたずねします。①あなたの現実（現状）として優先しているものと、②あなたが優先したいもの（希望）をそれぞれお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

①現実（現状）として優先しているもの

「家庭生活」の割合が72.2%と最も高く、次いで「仕事」の割合が17.7%となっています。

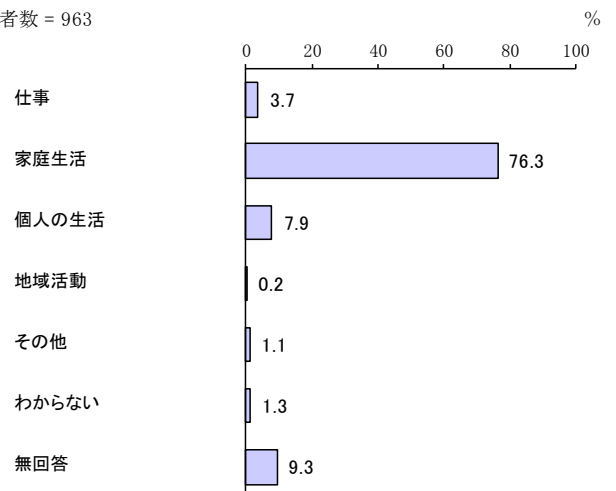
回答者数 = 963



②優先したいもの（希望）

「家庭生活」の割合が76.3%と最も高くなっています。

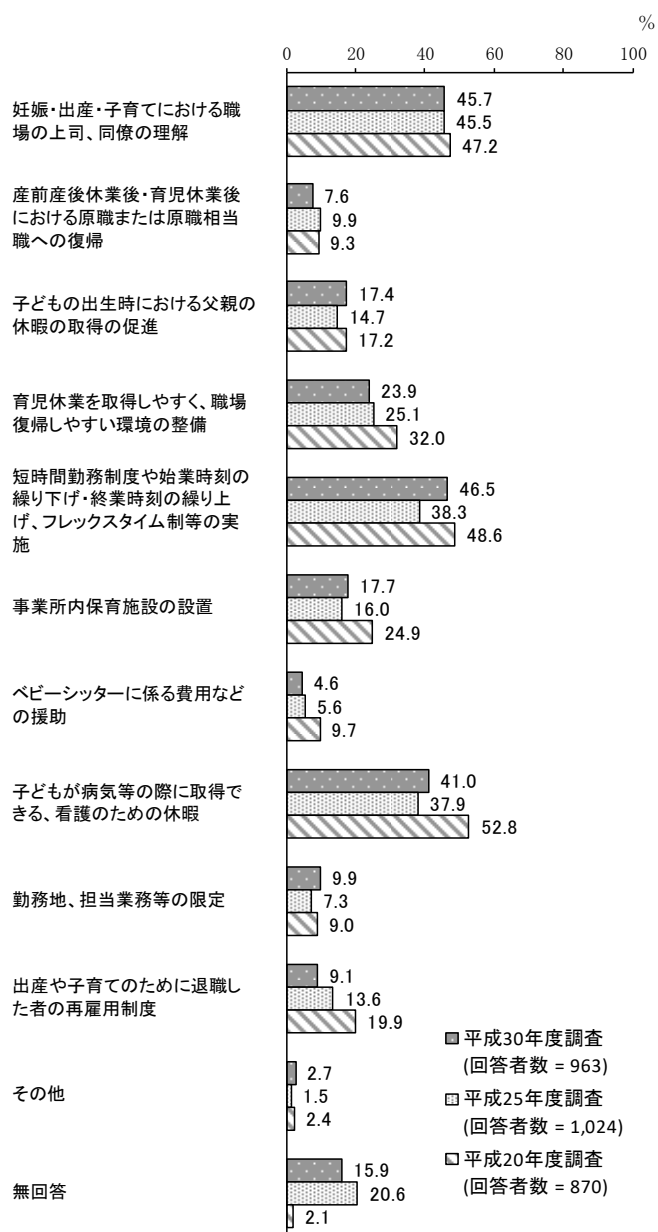
回答者数 = 963



問 49 仕事と子育てを両立するために、職場環境に求めることは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「短時間勤務制度や始業時刻の繰り下げ・終業時刻の繰り上げ、フレックスタイム制等の実施」の割合が46.5%と最も高く、次いで「妊娠・出産・子育てにおける職場の上司、同僚の理解」の割合が45.7%、「子どもが病気等の際に取得できる、看護のための休暇」の割合が41.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「短時間勤務制度や始業時刻の繰り下げ・終業時刻の繰り上げ、フレックスタイム制等の実施」の割合が増加しています。

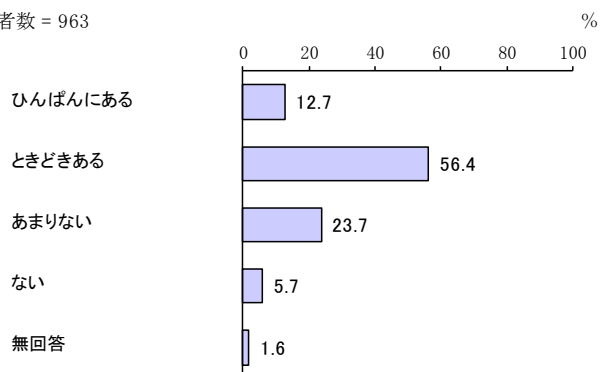


(12) 子育てのストレスについて

問 50 子育てにストレスを感じることがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「ときどきある」の割合が 56.4% と最も高く、次いで「あまりない」の割合が 23.7%、「ひんぱんにある」の割合が 12.7% となっています。

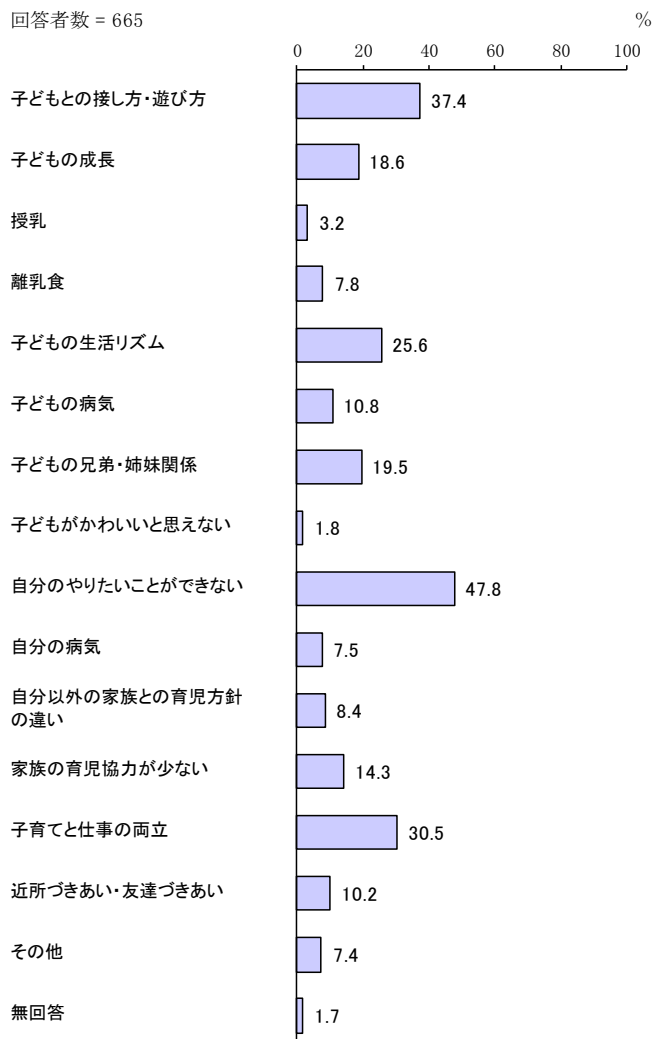
回答者数 = 963



問 50-1 問 50 で「1. ひんぱんにある」「2. ときどきある」に○をつけた方にかがいます。それはどんな時や、どんな事ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「自分のやりたいことができない」の割合が 47.8% と最も高く、次いで「子どもとの接し方・遊び方」の割合が 37.4%、「子育てと仕事の両立」の割合が 30.5% となっています。

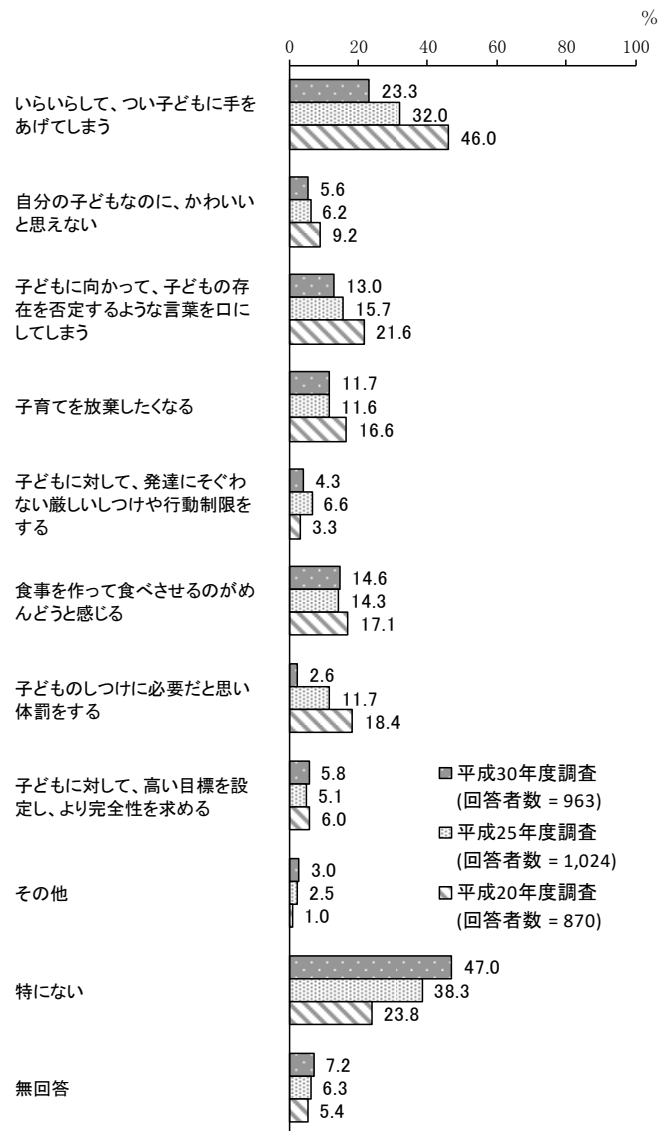
回答者数 = 665



問 51 あなたを含め、家族の誰かが、次のようなことをしたことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

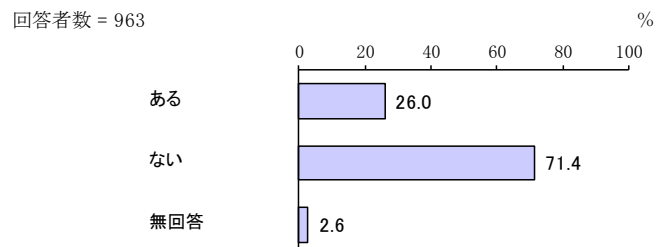
「特にない」の割合が47.0%と最も高く、次いで「いらいらして、つい子どもに手をあげてしまう」の割合が23.3%、「食事を作って食べさせるのがめんどろと感じる」の割合が14.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「特にない」の割合が増加しています。一方、「いらいらして、つい子どもに手をあげてしまう」「子どものしつけに必要なだと思ひ体罰をする」の割合が減少しています。



問 52 あなた自身が、子どものころに保護者から問51のような行為を受けたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

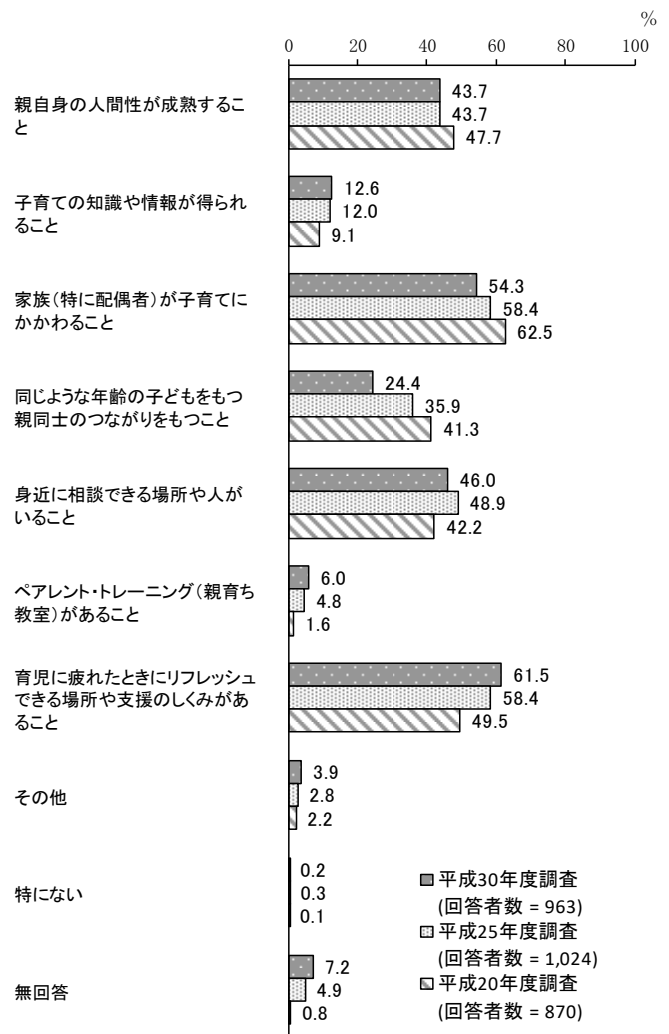
「ある」の割合が26.0%、「ない」の割合が71.4%となっています。



問 53 子どもの虐待を防止するために、何が必要だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「育児に疲れたときにリフレッシュできる場所や支援のしきみがあること」の割合が61.5%と最も高く、次いで「家族（特に配偶者）が子育てにかかわること」の割合が54.3%、「身近に相談できる場所や人がいること」の割合が46.0%となっています。

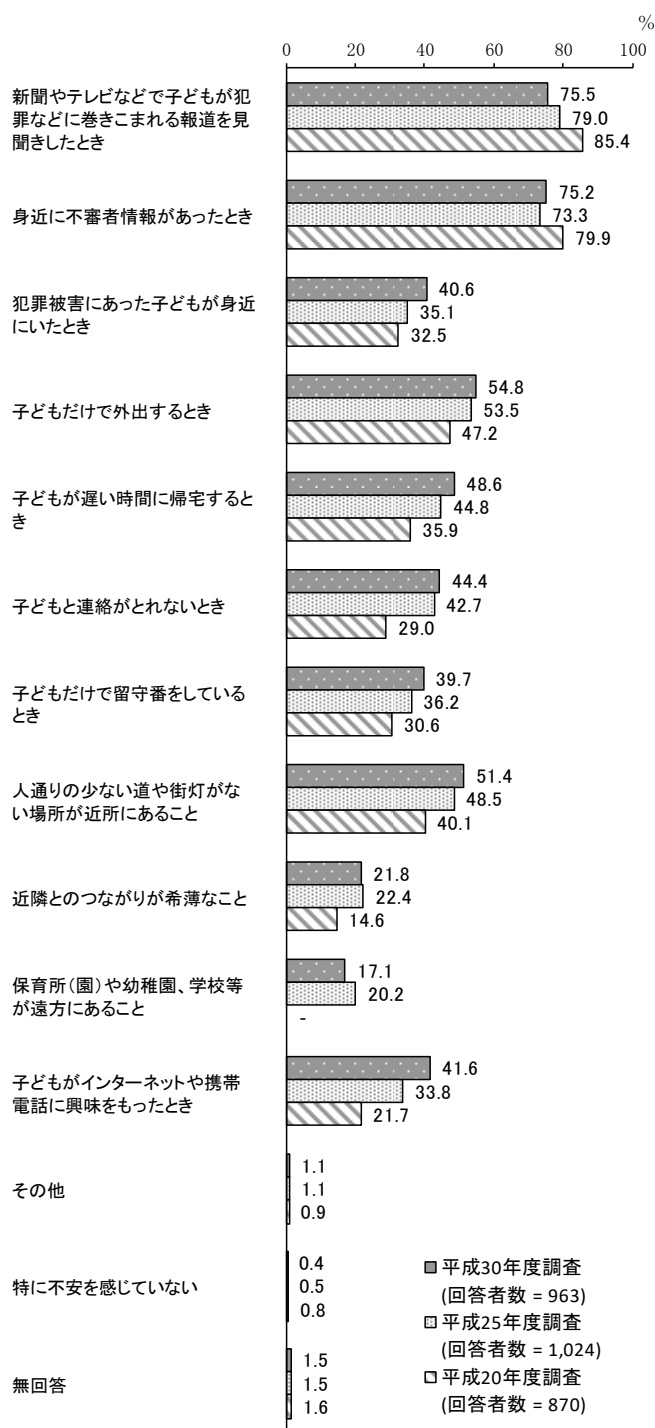
平成25年度調査と比較すると、「同じような年齢の子どもをもつ親同士のつながりをもつこと」の割合が減少しています。



問 54 あなたは、どのようなことで子どもの安心・安全がおびやかされるのではないかと不安に感じますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「新聞やテレビなどで子どもが犯罪などに巻きこまれる報道を見聞きしたとき」の割合が75.5%と最も高く、次いで「身近に不審者情報があったとき」の割合が75.2%、「子どもだけで外出するとき」の割合が54.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「犯罪被害にあった子どもが身近にいたとき」「子どもがインターネットや携帯電話に興味をもったとき」の割合が増加しています。



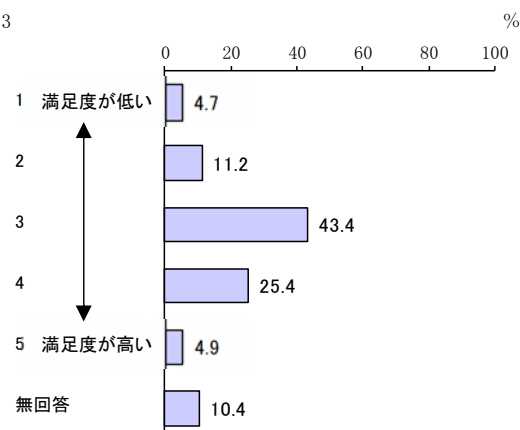
※「保育所(園)や幼稚園、学校等が遠方にあること」は平成20年度調査ではありませんでした。

(13) 子育て支援対策全般について

問 55 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に○をつけてください。

「3」の割合が43.4%と最も高く、次いで「4」の割合が25.4%、「2」の割合が11.2%となっています。

回答者数 = 963



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、4歳で「2」の割合が、0歳、1歳、3歳で「3」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	1	2	3	4	5	無回答
0歳	240	5.8	7.9	48.3	22.1	6.7	9.2
1歳	139	8.6	12.9	46.0	20.9	2.9	8.6
2歳	139	1.4	10.8	39.6	30.9	3.6	13.7
3歳	143	3.5	7.7	45.5	28.0	5.6	9.8
4歳	157	2.5	17.2	39.5	27.4	3.2	10.2
5歳	129	3.9	13.2	39.5	24.8	7.0	11.6
全体	963	4.7	11.2	43.4	25.4	4.9	10.4

問 56 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「保育所(園)、留守家庭児童会等の働きながら子どもを預ける施設を増やす」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「保護者が働いている、働いていないに関わらず、子どもを預けることができる幼保連携型認定こども園を増やす」の割合が 26.9%、「各種費用の減免制度や医療費の助成等の経済的支援」の割合が 21.5%となっています。

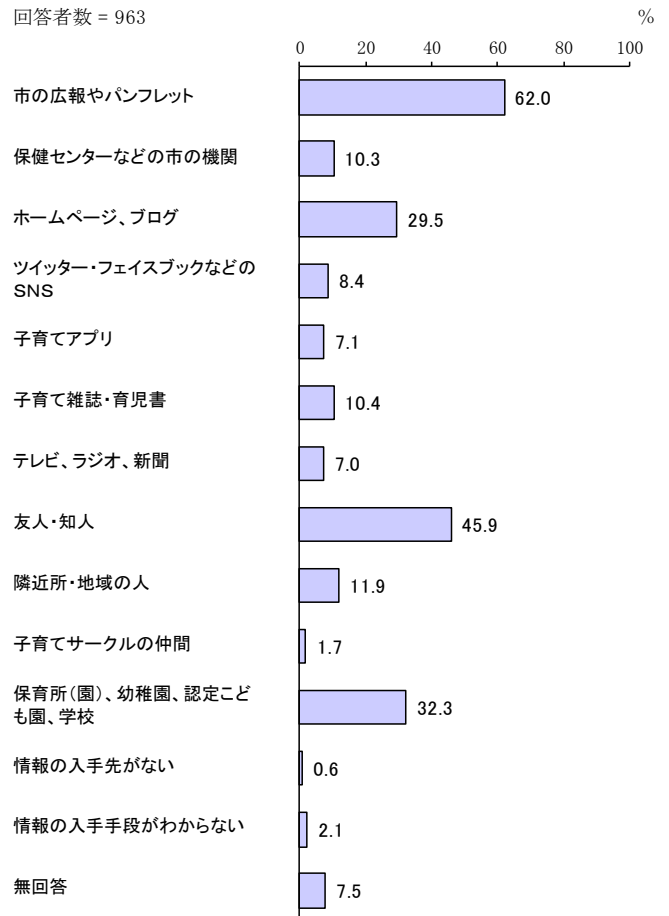
回答者数 = 963



問 57 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手していますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「市の広報やパンフレット」の割合が62.0%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が45.9%、「保育所（園）、幼稚園、認定こども園、学校」の割合が32.3%となっています。

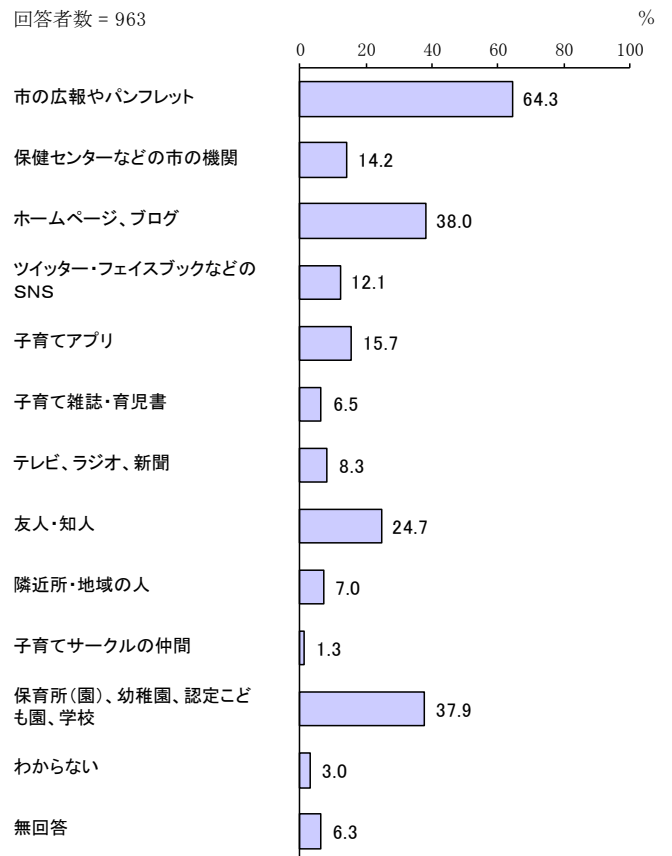
回答者数 = 963



問 58 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手したいですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「市の広報やパンフレット」の割合が64.3%と最も高く、次いで「ホームページ、ブログ」の割合が38.0%、「保育所（園）、幼稚園、認定こども園、学校」の割合が37.9%となっています。

回答者数 = 963



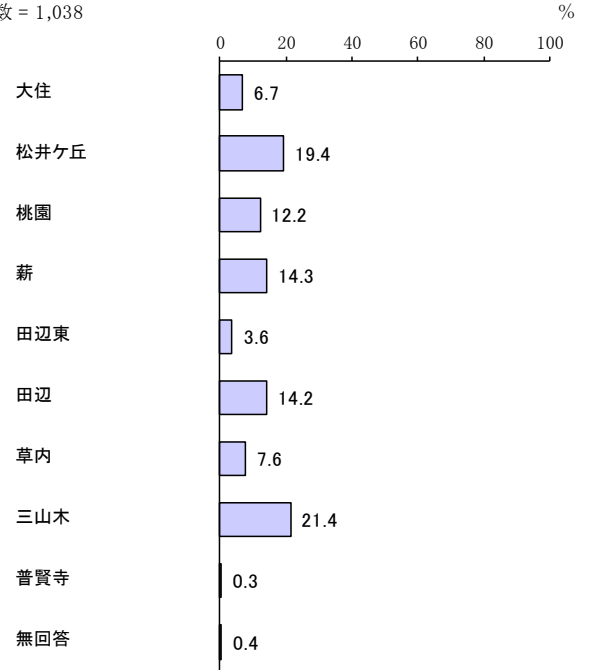
2 小学生

(1) 宛名のお子さんご家族の状況について

問1 宛名のお子さんのお住まいの小学校区はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「三山木」の割合が21.4%と最も高く、次いで「松井ヶ丘」の割合が19.4%、「薪」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 1,038

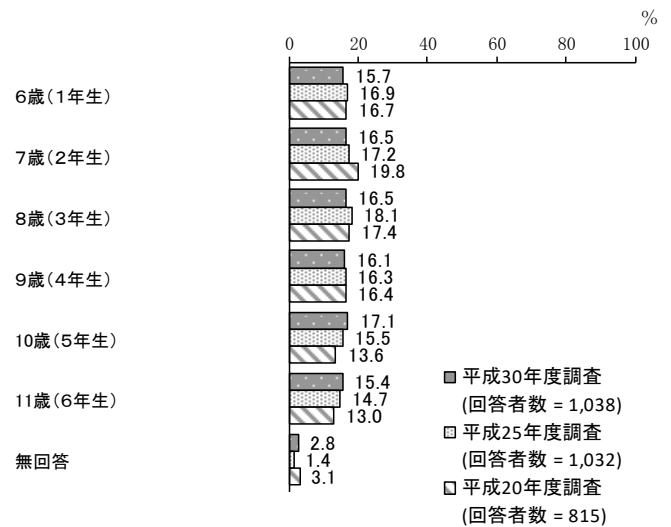


問2 宛名のお子さんの生年月を () 内に数字でご記入ください。

宛名のお子さんの年齢

「10歳(5年生)」の割合が17.1%と最も高く、次いで「7歳(2年生)」、「8歳(3年生)」の割合が16.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

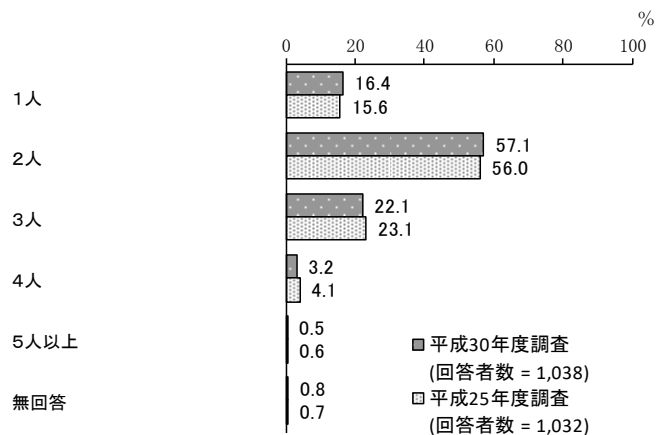


問3 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

ア 子どもの数

「2人」の割合が57.1%と最も高く、次いで「3人」の割合が22.1%、「1人」の割合が16.4%となっています。

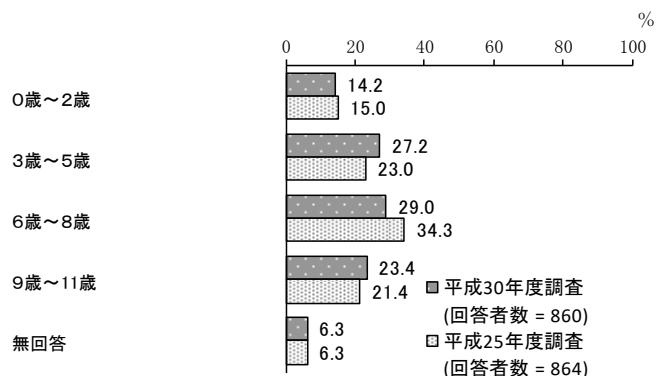
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ 末子の年齢

「6歳～8歳」の割合が29.0%と最も高く、次いで「3歳～5歳」の割合が27.2%、「9歳～11歳」の割合が23.4%となっています。

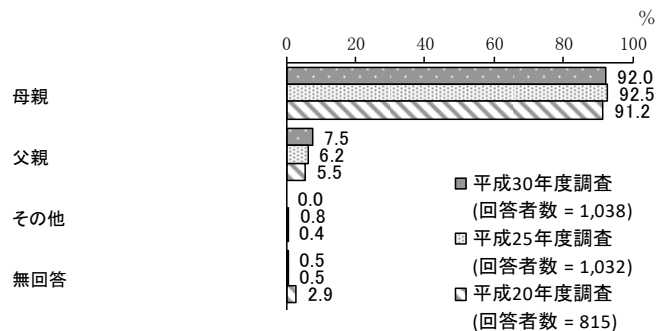
平成25年度調査と比較すると、「6歳～8歳」の割合が減少しています。



問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

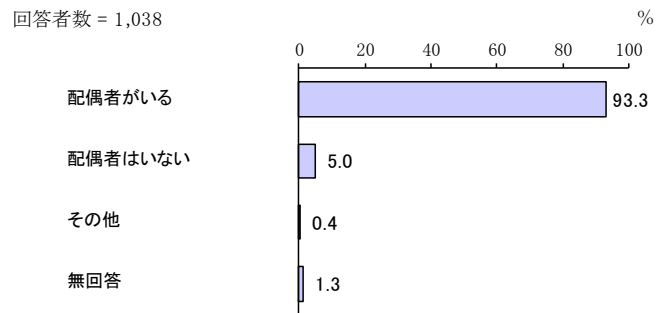
「母親」の割合が92.0%、「父親」の割合が7.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

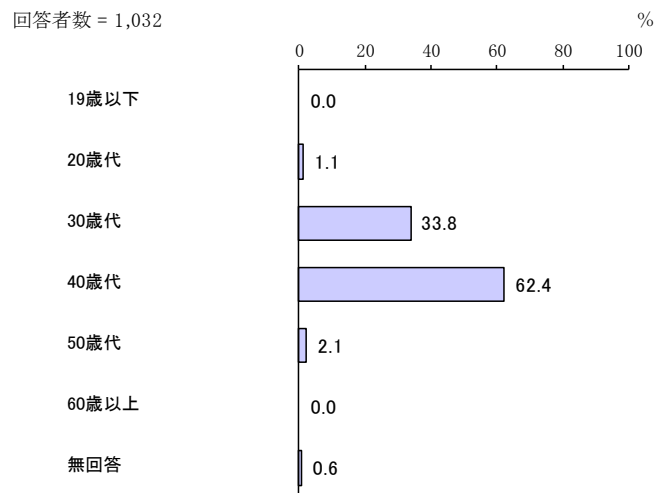
「配偶者がいる」の割合が93.3%、「配偶者がいない」の割合が5.0%となっています。



問6 母親、父親の該当する年齢階層についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

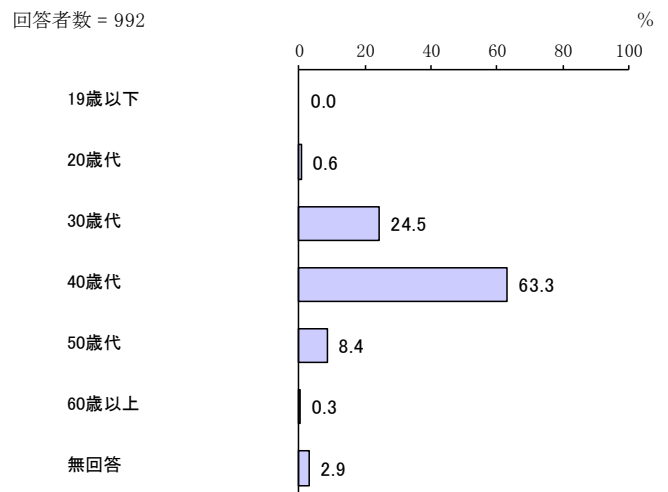
ア 母親

「40歳代」の割合が62.4%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が33.8%となっています。



イ 父親

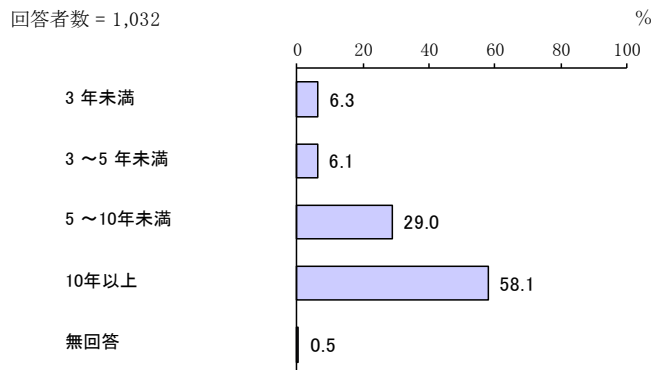
「40歳代」の割合が63.3%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が24.5%となっています。



問7 母親と父親の本市での居住年数をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

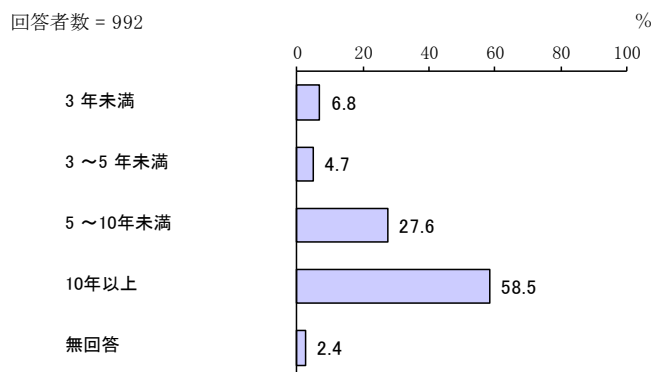
ア 母親

「10年以上」の割合が58.1%と最も高く、次いで「5～10年未満」の割合が29.0%となっています。



イ 父親

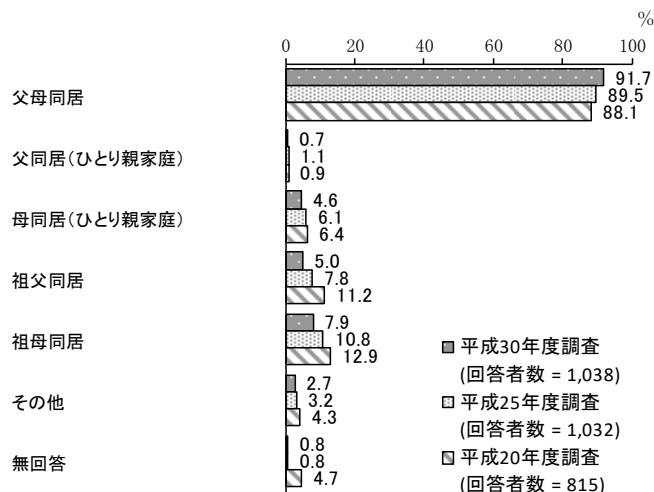
「10年以上」の割合が58.5%と最も高く、次いで「5～10年未満」の割合が27.6%となっています。



問8 お子さんとの同居の状況について当てはまる番号すべてに○をつけてください。続柄はお子さんからみた関係です。

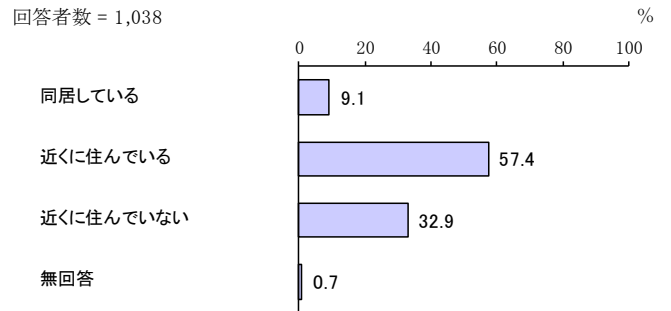
「父母同居」の割合が91.7%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問9 お子さんの祖父母が近くにお住まいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。近くとは、概ね30分程度で行き来できる範囲です。

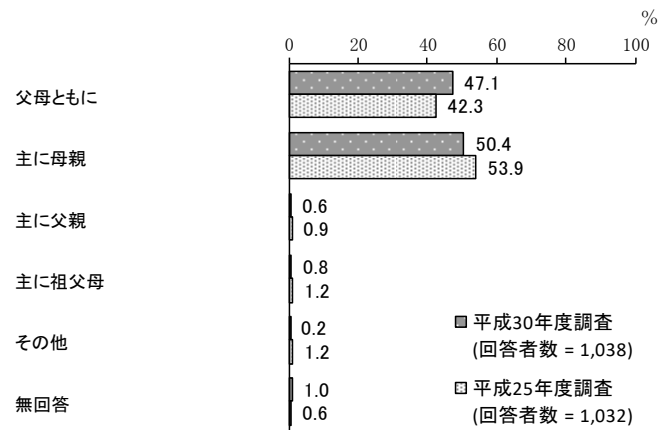
「近くに住んでいる」の割合が57.4%と最も高く、次いで「近くに住んでいない」の割合が32.9%となっています。



問10 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「主に母親」の割合が50.4%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が47.1%となっています。

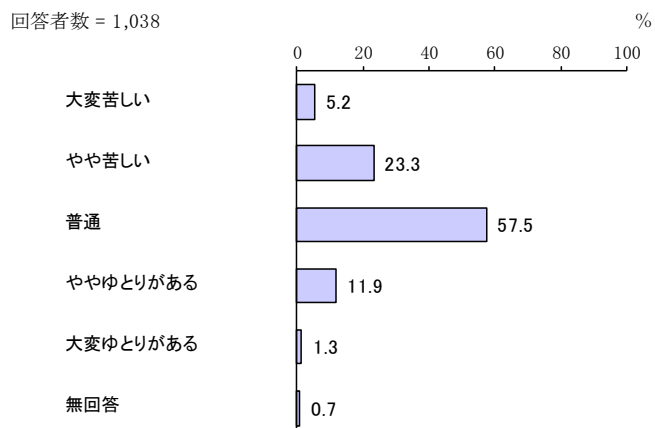
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) ご家族の生活状況について

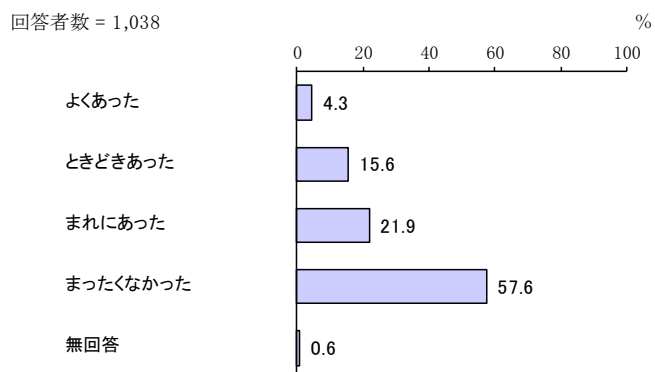
問11 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「普通」の割合が57.5%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が23.3%、「ややゆとりがある」の割合が11.9%となっています。



問12 あなたの世帯では、過去1年の間に、急な出費などで家計のやりくりができないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

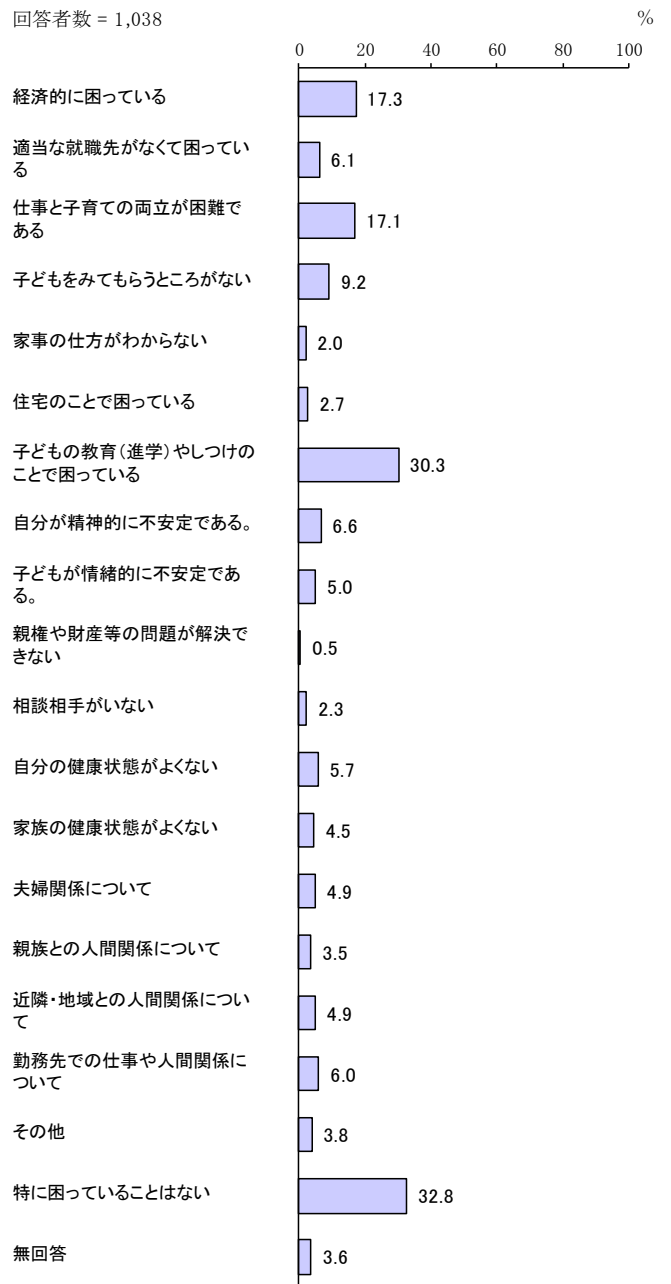
「まったくなかった」の割合が57.6%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が21.9%、「ときどきあった」の割合が15.6%となっています。



問13 あなたは、現在、どのような悩みや不安を感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に困っていることはない」の割合が32.8%と最も高く、次いで「子どもの教育（進学）やしつけのことで困っている」の割合が30.3%、「経済的に困っている」の割合が17.3%となっています。

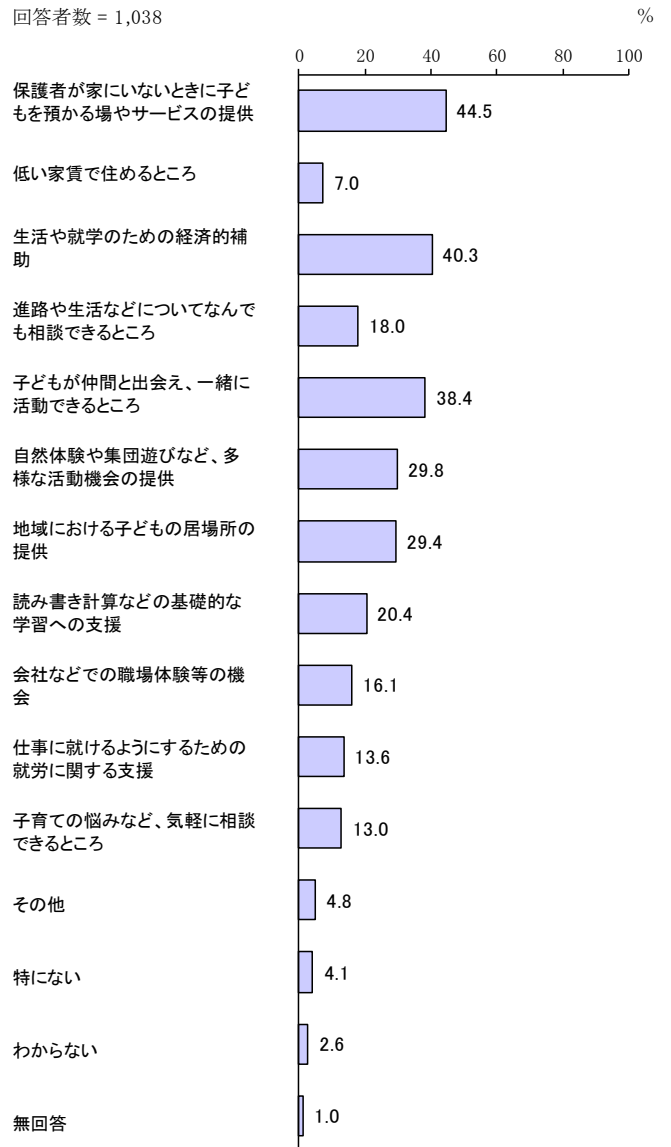
回答者数 = 1,038



問 14 子どもや保護者にとって、現在または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「生活や就学のための経済的補助」の割合が 40.3%、「子どもが仲間と出会え、一緒に活動できる場所」の割合が 38.4%となっています。

回答者数 = 1,038

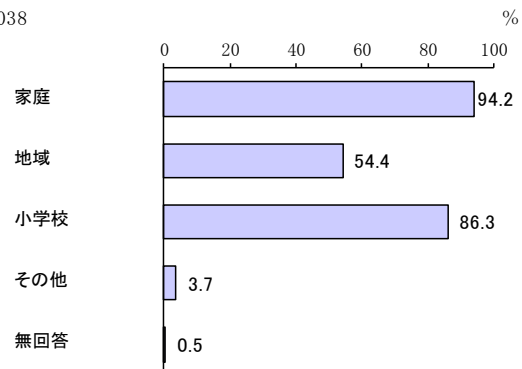


(3) 子どもの育ちをめぐる状況について

問15 お子さんの子育てに大きく影響すると思われる環境として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「家庭」の割合が94.2%と最も高く、次いで「小学校」の割合が86.3%、「地域」の割合が54.4%となっています。

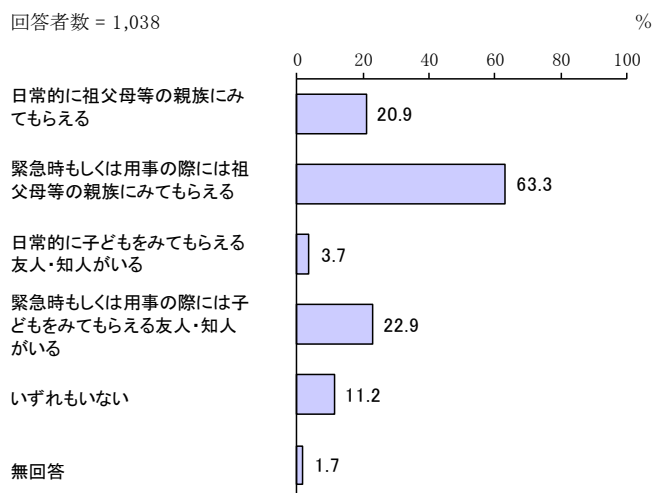
回答者数 = 1,038



問16 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が63.3%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」の割合が22.9%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が20.9%となっています。

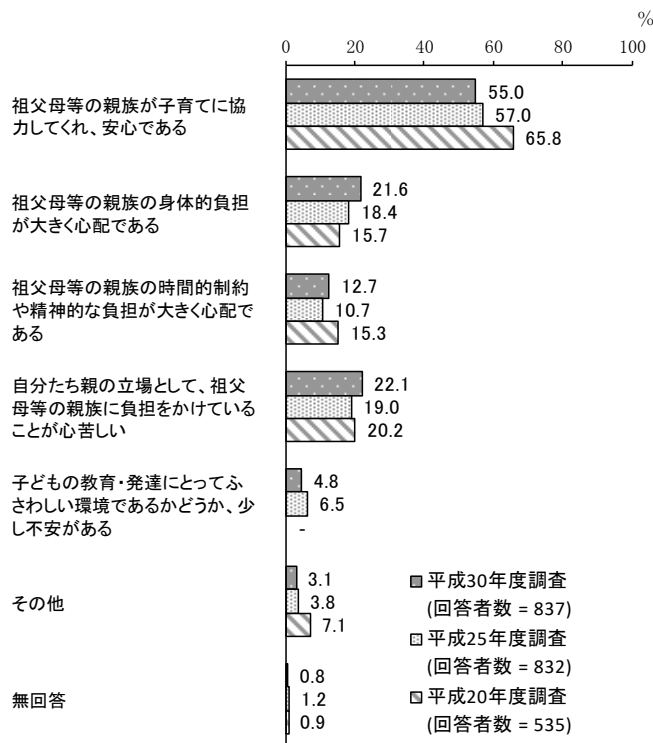
回答者数 = 1,038



問 16-1 問 16 で「1」または「2」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、祖父母等の親族に負担をかけていることが心苦しい」の割合が 22.1%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が 21.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

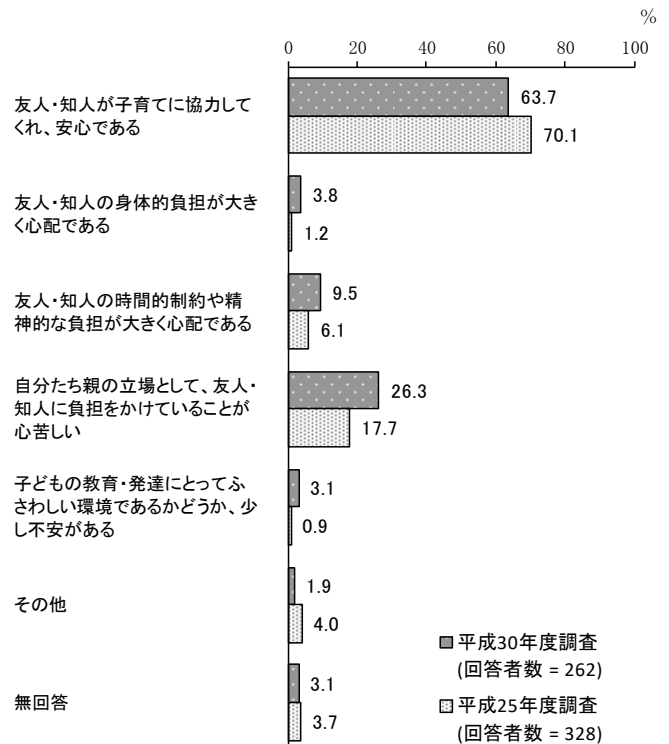


※平成 20 年度調査の「祖父母等が孫を預かることについて特に問題は感じていない」を、平成 30 年度調査の「祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である」と比較しています。「子どもの教育・発達にとってふさわしい環境であるかどうか、少し不安がある」は平成 20 年度調査ではありませんでした。

問 16-2 問 16 で「3」または「4」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

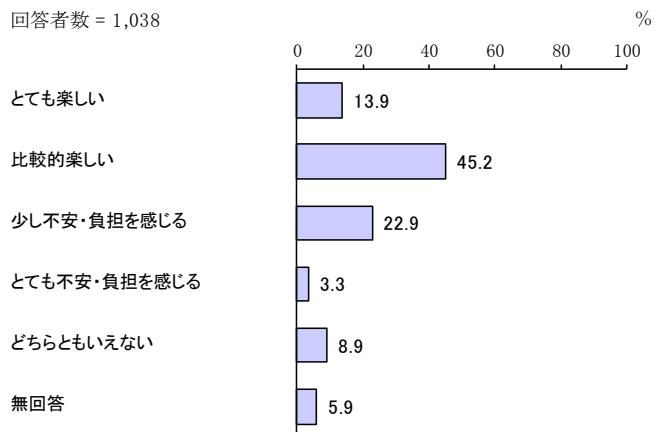
「友人・知人が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が 63.7%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」の割合が 26.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「自分たち親の立場として、友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」の割合が増加しています。一方、「友人・知人が子育てに協力してくれ、安心である」の割合が減少しています。



問 17 子育てについて、今のお気持ちに一番近いものとして当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「比較的楽しい」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「少し不安・負担を感じる」の割合が 22.9%、「とても楽しい」の割合が 13.9%となっています。



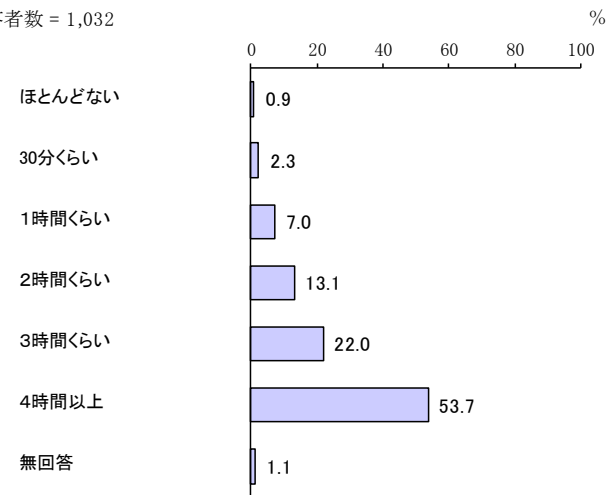
問 18 宛名のお子さんとかかわる時間（会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強をみるなど）はだいたいどのくらいありますか。（母親、父親とも平日と休日に分けてそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください）

（1）母親

ア 平日（1つに○）

「4時間以上」の割合が53.7%と最も高く、次いで「3時間くらい」の割合が22.0%、「2時間くらい」の割合が13.1%となっています。

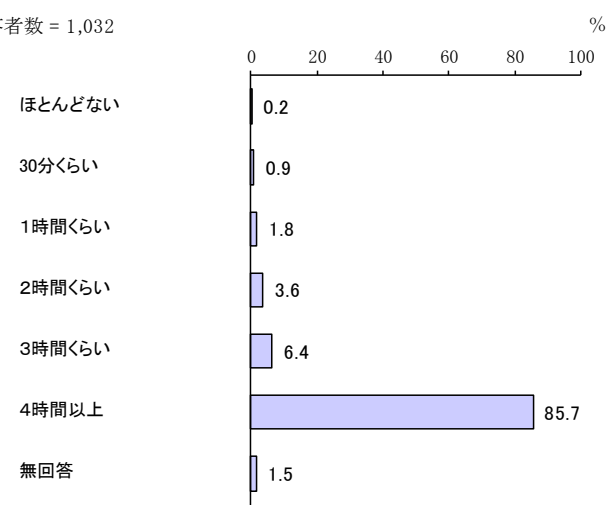
回答者数 = 1,032



イ 休日（1つに○）

「4時間以上」の割合が85.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,032

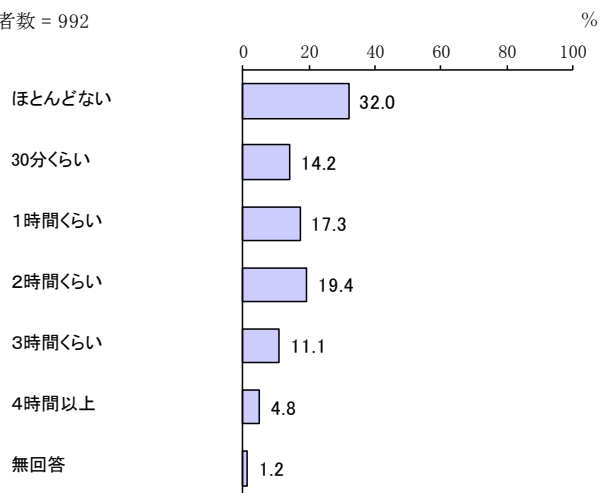


(2) 父親

ア 平日 (1つに○)

「ほとんどない」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「2時間くらい」の割合が 19.4%、「1時間くらい」の割合が 17.3%となっています。

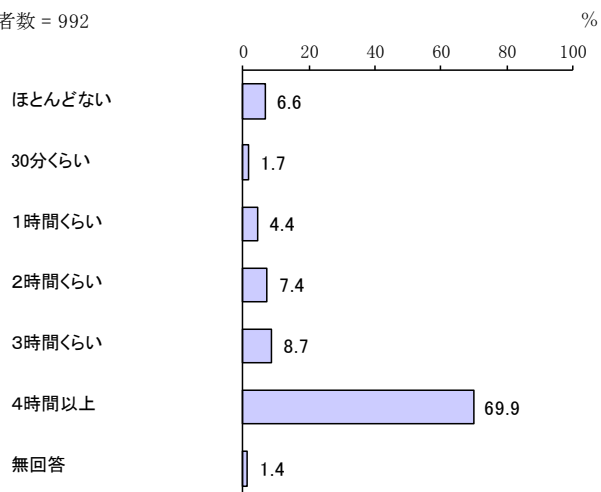
回答者数 = 992



イ 休日 (1つに○)

「4時間以上」の割合が 69.9%と最も高くなっています。

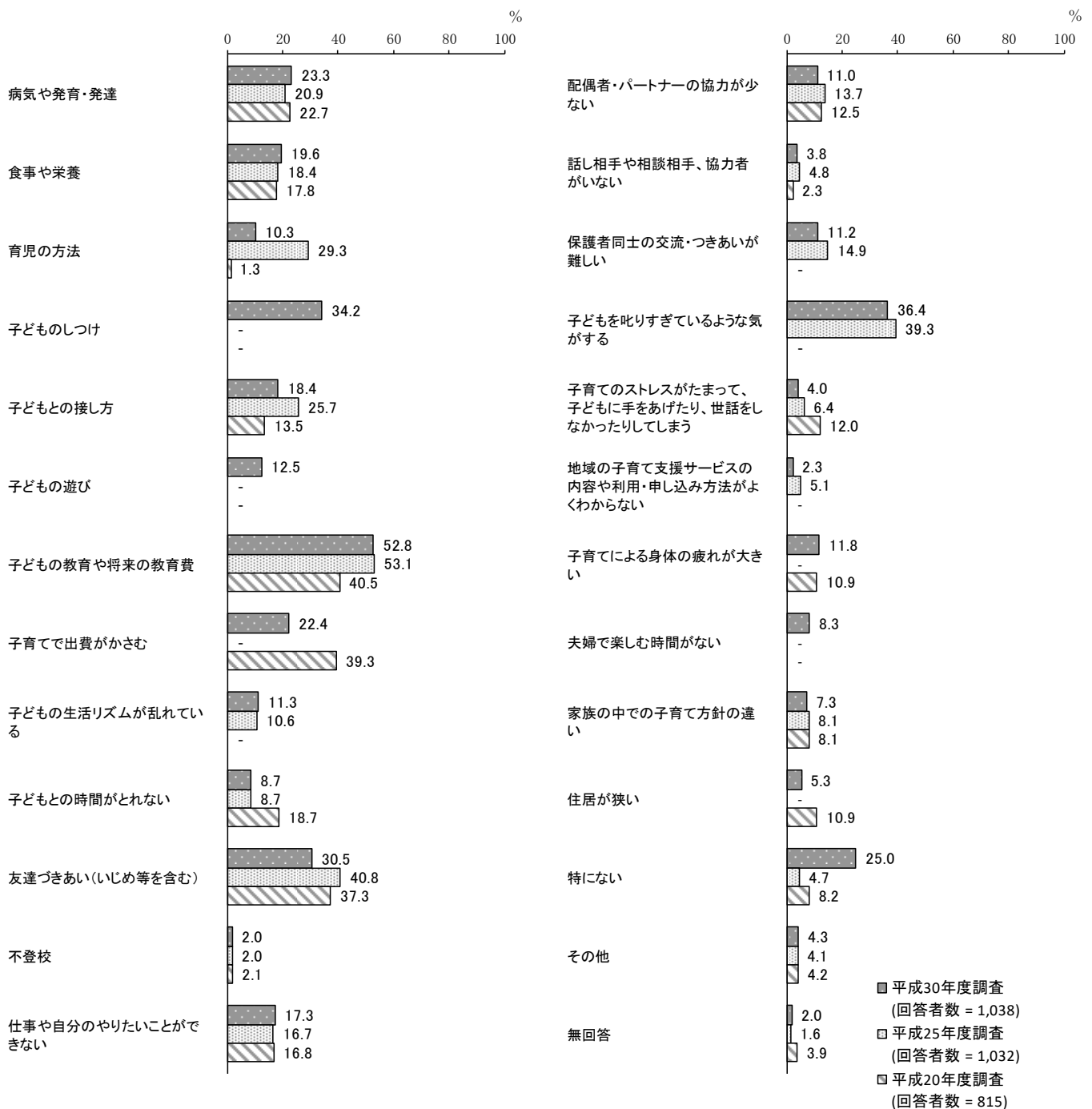
回答者数 = 992



問19 お子さんを育てていて、あなたが日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。お子さんのこと、保護者のこと、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの教育や将来の教育費」の割合が52.8%と最も高く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」の割合が36.4%、「子どものしつけ」の割合が34.2%となっています。

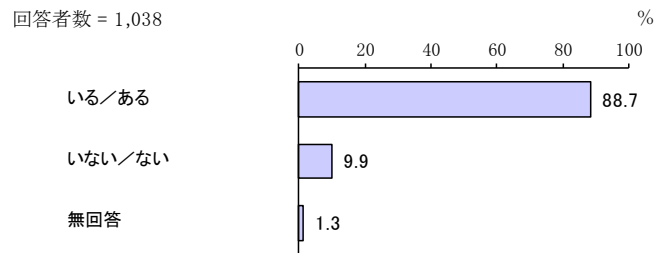
平成25年度調査と比較すると、「特にない」の割合が増加しています。一方、「育児の方法」「子どもとの接し方」「友達つきあい（いじめ等を含む）」の割合が減少しています。



※ 「子どものしつけ」「子どもの遊び」「夫婦で楽しむ時間がない」は平成25年度調査、平成20年度調査ではありませんでした。「子育てで出費がかさむ」「子育てによる身体の疲れが大きい」「住居が狭い」は平成25年度調査ではありませんでした。「子どもの生活リズムが乱れている」「保護者同士の交流・つきあいが難しい」「子どもを叱りすぎているような気がする」「地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない」は平成20年度調査ではありませんでした。

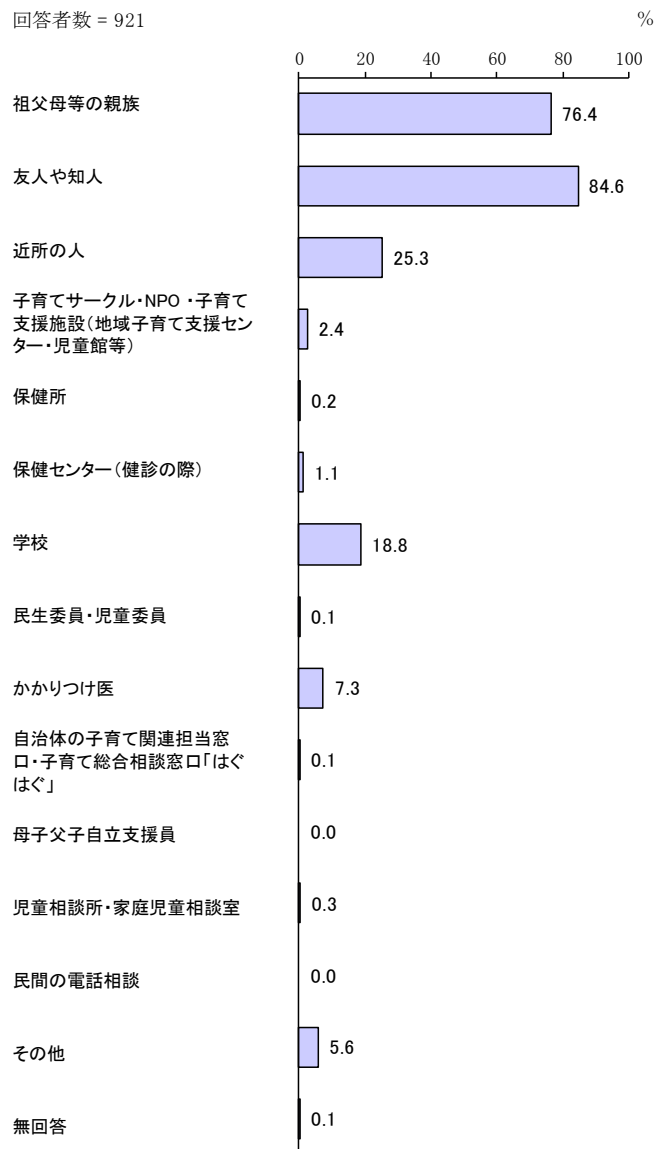
問 20 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が 88.7%、「いない／ない」の割合が 9.9%となっています。



問 20-1 問 20 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

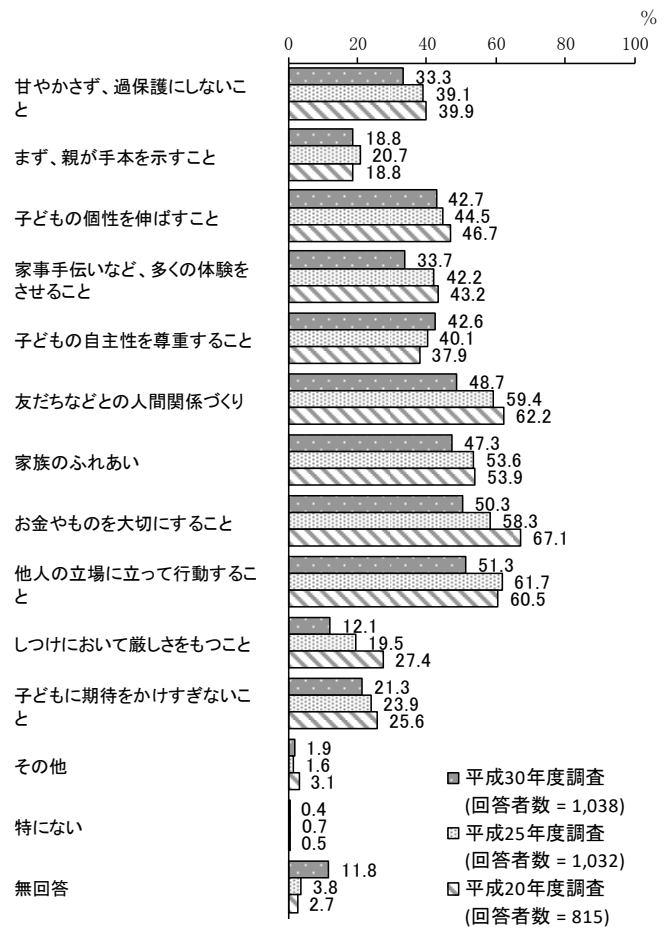
「友人や知人」の割合が 84.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が 76.4%、「近所の人」の割合が 25.3%となっています。



問 20-2 あなたの家庭では、どのような点を重視して教育していますか（しようと考えていますか）。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「他人の立場に立って行動すること」の割合が51.3%と最も高く、次いで「お金やものを大切にすること」の割合が50.3%、「友だちなどとの人間関係づくり」の割合が48.7%となっています。

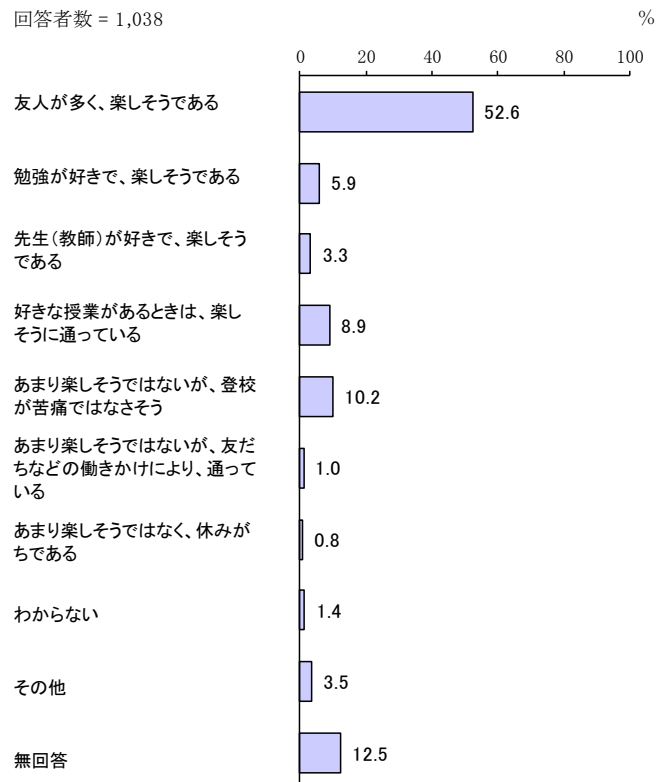
平成25年度調査と比較すると、「甘やかさず、過保護にしないこと」「家事手伝いなど、多くの体験をさせること」「友だちなどとの人間関係づくり」「家族のふれあい」「お金やものを大切にすること」「他人の立場に立って行動すること」「しつけにおいて厳しさをもつこと」の割合が減少しています。



問 20-3 宛名のお子さんは、学校に行くのが楽しそうですか。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

「友人が多く、楽しそうである」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「あまり楽しそうではないが、登校が苦痛ではなさそう」の割合が 10.2%となっています。

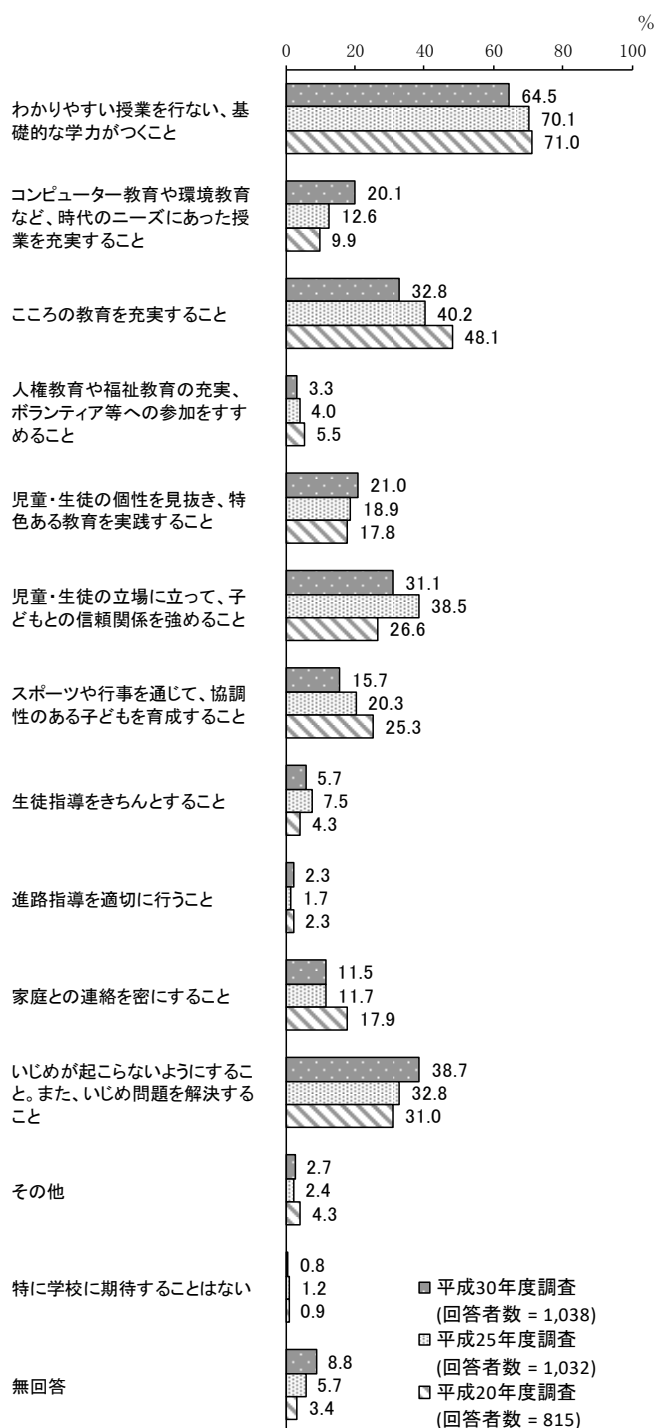
回答者数 = 1,038



問 20-4 子育てをする上で、学校に期待することはどのような点ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「わかりやすい授業を行ない、基礎的な学力がつくこと」の割合が64.5%と最も高く、次いで「いじめが起こらないようにすること。また、いじめ問題を解決すること」の割合が38.7%、「こころの教育を充実すること」の割合が32.8%となっています。

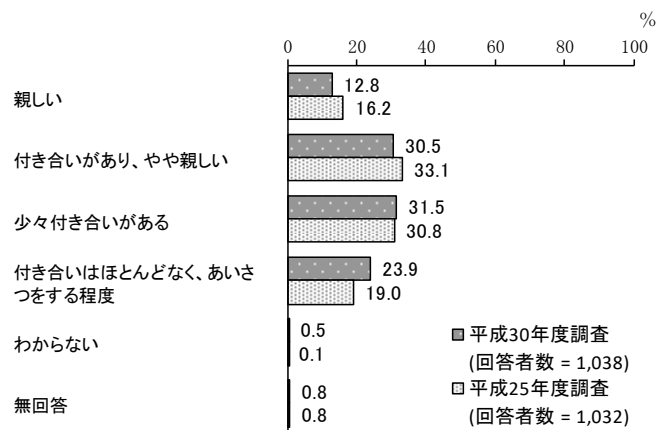
平成25年度調査と比較すると、「コンピューター教育や環境教育など、時代のニーズにあった授業を充実すること」「いじめが起こらないようにすること。また、いじめ問題を解決すること」の割合が増加しています。



問 21 あなたのご家庭では、ご近所や地域の人々との付き合いはどうか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「少々付き合いがある」の割合が31.5%と最も高く、次いで「付き合いがあり、やや親しい」の割合が30.5%、「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」の割合が23.9%となっています。

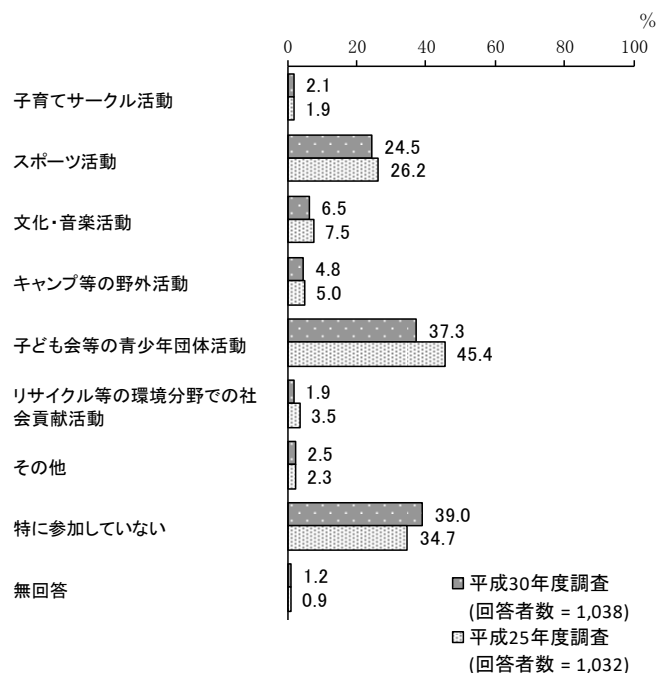
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 22 お子さんは次の地域での催しに参加していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に参加していない」の割合が39.0%と最も高く、次いで「子ども会等の青少年団体活動」の割合が37.3%、「スポーツ活動」の割合が24.5%となっています。

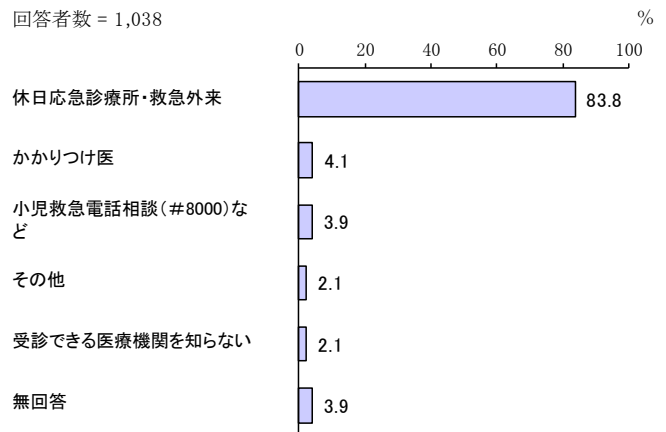
平成25年度調査と比較すると、「子ども会等の青少年団体活動」の割合が減少しています。



問 23 お子さんの休日や夜間の急な発病時には、どのように対応していますか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「休日応急診療所・救急外来」の割合が 83.8% と最も高くなっています。

回答者数 = 1,038



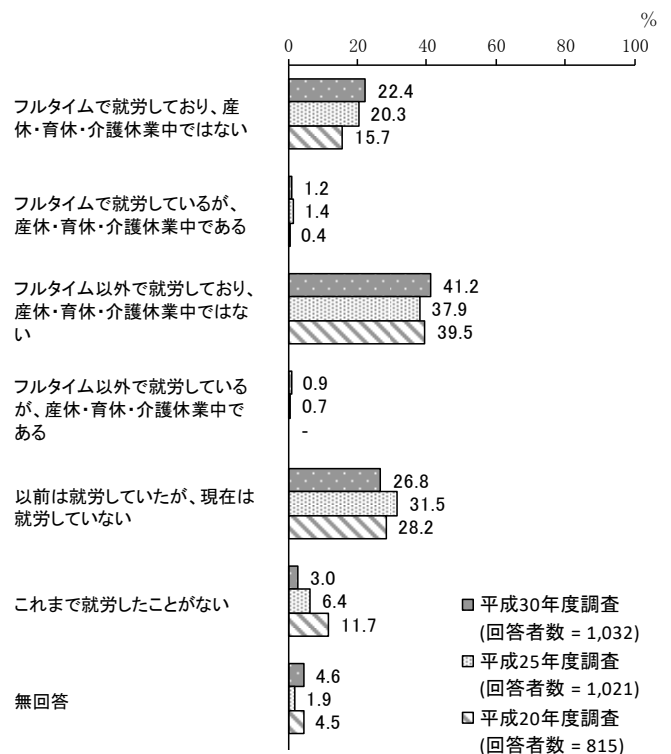
(4) 保護者の就労状況について

問 24 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

ア 母親

「フルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 41.2% と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 26.8%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 22.4% となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

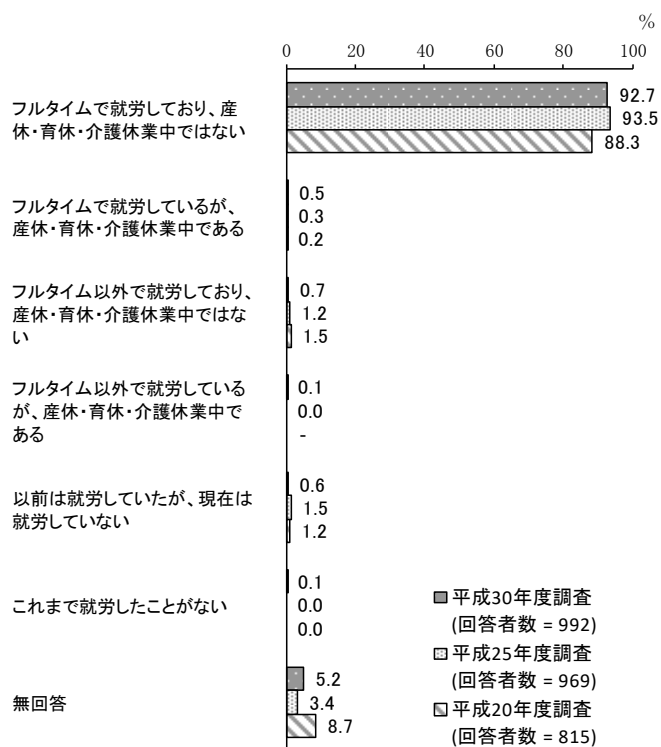


※「フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は平成 20 年度調査ではありませんでした。

イ 父親

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が92.7%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



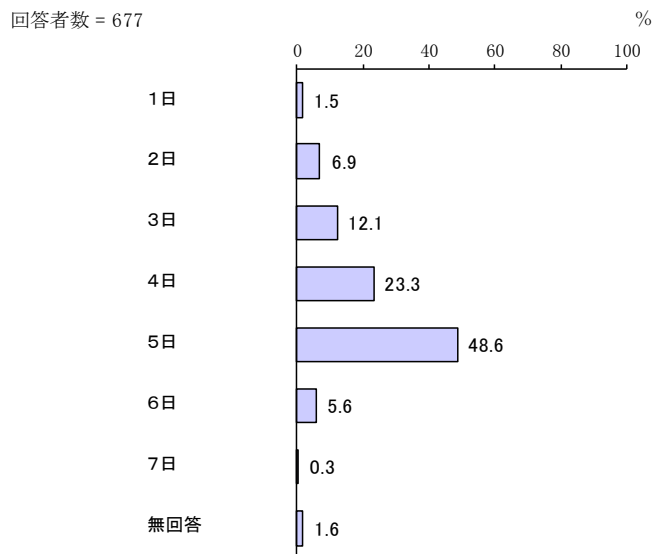
※「フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は平成20年度調査ではありませんでした。

問 24-1 就労している方（問 24 で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方）にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を（ ）内に数字でご記入ください。

ア 母親

（ア）1週当たり就労日数

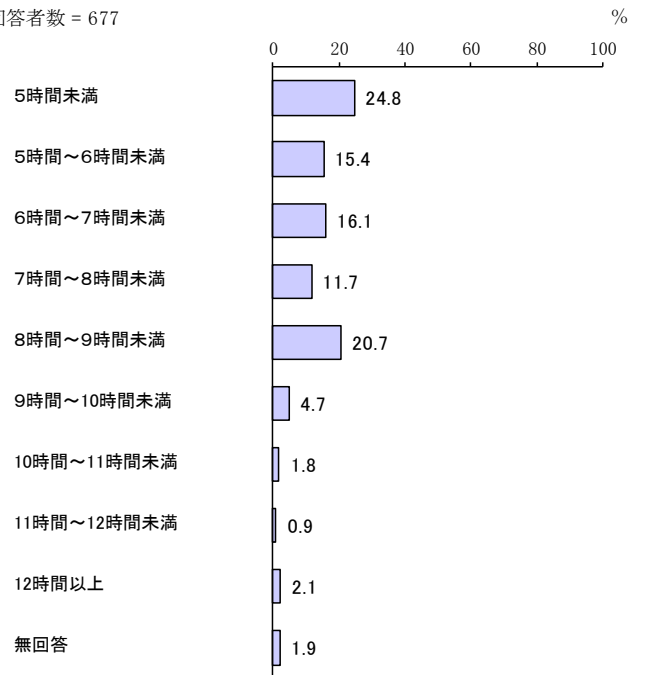
「5日」の割合が48.6%と最も高く、次いで「4日」の割合が23.3%、「3日」の割合が12.1%となっています。



(イ) 1日当たり就労時間（残業時間を含む）

「5時間未満」の割合が24.8%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が20.7%、「6時間～7時間未満」の割合が16.1%となっています。

回答者数 = 677

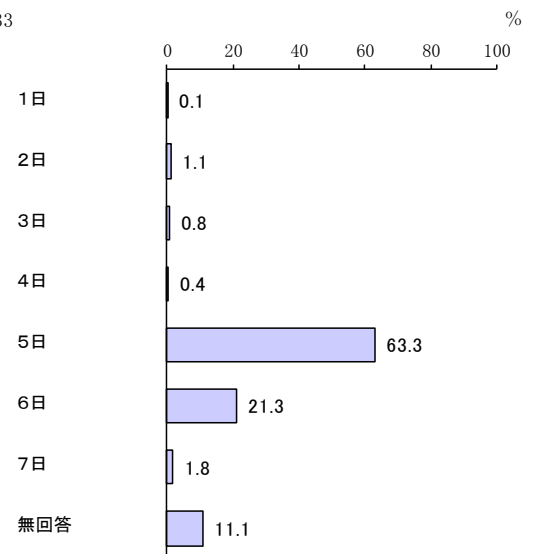


イ 父親

(ア) 1週当たり就労日数

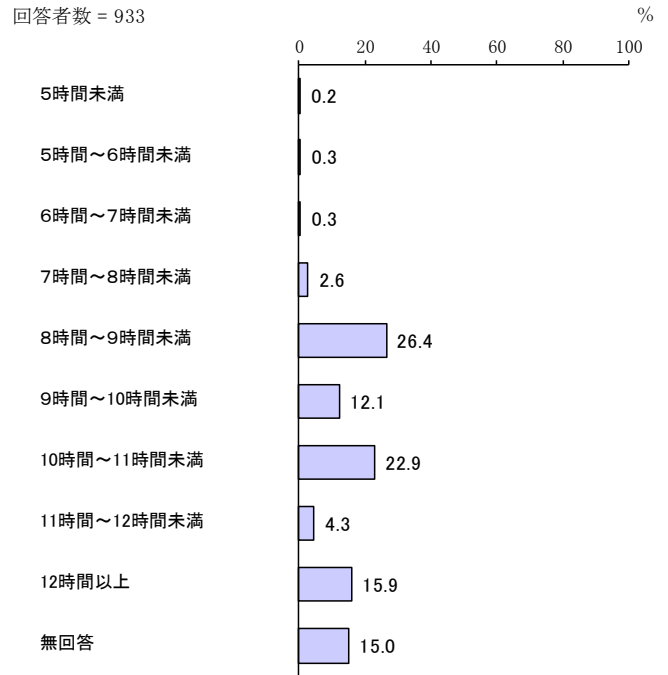
「5日」の割合が63.3%と最も高く、次いで「6日」の割合が21.3%となっています。

回答者数 = 933



(イ) 1日当たり就労時間（残業時間を含む）

「8時間～9時間未満」の割合が26.4%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が22.9%、「12時間以上」の割合が15.9%となっています。

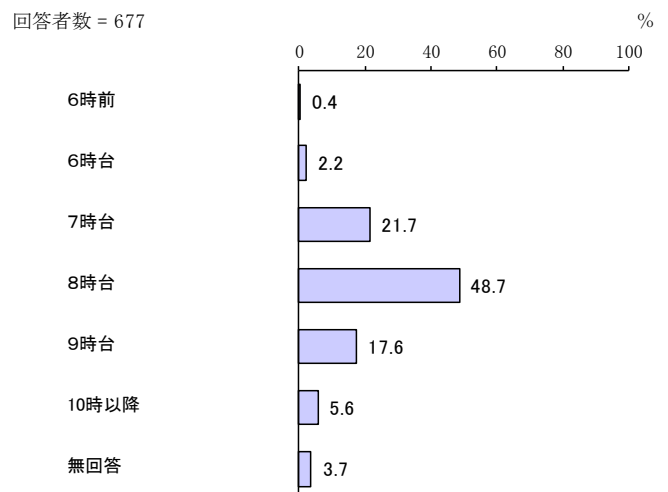


問 24-2 就労している方（問 24 で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方）に
うかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻は、必ず（例）8時～17時
のように、24時間制（30分単位）で（ ）内に数字でご記入ください。

ア 母親

(ア) 家を出る時刻

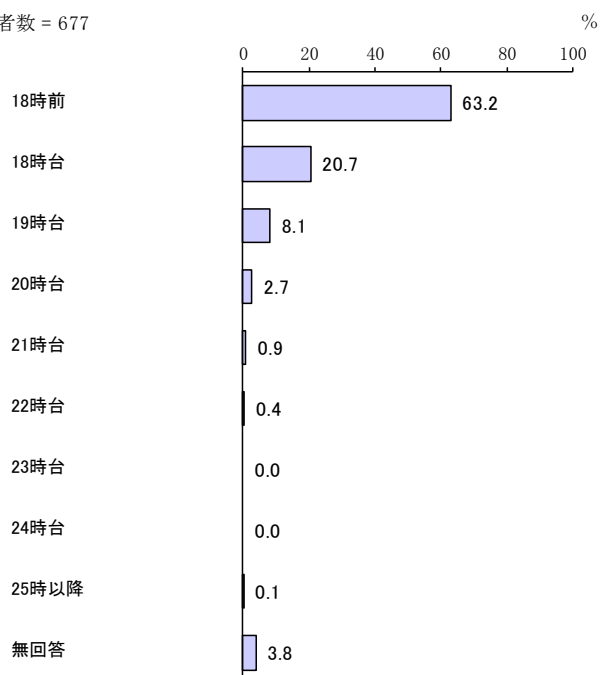
「8時台」の割合が48.7%と最も高く、次いで「7時台」の割合が21.7%、「9時台」の割合が17.6%となっています。



(イ) 帰宅時刻

「18 時前」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 20.7%となっています。

回答者数 = 677

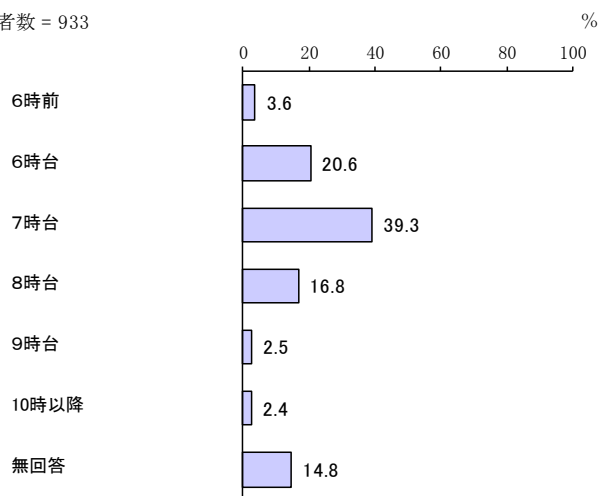


イ 父親

(ア) 家を出る時刻

「7 時台」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「6 時台」の割合が 20.6%、「8 時台」の割合が 16.8%となっています。

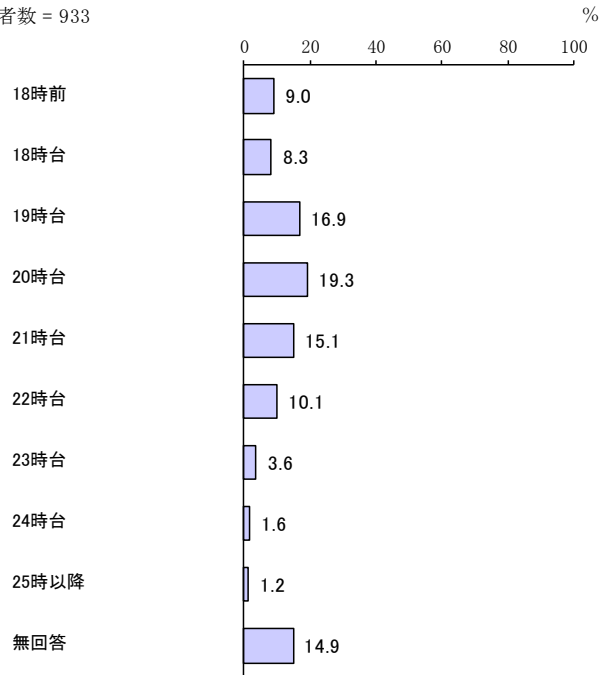
回答者数 = 933



(イ) 帰宅時刻

「20 時台」の割合が 19.3%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 16.9%、「21 時台」の割合が 15.1%となっています。

回答者数 = 933



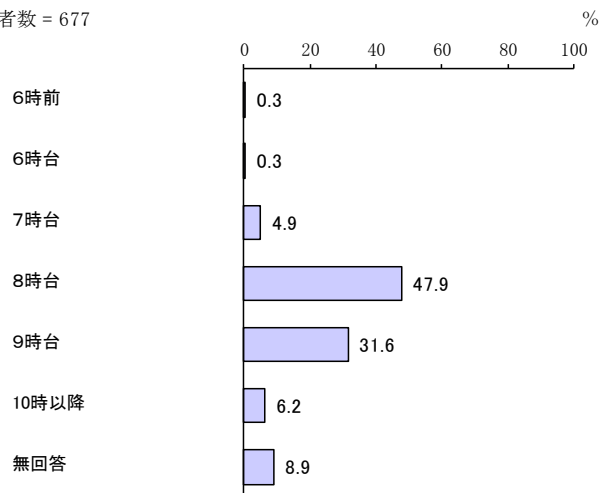
問 24-3 就労している方（問 24 で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方）にうかがいます。育児と仕事を両立するうえで望ましいと考える家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間は、必ず（例）8 時～17 時のように、24 時間制（30 分単位）で（ ）内に数字でご記入ください。

ア 母親

(ア) 理想の家を出る時刻

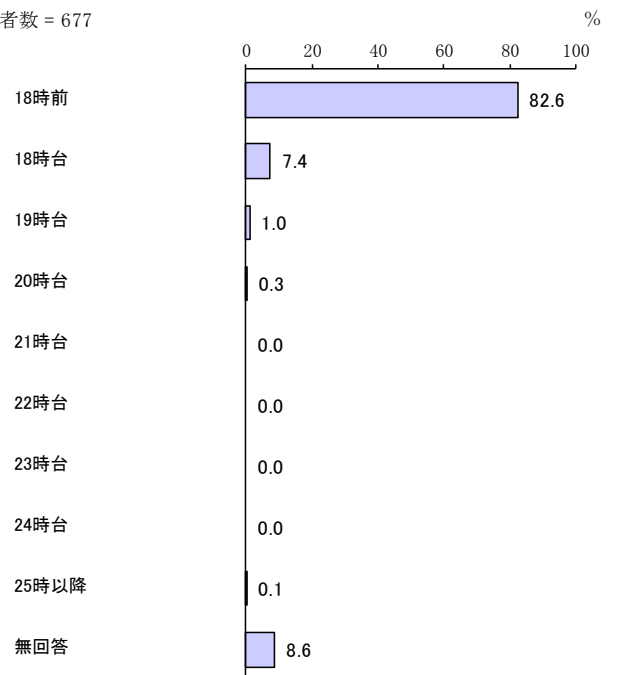
「8 時台」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 31.6%となっています。

回答者数 = 677



(イ) 理想の帰宅時刻

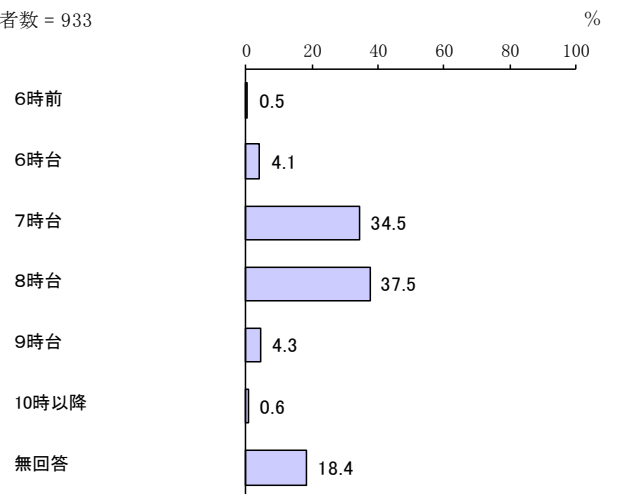
「18 時前」の割合が 82.6%と最も高くなっています。 回答者数 = 677



イ 父親

(ア) 理想の家を出る時刻

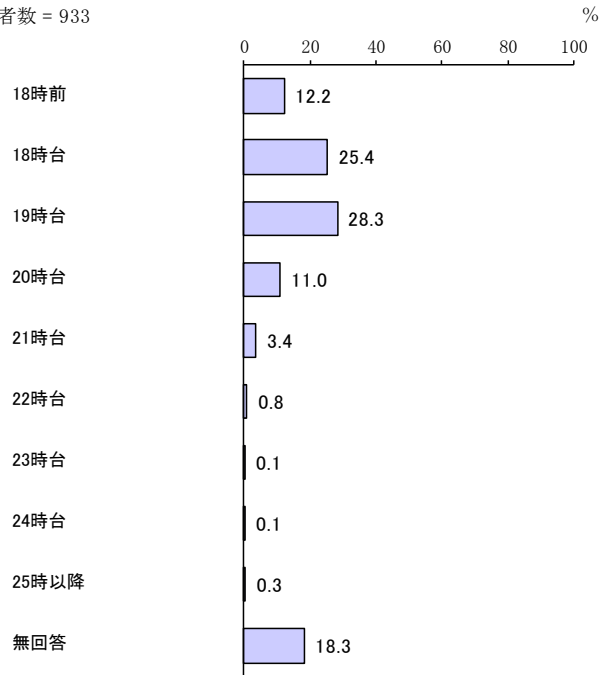
「8 時台」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「7 時台」の割合が 34.5%となっています。 回答者数 = 933



(イ) 理想の帰宅時刻

「19 時台」の割合が 28.3%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 25.4%、「18 時前」の割合が 12.2%となっています。

回答者数 = 933

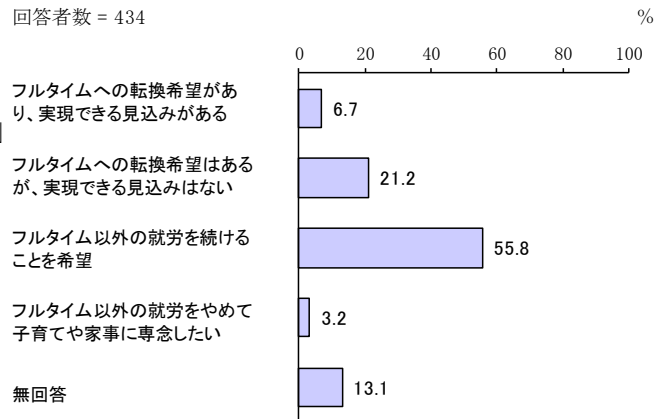


問 24-4 フルタイム以外で就労している方（問 24 で「3」または「4」のいずれかに○をつけた方）にうかがいます。フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ア 母親

「フルタイム以外の就労を続けることを希望」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 21.2%となっています。

回答者数 = 434



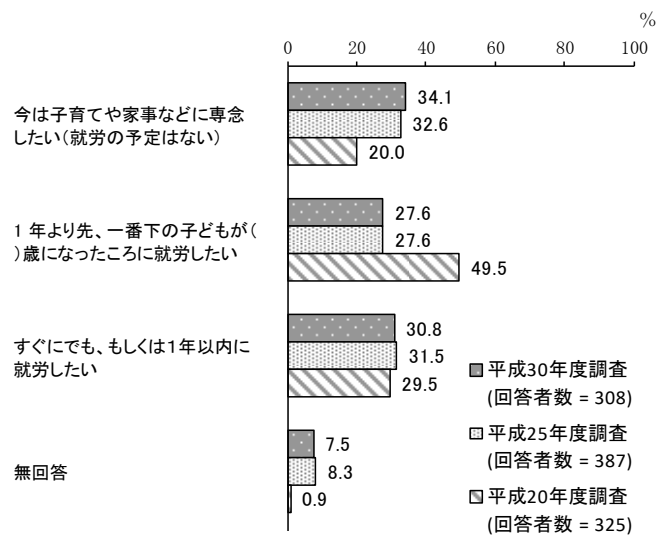
イ 父親

「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が3件となっています。「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が2件となっています。

問24-5 問24で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

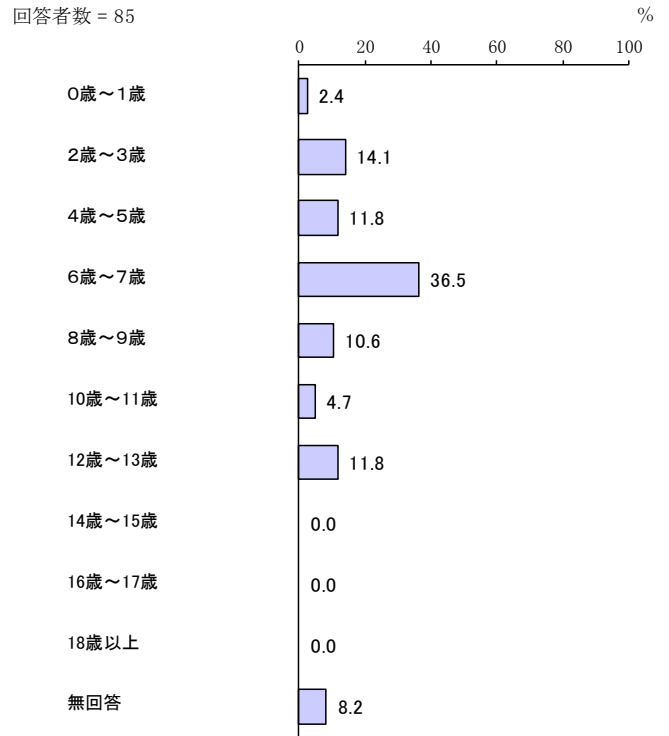
(1) 母親

「今は子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が34.1%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が30.8%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい」の割合が27.6%となっています。



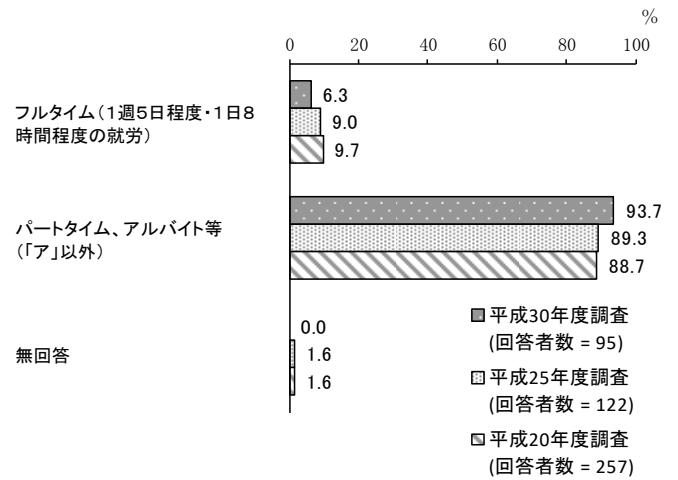
「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」子どもの年齢

「6歳～7歳」の割合が36.5%と最も高く、次いで「2歳～3歳」の割合が14.1%、「4歳～5歳」、「12歳～13歳」の割合が11.8%となっています。



ア 希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が6.3%、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が93.7%となっています。

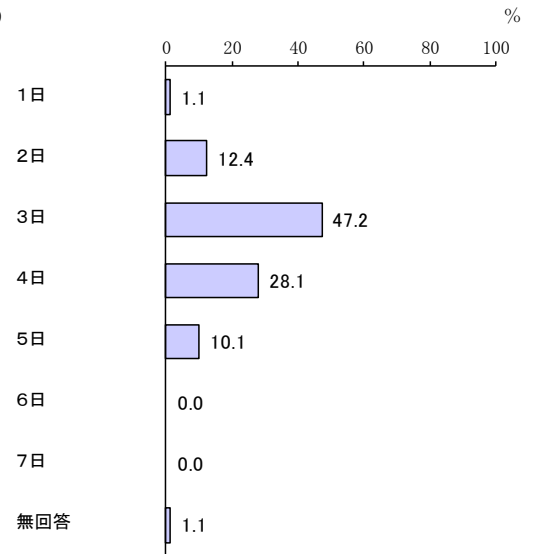


イ パートタイム、アルバイト等

(ア) 1週当たり希望就労日数

「3日」の割合が47.2%と最も高く、次いで「4日」の割合が28.1%、「2日」の割合が12.4%となっています。

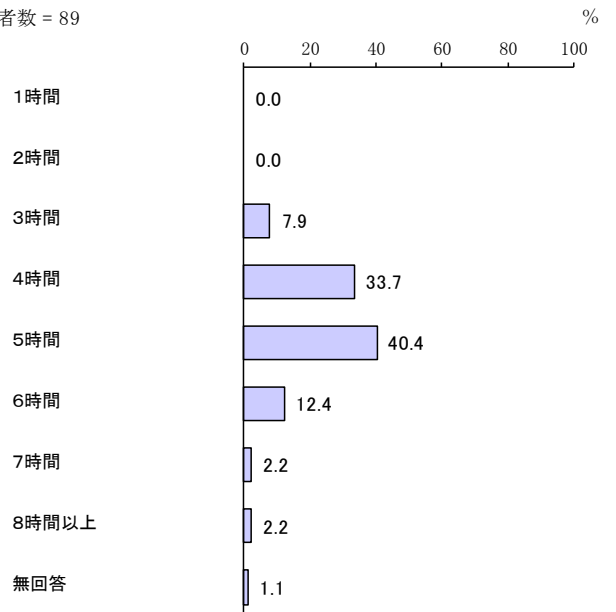
回答者数 = 89



(イ) 1日当たり希望就労時間

「5時間」の割合が40.4%と最も高く、次いで「4時間」の割合が33.7%、「6時間」の割合が12.4%となっています。

回答者数 = 89



(2) 父親

「今は子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい」子どもの年齢
有効回答がありませんでした。

ア 希望する就労形態

有効回答がありませんでした。

イ パートタイム、アルバイト等

(ア) 1週当たり希望就労日数

「4日」が1件となっています。

(イ) 1日当たり希望就労時間

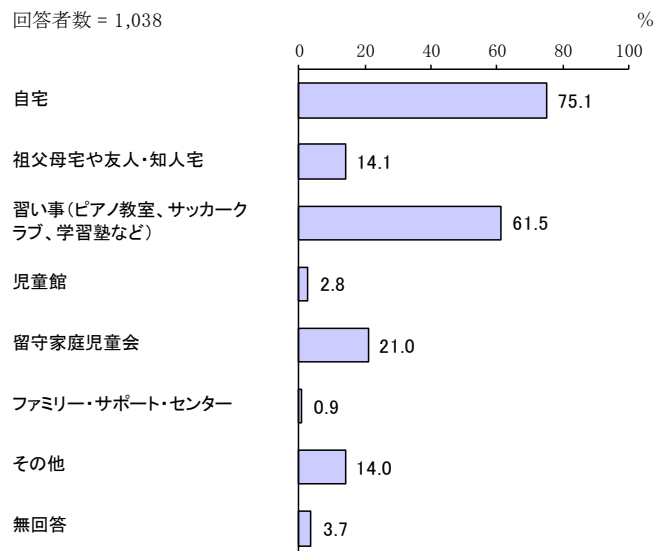
「4時間」が1件となっています。

(5) 留守家庭児童会の利用について

問 25 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。「留守家庭児童会」の場合には、利用している時間も（ ）内に数字でご記入ください。また、土曜日の利用状況もお答えください。時間は必ず（例）17時 のように24時間制でご記入ください。

「自宅」の割合が75.1%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が61.5%、「留守家庭児童会」の割合が21.0%となっています。

回答者数 = 1,038



放課後に過ごしている場所別日数

『2. 祖父母宅や友人・知人宅』『4. 児童館』で「1日」の割合が、『3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』で「2日」の割合が、『5. 留守家庭児童会』で「5日」の割合が高くなっています。

単位：%

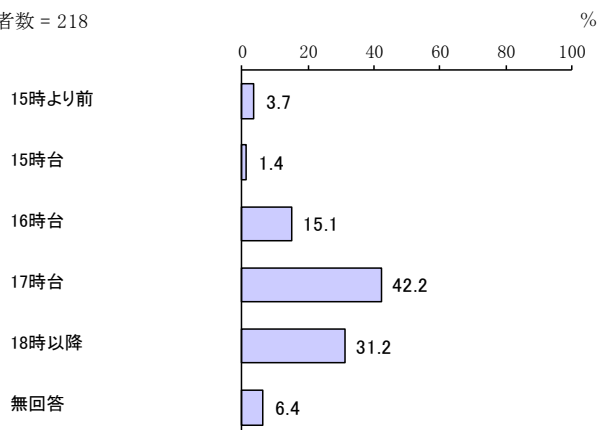
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	780	12.4	16.2	14.4	7.7	46.4	2.9
2. 祖父母宅や友人・知人宅	146	54.8	24.0	11.0	-	4.8	5.5
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	638	19.0	28.4	27.3	15.7	8.9	0.8
4. 児童館	29	55.2	10.3	13.8	10.3	6.9	3.4
5. 留守家庭児童会	218	0.5	1.8	8.7	28.0	55.5	5.5
6. ファミリー・サポート・センター	9	33.3	33.3	-	-	22.2	11.1
7. その他	145	42.8	28.3	10.3	4.8	11.0	2.8

5. 留守家庭児童会

ア 利用終了時刻

「17 時台」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「18 時以降」の割合が 31.2%、「16 時台」の割合が 15.1%となっています。

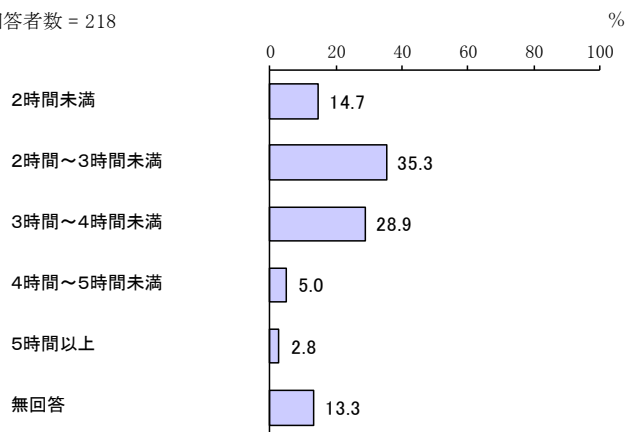
回答者数 = 218



イ 利用時間

「2 時間～3 時間未満」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「3 時間～4 時間未満」の割合が 28.9%、「2 時間未満」の割合が 14.7%となっています。

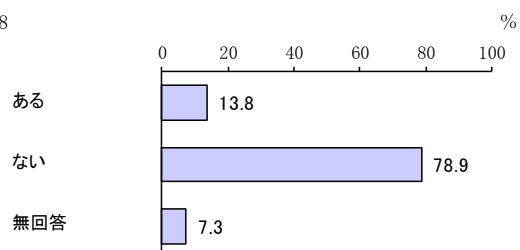
回答者数 = 218



ウ うち土曜日の利用

「ある」の割合が 13.8%、「ない」の割合が 78.9%となっています。

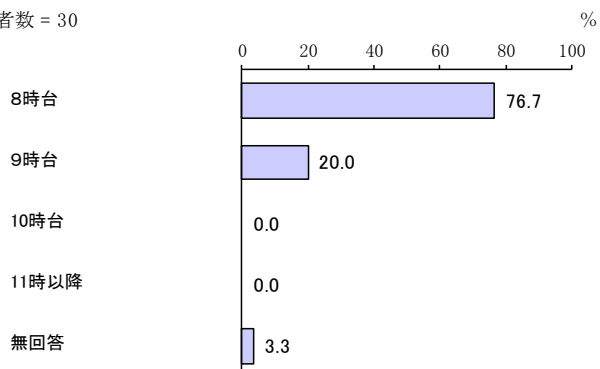
回答者数 = 218



(ア) 利用開始時刻

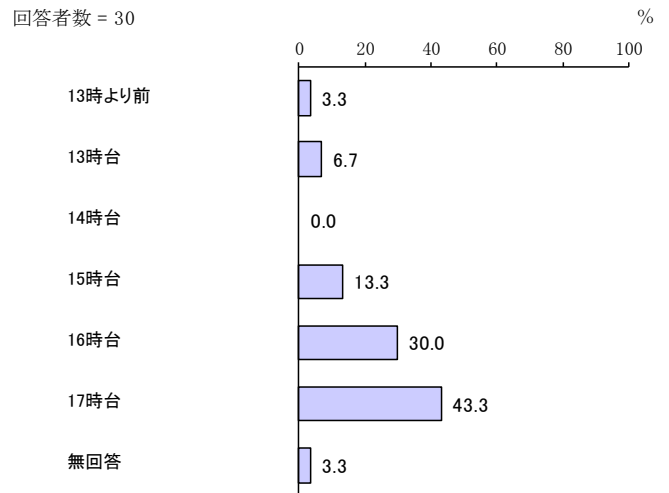
「8 時台」の割合が 76.7%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 20.0%となっています。

回答者数 = 30



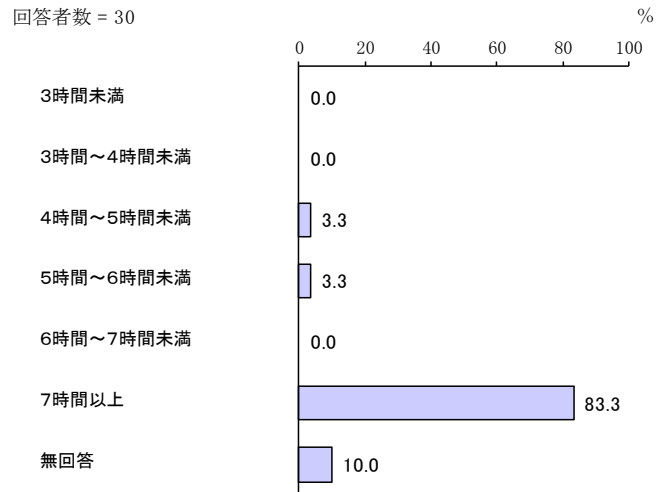
(イ) 利用終了時刻

「17 時台」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 30.0%、「15 時台」の割合が 13.3%となっています。



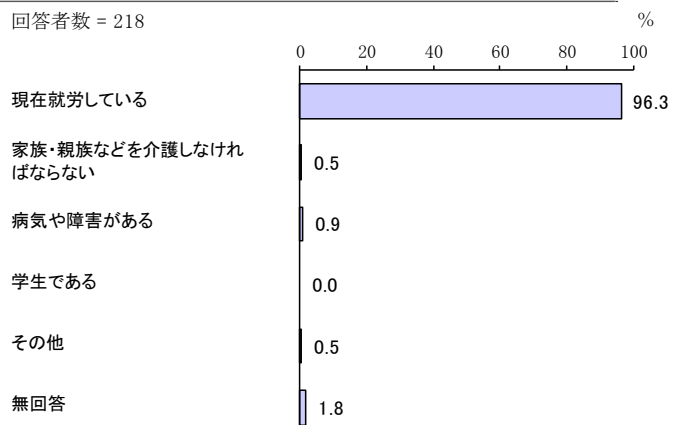
(ウ) 利用時間

「7 時間以上」の割合が 83.3%と最も高くなっています。



問 25－1 問 25 で「5. 留守家庭児童会」に○をつけた方にうかがいます。利用している理由について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

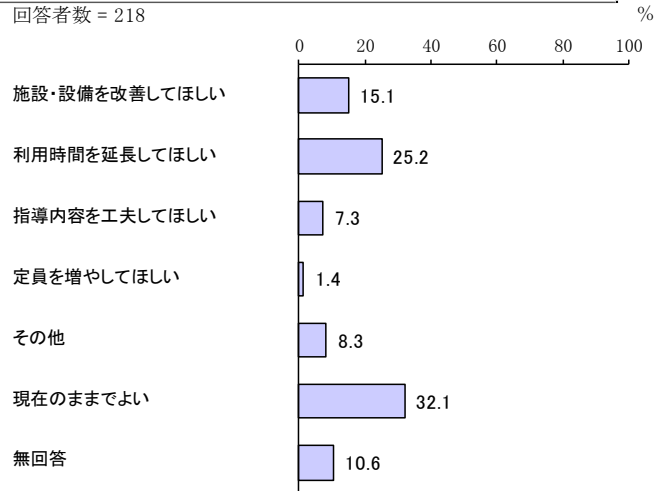
「現在就労している」の割合が 96.3%と最も高くなっています。



問 25-2 問 25 で「5. 留守家庭児童会」に○をつけた方にうかがいます。留守家庭児童会に対してどのように感じていますか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

回答者数 = 218

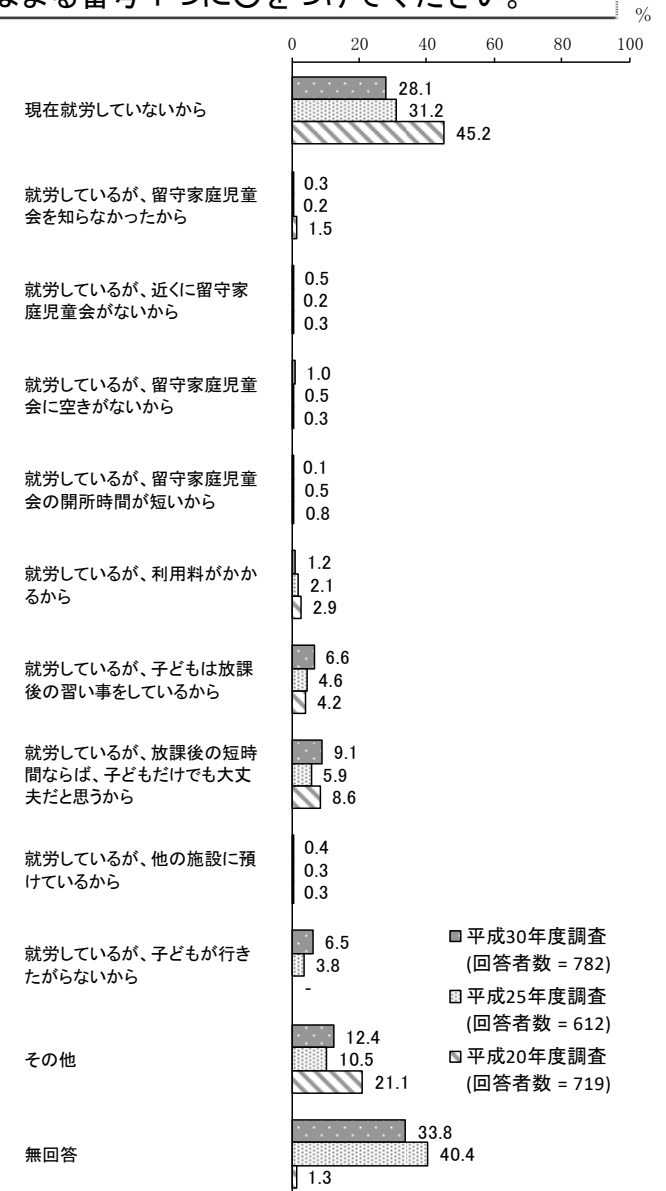
「現在のままでよい」の割合が 32.1% と最も高く、次いで「利用時間を延長してほしい」の割合が 25.2%、「施設・設備を改善してほしい」の割合が 15.1% となっています。



問 25-3 問 25 で「5. 留守家庭児童会」以外に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由について、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「現在就労していないから」の割合が 28.1% と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

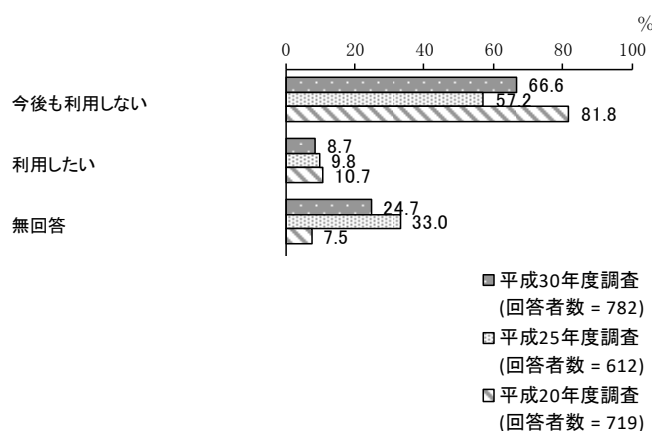


※「就労しているが、子どもが行きたがらないから」は平成 20 年度調査ではありませんでした。

問 25-4 問 25 で「5. 留守家庭児童会」以外に○をつけた方にうかがいます。お子さんについて、今後の留守家庭児童会の利用予定をお聞かせください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(時間は、必ず24時間制でご記入ください。)

「今後も利用しない」の割合が66.6%、「利用したい」の割合が8.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「今後も利用しない」の割合が増加しています。

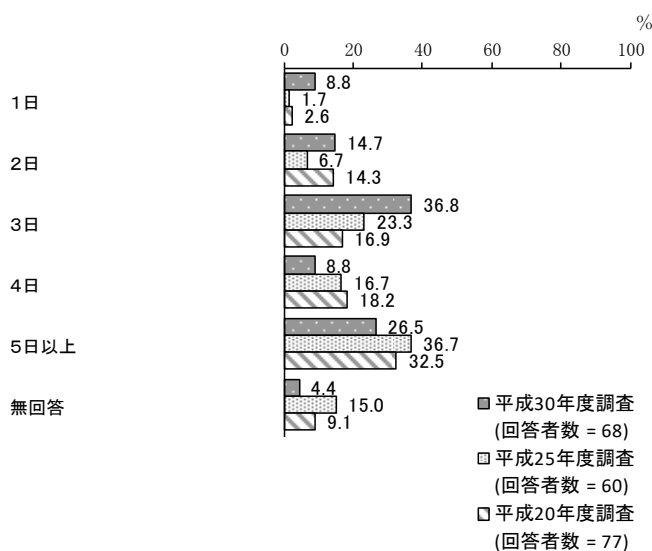


2. 利用したい人の希望

ア 1週当たり利用日数

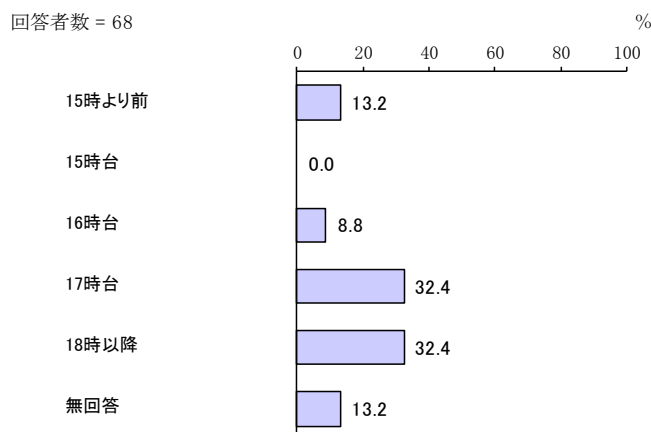
「3日」の割合が36.8%と最も高く、次いで「5日以上」の割合が26.5%、「2日」の割合が14.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1日」「2日」「3日」の割合が増加しています。一方、「4日」「5日以上」の割合が減少しています。



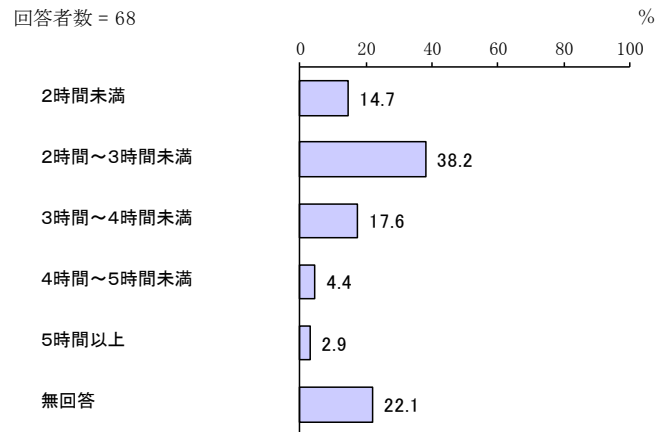
イ 利用終了時刻

「17時台」、「18時以降」の割合が32.4%と最も高く、次いで「15時より前」の割合が13.2%となっています。



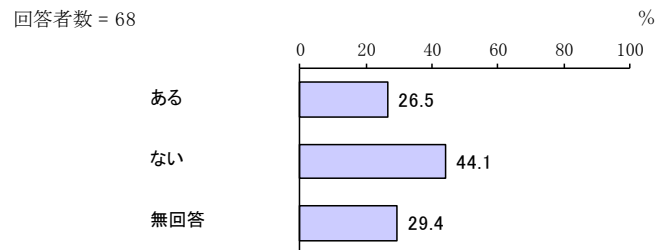
ウ 利用時間

「2時間～3時間未満」の割合が38.2%と最も高く、次いで「3時間～4時間未満」の割合が17.6%、「2時間未満」の割合が14.7%となっています。



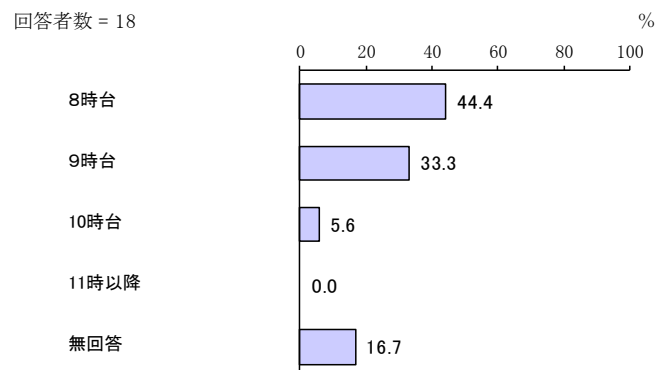
エ うち土曜日の利用希望

「ある」の割合が26.5%、「ない」の割合が44.1%となっています。



(ア) 利用開始時刻

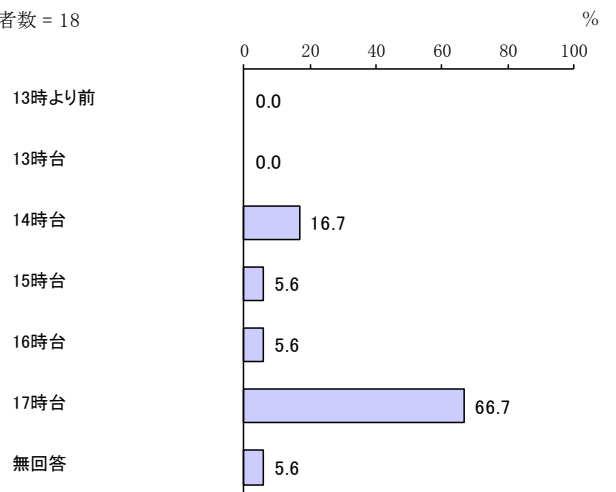
「8時台」の割合が44.4%と最も高く、次いで「9時台」の割合が33.3%となっています。



(イ) 利用終了時刻

「17 時台」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「14 時台」の割合が 16.7%となっています。

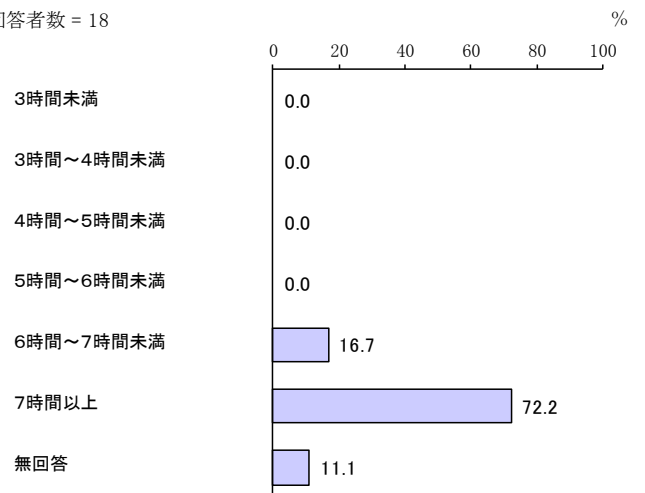
回答者数 = 18



(ウ) 利用時間

「7 時間以上」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「6 時間～7 時間未満」の割合が 16.7%となっています。

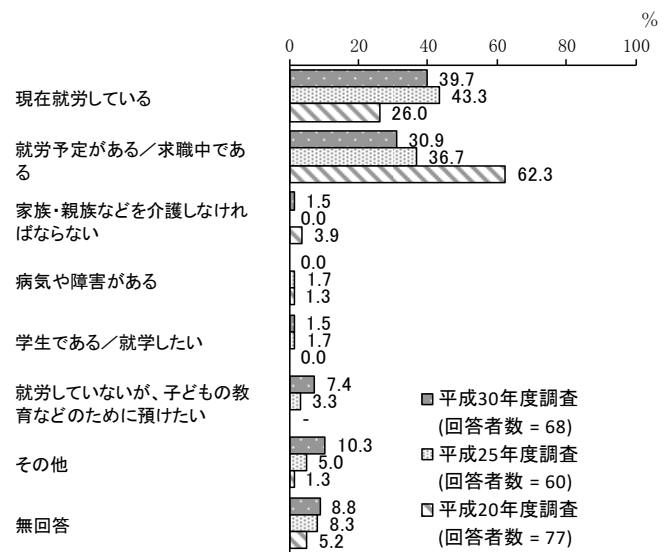
回答者数 = 18



問 25-5 問 25-4で「2. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。利用したい理由について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

「現在就労している」の割合が39.7%と最も高く、次いで「就労予定がある／求職中である」の割合が30.9%となっています。

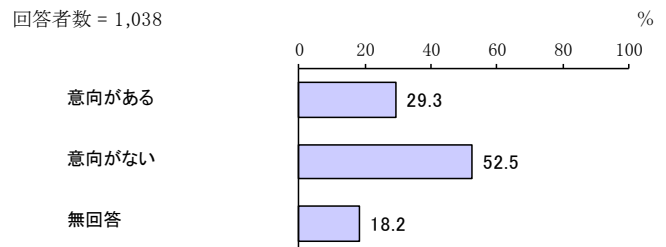
平成25年度調査と比較すると、「就労予定がある／求職中である」の割合が減少しています。



※「就労していないが、子どもの教育などのために預けたい」は平成20年度調査ではありませんでした。

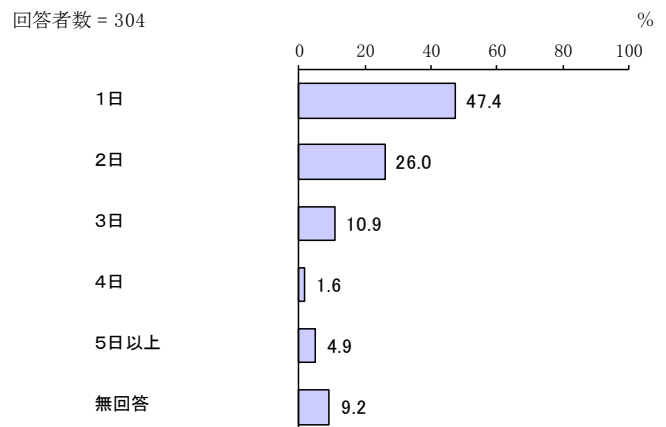
問 26 地域によっては、留守家庭児童会と連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用意向はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「意向がある」の割合が29.3%、「意向がない」の割合が52.5%となっています。



1. 1週当たり利用希望日数

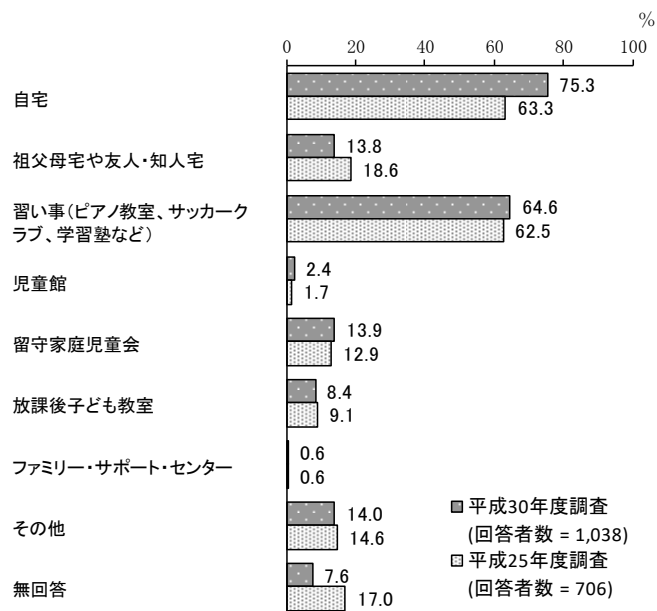
「1日」の割合が47.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が26.0%、「3日」の割合が10.9%となっています。



問 27 宛名のお子さんについてうかがいます。小学5年生以降の放課後の時間についてどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週あたり日数を数字でご記入ください。「留守家庭児童会」の場合には、利用したい時間も（ ）内に数字でご記入ください。また、土曜日の利用希望もお答えください。時間は必ず（例）17時のように24時間制でご記入ください。

「自宅」の割合が75.3%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が64.6%、「留守家庭児童会」の割合は13.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「自宅」の割合が増加しています。



小学5年生以降で放課後の時間に過ごさせたい場所別日数

小学5年生以降で放課後の時間に過ごさせたい場所別日数について、『2. 祖父母宅や友人・知人宅』で「1日」の割合が、『3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』で「2日」「3日」の割合が、『5. 留守家庭児童会』で「5日」の割合が高くなっています。

単位：%

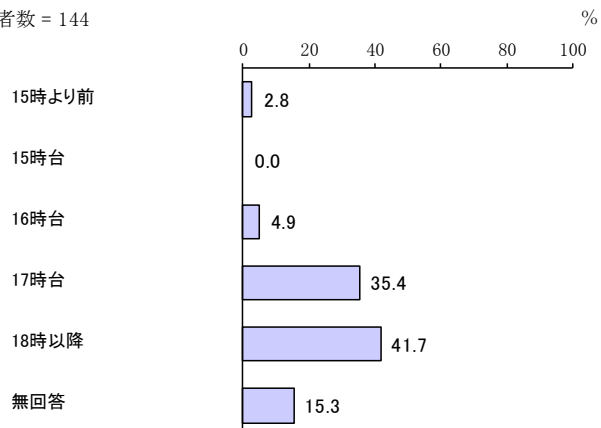
区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	782	12.8	22.6	14.5	7.5	36.4	6.1
2. 祖父母宅や友人・知人宅	143	55.2	25.9	6.3	1.4	4.9	6.3
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	671	13.4	31.1	31.1	12.2	8.3	3.7
4. 児童館	25	40.0	36.0	4.0	-	12.0	8.0
5. 留守家庭児童会	144	3.5	11.8	17.4	16.0	45.8	5.6
6. 放課後子ども教室	87	47.1	34.5	11.5	1.1	3.4	2.3
7. ファミリー・サポート・センター	6	33.3	16.7	16.7	-	16.7	16.7
8. その他	145	32.4	37.9	11.7	4.8	6.2	6.9

5. 留守家庭児童会

ア 希望利用終了時刻

「18時以降」の割合が41.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が35.4%となっています。

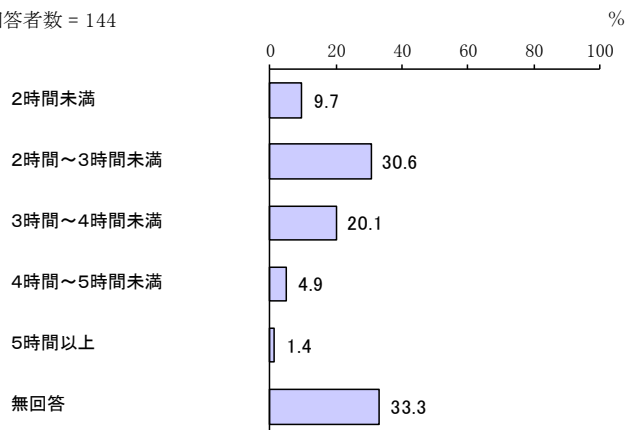
回答者数 = 144



イ 希望利用時間

「2時間～3時間未満」の割合が30.6%と最も高く、次いで「3時間～4時間未満」の割合が20.1%となっています。

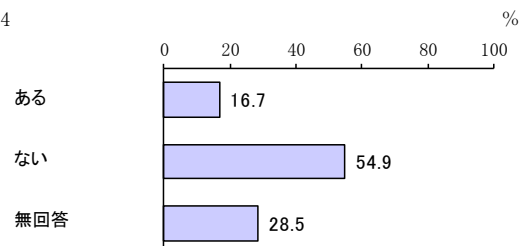
回答者数 = 144



ウ うち土曜日の利用希望

「ある」の割合が16.7%、「ない」の割合が54.9%となっています。

回答者数 = 144



(ア) 希望利用開始時刻

「8時台」の割合が58.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が20.8%となっています。

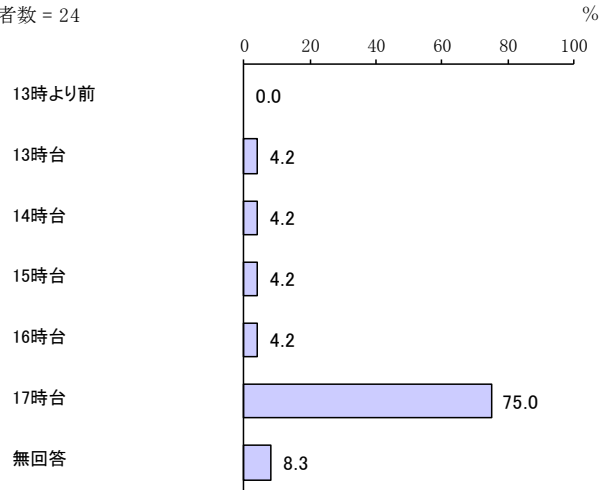
回答者数 = 24



(イ) 希望利用終了時刻

「17時台」の割合が75.0%と最も高くなっています。

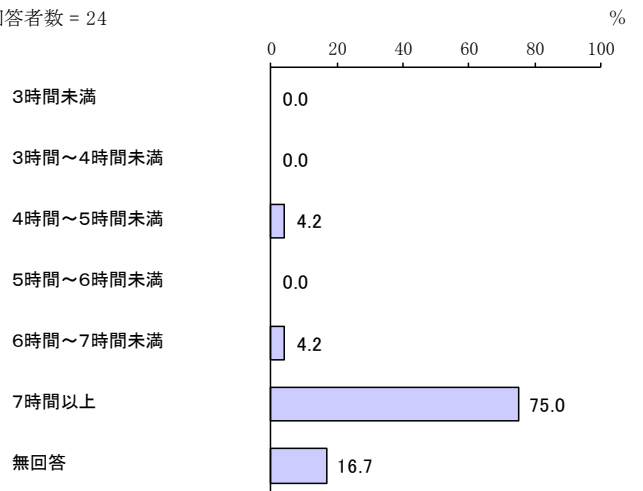
回答者数 = 24



(ウ) 希望利用時間

「7時間以上」の割合が75.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 24



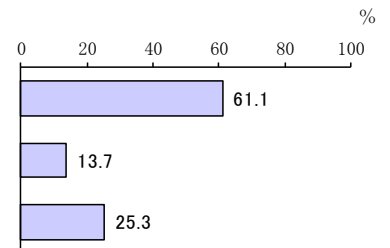
問 27-1 問 25 で「5. 留守家庭児童会」、問 25-4 で「2. 利用したい」、問 27 で「5. 留守家庭児童会」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、日曜・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に留守家庭児童会の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(時間は、必ず24時間制でご記入ください) なお、利用には一定の利用者負担が発生するものとします。

(1) 日曜・祝日の利用希望

「利用する必要はない」の割合が61.1%、「利用したい」の割合が13.7%となっています。

回答者数 = 293

利用する必要はない
利用したい
無回答

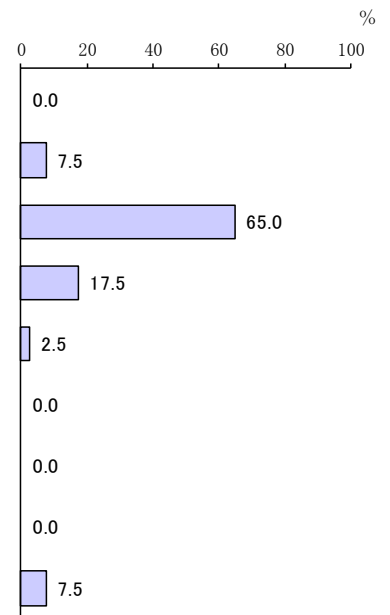


ア 希望利用開始時刻

「8時台」の割合が65.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 40

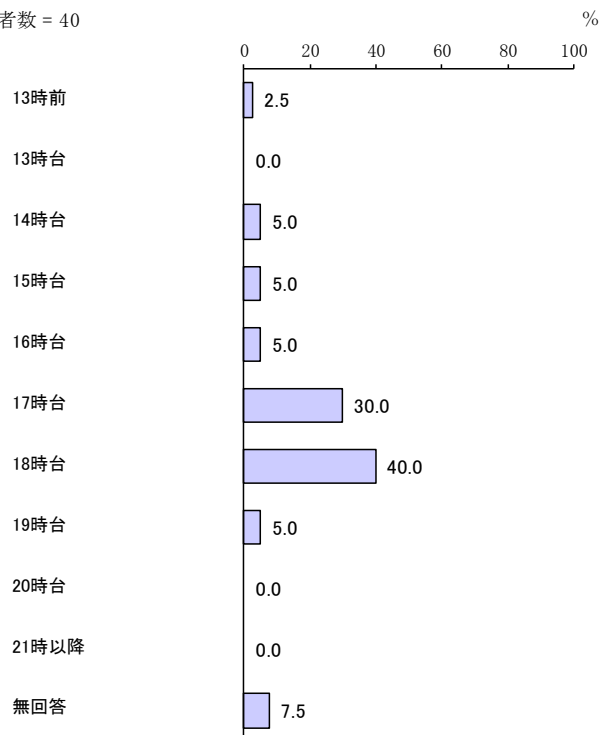
7時前
7時台
8時台
9時台
10時台
11時台
12時台
13時以降
無回答



イ 希望利用終了時刻

「18 時台」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 30.0%となっています。

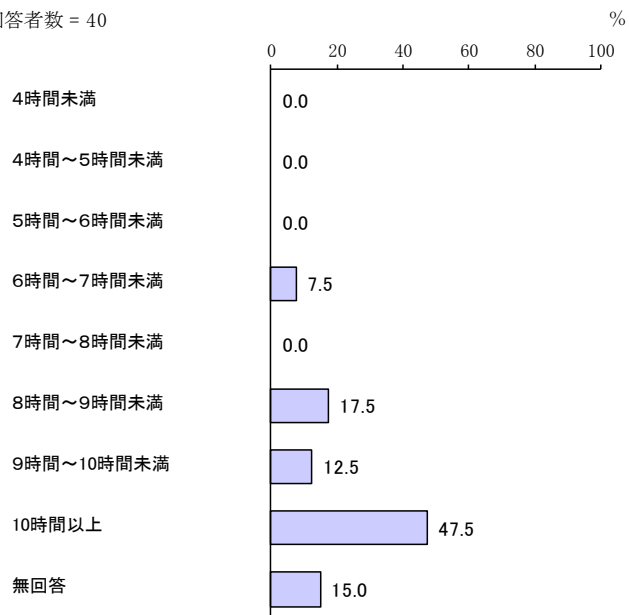
回答者数 = 40



ウ 希望利用時間

「10 時間以上」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「8 時間～9 時間未満」の割合が 17.5%、「9 時間～10 時間未満」の割合が 12.5%となっています。

回答者数 = 40



(2) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望

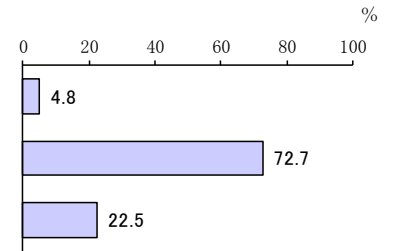
「利用する必要はない」の割合が4.8%、「利用したい」の割合が72.7%となっています。

回答者数 = 293

利用する必要はない

利用したい

無回答



ア 希望利用開始時刻

「8時台」の割合が59.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が19.2%、「7時台」の割合が12.7%となっています。

回答者数 = 213

7時前

7時台

8時台

9時台

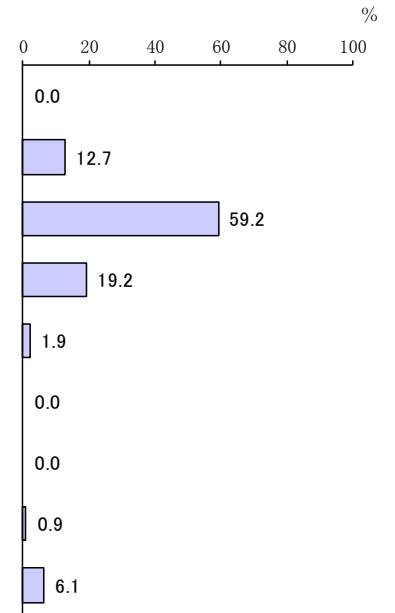
10時台

11時台

12時台

13時以降

無回答



イ 希望利用終了時刻

「17時台」の割合が37.1%と最も高く、次いで「18時台」の割合が29.6%となっています。

回答者数 = 213

13時前

13時台

14時台

15時台

16時台

17時台

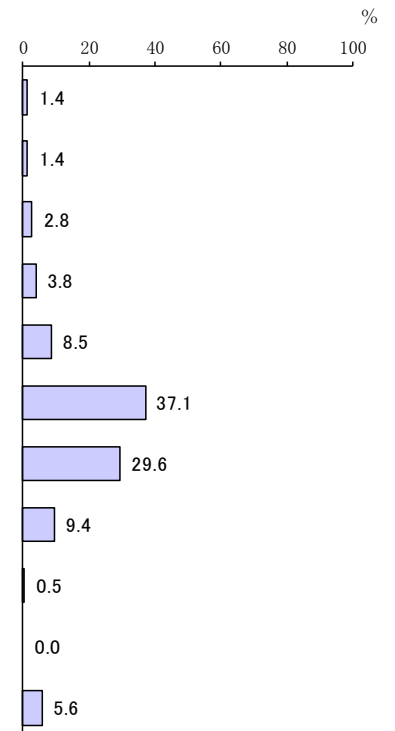
18時台

19時台

20時台

21時以降

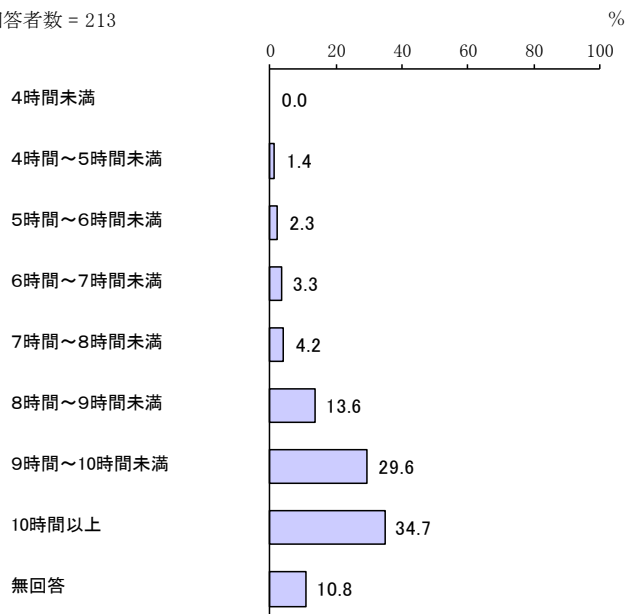
無回答



ウ 希望利用時間

「10 時間以上」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「9 時間～10 時間未満」の割合が 29.6%、「8 時間～9 時間未満」の割合が 13.6%となっています。

回答者数 = 213

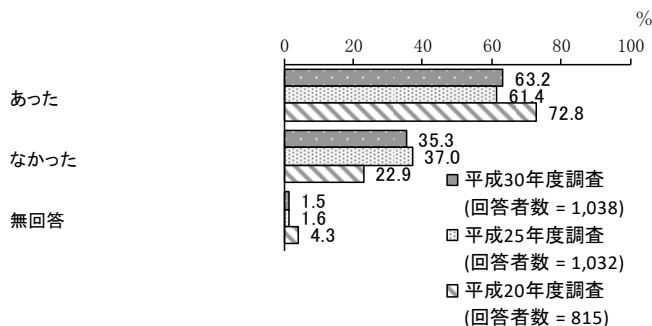


(6) 病気の際の対応について

問 28 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「あった」の割合が 63.2%、「なかった」の割合が 35.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

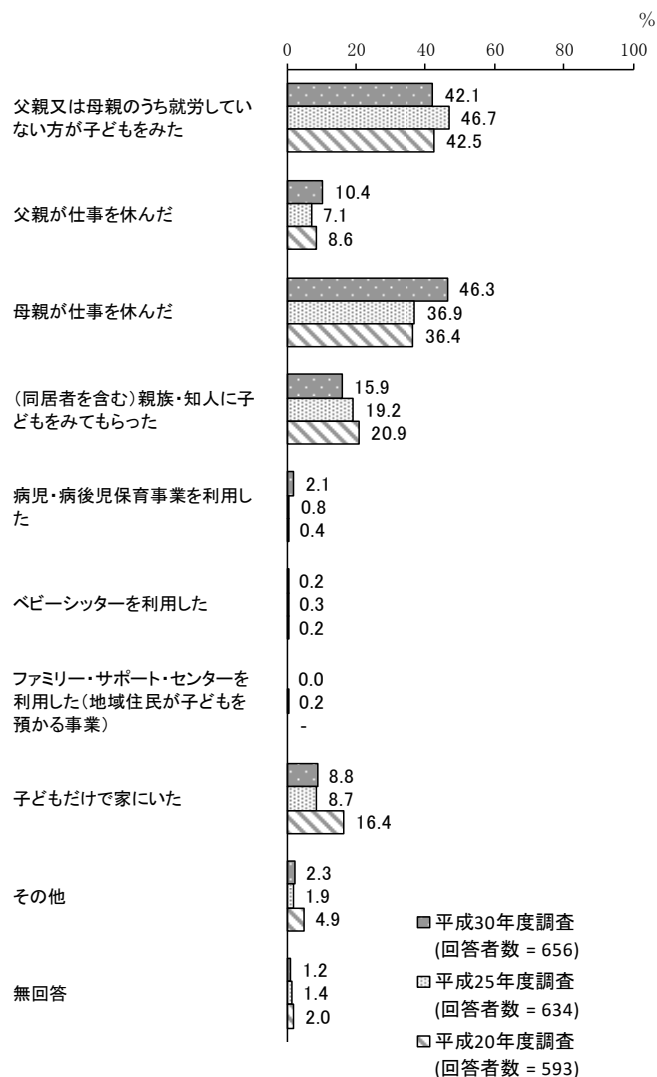


問 28-1 お子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対応として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

(1) 1年間の対処方法

「母親が仕事を休んだ」の割合が46.3%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が42.1%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が15.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「母親が仕事を休んだ」の割合が増加しています。



※平成30年度調査の「病児・病後児保育事業を利用した」は平成20年度調査の「病児の保育サービスを利用した」「病後児の保育サービスを利用した」の合計です。「ファミリー・サポート・センターを利用した」は平成20年度調査ではありませんでした。

(2) 対処方法別日数

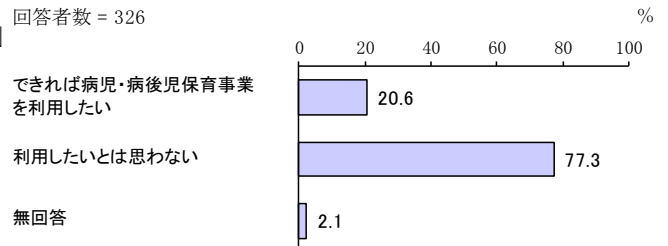
1年間の対処方法別日数について、『オ 病児・病後児保育事業を利用した』で「2日～3日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日 ～ 3日	4日 ～ 5日	6日 ～ 9日	10日 ～ 19日	20日 以上	無回答
ア 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	276	25.7	30.1	18.8	6.5	9.1	1.4	8.3
イ 父親が仕事を休んだ	68	44.1	45.6	5.9	-	-	-	4.4
ウ 母親が仕事を休んだ	304	31.6	38.5	12.5	4.6	3.0	1.0	8.9
エ (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	104	30.8	49.0	9.6	1.9	1.0	-	7.7
オ 病児・病後児保育事業を利用した	14	28.6	50.0	14.3	7.1	-	-	-
カ ベビーシッターを利用した	1	-	-	-	-	-	-	100.0
キ ファミリー・サポート・センターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-
ク 子どもだけで家にいた	58	39.7	43.1	10.3	-	1.7	1.7	3.4
ケ その他	15	26.7	33.3	13.3	13.3	-	-	13.3

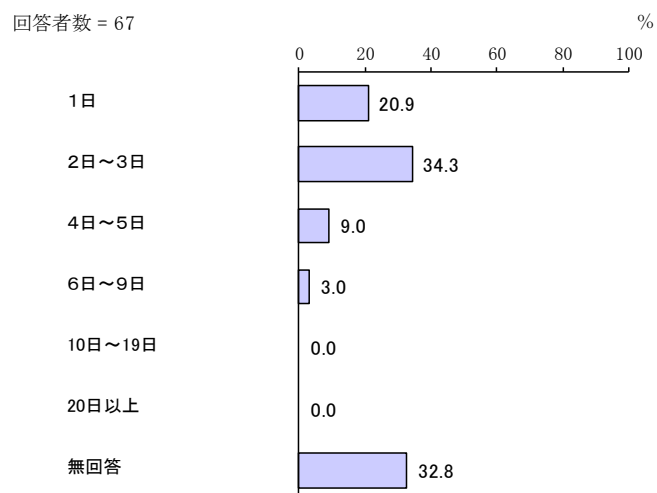
問28-2 問28-1で「イ」または「ウ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、できれば病児・病後児保育事業を利用したいと思いましたが。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児保育事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」の割合が20.6%、「利用したいとは思わない」の割合が77.3%となっています。



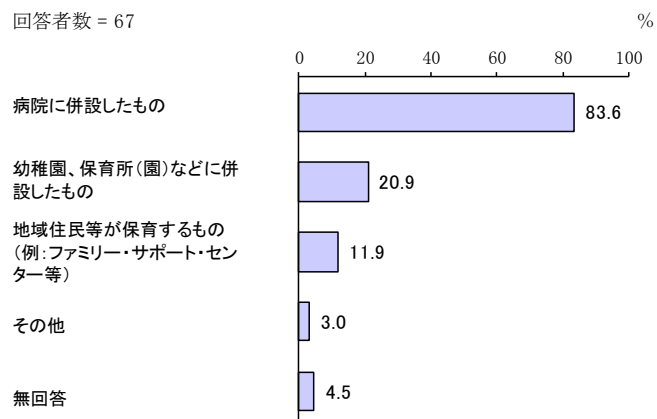
病児・病後児保育事業の利用希望日数

「2日～3日」の割合が34.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が20.9%となっています。



問 28－3 問 28－2で「1. できれば病児・病後児保育事業を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

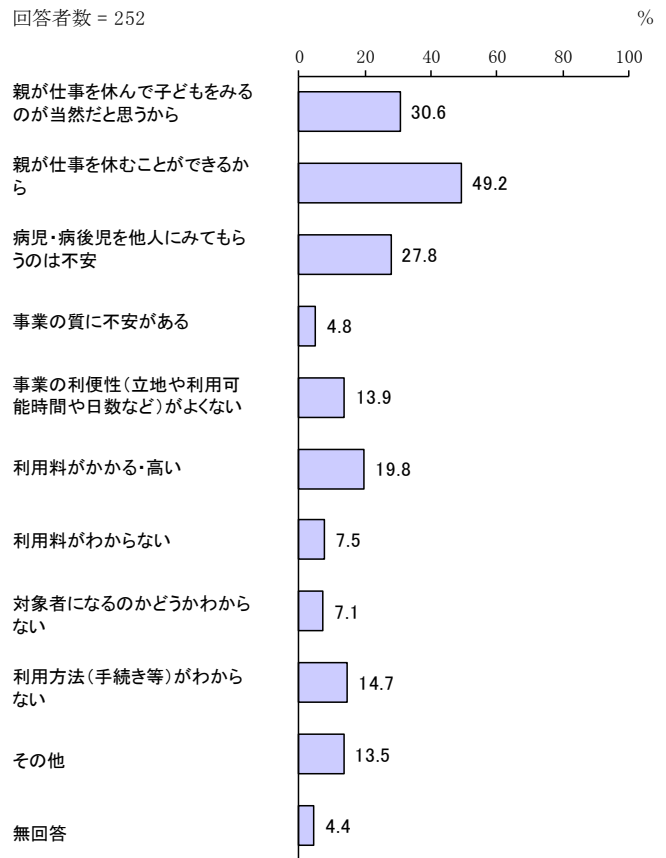
「病院に併設したもの」の割合が83.6%と最も高く、次いで「幼稚園、保育所（園）などに併設したもの」の割合が20.9%、「地域住民等が保育するもの（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が11.9%となっています。



問 28-4 問 28-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休むことができるから」の割合が 49.2% と最も高く、次いで「親が仕事を休んで子どもをみるのが当然だと思うから」の割合が 30.6%、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が 27.8% となっています。

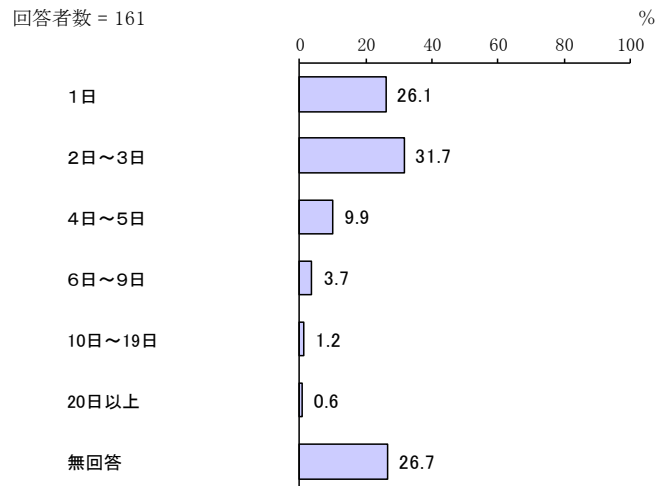
回答者数 = 252



問 28-5 問 28-1 で「エ」から「ケ」のいずれかに○をつけた就労している方にうかがいます。その際、仕事が休めたら、何日仕事を休んでお子さんをみたいと思いましたが。「エ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んでお子さんをみたかったおおよその日数について数字でご記入ください。

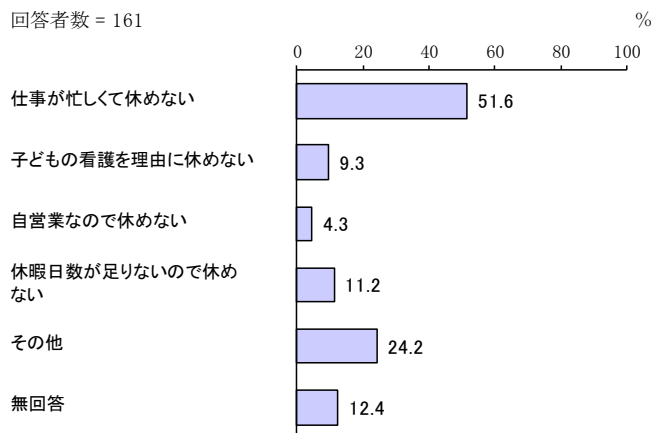
「2日～3日」の割合が 31.7% と最も高く、次いで「1日」の割合が 26.1% となっています。

回答者数 = 161



問 28-6 問 28-1で「エ」から「ケ」のいずれかに○をつけた、就労している方にか
がいます。
休んでお子さんを見ることができなかつた理由について当てはまる番号すべ
てに○をつけてください。

「仕事が忙しくて休めない」の割合が 51.6%と
最も高く、次いで「その他」の割合が 24.2%、「休
暇日数が足りないので休めない」の割合が 11.2%
となっています。

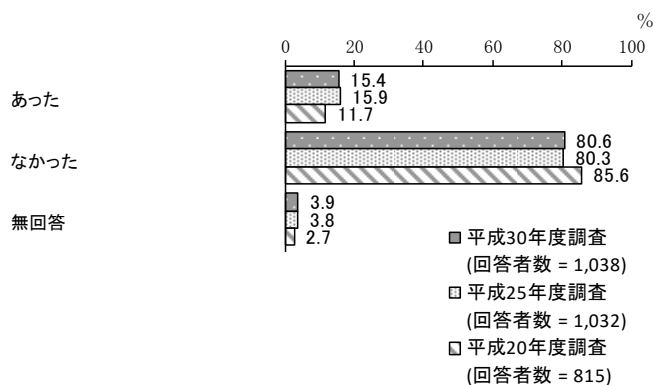


(7) 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 29 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労な
ど）により、お子さんを泊りがけで保護者以外にみてもらわなければならないこ
とはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）あった場合は、
この 1 年間の対応として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も
（ ）内に数字でご記入ください。

「あった」の割合が 15.4%、「なかった」の割
合が 80.6%となっています。

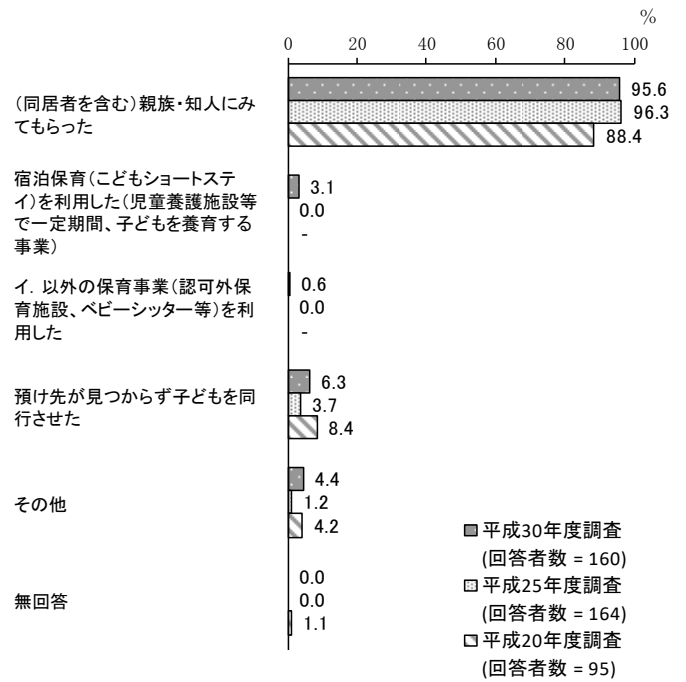
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



(1) 1年間の対処方法

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が95.6%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※「宿泊保育(こどもショートステイ)を利用した」「イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した」は平成20年度調査ではありませんでした。

(2) 対処方法別日数

対処方法別日数について、『ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった』で「1泊」の割合が高くなっています。

単位：%

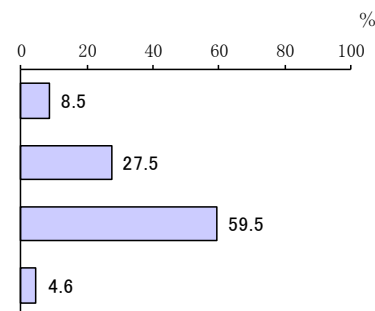
区分	回答者数(件)	1泊	2泊 ～ 3泊	4泊 ～ 5泊	6泊 ～ 9泊	10泊 ～ 19泊	20泊 以上	無回答
ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	153	32.7	26.8	7.2	4.6	8.5	3.3	17.0
イ. 宿泊保育(こどもショートステイ)を利用した	5	-	-	-	-	-	-	100.0
ウ. イ. 以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	1	-	-	-	-	-	-	100.0
エ. 預け先が見つからず子どもを同行させた	10	40.0	20.0	-	-	-	-	40.0
オ. その他	7	14.3	28.6	-	-	-	-	57.1

問 29-1 問 29 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。その際、頼みやすかったですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「頼みやすかった」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「どちらかというと頼みにくかった」の割合が 27.5%となっています。

回答者数 = 153

大変頼みにくかった
どちらかというと頼みにくかった
頼みやすかった
無回答



(8) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

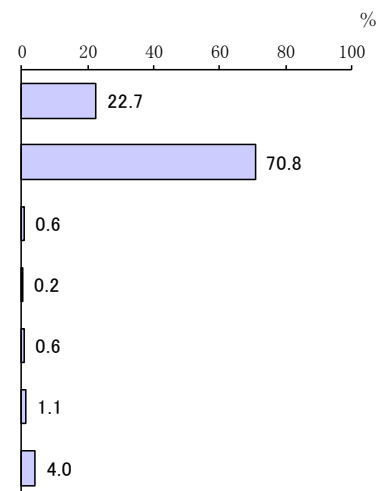
問 30 生活の中での、「仕事」、「家庭生活（家事や育児など）」、「個人の生活（趣味の活動や旅行など）」、「地域活動（ボランティアやサークル活動など）」の優先度についておたずねします。①あなたの現実（現状）として優先しているものと、②あなたが優先したいもの（希望）をそれぞれお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

①現実（現状）として優先しているもの

「家庭生活」の割合が 70.8%と最も高く、次いで「仕事」の割合が 22.7%となっています。

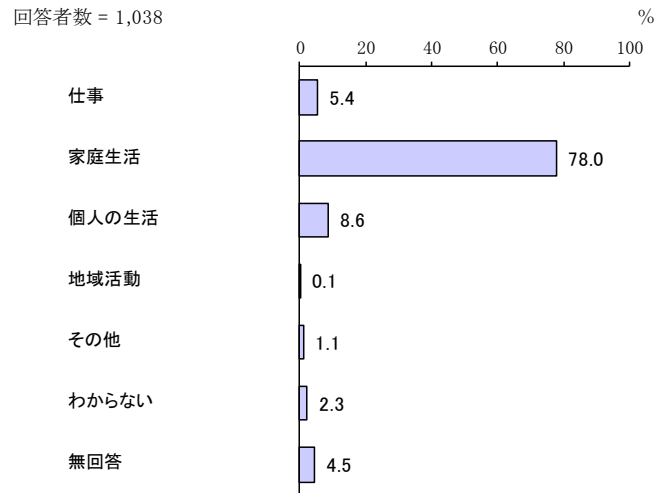
回答者数 = 1,038

仕事
家庭生活
個人の生活
地域活動
その他
わからない
無回答



②優先したいもの（希望）

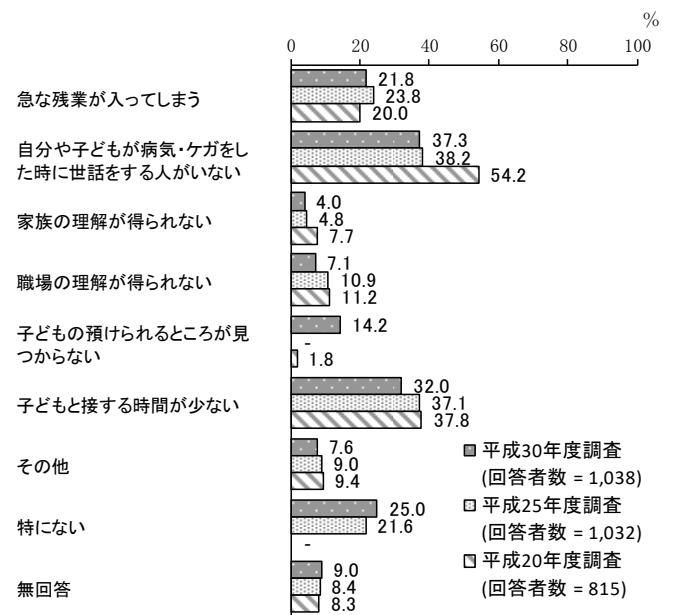
「家庭生活」の割合が78.0%と最も高くなっています。



問31 仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていることがあれば、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「自分や子どもが病気・ケガをした時に世話をする人がいない」の割合が37.3%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」の割合が32.0%、「特にない」の割合が25.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「子どもと接する時間が少ない」の割合が減少しています。

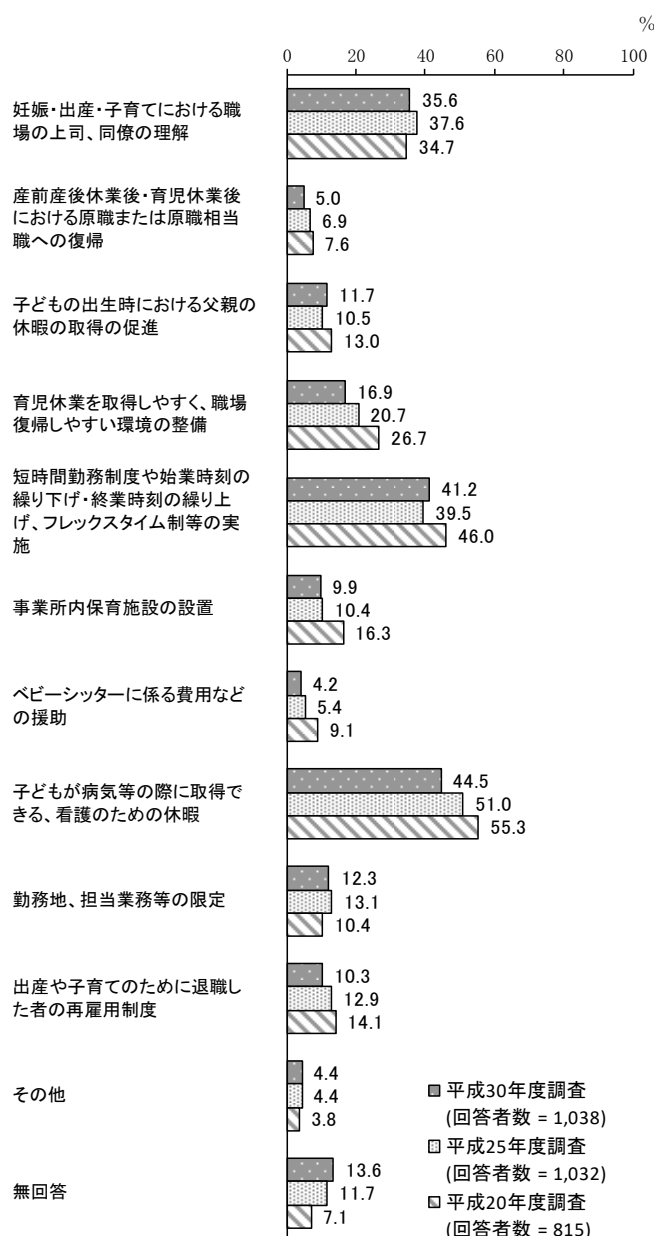


※「子どもの預けられるところが見つからない」は平成25年度調査ではありませんでした。

問 32 仕事と子育てを両立するために、職場環境に求めることは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「子どもが病気等の際に取得できる、看護のための休暇」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「短時間勤務制度や始業時刻の繰り下げ・終業時刻の繰り上げ、フレックスタイム制等の実施」の割合が 41.2%、「妊娠・出産・子育てにおける職場の上司、同僚の理解」の割合が 35.6%となっています。

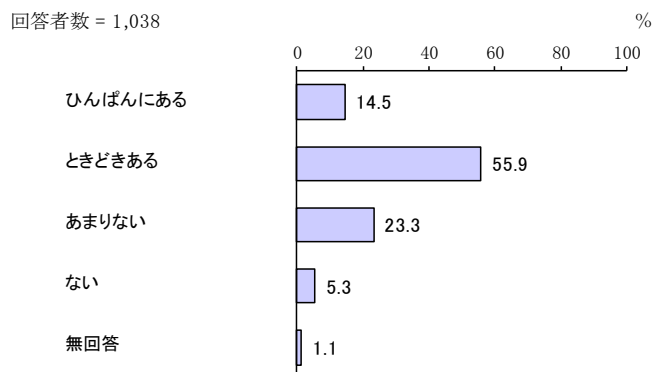
平成 25 年度調査と比較すると、「子どもが病気等の際に取得できる、看護のための休暇」の割合が減少しています。



(9) 子育てのストレスについて

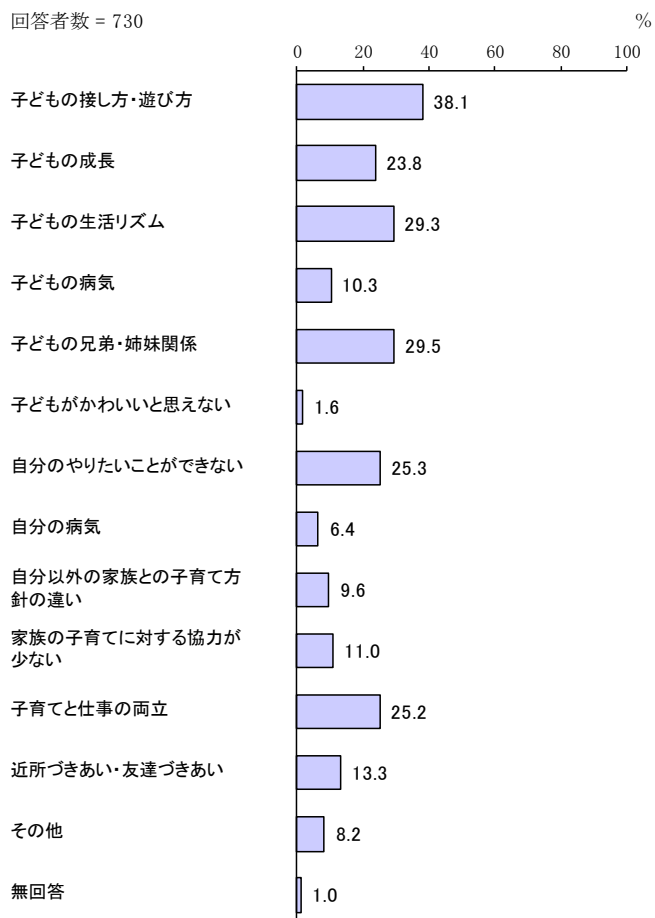
問 33 子育てにストレスを感じることがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「ときどきある」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が 23.3%、「ひんぱんにある」の割合が 14.5%となっています。



問 33-1 問 33 で「1. ひんぱんにある」「2. ときどきある」に○をつけた方にうかがいます。それはどんな時や、どんな事ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

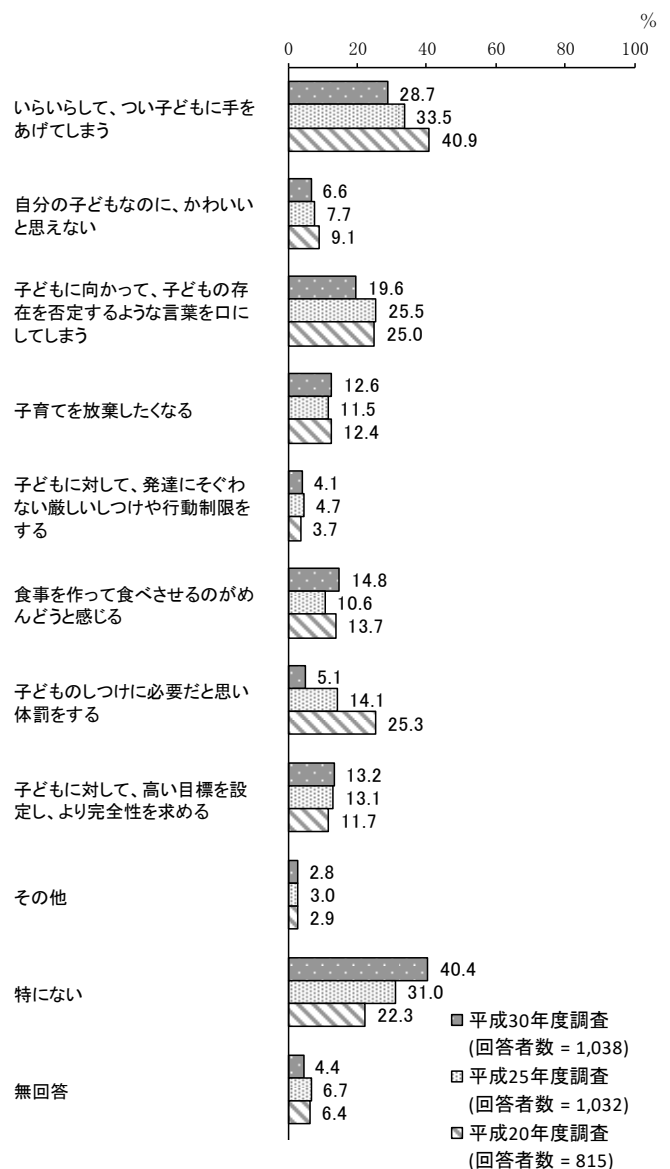
「子どもの接し方・遊び方」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「子どもの兄弟・姉妹関係」の割合が 29.5%、「子どもの生活リズム」の割合が 29.3%となっています。



問 34 あなたを含め、家族の誰かが、次のようなことをしたことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

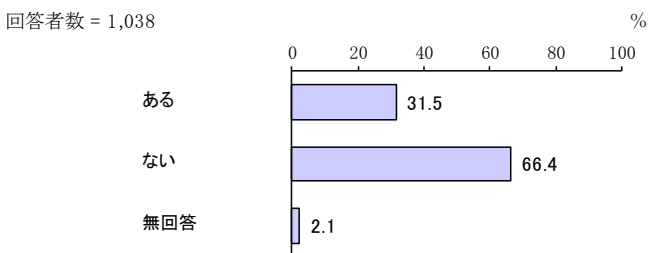
「特にない」の割合が40.4%と最も高く、次いで「いらいらして、つい子どもに手をあげてしまう」の割合が28.7%、「子どもに向かって、子どもの存在を否定するような言葉を口にしてしまう」の割合が19.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「特にない」の割合が増加しています。一方、「子どもに向かって、子どもの存在を否定するような言葉を口にしてしまう」「子どものしつけに必要なだと思い体罰をする」の割合が減少しています。



問 35 あなたは自身が、子どもに保護者から問34のような行為を受けたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

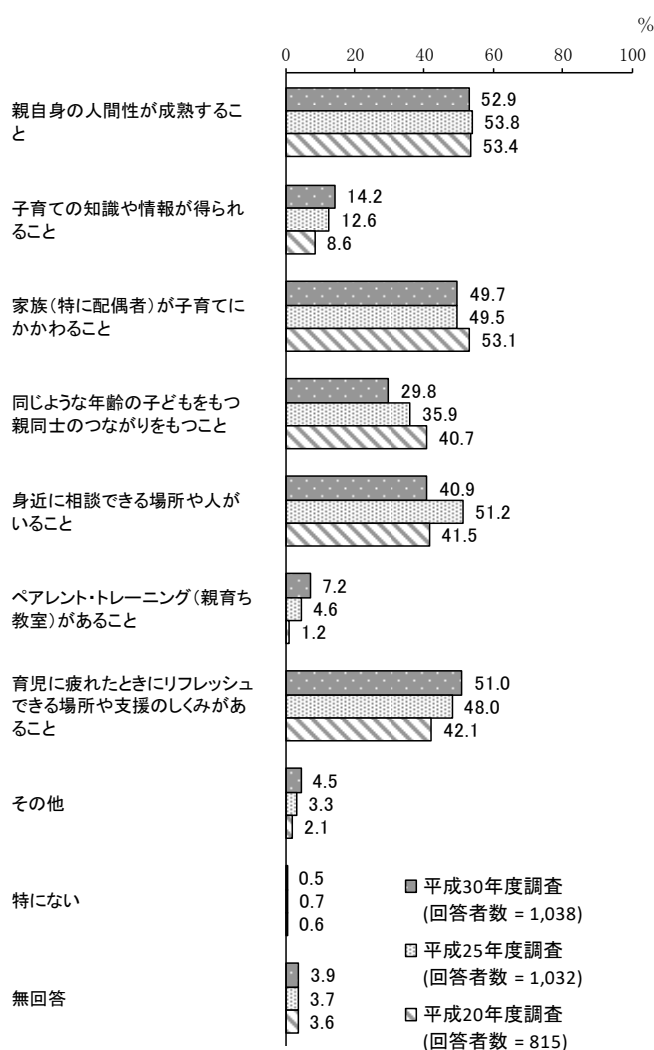
「ある」の割合が31.5%、「ない」の割合が66.4%となっています。



問 36 子どもの虐待を防止するために、何が重要だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「親自身の人間性が成熟すること」の割合が52.9%と最も高く、次いで「育児に疲れたときにリフレッシュできる場所や支援のしくみがあること」の割合が51.0%、「家族（特に配偶者）が子育てにかかわること」の割合が49.7%となっています。

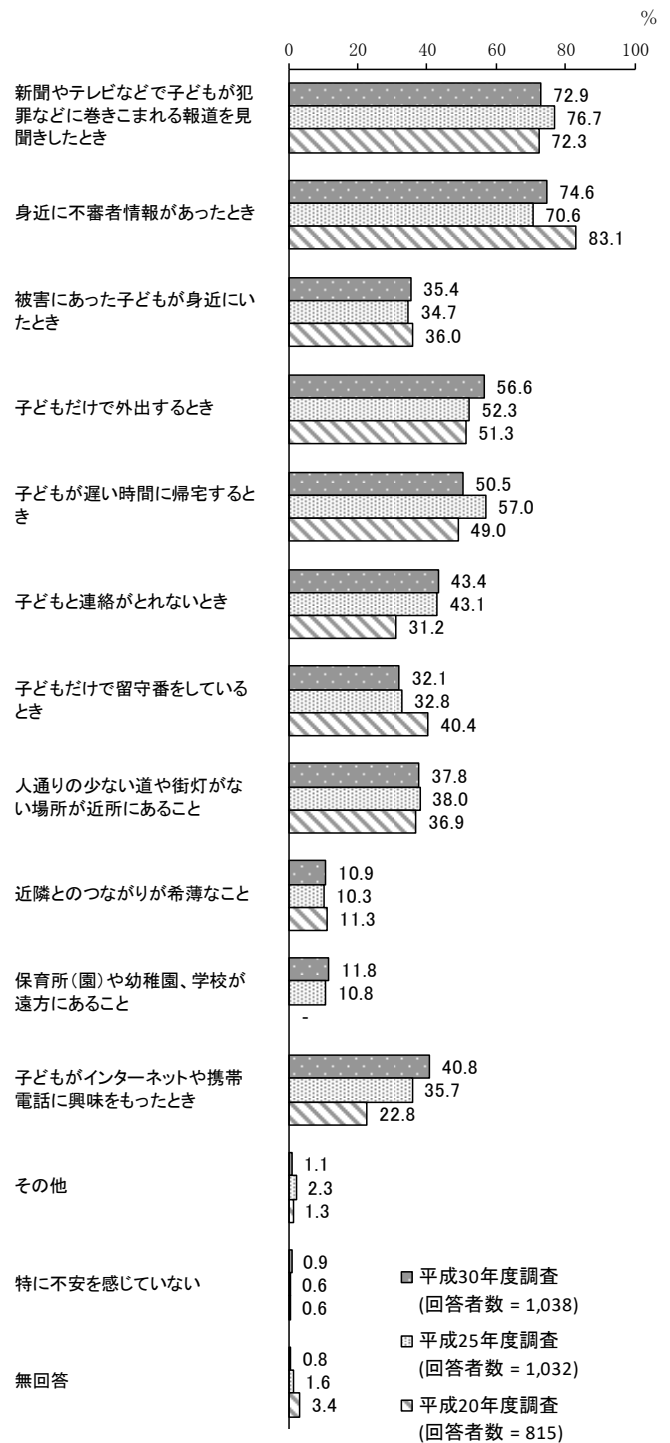
平成25年度調査と比較すると、「同じような年齢の子どもをもつ親同士のつながりをもつこと」「身近に相談できる場所や人がいること」の割合が減少しています。



問 37 あなたは、どのようなことで子どもの安心・安全がおびやかされるのではないかと不安に感じますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「身近に不審者情報があったとき」の割合が74.6%と最も高く、次いで「新聞やテレビなどで子どもが犯罪などに巻きこまれる報道を見聞きしたとき」の割合が72.9%、「子どもだけで外出するとき」の割合が56.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「子どもがインターネットや携帯電話に興味をもったとき」の割合が増加しています。一方、「子どもが遅い時間に帰宅するとき」の割合が減少しています。



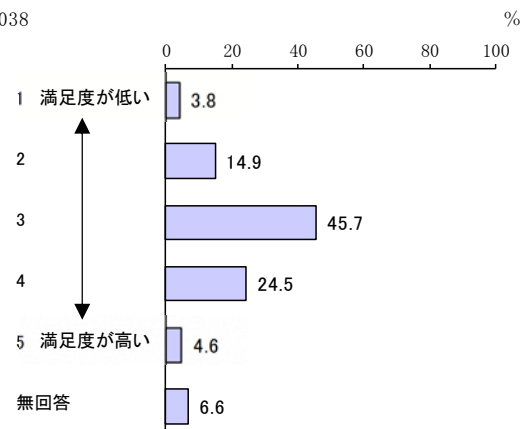
※「保育所(園)や幼稚園、学校が遠方にあること」は平成20年度調査ではありませんでした。

(10) 子育て支援対策全般について

問 38 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に○をつけてください。

「3」の割合が45.7%と最も高く、次いで「4」の割合が24.5%、「2」の割合が14.9%となっています。

回答者数 = 1,038



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、11歳（6年生）で「3」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	1	2	3	4	5	無回答
6歳(1年生)	163	5.5	16.0	42.9	23.9	5.5	6.1
7歳(2年生)	171	4.1	14.6	46.2	28.1	3.5	3.5
8歳(3年生)	171	4.1	16.4	47.4	21.1	1.8	9.4
9歳(4年生)	167	3.6	10.8	44.3	30.5	6.0	4.8
10歳(5年生)	177	2.8	18.6	41.8	23.7	7.3	5.6
11歳(6年生)	160	3.1	13.1	53.1	18.8	3.8	8.1
全体	1,038	3.8	14.9	45.7	24.5	4.6	6.6

問 39 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「各種費用の減免制度や医療費の助成等の経済的支援」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「小児医療体制の充実」の割合が 25.3%、「保育所（園）、留守家庭児童会等の働きながら子どもを預ける施設を増やす」の割合が 21.9%、「保護者が働いている、働いていないに関わらず、子どもを預けることができる幼保連携型認定こども園を増やす」の割合が 21.7%、「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」の割合が 19.7%となっています。

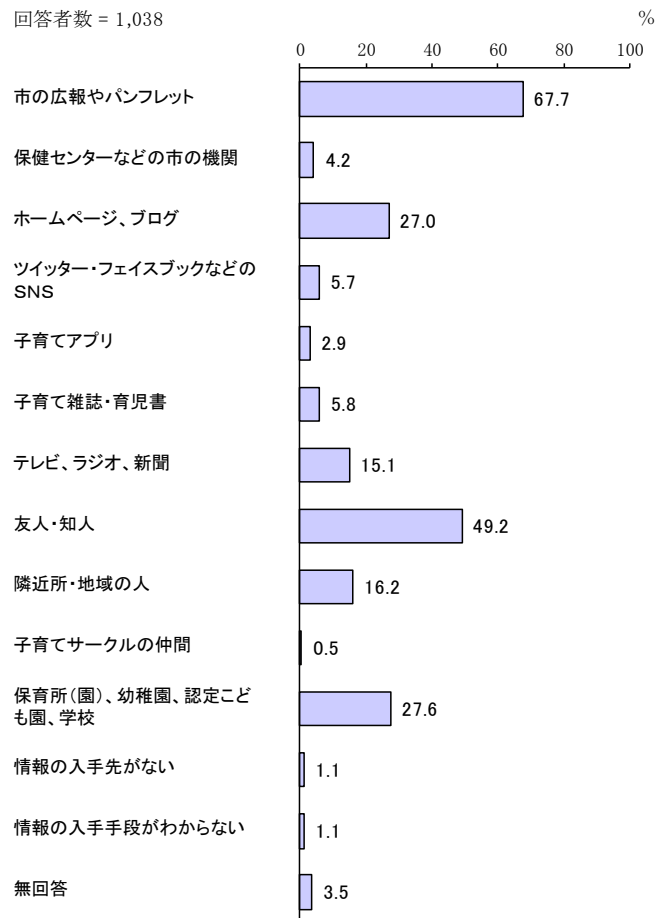
回答者数 = 1,038



問 40 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手していますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「市の広報やパンフレット」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 49.2%、「保育所（園）、幼稚園、認定こども園、学校」の割合が 27.6%となっています。

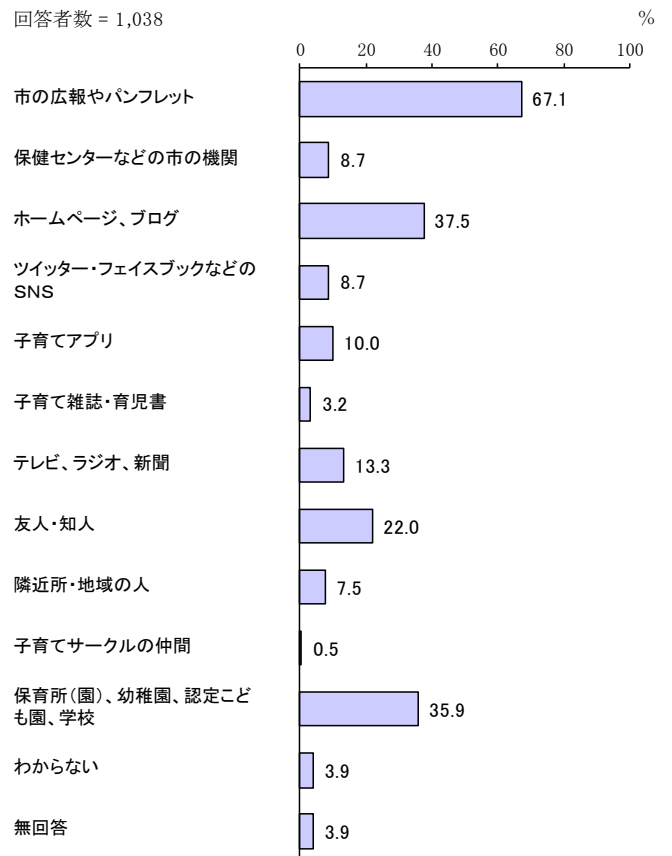
回答者数 = 1,038



問 41 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手したいですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「市の広報やパンフレット」の割合が67.1%と最も高く、次いで「ホームページ、ブログ」の割合が37.5%、「保育所（園）、幼稚園、認定こども園、学校」の割合が35.9%となっています。

回答者数 = 1,038



Ⅲ 自由回答

アンケート調査票の自由記述欄において、意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は下記のとおりになります。なお、意見については延べ件数でまとめています。

1 就学前児童

分類回答	件数
(1) 幼稚園・保育園・認定こども園について	
① 施設整備について	9
② 保育士について	6
③ 待機児童について	5
④ 保育料金・入園条件について	4
⑤ 夜間・休日、長期休暇の受け入れ	3
⑥ 延長保育について	1
⑦ その他	17
(2) 小学校就学後の生活について	
① 小学校について	4
② 児童館・留守家庭児童会について	3
③ PTA・子供会	1
(3) 子育て支援全般について	
① 地域子育てセンター、広場について	12
② その他の子育て支援サービスについて	19
③ 子育てに関する情報、相談先について	10
(4) 子育て環境について	
① 子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について	20
② 医療費、健診等について	4
③ 地域のつながり、協力等について	3
(5) 子育て中の保護者の状況について	
① 子育てと仕事の両立について	1
(6) その他	
① 市政について	3
② アンケートについて	8
③ 特になし	4
④ その他	8

2 小学生

分類回答	件数
(1) 幼稚園・保育園・認定こども園について	
① 保育料金・条件について	6
② 保育士について	4
③ 延長保育について	2
④ 夜間・休日、長期休暇の受け入れ	2
⑤ 施設整備について	1
⑥ 待機児童について	1
⑦ その他	10
(2) 小学校の生活について	
① 小学校について	79
② 児童館・留守家庭児童会について	64
③ P T A・子供会	6
(3) 中学校について	
① 中学校の給食導入	46
(4) 子育て支援全般について	
① 地域子育てセンター、広場について	6
② その他の子育て支援サービスについて	45
③ 子育てに関する情報、相談先について	20
(5) 子育て環境について	
① 子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について	49
② 医療費、健診等について	21
③ 地域のつながり、協力等について	9
④ その他	13
(6) 子育て中の保護者の状況について	
① 子育てと仕事の両立について	11
② 保護者のリフレッシュ、子育て不安等について	1
③ その他	3
(7) その他	
① 市政について	4
② アンケートについて	7
③ 特になし	3
④ その他	6

IV 調査票

1 就学前児童

(就学前児童用)

京田辺市子ども・子育て支援に関する二一ス調査 ご協力をお願い

日頃より京田辺市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
平成 24 年 8 月に「子ども・子育て関連 3 法」が可決・成立し、公布されました。本市では、この 3 法に基づき、新たな子ども・子育て支援新制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、産前ホームベレバ一派遣事業、三山木保育所の新築、認定こども園の整備などに取り組んでまいりました。

新制度では、各市町村が実施主体となつて、子育て中の市民の皆さまのニーズを把握した上で、5 年間を計画期間とする「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画的に給付や事業などを行っていくことが求められております。

そこで、京田辺市においても、計画策定に向けて二一ス調査を実施することとし、**調査の対象者として市内の就学前児童と小学生の中から、それぞれ 1,500 人のお子さんを無作為に選**

ばせていただきました。
この二一ス調査は、全国共通の項目を基本に行うものであり、お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 31 年 1 月

京田辺市長 石井 明三

【ご記入に当たつてのお願い】

- この調査票は、**親の宛名のお子さんの保護者の方**がお答えください。
- ひとり親家庭の場合は、母親または父親のみお答えください。また、ご両親以外の方が保護者の場合は、女性の方は「母親」欄に、男性の方は「父親」欄にご記入ください。
- 回答は、当てはまる番号に○をつけたり、記入欄に直接ご記入いただくものなどがあります。また、該当者だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- ご記入に当たつてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
- ご記入が終了れば、同封の返信用封筒にて、**2月1日(金)まで**にご返送ください。

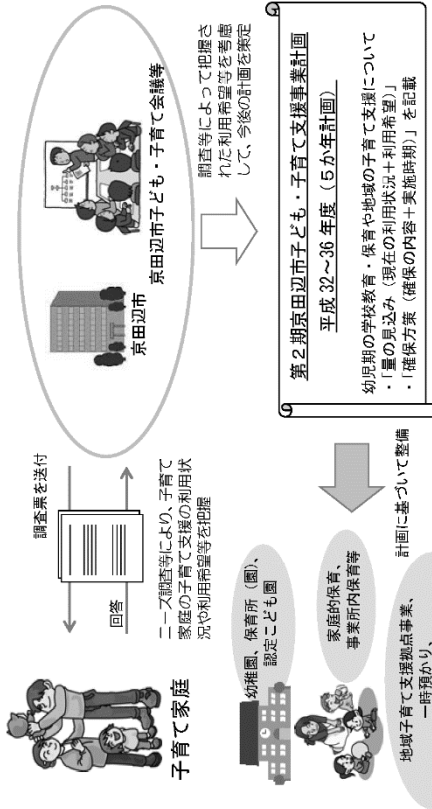
京田辺市 輝くこども未来室
電話：0774-64-1350 (ダイヤルイン) FAX：0774-63-4781
e-mail：mira@city/kyotanabe.lg.jp

回答するに当たつてお読みください

京田辺市では、平成 27 年度から始まった「子ども・子育て支援新制度」のために、31 年度までの 5 年間を計画期間とする「京田辺市子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。

この二一ス調査は、同計画の次の計画となる「第 2 期京田辺市子ども・子育て支援事業計画」(32～36 年度)を策定するにあつて、皆さんの教育・保育・子育て支援についての現在の利用状況や、今後の利用希望などをお聞きするものです。

いただいた回答は京田辺市の教育・保育・子育て支援の充実に生かされます



本調査票での用語の定義

- 幼稚園：学校教育法に定める、3～5 歳児に対して学校教育を行う施設
- 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする 0～5 歳児に対して保育を行う施設
- 認定こども園：幼稚園と保育所(園)の機能を併せ持つ施設

宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問1 宛名のお子さんのお住まいの小学校校区はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|-------|---------|--------|--------|--------|
| 1. 大住 | 2. 松井ヶ丘 | 3. 楳園 | 4. 新 | 5. 田辺東 |
| 6. 田辺 | 7. 早岡 | 8. 三山木 | 9. 岩賢寺 | |

問2 宛名のお子さんの生年月を () 内に数字でご記入ください。
平成 () 年 () 月 生まれ

問3 宛名のお子さんを含め、おさんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。2人以上のおさんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

子どもの数 () 人 末子の生年月 平成 () 年 () 月 生まれ

問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない | 3. その他 () |
|-----------|------------|------------|

問6 母親、父親の該当する年齢階層についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	1. 19歳以下	2. 20歳代	3. 30歳代	6. 60歳以上
	4. 40歳代	5. 50歳代		
父親	1. 19歳以下	2. 20歳代	3. 30歳代	6. 60歳以上
	4. 40歳代	5. 50歳代		

問7 母親と父親の本市での居住年数をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	1. 3年未満	2. 3～5年未満	4. 10年以上
	3. 5～10年未満		
父親	1. 3年未満	2. 3～5年未満	4. 10年以上
	3. 5～10年未満		

問8 お子さんとの同居の状況について当てはまる番号すべてに○をつけてください。婚姻はお子さんからみた関係です。

- | | | |
|---------|-----------------|-----------------|
| 1. 父母同居 | 2. 父同居 (ひとり親家庭) | 3. 母同居 (ひとり親家庭) |
| 4. 祖父同居 | 5. 祖母同居 | 6. その他 () |

問9 お子さんの祖父が近くにお住まいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。近くとは、概ね30分程度で行き来できる範囲です。

- | | | |
|-----------|-------------|--------------|
| 1. 同居している | 2. 近くに住んでいる | 3. 近くに住んでいない |
|-----------|-------------|--------------|

問10 お子さんの子育てを主にしているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父 | 5. その他 () | |

ご家族の生活状況についてうかがいます。

問11 あなたは、ご家族の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. 普通 |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問12 あなたの世帯では、過去1年の間に、急な出費などで家計のやりくりができていないことがあります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. とまどきあった |
| 3. まれにあった | 4. まったくなかった |

問13 あなたは、現在、どのような悩みや不安を感じていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 経済的に困っている | 2. 適応就職先がなくて困っている |
| 3. 仕事と子育ての両立が困難である | 4. 子どもをみてもらうところが無い |
| 5. 家事の仕方がわからない | 6. 住宅のことで困っている |
| 7. 子どもの教育(進学)やしつけのことで困っている | 9. 子どもが情緒的に不安定である。 |
| 8. 自分が精神的に不安定である | 11. 相談相手がない |
| 10. 親権や財産等の問題が解決できない | 13. 家族の健康状態がよくない |
| 12. 自分の健康状態がよくない | 15. 親族との人間関係について |
| 14. 夫婦関係について | 17. 勤務先での仕事や人間関係について |
| 16. 近隣・地域との人間関係について | 19. 特に困っていることはない |
| 18. その他 () | |

問14 子どもや保護者にとって、現在または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 保護者が家にいないときに子どもを預かる場所やサービスの提供 |
| 2. 低収入で生活が厳しいこと |
| 3. 生活や就学のための経済的補助 |
| 4. 進路や生活などについてなくても相談できること |
| 5. 子どもが仲間と出会う、一緒に活動できること |
| 6. 自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供 |
| 7. 地域における子どもの居場所の提供 |
| 8. 読み書き計算などの基礎的な学習への支援 |
| 9. 会社などの職場体験等の機会 |
| 10. 仕事に就けるようにするための就労に關する支援 |
| 11. 子育ての悩みなど、気軽に相談できること |
| 12. その他 () |
| 13. 特にない |
| 14. わからない |

病名のお子さんの育ちをめぐる状況についてうかがいます。

問 15 お子さんが日常的に通っている施設はどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------------|-----------|
| 1. 幼稚園 | 2. 保育所（園） | 3. 認定こども園 |
| 4. その他（ ） | 5. いずれにも通っていない | |

問 16 お子さんの子育てに大きく影響すると思われる環境について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 |
| 4. 保育所（園） | 5. 認定こども園 | |
| 6. その他（ ） | | |

問 17 日頃、お父さんをおもてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } 【問 17-1 へ】
} 【問 17-2 へ】 |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをおもてもらえる友人・知人がいる | |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをおもてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | 【問 18 へ】 |

問 17-1 問 17 で「1」または「2」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお父さんをおもてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、祖父母等の親族に負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育・発達にとって心ざわしい環境であるかどうか、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

問 17-2 問 17 で「3」または「4」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお父さんをおもてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 友人・知人が子育てに協力してくれ、安心である |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、友人・知人に負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育・発達にとって心ざわしい環境であるかどうか、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

問 18 日頃について、今のお気持ちが一番近いものとして当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. とても楽しい | 2. 比較的楽しい |
| 3. 少し不安・負担を感じる | 4. とても不安・負担を感じる |
| 5. どちらともいえない | |

問 19 病名のお子さんとかかわる時間（会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話を、勉強をみるなど）はだいたいどのくらいありますか。母親、父親とも平日と休日に分けてそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| (1) 母親 | |
| 平日（1つに○） | 休日（1つに○） |
| 1. ほとんどない | 1. ほとんどない |
| 2. 30分くらい | 2. 30分くらい |
| 3. 1時間くらい | 3. 1時間くらい |
| 4. 2時間以上 | 4. 2時間以上 |
| 5. 3時間以上 | 5. 3時間以上 |
| 6. 4時間以上 | 6. 4時間以上 |
- | | |
|-----------|-----------|
| (2) 父親 | |
| 平日（1つに○） | 休日（1つに○） |
| 1. ほとんどない | 1. ほとんどない |
| 2. 30分くらい | 2. 30分くらい |
| 3. 1時間くらい | 3. 1時間以上 |
| 4. 2時間以上 | 4. 2時間以上 |
| 5. 3時間以上 | 5. 3時間以上 |
| 6. 4時間以上 | 6. 4時間以上 |

問 20 お子さんを見ていて、あなたが日頃悩んでいること、不安に感じることなどはどのようなことですか。お子さんのこと、保護者のこと、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 【お子さんのこと】 | 【保護者のこと】 |
| 1. 病氣や発育・発達 | 1. 病氣や発育・発達 |
| 2. 育児の方法 | 2. 食事や栄養 |
| 3. 子どもの接し方 | 3. 子どものしつけ |
| 4. 子どもの教育や将来の教育費 | 4. 子どもの遊び |
| 5. 子どもの生活リズムが乱れている | 5. 子育てで出費がかさむ |
| 6. 仕事や自分のやりたいことができない | 6. 子育てで出費がかさむ |
| 7. 話し相手や相談相手、協力者がいない | 7. 子どもの生活リズムが乱れている |
| 8. 子どもを叱りすぎているような気がする | 8. 子どもの生活リズムが乱れている |
| 9. 子育てのストレスがたまっている | 9. 子どもの生活リズムが乱れている |
| 10. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない | 10. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない |
| 11. 家族の中での子育て方針の違い | 11. 配偶者・パートナーの協力が少ない |
| 12. 特になし | 12. 話し相手や相談相手、協力者がいない |
| 13. 特になし | 13. 保護者同士の交流・つきあいが少ない |
| 14. 特になし | 14. 子どもを叱りすぎているような気がする |
| 15. 特になし | 15. 子育てのストレスがたまっている |
| 16. 特になし | 16. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない |
| 17. 特になし | 17. 子育てによる身体の疲れが大変 |
| 18. 特になし | 18. 子育てによる身体の疲れが大変 |
| 19. 特になし | 19. 家族の中での子育て方針の違い |
| 20. 特になし | 20. 住居が狭い |
| 21. 特になし | 21. 特になし |
| 22. 特になし | 22. その他（ ） |

問 21 お子さんの子育てをすることで、気軽に相談できる人はいませんか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある ⇒ 【問 21-1 へ】 2. いない/ない ⇒ 【問 22 へ】

問 21-1 問 21 で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 3. 近所の人 |
| 4. 子育てサークル・NPO・子育て支援施設（地域子育て支援センター・児童館等） | 4. 子育てサークル・NPO・子育て支援施設（地域子育て支援センター・児童館等） |
| 5. 保健所 | 5. 保健所 |
| 6. 保健センター（健診の際） | 6. 保健センター（健診の際） |
| 7. 保育所（園） | 7. 保育所（園） |
| 8. 幼稚園 | 8. 幼稚園 |
| 9. 認定こども園 | 9. 認定こども園 |
| 10. 民生委員・児童委員 | 10. 民生委員・児童委員 |
| 11. かかりつけ医 | 11. かかりつけ医 |
| 12. 自治体の子育て関連担当窓口・子育ての総合相談窓口「はぐはぐ」 | 12. 自治体の子育て関連担当窓口・子育ての総合相談窓口「はぐはぐ」 |
| 13. 母子父子自立支援員 | 13. 母子父子自立支援員 |
| 14. 児童相談所・家庭児童相談室 | 14. 児童相談所・家庭児童相談室 |
| 15. 民間の電話相談 | 15. 民間の電話相談 |
| 16. その他（ ） | 16. その他（ ） |

問 22 あなたの家庭では、ご近所や地域の人々とお付き合いはどの程度ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 親しい
2. 付き合いがあり、やや親しい
3. 少々付き合いがある
4. 付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度
5. 付き合いがない

問 23 おさんは次の地域での催しへ参加していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てサークル活動
2. スポーツ活動
3. 文化・音楽活動
4. キャンプ等の野外活動
5. 子ども会等の青少年団体活動
6. リサイクル等の環境分野での社会貢献活動
7. その他 ()
8. 特に参加していない

問 24 おさんはどこで遊ぶことが多いですか。主な場所として当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 公園
2. 家の近くの道路、路地
3. 子どもの友人宅
4. 親戚宅
5. 保護者の知人宅
6. 児童館
7. 地域子育て支援センター
8. 子育てひろばなど
9. 自宅
10. その他 ()

問 25 遊び場で困ること・困ったことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 雨の日に遊べる場所がない
2. 近くに遊び場がない
3. 遊び場や周辺環境が悪く、安心して遊べない
4. 遊び場周辺の道路が危険である
5. 思い切りの遊具のための十分な広さがない
6. 遊具などが充実していない
7. 遊具などの故障が多くて危険である
8. トイレなどが不衛生である
9. 遊び場に同じ歳くらいの子がいない
10. いつも隔離されていて寂しい感じがする
11. その他 ()
12. 特に困ること・困ったことはない

問 26 おさんと外出する際に、困ること・困ったことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配
2. 歩道の段差などベビーカー等の通行が困難
3. 交遊機群や建物やベビーカーでの移動に配慮されていない
4. 授乳する場所や必要な設備がない
5. オムツ替えや親子での利用に便利なトイレがない
6. 小さなお子との食事に配慮された場所がない
7. 買物中などに子どもを遊ばせる場所がない
8. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪被害にあわないか心配
9. 周囲の人が子どもを連れ去るのを恐る
10. 困っているときに手を貸してくれる人が少ない
11. その他 ()
12. 特に困ること・困ったことはない

問 27 おさんの休日や夜間の急な発熱には、どのように対応していますか。もともとはまる番号1つに○をつけてください。

1. 休日医師診療所・救急外来
2. かかりつけ医
3. 小児救急電話相談（#8000）など
4. その他 ()
5. 受診できる医師機関を知らない

問 28 あなたの家庭では、どのような点を重視して育てていますか(育てようと考えていますか)。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 甘やかさず、適度に厳しきこと
2. まず、親が手本を示すこと
3. 子どもの個性を伸ばすこと
4. 家事手伝いなど、多くの体験をさせること
5. 子どもの自主性を尊重すること
6. 反立ちなどの人間関係づくり
7. 家族のふれあい
8. お金やものを大切にすること
9. 他人の立場に立って行動すること
10. しつけにおいて厳しさをもちこと
11. 子どもに期待をかけすぎないこと
12. その他 ()
13. 特にない

問 29 子育てをする上で、どのような子育て環境が望ましいと思いますか。そして、そのためには、周囲(身近な人、行政など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にご記入ください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 30 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ※	母親	父親
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である ※	1	1
3. フルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ※	2	2
4. フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である ※	3	3
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 【問 30-5へ】	4	4
6. これまで就労したことがない ⇒ 【問 30-5へ】	5	5

※フルタイムとは、1週5日程度・1日8時間程度の就労をいいます。

問 30-1 就労している方(問 30で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方)にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」を()内に数字でご記入ください。

※就労パターンが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親	1週当たり () 日	1日当たり () 時間
父親	1週当たり () 日	1日当たり () 時間

問 30-2 就労している方(問 30で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方)にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻は、必ず(例)8時~17時のように、24時間制(30分単位)で()内に数字でご記入ください。

※就労パターンが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親	家を出る時刻 () 時 () 分頃	帰宅時刻 () 時 () 分頃
父親	家を出る時刻 () 時 () 分頃	帰宅時刻 () 時 () 分頃

問30-3 就労している方(問30で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方)にうかがいます。育児とは専ら専立するうえで望ましいと考える家を出る時刻と帰宅時刻をお書きください。時間は、必ず(例)8時~17時のように、24時間制(30分単位)で()内に数字でご記入ください。

母親	理想の家を出る時刻()時()分頃	理想の帰宅時刻()時()分頃
父親	理想の家を出る時刻()時()分頃	理想の帰宅時刻()時()分頃

問30-4 フルタイム以外で就労している方(問30で「3」または「4」のいずれかに○をつけた方)にうかがいます。フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転職希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある	母親	父親
2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない	1	1
3. フルタイム以外の就労を続けることを希望	2	2
4. フルタイム以外の就労をやめて子育てや家事に専念したい	3	3
	4	4

問30-5 問30で「5」以前は就労していたが、現在は就労していないまたは「6」これまで就労したことがないのいずれかに○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・配号1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 今は子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年以内、一時的に専念したい(就労の予定はない)

3. すぐにも、もしくは1年以上以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり()日 1日当たり()時間

(2) 父親

1. 今は子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年以内、一時的に専念したい(就労の予定はない)

3. すぐにも、もしくは1年以上以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり()日 1日当たり()時間

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況についてうかがいます。ここでいう「定期的な教育・保育」とは、月単位で定期的に利用しているものを指します。具体的には、幼稚園や保育所(園)など、問31-1に示す事業が含まれます。

問31 お子さんは現在、「定期的な教育・保育」を利用していますが、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 【問31-1へ】

2. 利用していない ⇒ 【問31-6へ】

問31-1 お子さんは、平日どのような教育・保育を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、利用している教育・保育の開始年齢をご記入ください。

1. 公立幼稚園(預かり保育の利用はほとんどなし)※	開始年齢()歳()か月
2. 公立幼稚園(預かり保育を利用)※	開始年齢()歳()か月
3. 私立幼稚園(預かり保育の利用はほとんどなし)※	開始年齢()歳()か月
4. 私立幼稚園(預かり保育を利用)※	開始年齢()歳()か月
5. 認可保育所(園)	開始年齢()歳()か月
6. 認定こども園	開始年齢()歳()か月
7. 小規模な保育施設(6~19人以下)	開始年齢()歳()か月
8. 家庭的保育(5人以下)	開始年齢()歳()か月
9. 事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所	開始年齢()歳()か月
10. その他の認可外の保育施設	開始年齢()歳()か月
11. ベビーシッターなど宅訪問型保育	開始年齢()歳()か月
12. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	開始年齢()歳()か月
13. その他()	開始年齢()歳()か月

※「預かり保育」…保護者の希望に応じて、幼稚園の通常就園時間の前後や土曜・日曜、長期休業者中に、子どもを預かる事業です。

問31-2 平日に定期的に利用している教育・保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、()内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例)9時~17時のように24時間制でご記入ください。なお、利用時間に応じた負担が発生するものとします。

(1) 現在

1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時~()時

(2) 希望

1週当たり()日 1日当たり()時間 ()時~()時

問31-3 現在、利用している教育・保育の場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 京辺市内

2. 他の市町村(市町村名)

問31-4 平日に定期的に教育・保育を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 保護者が専任就労している
3. 保護者が就労予定がある/求職中である
4. 保護者が家族・親族などを看護・介護している
5. 保護者に病気や障害がある
6. 保護者が学生である
7. その他()

問31-5 現在利用している教育・保育に対して満足している点や要望等があればご自由にお書きください。

問 31-6 問 31 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

1. 父母のいずれかがみている	()
2. 子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている	()
3. 子どもの祖父母や親戚の人がみている	()
4. 近所の人や父母の友人・知人がみている	()
5. 利用したいが、幼稚園や保育所(園)、認定こども園に空きがない	()
6. 利用したいが、経済的な理由で利用できない	()
7. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	()
8. 利用したいが、内容や場所など、納得できるところがない	()
9. その他()	()

問 32 現在、利用している、利用していないにかかわらず、病名のお子さんの平日の教育・保育として、「定期的に」利用したいと考える事業について、利用したい順番に、1番から3番まで順位をつけて下の記入欄にご記入ください。また、利用したい教育・保育の開始年齢をご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生するものとします。

1. 公立幼稚園(預かり保育の利用はほとんどなし)※	2. 公立幼稚園(預かり保育を利用)※
3. 認可保育所(園)	4. 私立幼稚園(預かり保育を利用)※
5. 認可保育所(園)	6. 認定こども園
7. 小規模な保育施設(6~19人以下)	8. 家庭的保育(5人以下)
9. 事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所	10. その他の認可外の保育施設
11. ベビーシッターなど居宅訪問型保育	
12. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	
13. その他()	()

※幼稚園については、現時点での利用可能年齢にかかわらず、利用したいと考える年齢をご記入ください。

順位	1番	2番	3番
番号	()	()	()
開始年齢	()歳()か月	()歳()か月	()歳()か月

問 32-1 問 32 で「1. 公立幼稚園(預かり保育の利用はほとんどなし)または「2. 公立幼稚園(預かり保育を利用)」の順位を1番とした方にうかがいます。公立幼稚園を利用したいと考える理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 教育内容に魅力を感じるから	2. 小学校区の幼稚園だから
3. 保育料が安いから	4. 兄弟が通っている(通っていた)から
5. その他()	()

問 32-2 問 32 で「3. 私立幼稚園(預かり保育の利用はほとんどなし)または「4. 私立幼稚園(預かり保育を利用)」の順位を1番とした方にうかがいます。私立幼稚園を利用したいと考える理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 教育内容に魅力を感じるから	2. 地域の幼稚園だから
3. 兄弟が通っている(通っていた)から	4. 給食があるから
5. 通園バスがあるから	6. 保育時間が長いから
7. その他()	()

問 32-3 問 32 で「1. 公立幼稚園(預かり保育の利用はほとんどなし)」「2. 公立幼稚園(預かり保育を利用)」「3. 私立幼稚園(預かり保育の利用はほとんどなし)」「4. 私立幼稚園(預かり保育を利用)」を選び、5~13も選んだ方にうかがいます。特に、幼稚園の利用を強く希望しますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 32-4 教育・保育を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 京田辺市内	2. 他の市町村(市町村名)
----------	-----------------

問 32-5 平日に定期的に利用したい教育・保育について、順位にかかわらず、どのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、()内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例)9時~17時のように24時間制でご記入ください。なお、利用時間に応じた負担が発生するものとします。

1週当たり()日	1日当たり()時間()時~()時
-----------	---------------------

問 32-6 平日に定期的に教育・保育を利用したいとお考えになる理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため	2. 保護者が現在就労している
3. 保護者が就労予定がある/求職中である	4. 保護者が家族・親戚などを看護・介護している
5. 保護者に病気や障害がある	6. 保護者が学生である
7. その他()	()

問 33 保育所(園)・幼稚園・認定こども園にどのような付加的なサービスやメリットを期待しますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 社会的な挨拶やマナーの指導	10. 一時的な精神ケア機能
2. 育児に関する悩み相談の場	11. 保育時間の延長
3. 保護者同士が交流する場の提供	12. 給食の提供
4. 小学校教育ハスミーズにつながるカリキュラムの充実	13. 通園バスの運行
5. 一人ひとりの発育に合わせた個別の保育プログラムの充実	14. 在籍時以外への子育て支援行事、園庭開放
6. 英語教育などの特色ある教育カリキュラムの充実	15. わからない
7. 課外教室の充実(体操・絵画など)	16. 特に求めるサービスはない
8. 保護者向けの子育て講座・育児や発達に関する講座・勉強会・講演会	17. その他()
9. 子育てに関する情報提供	

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の利用希望についてうかがいます。

ここでいう「定期的な教育・保育」とは、月単位で定期的にご利用するものを指します。具体的には、幼稚園や保育所(園)など、問34(1)～1)に示す事業が言われます。

問34 お子さんについて、土曜日と日曜日、祝日に、「定期的な教育・保育」の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～17時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、利用時間に応じた負担が発生するものとします。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい 利用したい時間帯 () 時から () 時まで
3. 月に1～2回は利用したい () 時から () 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい 利用したい時間帯 () 時から () 時まで
3. 月に1～2回は利用したい () 時から () 時まで

(1)～1 問34の(1)もしくは(2)で、「2.ほぼ毎週利用したい」または「3.月に1～2回は利用したい」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの土曜の教育・保育として「定期的」に利用したいと考えた事業について、利用したい順番に1番から3番まで順位をつけて下の記入欄にご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生するものとします。

1. 公立幼稚園 (預かり保育の利用はほどなし) ※
2. 公立幼稚園 (預かり保育を利用) ※
3. 私立幼稚園 (預かり保育の利用はほどなし) ※
4. 私立幼稚園 (預かり保育を利用) ※
5. 認可保育所 (園)
6. 認定こども園
7. 小規模な保育施設 (6～19人以下)
8. 家庭的保育 (5人以下)
9. 事業所内保育所・院内保育所・企業主導型保育所
10. その他の認可外の保育施設
11. ベビーシッターなど居宅訪問型保育
12. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
13. その他 ()

順位	1番	2番	3番
番号			

問34-1 問34の(1)もしくは(2)で、「2.ほぼ毎週利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 毎週仕事があるため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 家族・親族などの看護・介護や手伝いが必要のため
4. リフレッシュのため ()
5. その他 ()

問34-2 問34の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に初回仕事があるため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 家族・親族などの看護・介護や手伝いが必要のため
4. リフレッシュのため
5. その他 ()

問35 現在、「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の利用を希望しますが、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時～17時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生するものとします。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 利用したい時間帯 () 時から () 時まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい () 時から () 時まで

問35-1 問35で、「2.休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ほぼ毎日仕事があるため
2. 家族・親族などの看護・介護や手伝いが必要のため
3. その他 ()

問35-2 問35で、「3.休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事があるため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 家族・親族などの看護・介護や手伝いが必要のため
4. リフレッシュのため
5. その他 ()

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 36 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「地域子育て支援センター」「子育てひろば」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、当てはまる番号ずつに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（「地域子育て支援センター」「子育てひろば」等のことです。）
1 週当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度
2. その他類似の事業（具体名： ）
1 週当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度
3. 利用していない

問 36-1 問 36 で「3. 利用していない」に○をつけた方についてうかがいます。

- 現在利用していない理由は何ですか。最も大きな理由 1 つに○をつけてください。
1. 事業があるのを知らなかった
 2. あるのは知っていたが内容がわからなかった
 3. 事業の利用方法を知らなかった
 4. 利用しにくい場所にある（自宅から遠いなど）
 5. 聞いている時間帯が利用しづらい
 6. 利用したい事業がない
 7. 有料だと思っていた
 8. 利用する必要がなかった
 9. その他（ ）
 10. 特に理由はない

問 37 問 36 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思えますか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
今後、1 週当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 38 下記のうち、知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれか 1 つに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
①VAママセミナー	はい	はい	はい
②保健センターの情報・相談事業	はい	はい	はい
③子育てに関する学級・講座	はい	はい	はい
④教養相談センター・教養相談室	はい	はい	はい
⑤幼稚園の園庭開放や子育て講座	はい	はい	はい
⑥保育所（園）の園庭開放や子育て講座	はい	はい	はい
⑦認定こども園の園庭開放や子育て講座	はい	はい	はい
⑧子育て応援ガイドブック	はい	はい	はい
⑨保健所の情報・相談事業	はい	はい	はい
⑩児童相談所等の情報・相談事業	はい	はい	はい
⑪児童館・地域子育て支援センターの活動	はい	はい	はい

**宛名のお子さんの病気の療の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

平日に幼稚園、保育所（園）などに通っていると答えた保護者の方（問 31 で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。

問 39 この 1 年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園、保育所（園）などを休んだことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 【問 39-1 へ】
2. なかった ⇒ 【問 40 へ】

問 39-1 お子さんが病気やケガで幼稚園、保育所（園）などを休んだ場合に、この 1 年間に行った対応として当てはまる記号ずつに○をつけ、それぞれのなおよその日数も（ ）内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください）。

	1 年間の対応方法	日数
ア	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた。	（ ）日
イ	父親が仕事を休んだ	（ ）日
ウ	母親が仕事を休んだ	（ ）日
エ	（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	（ ）日
オ	病児・病後児保育事業（※）を利用した	（ ）日
カ	ベビーシッターを利用した	（ ）日
キ	ファミリー・サポート・センターを利用した	（ ）日
ク	その他（ ）	（ ）日

⇒ 【問 39-5 へ】

問 39-2 問 39-1 で「イ」または「ウ」のいずれかに○をつけた方についてうかがいます。

その際、できれば病児・病後児保育事業（※）を利用したいと思いましたが、当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児保育事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の診察が必要となります。

※病児・病後児保育事業：病中または病気の回復期にあり、集団保育が困難な子どもを一時的に医療施設や保育所（園）などで保育や看護を行う事業

1. できれば病児・病後児保育事業を利用したい ⇒ （ ）日 ⇒ 【問 39-3 へ】
2. 利用したいとは思わない ⇒ 【問 39-4 へ】

問 39-3 問 39-2 で「1. できれば病児・病後児保育事業を利用したい」に○をつけた方についてうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思えますか。当てはまる番号ずつに○をつけてください。

1. 病院に併設したもの
2. 幼稚園、保育所（園）などに併設したもの
3. 地域住民等が保育するもの（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 40-1 問 40 で「7. 利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。現在利用していない理由はない」として記入してください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある
4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかると高い
6. 利用料がわからない
7. 対象者になるかどうかかわからない
8. 利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

問 41 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）で、年間何日くらい不定期に事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、なおよその必要な日数を記入してください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料が発生するものとします。

1. 利用したい	計（ ）日
(内訳)	
ア. 私人（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	（ ）日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	（ ）日
ウ. 不定期の就労	（ ）日
エ. その他（ ）	（ ）日

問 41-1 問 41 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 41 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思いますか。希望する順序に1から3番まで順位をつけて下の記入欄にご記入ください。

1. 一時預かり
2. 幼稚園の預かり保育
3. ファミリー・サポート・センター
4. 夜間保護等事業（トワイライトステイ）
（平日の夜間又は休日保護者が不在のときに子どもを預かる事業）
5. 宿泊保育（こどもショートステイ）
6. ベビーシッター
7. その他（ ）

【順位】	1番	2番	3番

問 42 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）により、お子さんを泊りがけで保護者以外にみてもらわなければならないことはありませんか（預け先が属つかなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対応として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を（ ）内に数字でご記入ください。

1年間の対応	日数
ア. (同居を含む) 親戚・知人にみてもらった泊	（ ）泊
イ. 宿泊保育（こどもショートステイ）を利用した	（ ）泊
ウ. 1以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊
エ. 預け先が属つからず子どもを同行させた	（ ）泊
オ. その他（ ）	（ ）泊

▶▶▶【問 42-1】

問 39-4 問 39-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思う理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親が仕事を休んで子どもをみるのが当然だと思うから
2. 親が仕事を休むことができるから
3. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
4. 事業の質に不安がある
5. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
6. 利用料がかかると高い
7. 利用料がわからない
8. 対象者になるかどうかかわからない
9. 利用方法（手続き等）がわからない
10. その他（ ）

問 39-5 問 39-1 で「エ」から「ク」のいずれかに○をつけた、就労している方にうかがいます。その際、仕事が休めたら、何日仕事を休んでお子さんをみたいと思いますか。「エ」から「ク」の日数のうち仕事を休んでお子さんをみたくかったおおよその日数について数字でご記入ください。

できれば仕事を休んでお子さんをみたくかった日数 ⇒（ ）日

問 39-6 問 39-1 で「エ」から「ク」のいずれかに○をつけた、就労している方にうかがいます。休んでお子さんをみることができなかつた理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 仕事が忙しくて休めない
2. 子どもの看護を理由に仕事を休めない
3. 自営業なので休めない
4. 休暇日数が足りないので休めない
5. その他（ ）

宛名のお子さんの不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 40 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）で不定期に利用している事業はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	（ ）日
1. 一時預かり （保育所（園）などで一時的に子どもを保育する事業）	（ ）日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間後に子どもを預かる事業）	（ ）日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	（ ）日
4. 宿泊保育（こどもショートステイ） （児童福祉施設等で一定期間、子どもを保育する事業）	（ ）日
5. ベビーシッター	（ ）日
6. その他（ ）	（ ）日
7. 利用していない	（ ）日

▶▶▶【問 40-1】

問 47-1 問 47 で「2. 取寄せした(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。
 ⇒該当しない方は、【問47-11へ】
 育児休業取得後、職場に復帰しましたが、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	母親	父親
2. 現在も育児休業中である ⇒【問47-9へ】	1	1
3. 育児休業中に退職した ⇒【問47-11へ】	2	2
	3	3

問 47-2 問 47-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 育児休業から職場への復帰は、年度初めの4月の保育所(園)等の入所にうかがいます。
 合わせましたが、あるいはそれ以外でしたか。どちらかに○をつけてください。
 ※ 年度初めの認可保育所(園)入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所(園)に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所(園)に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

母親	1. タイミングを合わせた	2. それ以外だった
父親	1. タイミングを合わせた	2. それ以外だった

問 47-3 問 47-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 育児休業からは、「実職」にお子さんが何歳何か月か月に職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月か月のときで取り戻ったのですか。() 内に数字でご記入ください。

母親	実際の職場復帰()歳()か月	希望()歳()か月
父親	実際の職場復帰()歳()か月	希望()歳()か月

問 47-4 問 47-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。
 (1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 希望する保育所(園)等に入るため	母親	父親
2. 配偶者や家族の希望があったため	1	1
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	2	2
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	3	3
5. その他()	4	4
	5	5

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの成長を重視したため	母親	父親
2. 希望する保育所(園)等に入らなかったため	1	1
3. 自分や子どもなどの体調が悪くなかったため	2	2
4. 配偶者や家族の希望があったため	3	3
5. 職場の受け入れ態勢が整っていないから	4	4
6. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5	5
7. その他()	6	6
	7	7

問 47-5 問 47-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 お勤め先には、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときで取り戻ったのですか。() 内に数字でご記入ください。

母親	()歳()か月
父親	()歳()か月

問 47-6 問 47-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたが、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働き続けた、もともと短時間勤務だった)	母親	父親
2. 利用した	1	1
3. 利用できなかった	2	2
	3	3

問 47-7 問 47-6 で「3. 利用できなかった」に○をつけた方にうかがいます。
 短時間勤務制度を利用できなかった理由は何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	母親	父親
2. 配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にのみもたえるなど、制度を利用する必要がなかった	1	1
3. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	2	2
4. 仕事忙しかった	3	3
5. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に占しくなる	4	4
6. 短時間勤務に対すると保育所(園)等の入所申請の優先順位が下がる	5	5
7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	6	6
8. 短時間勤務制度を利用できなかったことを知らなかった	7	7
9. その他()	8	8
	9	9

問 47-8 問 47-7 で「3. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」に○をつけた方にうかがいます。
 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気と感じた理由は何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 取得している人がいないから	母親	父親
2. 業務が他の人の負担となるから	1	1
3. 職場の人の理解が得られないから	2	2
4. 上司に理解が得られないから	3	3
5. その他()	4	4
	5	5

問47-9 問47-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にかがいます。兄弟のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる保育所(園)等があれば、1歳になるまで育児休業を取りますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	2. 1歳になる前に復帰したい
父親	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	2. 1歳になる前に復帰したい

問47-10 問47-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にかがいます。子どもが原則1歳(※1)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(※2)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付は、保険料免除のいずれも知っていた	2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた	4. 育児休業給付は、保険料免除のいずれも知らなかった

※1: 保育所(園)における保育が行われないなど、一定の要件を満たす場合は2歳です。
 ※2: 法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間を設けた育児休業に準ずる措置のことです。

問47-11 仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていることがあれば、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 急な残業が入ってしまう	
2. 自分や子どもが病気・ケガをした時に世話をする人がいない	
3. 家族の理解が得られない	
4. 職場の理解が得られない	
5. 子どもを預けられる保育所(園)などがみつからない	
6. 子どもと接する時間が少ない	
7. その他()	
8. 特にない	

問47-12 子育てと介護を同時にしている(いた)ことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 同時にしている(いた)	母親	父親
2. 同時にいない	1	1
	2	2

問47-13 問47-12で「1. 同時にしている(いた)」に○をつけた方にかがいます。仕事についてはどうしましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 仕事を継続した	母親	父親
2. 仕事を休職した	1	1
3. 勤務形態を変更した	2	2
4. 仕事を辞めた	3	3
	4	4

問47-14 問47-12で「1. 同時にしている(いた)」に○をつけた方にかがいます。大変だと感じている(いた)事があれば、当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 精神的、体力的に苦しい	母親	父親
2. 介護費用が家計を圧迫している	1	1
3. 子ども、親(義親)の世話を十分にできない	2	2
4. 職場の理解が得られない	3	3
5. 配偶者、兄弟、親戚等の理解が得られない	4	4
6. 誰に相談したらよいかわからない	5	5
7. その他()	6	6
	7	7

問48 生活の中で、「仕事」、「家庭生活(家事や育児など)」、「個人の生活(趣味の活動や旅行など)」、「地域活動(ボランティアやサークル活動など)」の優先度についてお答えください。
 ①あなたの理想(現状)として優先しているものと ②あなたが優先したいもの(希望)をそれぞれお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

①理想(現状)として優先しているもの	1. 仕事 2. 家庭生活 3. 個人の生活 4. 地域活動 5. その他() 6. わからない
②優先したいもの(希望)	1. 仕事 2. 家庭生活 3. 個人の生活 4. 地域活動 5. その他() 6. わからない

問49 仕事と子育てを両立するために、職場環境に求めることは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 妊娠・出産・子育てにおける職場の上司、同僚の理解	
2. 産前産後休業後・育児休業後における原職または原職相当職への復帰	
3. 子どもの出生時における父親の休暇の取得の促進	
4. 育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備	
5. 短時間勤務制度や始業時刻の繰り下げ・終業時刻の繰り上げ、フレックスタイム制度等の実施	
6. 事業所内保育施設の設置	
7. ヘビーシッターに係る費用などの補助	
8. 子どもが病気の時に取得できる、看護のための休暇	
9. 勤務地、担当業務等の限定	
10. 出産や子育てのために退職した者の再雇用制度	
11. その他()	

子育てのストレスについてうかがいます。

問 50 子育てにストレスを感じることがありますが、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ひんぱんにある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ない

問 50-1 問50で「1. ひんぱんにある」「2. ときどきある」に○をつけた方にうかがいます。それはどんな時や、どんな事ですか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの接し方・遊び方
2. 子どもの成長
3. 授乳
4. 離乳食
5. 子どもの生活リズム
6. 子どもの病氣
7. 子どもの兄弟・姉妹関係
8. 子どもがかわいいと思えない
9. 自分のやりたいことができな
10. 自分の病氣
11. 自分以外の家族との育児方針の違い
12. 家族の育児能力が少ない
13. 子育てと仕事の両立
14. 近所づきあい・交違づきあい
15. その他 ()

問 51 あなたをきめ、家族の誰かが、次のようなことをしたことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. いらいらして、つい子どもに手をあげてしまう
2. 自分の子どもなのに、かわいいと思えない
3. 子どもに向かって、子どもの存在を否定するような言葉を口にしてしまう
4. 子育てを放棄したくなる
5. 子どもに対して、発達にそぐわない厳しいしつけや行動制限をする
6. 食事を作って食べさせるのがめんどうと感じる
7. 子どものしつけに必要だと感じると思い、体罰をする
8. 子どもに対して、高い目標を設定し、よりの完全性を求める
9. その他 (具体的に)
10. 特にない

問 52 あなた自身が、子どものころに保護者から問51のような行為を受けたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある
2. ない

問 53 子どもの虐待を防止するために、何が重要だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

※子どもの虐待とは、親または親に代わる養育者によって、子どもに加えられた行為で、子どもの心身を傷つけ、健康な成長・発達を損なう行為をいいます。
 虐待だけではなく、虐待を与えなかつたり、不潔な状況に放置したりすることや、DV (ドメスティック・バイオレンス) を子どもの目の前で見せることなど、子どもの心に傷を負わせるような言動・行動も虐待とします。

1. 親自身の人間性が成熟すること
2. 子育ての知識や情報が得られること
3. 家族 (特に配偶者) が子育てに力がかかること
4. 同じような年齢の子どものうち親同士の間柄がよくなること
5. 身近に相談できる場所や人がいること
6. ヘアレント・トレーニング (親育ち教室) があること
7. 育児に疲れたときにリフレッシュできる場所や支援のしくみがあること
8. その他 ()
9. 特にない

問 54 あなたは、どのようなことで子どもの安心・安全が脅かされるのではないかと不安に感じますが、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 新聞やテレビなどで子どもが犯罪などに巻き込まれる報道を見聞きしたとき
2. 身近に不審者情報があったとき
3. 犯罪被害にあった子どもが身近にいたとき
4. 子どもだけで外出するとき
5. 子どもが短い時間に帰宅するとき
6. 子どもと連絡がとれないとき
7. 子どもだけで留守番をしているとき
8. 人通りの少ない道や昏暗がない場所が近所にあること
9. 近隣とのつながりが希薄なこと
10. 保育所 (園) や幼稚園、学校等が遠方にあること
11. 子どもがインターネットや携帯電話に興味をもったとき
12. その他 ()
13. 特に不安を感じていない

2 小学生

(小学生用)

京田辺市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 ご協力をお願いします

日頃より京田辺市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が可決・成立し、公布されました。本市では、この3法に基づき、新たな子ども・子育て支援新制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、産前ホームベールハー派遣事業、三山木保育所の新築、認定こども園の整備などに取り組んでまいりました。

新制度では、各市町村が実施主体となって、子育て中の市民の皆さまのニーズを把握した上で、5年間を計画期間とする「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画的に給付や事業などを行っていくことが求められております。

そこで、京田辺市においても、計画策定に向けてニーズ調査を実施することとし、**調査の対象者として市内の就学前児童と小学生の中から、それぞれ1,500人のお子さんを選ばせていただきました。**

このニーズ調査は、全国共通の項目を基本に行うものであり、お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣意をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年1月

京田辺市長 石井 明三

【ご記入に当たってのお願い】

- この調査票は、**親職の宛名のお子さんの保護者の方**がお答えください。
- ひとり親家庭の場合は、母親または父親のみお答えください。また、ご両親以外の方が保護者の場合は、女性の方は「母親」欄に、男性の方は「父親」欄にご記入ください。
- 回答は、当てはまる番号に○をつけたり、記入欄に直接ご記入いただくものなどがあります。また、該当者だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- ご記入に当たってご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
- ご記入が終了後は、同封の返信用封筒にて、**2月1日(金)まで**にご返送ください。

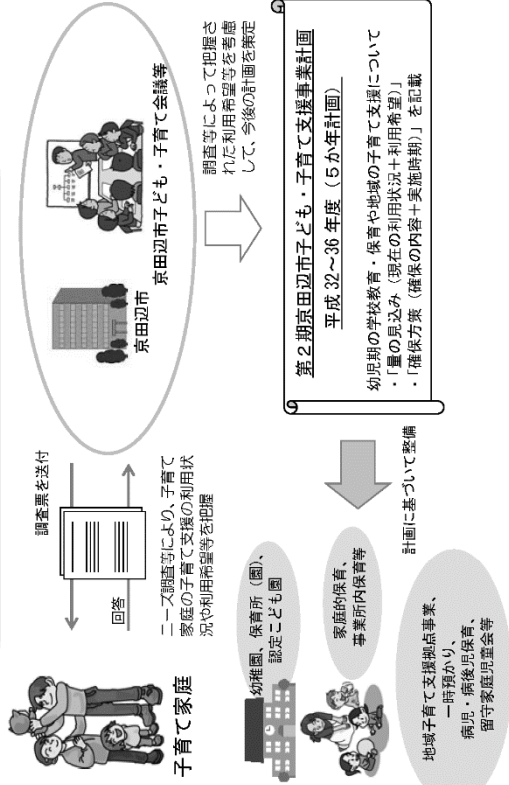
京田辺市 輝くこども未来室
電話：0774-64-1350 (ダイヤルイン) FAX：0774-63-4781
e-mail: mira@city.kyotanabe.lg.jp

回答するに当たってお読みください

京田辺市では、平成27年度から始まった「子ども・子育て支援新制度」のために、31年度までの5年間を計画期間とする「京田辺市子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。

このニーズ調査は、同計画の次の計画となる「第2期京田辺市子ども・子育て支援事業計画」(32～36年度)を策定するにあたって、皆さんの教育・保育・子育て支援についての現在の利用状況や、今後の利用希望などをお聞きするものです。

いただいた回答は京田辺市の教育・保育・子育て支援の充実に生かされます



宛名のお子さんとはご家族の状況についてうかがいます。

問1 宛名のお子さんのお住まいの小学校校区はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|-------|---------|--------|--------|--------|
| 1. 大住 | 2. 砂井ヶ丘 | 3. 緑園 | 4. 新 | 5. 田辺東 |
| 6. 田辺 | 7. 早内 | 8. 三山木 | 9. 普賢寺 | |

問2 宛名のお子さんの生年月を()内に数字でご記入ください。
平成()年()月()日生まれ

問3 宛名のお子さんを養ひ、お子さんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

子どもの数()人 末子の生年月 平成()年()月()日生まれ

問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない | 3. その他() |
|-----------|------------|-----------|

問6 母親、父親の該当する年齢階級についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	1. 19歳以下	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳以上
父親	1. 19歳以下	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳以上

問7 母親と父親の本市での居住年数をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	1. 3年未満	2. 3～5年未満	3. 5～10年未満	4. 10年以上
父親	1. 3年未満	2. 3～5年未満	3. 5～10年未満	4. 10年以上

問8 お子さんとの同居の状況について当てはまる番号すべてに○をつけてください。婚姻はお子さんからみた関係です。

- | | | |
|----------|----------------|----------------|
| 1. 父母同居 | 2. 父同居(ひとり親家庭) | 3. 母同居(ひとり親家庭) |
| 4. 祖父母同居 | 5. 祖父母同居 | 6. その他() |

問9 お子さんの祖父母が近くにお住まいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。近くとは、車で30分程度で行き来できる範囲です。

- | | | |
|-----------|-------------|--------------|
| 1. 同居している | 2. 近くに住んでいる | 3. 近くに住んでいない |
|-----------|-------------|--------------|

問10 お子さんの子育てを主にしているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他() | |

ご家族の生活状況についてうかがいます。

問11 あなたは、ご家族の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. 普通 |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問12 あなたの世帯では、過去1年の間に、急な出費などで家計のやりくりができなかったことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. とまどきあった |
| 3. まれにあった | 4. まったくなかった |

問13 あなたは、現在、どのような悩みや不安を感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 経済的に困っている | 2. 適な就職先がなくて困っている |
| 3. 仕事と子育ての両立が困難である | 4. 子どもをみてもらうところがない |
| 5. 家事の仕方がわからない | 6. 住居のことで困っている |
| 7. 子どもの教育(進学)やしつけのことで困っている | 8. 自分が精神的に不安定である |
| 9. 親子関係がうまくない | 10. 親権や財産等の問題が解決できない |
| 11. 相談相手がいらない | 12. 自身の健康状態が良くない |
| 13. 家族の健康状態が良くない | 14. 夫婦関係について |
| 15. 親族との人間関係について | 16. 近隣・地域との人間関係について |
| 17. 勤務先での仕事や人間関係について | 18. その他() |
| 19. 特に困っていることはない | |

問14 子どもや保護者にとって、現在または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 保護者が家にいないときに子どもを預かる隣やサービスの提供 |
| 2. 低い家賃で住めること |
| 3. 生活や就学のための経済的補助 |
| 4. 進路や生活などについてなんでも相談できること |
| 5. 子どもが仲間と出逢え、一緒に活動できること |
| 6. 自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供 |
| 7. 地域における子どもの居場所の提供 |
| 8. 読み書き計算などの基礎的な学習への支援 |
| 9. 会社などの職場体験等の機会 |
| 10. 仕事に就けるようにするための就労に関する支援 |
| 11. 子育ての悩みなど、気軽に相談できること |
| 12. その他() |
| 13. 特にない |
| 14. わかからない |

死名のお子さんへの育ちをゆるる状況についてうかがいます。

問 15 お子さんの子育てに大きく影響すると思われる環境として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------|-------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 小学校 |
| 4. その他 () | | |

問 16 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|----------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } 【問 16-1へ】
} 【問 16-2へ】 |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる | |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒ 【問 17へ】 | |

問 16-1 問 16 で「1」または「2」のいずれかに○をつけた方について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|-----|
| 1. 祖父母等の親族が子育てに協力してくれ、安心である | () |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 祖父母等の親族の精神的負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、祖父母等の親族に負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育・発達にとってふさわしい環境であるかどうか、少し不安がある | |
| 6. その他 () | |

問 16-2 問 16 で「3」または「4」のいずれかに○をつけた方について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|-----|
| 1. 友人・知人が子育てに協力してくれ、安心である | () |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 友人・知人の精神的負担や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、友人・知人に負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育・発達にとってふさわしい環境であるかどうか、少し不安がある | |
| 6. その他 () | |

問 17 子育てについて、今のお気持ちに一番近いものとして当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. とても楽しい | 2. 比較的楽しい |
| 3. 少し不安・負担を感じる | 4. とても不安・負担を感じる |
| 5. どちらともいえない | |

問 18 病名のお子さんにかかわる時間（会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強をみるなど）はだいたいどのくらいありますか。（母親、父親とも平日と休日に分けてそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。）

(1) 母親	(2) 父親																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">平日 (1つに○)</td> <td style="width: 50%;">休日 (1つに○)</td> </tr> <tr> <td>1. ほとんどない</td> <td>1. ほとんどない</td> </tr> <tr> <td>2. 30分くらい</td> <td>2. 30分くらい</td> </tr> <tr> <td>3. 1時間くらい</td> <td>3. 1時間くらい</td> </tr> <tr> <td>4. 2時間くらい</td> <td>4. 2時間くらい</td> </tr> <tr> <td>5. 3時間くらい</td> <td>5. 3時間くらい</td> </tr> <tr> <td>6. 4時間以上</td> <td>6. 4時間以上</td> </tr> </table>	平日 (1つに○)	休日 (1つに○)	1. ほとんどない	1. ほとんどない	2. 30分くらい	2. 30分くらい	3. 1時間くらい	3. 1時間くらい	4. 2時間くらい	4. 2時間くらい	5. 3時間くらい	5. 3時間くらい	6. 4時間以上	6. 4時間以上	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">平日 (1つに○)</td> <td style="width: 50%;">休日 (1つに○)</td> </tr> <tr> <td>1. ほとんどない</td> <td>1. ほとんどない</td> </tr> <tr> <td>2. 30分くらい</td> <td>2. 30分くらい</td> </tr> <tr> <td>3. 1時間くらい</td> <td>3. 1時間くらい</td> </tr> <tr> <td>4. 2時間以上</td> <td>4. 2時間以上</td> </tr> <tr> <td>5. 3時間以上</td> <td>5. 3時間以上</td> </tr> <tr> <td>6. 4時間以上</td> <td>6. 4時間以上</td> </tr> </table>	平日 (1つに○)	休日 (1つに○)	1. ほとんどない	1. ほとんどない	2. 30分くらい	2. 30分くらい	3. 1時間くらい	3. 1時間くらい	4. 2時間以上	4. 2時間以上	5. 3時間以上	5. 3時間以上	6. 4時間以上	6. 4時間以上
平日 (1つに○)	休日 (1つに○)																												
1. ほとんどない	1. ほとんどない																												
2. 30分くらい	2. 30分くらい																												
3. 1時間くらい	3. 1時間くらい																												
4. 2時間くらい	4. 2時間くらい																												
5. 3時間くらい	5. 3時間くらい																												
6. 4時間以上	6. 4時間以上																												
平日 (1つに○)	休日 (1つに○)																												
1. ほとんどない	1. ほとんどない																												
2. 30分くらい	2. 30分くらい																												
3. 1時間くらい	3. 1時間くらい																												
4. 2時間以上	4. 2時間以上																												
5. 3時間以上	5. 3時間以上																												
6. 4時間以上	6. 4時間以上																												

問 19 お子さんを育てていて、あなたが日頃悩んでいること、不安に感じること、不安に感じることほどのようなことですか。お子さんのこと、保護者のこと、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 【お子さんのこと】
1. 病気や障害・発達
3. 育児の方法
5. 子どもの接し方
7. 子どもの教育や将来の教育費
9. 子どもの生活リズムが乱れている
11. 友達つきあい（いじめ等を含む）
【保護者のこと】
10. 仕事や自分のやりたいことができない
12. 話し相手や相談相手、協力者がいない
14. 子どもを叱りすぎているような気がする
15. 子育てのストレスがたまっている
16. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない
17. 子育てによる身体への疲れが大きい
19. 家族の中での子育て方針の違い
21. 特になし
22. その他 () | 2. 食事や栄養
4. 子どものしつけ
6. 子どもの遊び
8. 子育てで出費がかさむ
10. 子どもとの時間がとれない
12. 不登校
11. 配偶者・パートナーの協力が少ない
13. 保護者同士の交流・つきあいが難しい |
|--|--|

問 20 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいませんか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1. いる/ある ⇒ 【問 20-1へ】 | 2. いない/ない ⇒ 【問 20-2へ】 |
| 問 20-1 問 20 で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。 | |
| 1. 祖父母等の親族
3. 近所の人
5. 保健所
7. 学校
9. かかりつけ医
11. 母子父子自立支援員
13. 民間の電話相談 | 2. 友人や知人
4. 子育てセンター・NPO・子育て支援施設（地域子育て支援センター・児童館等）
6. 保健センター（健診の場）
8. 民生委員・児童委員
10. 自治体の子育て関連担当窓口・子育て総合相談窓口「はくはく」
12. 児童相談所・家庭児童相談室
14. その他 () |

問 20-2 あなたの家庭では、どのような点を重視して教育していますか（しよとと考えていますか）。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 甘やかさず、過保護にしないこと
2. まず、親が手本を示すこと
3. 子どもの個性を伸ばすこと
4. 競争手強いなど、多くの体験をさせること
5. 子どもの自主性を尊重すること
6. 反立ちなどの人間関係づくり
7. 家族のふれあい
8. お金やものを大切にすること
9. 他人の立場に立って行動すること
10. しつけにおいて厳しさをもちこと
11. 子どもに期待をかけすぎないこと
12. その他（ ）
13. 特になし

問 20-3 宛名のお子さんは、学校に行くのが楽しそうですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 反人が多く、楽しそうである
2. 勉強が好きで、楽しそうである
3. 先生（教師）が好きで、楽しそうである
4. 好きな授業があるときは、楽しそうに遊んでいる
5. あまり楽しそうではないが、登校が当痛ではなさそう
6. あまり楽しそうではないが、反立ちなどの衝きかけにより、遊んでいる
7. あまり楽しそうではなく、休みがちである
8. わからぬ
9. その他（ ）

問 20-4 子育てをすすめる上で、学校に期待することはどのような点ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. わかりやすい授業を行ない、基礎的な学力がつかくこと
2. コンピューター教育や環境教育など、時代のニーズにあった授業を充実すること
3. こころの教育を充実すること
4. 人権教育や福祉教育の充実、ボランティア等の参加をすすめること
5. 児童・生徒の個性を伸ばし、特色ある教育を実施すること
6. 児童・生徒の立場に立って、子どもとの信頼関係を強めること
7. スポーツや行事を通じて、協調性のある子どもを育成すること
8. 生徒指導をきちんとすること
9. 進路指導を適切に行うこと
10. 家庭との連絡を密にすること
11. いじめが起こらないようにすること。また、いじめ問題を解決すること
12. その他（ ）
13. 特に学校に期待することはなし

問 21 あなたの家庭では、ご近所や地域の人々とお付き合いはどのようですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 親しい
2. 付き合いがあり、やや親しい
3. 少々付き合いがある
4. 付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度
5. わからぬ

問 22 お子さんは次の地域での催しに参加していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てサークル活動
2. スポーツ活動
3. 文化・芸術活動
4. キャンプ等の野外活動
5. 子ども会等の青少年団体活動
6. リサイクル等の環境分野での社会貢献活動
7. その他（ ）
8. 特に参加していません

問 23 お子さんの休日や休みの最も繁忙時には、どのように対応していますか、もつとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 休日向高診療所・救急外来
2. かかりつけ医
3. 小児救急電話相談（#8000）など
4. その他（ ）
5. 受診できる医療機関を知らない

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 24 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、専従従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ※	母親	1	父親	1
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である ※		2		2
3. フルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ※		3		3
4. フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である ※		4		4
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 【問 24-5へ】		5		5
6. これまで就労したことがない ⇒ 【問 24-5へ】		6		6

※フルタイムとは、1週5日程度・1日8時間程度の就労をいいます。

問 24-1 就労している方（問 24 で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方）にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」を（ ）内に数字でご記入ください。

※就労パターンが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親	1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間
父親	1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間

問 24-2 就労している方（問 24 で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方）にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻は、必ず（例）8時～17時のように、24時間制（30分単位）で（ ）内に数字でご記入ください。

※就労パターンが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親	家を出る時刻（ ）時（ ）分頃	帰宅時刻（ ）時（ ）分頃
父親	家を出る時刻（ ）時（ ）分頃	帰宅時刻（ ）時（ ）分頃

問 24-3 就労している方（問 24 で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方）にうかがいます。育児と仕事を両立するうえで望ましいと考える家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻は、必ず（例）8時～17時のように、24時間制（30分単位）で（ ）内に数字でご記入ください。

母親	理想の家を出る時刻（ ）時（ ）分頃	理想の帰宅時刻（ ）時（ ）分頃
父親	理想の家を出る時刻（ ）時（ ）分頃	理想の帰宅時刻（ ）時（ ）分頃

問 24-4 フルタイム以外で就労している方（問 24 で「3」または「4」のいずれかに○をつけた方）にうかがいます。フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	母親	父親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3. フルタイム以外の就労を続けることを希望	3	3
4. フルタイム以外の就労をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問 24-5 問 24 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号1つに○をつけて、該当する（ ）内には数字をご記入ください。

(1) 母親

- 今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 1年より先、一階下の子どもが（ ）歳になったらどこに就労したい
- すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

(2) 父親

- 今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 1年より先、一階下の子どもが（ ）歳になったらどこに就労したい
- すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

留守家庭児童会の利用についてうかがいます。

「留守家庭児童会」…地域によって学童保育とも呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。専業主婦の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 25 お子さんについて、放課後（平日の小学校放学后）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ運当たり日数を数字でご記入ください。「留守家庭児童会」の場合には、利用している時間も（ ）内に数字でご記入ください。また、土曜日の利用状況もお答えください。時間は必ず（例）17時 のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらゐ
2. 祖父祖母や友人・知人宅	週（ ）日くらゐ
3. 習い事	週（ ）日くらゐ
（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	
4. 児童館	週（ ）日くらゐ
5. 留守家庭児童会	週（ ）日くらゐ
→ 下校時から（ ）時まで（ ）時間	
→ うち土曜日の利用	
1. ある 2. ない	
→（ ）時から（ ）時までの	
6. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらゐ
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらゐ

問 25-1 問 25 で「5. 留守家庭児童会」に○をつけた方にうかがいます。利用している理由について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方（保護者）が、

- 現在就労している
- 家族・親戚などを介護しなければならぬ
- 病気や障害がある
- 学生である
- その他（ ）

問 25-2 問 25 で「5. 留守家庭児童会」に○をつけた方にうかがいます。留守家庭児童会に対してどのように感じていますか。もつとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 施設・設備を改善してほしい
- 利用時間を延長してほしい
- 指導内容を工夫してほしい
- 定員を増やしてほしい
- その他（ ）
- 現在のままでよい

⇒【問 26 へ】

問25-3 問25で「5. 留守家庭児童会」以外に○をつけた方にかがいます。利用していない理由について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方（保護者）が、

1. 現在就労していないから
2. 就労しているが、留守家庭児童会を知らなかったから
3. 就労しているが、近くに留守家庭児童会がないから
4. 就労しているが、留守家庭児童会に空きがないから
5. 就労しているが、留守家庭児童会の開所時間が短いから
6. 就労しているが、利用料がかかるから
7. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
8. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけで大丈夫だと思うから
9. 就労しているが、他の施設に預けているから
10. 就労しているが、子どもが行きたがらないから
11. その他（ ）

問25-4 問25で「5. 留守家庭児童会」以外に○をつけた方にかがいます。お子さんについて、今後の留守家庭児童会の利用予定をお聞かせください。当てはまる番号1つに○をつけてください。（時間は、必ず24時間制でご記入ください。）

1. 今後利用しない
2. 利用したい → 週（ ）日くらい
下校時から（ ）時まで（ ）時間
うち土曜日の利用は
1. ある 2. ない
→（ ）時から（ ）時までの（ ）時間

問25-5 問25-4で「2. 利用したい」に○をつけた方にかがいます。利用したい理由について、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方（保護者）が、

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. 家族・親戚などを介護しなければならぬ
4. 病気や障害がある
5. 学生である／就学したい
6. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
7. その他（ ）

問26 地域によっては、留守家庭児童会と連携して行うサービスとして「放課後子ども教室」(*)があります。その利用意向はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 意向がある → 週（ ）日くらい
2. 意向がない

※「放課後子ども教室」…地域の方々の協力などにより、放課後や週末に小学校や公民館や学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問27 宛名のお子さんについてうかがいます。小学5年生以降の放課後の時間についてどのような場所をご希望とお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。「留守家庭児童会」の場合には、利用したい時間も（ ）内に数字でご記入ください。また、土曜日の利用希望もお書きください。時間は必ず（例）17時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父祖母や友人・知人家	週（ ）日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週（ ）日くらい
4. 児童館	週（ ）日くらい
5. 留守家庭児童会	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで（ ）時間 → うち土曜日の利用 1. ある 2. ない →（ ）時から（ ）時までの（ ）時間
6. 放課後子ども教室	週（ ）日くらい
7. ファミリー・サポーター・センター	週（ ）日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

問27-1 問25で「5. 留守家庭児童会」、問25-4で「2. 利用したい」、問27で「5. 留守家庭児童会」のいずれかに○をつけた方にかがいます。

宛名のお子さんについて、日曜・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期休暇中に留守家庭児童会の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（時間は、必ず24時間制でご記入ください。）

なお、利用には一定の利用者負担が発生するものとします。

- (1) 日曜・祝日の利用希望
 1. 利用する必要はない
 2. 利用したい →（ ）時から（ ）時までの（ ）時間
- (2) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中
 1. 利用する必要はない
 2. 利用したい →（ ）時から（ ）時までの（ ）時間

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問28 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒【問28-1へ】
2. なかった ⇒【問29へ】

問 28-1 お子さんが病室やケガで学校を休んだ場合に、この1年間にに行った対応として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数も()内に数字でご記入ください。(平日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

1年間の対応方法	日数
ア. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた。⇒【問 29-へ】	()日
イ. 父親が仕事を休んだ	()日
ウ. 母親が仕事を休んだ	()日
エ. 同居者が含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	()日
オ. 病児・病後児保育事業(※)を利用した	()日
カ. ベビーシッターを利用した	()日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した (地域住民が子どもを預かる事業)	()日
ク. 子どもだけで家にいた	()日
ケ. その他()	()日

▶【問 28-5へ】

問 28-2 問 28-1 で「イ」または「ウ」のいずれかに○をつけた方に向かいます。その際、できれば病児・病後児保育事業(※)を利用したいと思いましたが、当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児保育事業の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

※病児・病後児保育事業…病中または病気の回復期にあり、集団保育が困難な子どもを一時的に医療施設や保育所(園)などで保育や看護を行う事業

1. できれば病児・病後児保育事業を利用したい ⇒ ()日 ⇒ 【問 28-3へ】
2. 利用したいとは思わない ⇒ 【問 28-4へ】

問 28-3 問 28-2 で「1.」でなければ病児・病後児保育事業を利用したい」に○をつけた方に向かいます。上記の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病院に併設したもの
2. 幼稚園、保育所(園)などに併設したもの
3. 地域住民等が保育するもの(例：ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

問 28-4 問 28-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方に向かいます。その思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親が仕事を休んで子どもをみるのが当然だと思っから
2. 親が仕事を休むことができるから
3. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
4. 事業の質に不安がある
5. 事業の利便性(立地や利用可能時間や日数など)がよくない
6. 利用料がかかると高い
7. 利用料がわからない
8. 対象者になるかどうかかわからない
9. 利用方法(手続き等)がわからない
10. その他()

問 28-5 問 28-1 で「エ」から「ケ」のいずれかに○をつけた就労している方に向かいます。その際、仕事が終わったら、何日仕事を休んでお子さんをみたいと思いたか。「エ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んでお子さんをみたくったおおよその日数について数字でご記入ください。

できれば仕事を休んでお子さんをみたかった日数 ⇒ ()日

問 28-6 問 28-1 で「エ」から「ケ」のいずれかに○をつけた、就労している方に向かいます。休んでお子さんを見ることのできなかった理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 仕事が終わりに休めない
2. 子どもの看護を理由に休めない
3. 自営業なので休めない
4. 休暇日数が足りないので休めない
5. その他()

宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 29 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など)により、お子さんを泊りがけで保護者以外にみわけてもらわなければならないことはありませんでしたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対応として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

1年間の対応	日数
1. あった	()泊
ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	()泊
イ. 宿泊保育(こどもショートステイ)を利用した (児童福祉施設等で一定期間、子どもを養育する事業)	()泊
ウ. イ、以外の保育事業(認可外保育施設、ヘビージャッキー等)を利用した	()泊
エ. 預け先が見つからず子どもを同行させた	()泊
オ. その他()	()泊
2. なかった	()泊

問 29-1 問 29 で「1.」があった。ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方に向かいます。

その際、預みやすかったですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大変預りにくかった
2. どちらかというと預りにくかった
3. 預みやすかった

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 30 生活の中で、「仕事」「家庭生活(家事や育児など)」「個人の生活(趣味の活動や旅行など)」「地域活動(ボランティアやサークル活動など)」の優先度についてお答えください。
①あなたの現実(現状)として優先しているものと、②あなたが優先したいもの(希望)をそれぞれお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

①現実(現状)として優先しているもの	1. 仕事 3. 個人の生活 5. その他() 6. わからない	2. 家庭生活 4. 地域活動
②優先したいもの(希望)	1. 仕事 3. 個人の生活 5. その他() 6. わからない	2. 家庭生活 4. 地域活動

問31 仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていることがあれば、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 急な残業が入ってしまう
2. 自分や子どもが病気・ケガをした時に世話をする人がいない
3. 家族の理解が得られない
4. 職場の理解が得られない
5. 子どもが預けられるところが見つからない
6. 子どもと接する時間が少ない
7. その他 ()
8. 特になし

問32 仕事と子育てを両立するために、職場環境に求めることは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 妊娠・出産・子育てにおける職場の上司、同僚の理解
2. 産前産後休業後・育児休業後における原職または原職相当職への復帰
3. 子どもの出生時における父親の休暇の取得の促進
4. 育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備
5. 短時間勤務制度や始業時刻の繰り下げ・終業時刻の繰り上げ、フレックスタイム制度の整備
6. 事業所内保育施設の設置
7. ベビーシッターに際する費用などの補助
8. 子どもが病気の時に取得できる、看護のための休暇
9. 勤務地、担当業務等の限定
10. 出産や子育てのために退職した者の再雇用制度
11. その他 ()

子育てのストレスについてうかがいます。

問33 子育てにストレスを感じることはありませんか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ひんぱんにある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ない

問33-1 問33で「1. ひんぱんにある」「2. ときどきある」に○をつけた方にうかがいます。それはどんな時や、どんな事ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもが遊び方・遊び方
2. 子どもの成長
3. 子どもの生活リズム
4. 子どもの病気
5. 子どもの兄弟・姉妹関係
6. 子どもがかわいいと思えない
7. 自分ややりたいことができない
8. 自分の病気
9. 自分以外の家族との子育て方針の違い
10. 家族の子育てに対する協力が少ない
11. 子育てと仕事の両立
12. 近所つきあい・友達つきあい
13. その他 ()

問34 あなたを責め、家族の誰かが、次のようなことをしたことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. いらいらして、つい子どもに手をあげてしまう
2. 自分や子どもなのに、かわいいと思えない
3. 子どもに向かって、子どもの存在を否定するような言葉を口にしてしまう
4. 子育てを楽しくたたく
5. 子どもに対して、嫉妬にそぐわぬい威しいしつけや行動制限をする
6. 食事を作って食べさせると思いつくどおと感
7. 子どものしつけに必要だと感じる体罰をする
8. 子どもに対して、高い目標を設定し、より完全性を求める
9. その他 (具体的な)
10. 特になし

問35 あなたは自身が、子どものころに保護者から問34のような行為を受けたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある
2. ない

問36 子どもの虐待を防止するために、何が重要だと思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

※子どもの虐待とは、親または親に代わる養育者によって、子どもに加えられた行為で、子どもの心身を傷つけ、健康や成長・発達を損なう行為をいいます。暴力だけでなく、食事を与えなかったり、不潔な状況に放置したりすることや、DV (ドメスティック・ハイトレンス) を子どもの目の前で見せることなど、子どもの心に傷を負わせるような言動・行為も虐待と見なされます。

1. 親自身の人間性が成熟すること
2. 子育ての知識や情報が得られること
3. 家族 (特に配偶者) が子育てにかかわること
4. 同じような年齢の子どものもつ親同士のつながりをもつこと
5. 身近に相談できる場所や人がいること
6. ヘアレント・トレーニング (親育ち教室) があること
7. 育児に疲れたときにリフレッシュできる場所や支援のしくみがあること
8. その他 ()
9. 特になし

問37 あなたは、どのようなことで子どもの安心・安全がおよびやかされるのではないかと不安に感じますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 新聞やテレビなどで子どもが犯罪などに巻き込まれる報道を見聞きしたとき
2. 身近に不審者情報があったとき
3. 被害にあった子どもが身近にいたとき
4. 子どもだけで外出するとき
5. 子どもが短い時間に帰宅するとき
6. 子どもと連絡がとれないとき
7. 子どもだけで留守番をしているとき
8. 人通りの少ない道や街灯がない場所が近所にあること
9. 近隣とのつながりが希薄なこと
10. 保育所 (園) や幼稚園、学校が遠方にあること
11. 子どもがインターネットや携帯電話に興味をもったとき
12. その他 ()
13. 特に不安を感じていない

